

社会福祉法人 雲柱社

2011（平成23）年度事業報告

| | |
|--------------------------|---------------------------|
| 本部 p.1～ | 江東区大島子ども家庭支援センター p.143 |
| 愛の園保育園 p.21～ | 江東区深川北子ども家庭支援センター p.144 |
| 五日市保育園 p.31～ | 江東区南砂子ども家庭支援センター p.145 |
| 神愛保育園 p.39～ | 小平市子ども家庭支援センター p.146 |
| 祖師谷保育園 p.49～ | 小平市ファミリー・サポート・センター p.147 |
| 祖師谷保育園分園 p.57～ | 上池台児童館 p.148 |
| 烏山保育園 p.67～ | 小金井市子ども家庭支援センター／ |
| ともしび保育園 p.77～ | 小金井市ファミリー・サポート・センター p.149 |
| 光の園保育学校 p.89～ | 江東区深川学童クラブ p.150 |
| 黎明保育園 p.99～ | 江東区大島四丁目学童クラブ p.151 |
| れいめい宝学童保育クラブ p.109～ | 江東区大島八丁目学童クラブ p.152 |
| れいめい堀切学童保育クラブ p.111～ | 江東きつずクラブ明治 p.153 |
| 高根学園保育所 p.113～ | 汐入小学童クラブ／汐入学童クラブ／ |
| 墨田区押上保育園 p.123～ | 七峡小学童クラブ p.154 |
| さくら橋コミュニティセンター p.131 | 汐入東小にこにこすくーる p.155 |
| 墨田児童会館 p.132 | 目黒区立中央町児童館 p.156 |
| 文花児童館 p.133 | 練馬区立光が丘子ども家庭支援センター p.157 |
| 外手児童館 p.134 | 練馬区立大泉子ども家庭支援センター p.158 |
| 江東区平野児童館 p.135 | 練馬区立高松小学童クラブ p.159 |
| 江東区亀戸児童館 p.136 | 小金井市福祉共同作業所 p.160～ |
| 汐入ふれあい館 p.137 | 賀川学園 p.162～ |
| 狛江市立岩戸児童センター p.138 | かがわサポートセンター・ウイングス p.164～ |
| 狛江市子ども家庭支援センター p.139 | かがわの家 p.166～ |
| 狛江市立和泉児童館／ | 小金井生活実習所 p.168～ |
| 狛江市ファミリー・サポート・センター p.140 | かがわ工房 p.170～ |
| たまだいら児童館ふれっしゅ p.141 | ワークスタジオかがわ p.174～ |
| 江東区東陽子ども家庭支援センター p.142 | さくらの木 p.176～ |

2011年度を振り返って

理事長 服部 榮

I：法人のミッションの下に

多様な団体、企業が社会福祉事業に参入してくる中で、社会福祉法人はその使命と役割を一段と明確にして事業展開を進めていくことが求められることになった。

雲柱社は10年程前に「事業基本理念」を策定し、キリスト精神に立つ事業の姿勢と展開を進めてきた。まず、研修を通して、賀川豊彦が掲げた「キリスト精神」を学んできた。また、事業所と教会の関係を深めることに、全事業所をあげて取り組んできた。さらに、事業所での聖書の学びを通して、創立者の依って立つ「キリスト精神」をより深く学び理解することに努めてきた。

何故ならば、雲柱社が立つも倒れるも、ひとえにミッションの深化とその実践にかかっていると考えるからである。この姿勢は今後も変わることなく継続されて行かなければならないと考えている。

II：第二次中期計画の推進

法人は新しい事業展開を目指して、2011年度より、次代を担う管理職が中心となり、「第二次中期計画」を策定し、その具体化の歩みを始めることになった。

この計画の背景には、「社会福祉基礎構造改革」、それに続く「社会福祉法」の制定に見られるように、社会福祉の主流が地域福祉へと転換していく状況がある。

当法人はこの流れを踏まえて、「第二次中期計画」の方向性を、従来の職種別ブロック型社会福祉事業から、地域型社会福祉事業へと転換を図って行くことにした。

これは、現在それぞれの地域に存在している法人事業所が地域ごとに結集し、お互いの事業力や職員力を合わせて、地域の福祉ニーズに応じて行くことを目的としている。

今年はその一年目として、話し合いが何度か行われた。急激に変化していく社会福祉に柔軟に対応して行くための、この計画の推進は不可欠であり、今後はいっそうの具体化に向かったの努力が求められている。別に今年度の計画の進捗状況を記すことにする。

III：法人の経営基盤の強化

かつては、事業の主な責任を現場の事業所が負ってきた。しかし、時代の流れは社会福祉法人の役割や責務、経営内容の透明化など、公的法人としてのあり方が厳しく問われることになった。雲柱社はこの面で十分とは言えない。今後は事業所のあり方も含めて総合的な視点から、法人の経営基盤の強化が緊急の課題となっている。

特に行政の財政の逼迫、諸制度の改変（子ども子育て新システム、障害者福祉法の改訂など）、利用者ニーズの複雑、多様化など、内外に問題が山積している。

また、指定管理者制度の下で多くの事業を展開してきたが、期間限定と言う事業形態が持つ問題性への対応も大きな課題となってきている。

これらの問題に法人として真摯に向き合ってきた。次年度にはさらに具体的な取り組みが続けられることになる。

IV：3. 11を心に刻み、法人のBCP（事業継続計画）への取り組み

3.11の災害はわたしたちに大きな教訓となった。

法人としては募金活動（2011年度募金総額2,382,857円）、現地への職員派遣など、不十分ながら支援活動を継続して現在に至っている。

ところで、昨今の報道によれば、関東地域にも大地震が起こることがかなり確実に予測されている。尊い命を預かる事業を担っている法人としては、速やかにBCP策定への取り組みがもたれている。3.11の教訓を踏まえて災害対応電話の導入、避難訓練の充実、災害対応備蓄品の整備などを行った。

また、福島原発事故による保育園や障がい児（者）施設が提供する食材のチェックなどには細心の配慮をして、保護者の疑問や不安に対応してきた。

V：感謝と決意を込めて

2011年度も理事会、評議員会、苦情対応第三者委員、関係教会の牧師先生、事業の充実にお力添えを頂いた専門家の先生方、共に事業の遂行に尽力を頂いた職員の皆さん、現場の責任を担われた管理職、現場の円滑な事業推進のために陰の力となって支えてくださった本部事務局の職員に皆さん、そして、様々の形で事業を担ってくださった多くの方々に心から感謝を申し上げます。

社会福祉法人雲柱社は、これからも、主イエス・キリストの教えと行い、それに従った賀川豊彦の「キリスト精神」を土台として、「神と人に仕える」姿勢を堅持して、福祉事業を担っていきます。皆さんのいっそうのご支援とご協力をお願いいたします。

社会福祉法人雲柱社 2011（平成23）年度事業報告

I：社会福祉施設の設置・経営、及び収益事業の設置・経営

法人の設立の原点に立ち帰り、「キリスト精神」にたつ事業展開を行った。具体的には聖書に示されたイエス・キリストの教えと行いに倣い、それに倣って生きた創立者賀川豊彦の思想と実践を継承する事業展開を行った。（事業は以下の通り）

社会福祉事業（第一・二種）

| 種別 | 名称 | 個所 | |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|----|
| 第一種 | 知的障害児通園施設 | 賀川学園 | 1 |
| | 障害福祉サービス事業 生活介護事業 | かがわ工房、ワークスタジオかがわ | 2 |
| 第二種 | 保育所 | 愛の園保育園・五日市保育園・押上保育園・烏山保育園・神愛保育園・ <u>祖師谷保育園</u> ・高根学園保育所・ともしび保育園・ <u>光の園保育学校</u> ・黎明保育園・ ※__は分園併設 | 10 |
| | 児童厚生施設 | <u>さくら橋コミュニティセンター</u> ・ <u>墨田児童会館</u> ・ <u>文花児童館</u> ・ <u>外手児童館</u> 、（墨田区）、 <u>汐入ふれあい館</u> （荒川区）、和泉児童館・岩戸児童センター（子ども家庭支援センター事業併設・狛江市）、上池台児童館（大田区）、 <u>たまだいら児童館ふれっしゅ</u> （日野市）、 <u>亀戸児童館</u> ・ <u>平野児童館</u> （江東区）、 <u>目黒区立中央町児童館</u> （目黒区） ※__は学童クラブ分室併設館 | 12 |
| | 放課後児童健全育成事業 | れいめい堀切学童保育クラブ・れいめい宝学童保育クラブ（葛飾区）、七峽小学童クラブ・汐入小学童クラブ（荒川区）、深川学童クラブ・大島四丁目学童クラブ・大島八丁目学童クラブ（江東区）、練馬区立高松小学童クラブ（仮）（練馬区） | 8 |
| | 障害福祉サービス事業 （グループホーム・ケアホーム） | かがわの家 シリウス・ベガ・ミラ・カペラ・ジュピター | 5 |
| 障害福祉サービス事業 （就労継続支援 B 型・生活介護・短期入所） | 小金井生活実習所 | 1 | |

| | | |
|--|-------------------|---|
| 障害福祉サービス事業 ◇ 居宅介護 ◇ 行動援護 ◇ 移動支援事業 (地域生活支援事業) | かがわサポートセンター・ウイングス | 1 |
|--|-------------------|---|

※□は2011年度開始

社会福祉事業（公益事業）

| | | |
|-------------------|---|---|
| 地域デイグループ事業 | さくらの木（知的障害学齢児 個別・グループ学習） | 1 |
| 心身障害者授産事業 | 小金井市福祉共同作業所（障害者・高齢者共同 小金井市） | 1 |
| ファミリー・サポート・センター事業 | 狛江市全域（和泉児童館内）、小金井市全域（小金井市子ども家庭支援センター内）、小平市（小平市子ども家庭支援センター内） | 3 |
| 子ども家庭支援センター事業 | 江東区東陽子ども家庭支援センター・江東区大島子ども家庭支援センター・江東区深川北子ども家庭支援センター、江東区南砂子ども家庭支援センター（江東区）、練馬区立光が丘子ども家庭支援センター・練馬区立大泉子ども家庭支援センター（練馬区）、狛江市子ども家庭支援センター（狛江市）、小金井市子ども家庭支援センター（小金井市）、小平市子ども家庭支援センター（小平市） | 9 |
| 放課後子どもプラン事業 | 汐入東小にこにこすくーる（荒川区）、土曜江東きつずクラブ、 <u>江東きつずクラブ明治</u> （江東区） | 3 |
| 家庭的保育事業（保育所実施型） | 実施園 祖師谷保育園・分園「おうち」（世田谷区） | 1 |

※□は2011年度開始

収益事業

| | | |
|--------|-------|---|
| 店舗賃貸ビル | 和光プラザ | 1 |
| 共同賃貸住宅 | 友愛コーポ | 1 |

I. 第二次中期計画の推進

1. 利用者に対して、より質の高いサービスを提供すること。
2. 職員の職種や勤務形態が多様化する中で、働きやすく魅力ある職場づくりをすすめること。

[第二次中期計画を果たすために]

1. 賀川豊彦の思想と実践の継承

賀川豊彦の思想と実践を引継ぎ、今に生かしていくために、以下の課題に取り組む。

- (1) 実践や研修を通して、賀川のキリスト精神の理解と継承を行う。
- (2) 賀川豊彦のキリスト教社会福祉事業の思想と実践を検証し、その現代的な展開を行う。
- (3) 賀川が目指した国際的な視野に立って、多文化理解に努め、多様な福祉ニーズに応える実践に取り組む。
- (4) 誰もが安心して暮らせる社会を実現するために、環境を守り、平和を実現するための取り組みを進める。
- (5) これらの課題をより深く理解し、実践していくための研修に備えて、ブックレットの作成に取り組む。

2. 地域別ネットワークの構築と新たな事業展開

新しい事業体制の構築や事業の展開等を行う。

(1) 取り組むべき社会福祉対象領域の見直しと事業展開

- ①制度の変化や新しいニーズを的確に捉えられるよう、関係団体や行政の取り組みにも積極的に参加し、法人の事業に活かす。
- ②事業所内での仕事にとどまらず、障がい児・者に対する移動支援や居宅介護、要保護児童へ対応、出張ひろばや家庭的保育事業など、地域に出て行って支援を行う事業を積極的に展開する。
- ③貧困や虐待など、子どもたちを取り巻く問題の深刻化、障がいをもつ利用者の高齢化など、新たな福祉ニーズについても取り組む。

(2) 地域におけるネットワークの構築とサービスの充実

- ①各事業所を地域福祉の拠点として位置づけ、地域に根ざした事業展開に積極的に取り組む。
- ②一定の地域における法人事業所間の地域ネットワークを構築し、地域の福祉ニーズを掘り起こし、協力してその福祉ニーズに取り組む。
- ③地域福祉の向上のために、各事業所が培ってきた専門的な知識やスキルを活かし、行政、他団体、地域住民との連携、協働に努める。

3. 雲柱社の職員として、また対人援助者としての資質の向上

対人援助サービスの質を決めるのは、第一線に立つ職員一人ひとりの人間性や価値観、

技能にある。このため研修内容をいっそう充実させ法人のミッションに依って立つ人材育成に力を尽くす。

- (1) OJTを中心に各事業所における人材育成を進める。
- (2) 経験別、階層別研修、管理職育成研修などを計画的に実施する。
- (3) 地域別異業種間研修に取り組む。

4. 働きやすく、魅力ある職場環境の整備

職員が心身ともに健康で、意欲を持って長く働き続けられるように、職場環境を整備。

- (1) 円滑な事業を展開していくために、人材バンクを設置し人材確保に努める。
- (2) 必要な人材が確保できるよう、適切な採用計画を立て実施する。
- (3) 働きがいのある職場環境づくりをすすめ、職員の定着化を図る。
- (4) 職員の健康管理、福利厚生の実施に取り組む。

5. 社会の変化と多様なニーズに対応できる法人組織の再構築

急激な社会の変化は、人々の生活を支えるための多様なニーズを生み出していく。それらに適切に対応し、利用者の信頼を得ていくためには、現場を支える法人組織の強化が不可欠な条件と成る。

- (1) 本部役員会を定期的開催し、現場の事業をサポートする。
- (2) 本部事務局体制を強化し、適切な現場への支援を行う。
- (3) 経理部門（会計・給与等）の強化、総務部門のシステム化、人事部門の設置などを計画的に進め、事業の拡大や状況の変化にも機敏に対応できる本部事務局の構築を図る。
- (4) 5つの専門委員会を設置し、本部機能の充実を図る。また、各専門委員会の上部組織としての経営委員会を、2012年度に設置するために検討・準備を進める。

II. 2011年度に取り組んできたこと

1. 賀川豊彦の思想と実践の継承

- ・法人の理念研修の実施（別添）
- ・社内報「うんちゅうしゃ（1～2号）」の発行
- ・ホームページの運営等
- ・職員による東日本大震災ボランティアと支援のための募金活動
- ・雲柱社70年史の発刊（三法人共同企画）
- ・アドヴェント礼拝、賀川豊彦召天記念礼拝等
- ・関係牧師懇談会の開催

2. 地域別ネットワークの構築と新たな事業展開

- (1) 取り組むべき社会福祉対象領域の見直しと事業展開
 - ・障がい者ケアホームの創設
 - ・墨田区での「ぶどうの木」保育室（グループ保育型家庭的保育）開設の準備

- ・江東区こども家庭支援訪問事業の実施、訪問支援者の育成
→研修を受講した「訪問支援者」による家庭訪問事業。家庭の見回りや日常生活支援を行うことによる児童虐待防止及び地域生活支援を目指す。
- ・苦情対応のための第三者委員会を開催。情報を共有し適切な対応を推進した。

(2) 地域におけるネットワークの構築とサービスの充実

- ・練馬光が丘第六保育園民営化のための準備
- ・江東橋児童館（墨田区）のプロポーザル参加及び指定受託後の引継
- ・町屋ふれあい館（荒川区）のプロポーザル参加及び指定受託後の引継
- ・ファミリーサポートセンター（狛江市）における病児・病後児保育の可能性の検討
- ・認可保育園新設（狛江市）のプロポーザル参加及び認可決定後の準備
- ・練馬区学童クラブの民営化へのプロポーザル参加（不選定）

3. 雲柱社の職員として、また対人援助者としての資質の向上

- ・研修の実施（別添参照）

4. 働きやすく、魅力ある職場環境の整備

- ・法人の職員構成及び職員数の推移（別添グラフ参照）
- ・地域ごとの職員採用計画を進めた。

5. 社会の変化と多様なニーズに対応できる法人組織の再構築を図った。

- ・理事会、評議員会の開催（別添）

(1) 本部役員会を定期的を開催し、現場の事業をサポートした。

- ・役員会の開催（別添）
- ・全体施設長会の開催（別添）
- ・種別ブロック管理職会（保育、児童館・学童、子ども家庭支援センター、障がい支援）

(2) 本部事務局体制を強化し、適切な現場への支援を行った。

- ### (3) 経理部門（会計・給与等）の強化、総務部門のシステム化、人事部門の設置などを計画的に進め、事業の拡大や状況の変化にも機敏に対応できる本部事務局の構築を図った。

- ・事務局 2011 年度事業報告（別添）

(4) 次の専門委員会を設置し、本部機能の充実を図った。

①人材組織委員会

職場アンケートにもとづき、多様な職員の処遇について整理し、新たな就業規則を予定する。また、職員の採用について企画し、募集時期や試験内容についての提案を行った。

②研修委員会

法人の理念研修を基本とし、研修を企画、提案した。

③ I T 広報委員会

法人広報誌「うんちゅうしゃ」の定期発行を開始。次年度には電子媒体をもととした広報活動（ホームページなど）の改訂作業を予定し、これに向けての検討を行った。

④ 企画委員会

職員アンケートや事業者提案会を行い、職員の福利厚生の利用についての検討を行い、新しい事業者を選定した。また、施設の改築・建設計画等について、地域ごとのマスタープラン委員会設置の提案を行った。

⑤ 政策委員会

法や各種制度等の改正にともなう行政等の動きに対し、法人としての対応を検討した。また、昨年の中日本大震災及びその後の原発事故等の課題（BCP の作成等）について引き続き検討し、災害時の事業展開（事業維持）の見通し等を示していく。

⑥ 経営委員会

役員会で法人経営の現状を確認したうえで課題を設定し、2012 年度より他の専門委員会とは違う位置づけで、本格的な活動を予定する。

法人として事業の枠を超え、幼児期から学齢期、成人期にわたって知的障がいと自閉症児・者及びその家族の地域での安定した暮らしと成長を支援することを目指し、以下の事業を障がい児・者ブロック8事業所が連携・分担して実施してきた。

・40周年記念事業

賀川学園創立40年を祝してグループかがわ40周年記念事業を11月23日、府中の森芸術劇場にて実施した。記念誌を作成・配布し、当日は卒園生、在籍の方、ご家族と280名の集まりとなった。

・きょうだいの会(ライオンクラブ)事業

障がいのある子どもの兄弟と家族を支える会として、毎月1回の定期活動と8月と3月にキャンプを実施した。また3月にジュニアスタッフ活動としてディズニーランドへ行き、会員同士の親睦を深めることができた。会員数:37名(小学生会員:10名、ジュニア会員:23名、休会会員:4名)

・小金井市委託事業(日曜クラブ)

小金井市在住の障がいのある小学生から高校生の余暇支援として毎月第3日曜日に活動を実施した。登録児童は17名、事業はさくらの木が担当して行われた。

・東京都障害者(児)移動支援従事者養成研修事業

ヘルパー確保と障害児・者の理解を目的にガイドヘルパー養成研修講座を6月と2月に開催した。

受講者数:19名

・小金井地区総合マスタープラン企画事業

貫井北町地区を中心に乳幼児期から児童期の多岐にわたる総合的な支援の展開を目指し、委員会を設置し検討した。24年度のメンバーについて話をすすめた。

・さくらの会運営事業

さくらの会事務局では卒園生・現役・退所利用者を対象に会員366名、旧職員16名、特別会員13名による会の名簿作成、会費の徴収を行った。

さくら前線の発行は年4回(4月・7月・10月・2月)さくらの会会員、及び法人関係やお世話になった方を対象に配布した。(発行部数656部)

合宿の企画運営

夏合宿A 8月1～2日(山中湖) 小・中学1年生対象 参加者11名

夏合宿B 8月25～27日(野辺山) 中学2年生～成人対象 参加者17名

スキー合宿 1月22～24日(苗場) 小学生以上の利用者とその家族参加者67名

ゼッケンを新しく購入した。

・全体職員会の企画運営

- 7月16日(土) 講演会「障がいのある人たちの将来の生活設計-本人、親、支援者の思い」
文教学院大学人間学部人間福祉学科教授 綿祐二先生
実践報告合評会
- 12月18日(土) アドベント礼拝 (国分寺教会 願念望牧師) 愛の園保育園合同
講演会「行動障がいへの対応-医療との連携」
むさしの小児発達クリニック 院長 川崎葉子先生
障がい児・者ブロック事業総括について報告
- 3月24日(土) 障がい児・者ブロック事業計画について報告

事務局長 小磯 満

法人の第Ⅱ次中期計画を具現化するために、現場を支える法人本部事務局体制・機能の整理強化を推進した。事務局と事業所管理職、ブロック担当役員・施設長等との役割（責任）の明確化を図り、内部統制監査・監事監査をツールとし、コンプライアンス体制構築、つまり法人としてリスクを回避するための、方針決定のための提案・規程作成・運用に参画し、環境の整備を行った。また、理事会及び役員会（執行部）からの方針を受け、法人本部並びに事業運営の諸問題に対応していくための法人のミッション（事業基本理念）の理解を徹底しつつ、事務局組織を整えた。

1 採用、異動、退職等労務管理手続きの円滑化

- ・就業規則の遵守を促進するため、管理職を中心とした職員に就業規則の周知を図った。
- ・給与事務の効率化及び人事データ管理のため、人事管理・給与についてパソコンのソフトを更新した。
- ・文書管理室を中心に職員の個人データの整理及び電子データ化を進めた。

2 専門委員会、法人（企画）研修の運営補助

- ・地域ブロックでの事務管理体制構築を視野に置き、墨田地域及び練馬地域へ事務局職員を派遣し、事務支援を行った。
- ・専門委員会及び施設改築（狛江市新保育園、五日市保育園、小金井地域 MP 等）のプロジェクトチームの運営補助を行った。
- ・研修委員会と連携し、法人研修の運営を行った。

3 働き方検討委員会、人事制度検討委員会の運営補助

- ・労働衛生管理体制の構築の一環として、墨田地域に産業医の設置を行い、2カ月に一回開催される衛生委員会へ出席をした。
- ・人材組織委員会等への、法人就業規則等の説明および改善事項等の情報共有を行った。

4 広報的業務の強化

- ・IT広報委員会と連携をとり、社内報（2回）・法人ニュース（10回）の発行を行った。

5 事務局の専門性の強化

- ・事務局の部門を、総務・経理・給与と3分化し役割の整理及び専門化を図り、外部研修を活用しスキルの向上を図った。

- ・不定期（2011年度は3回実施）に全体事務局会議を開催し、非常勤職員も含め全事務局職員対象に法人の理念の確認をし、事務スキル・社会動向等の情報共有を行った。

6 光が丘第六保育園開設準備室の運営補助

- ・事務局内に準備室を設置し、室長及び行政等と連携を取り立ち上げの補助を行った。
- ・事務局員を光が丘第六保育園へ派遣し、事務支援を行った。

7 評議員会・理事会、役員会、専門委員会等運営事務

- ・定款、行政指導に定められた手順を遵守しつつ、さらに分かりやすい説明を目指し事務局で数字等の整理をし理事会・評議員会等へ提示した。

8 他団体と協力する集会、研修の運営補助など

- ・アドベント礼拝、賀川豊彦召天記念墓前祈祷会及び牧師懇談会等の運営事務を行った。

9 内部統制監査実施及び監事監査補助

- ・監事及び事務局長による内部統制監査計画を立案し、それに基づき監査の補助を行った。2011年度監査実施は4か所で実施し、全体施設長会等で監査結果を報告し、改善を図った。
- ・また、業務委託、指定管理等の事業については、契約内容について担当理事等に説明を行い、事業内容の検討等を進めた。

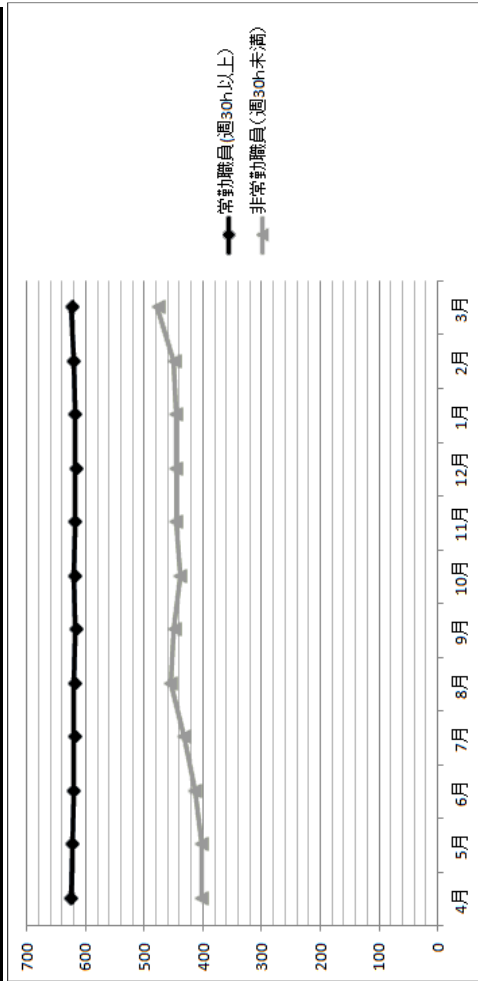
10 収益事業の特化

- ・外部コンサルタント業者等へ管理等を委託し、和光プラザ及び友愛コーポについて管理を行った。

2011年度法人職員構成及び職員数の推移

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 常勤職員(週30h以上) | 626 | 623 | 621 | 620 | 620 | 618 | 620 | 619 | 618 | 619 | 621 | 624 |
| 増減 | | -3 | -2 | -1 | 0 | -2 | 2 | -1 | -1 | 1 | 2 | 3 |
| 非常勤職員(週30h未満) | 403 | 403 | 414 | 433 | 455 | 450 | 439 | 446 | 446 | 446 | 450 | 477 |
| 増減 | | 0 | 11 | 19 | 22 | -5 | -11 | 7 | 0 | 0 | 4 | 27 |
| 合計 | 1,029 | 1,026 | 1,035 | 1,053 | 1,075 | 1,068 | 1,059 | 1,065 | 1,064 | 1,065 | 1,071 | 1,101 |
| 増減 | | -3 | 9 | 18 | 22 | -7 | -9 | 6 | -1 | 1 | 6 | 30 |

| | |
|----------------------|-----|
| 新入職員(常勤) 2011年4月1日付 | 34名 |
| 退職職員(常勤) 2011年3月31日付 | 36名 |
| 差引 | -2名 |



2009年度入社職員(常勤) 59 内2009年度退職者 8 離職率(1年) 14%
 内2010年度退職者 4 離職率(2年) 20%
 内2011年度退職者 3 離職率(3年) 25%
 計 15 離職率 25%

2010年度新入社員(常勤) 51 内2010年度退職者 7 離職率(1年) 14%
 内2011年度退職者 6 離職率(2年) 25%
 計 13

2011年度新入社員(常勤) 34 内2011年度退職者 7 離職率(1年) 21%

法人主催及び他の団体と協力して開催する集会、研修等

| 名称 | 内容 | 主催 | 開催日 | 参加人数 |
|-------------------------|--|-----------------|----------------|------|
| 新入職員研修(正規,嘱託)① | 法人のミッション聖書の学び、雲柱社の歴史、事業基本理念Ⅰ・Ⅱ、賀川豊彦のキリスト精神、法人諸規程の説明 | 法人 | 2月27日 | 55 |
| 新入職員研修(正規,嘱託)② | 法人のミッション聖書の学び、賀川豊彦について、事業基本理念Ⅲ・Ⅳ、雲柱社の事業展開状況、実務研修ガイダンス(事業ブロック毎) | 法人 | 3月6日 | 55 |
| 新入職員研修(正規,嘱託)③(フォロー) | 法人のミッション聖書の学び、雲柱社の歴史と賀川豊彦、事業基本理念、法人諸規程の説明 | 法人 | 4月16日 | 6 |
| 2年目研修 | 法人のミッション聖書の学び、法人からの報告、事業基本理念の理解、賀川豊彦研究「子どもの権利」、話し合いまとめ、交流 | 法人 | 9月10日 | 39 |
| 3年目研修① | 共同生活、労働における職員の学びと交流、あさひ福祉作業所で作業 | 法人 | 5月22日～5月24日 | 29 |
| 3年目研修② | 共同生活、労働における職員の学びと交流、あさひ福祉作業所で作業 | 法人 | 10月1日～10月3日 | 27 |
| 4年目研修 | 法人のミッション聖書の学び、法人からの報告、法人事業基本理念の検証、賀川豊彦研究「社会事業の思想と実践」、話し合いまとめ、交流 | 法人 | 6月11日 | 32 |
| 5年目研修 | 法人のミッション聖書の学び、法人からの報告、事業基本理念を実質化、賀川豊彦研究「スラムにおける実践とその思想」、話し合いまとめ、交流 | 法人 | 5月14日 | 36 |
| 10年目研修 | 法人のミッション聖書の学び、法人からの報告、法人事業基本理念と中期計画、10年目職員の課題～理念の具現化を目指して我々は何を担うのか～、話し合いまとめ、交流 | 法人 | 3月2日 | 9 |
| 中堅研修Ⅰ | 法人のミッション聖書の学び、法人からの報告、基本事業理念の内実化、賀川豊彦研究「共同組合運動の思想と実践」、話し合いまとめ、交流 | 法人 | 1月21日 | 37 |
| 中堅研修Ⅱ | 法人のミッション聖書の学び、基本事業理念に立つ事業展開、賀川豊彦研究「社会運動における実践とその思想」、中堅職員の課題～中堅職員は何を担うのか～、話し合いまとめ、交流 | 法人 | 11月5日 | 23 |
| 中堅研修Ⅲ | 法人のミッション聖書の学び、法人からの報告、キリスト精神～込められた賀川の思いを理解する～、賀川豊彦研究「平和運動の思想と実践」、話し合いまとめ、交流 | 法人 | 11月19日 | 31 |
| マイスター研修 | 法人のミッション聖書の学び、共同聖書研究、論文購読、話し合いまとめ | 法人 | 11月30日 | 9 |
| パート研修Ⅰ | 法人のミッション聖書の学び、法人事業基本理念について～キリスト精神に基づいて～、パート職員の皆さんに担っていただきたいこと、話し合いまとめ | 法人 | 6月25日 | 35 |
| パート研修Ⅱ-A | 社会福祉法人雲柱社の現状と今後の課題、パート職員の皆さんにならって頂きたいこと、話し合い | 法人 | 10月22日 | 71 |
| パート研修Ⅱ-B | 社会福祉法人雲柱社の現状と今後の課題、パート職員の皆さんにならって頂きたいこと、話し合い | 法人 | 1月14日 | 68 |
| 家庭的保育研修① | 家庭的保育者の認定研修 | 法人 | 7月14日他7日間 | 1 |
| 家庭的保育研修② | 家庭的保育者の認定研修 | 法人 | 8月10日他7日間 | 1 |
| 家庭的保育研修③ | 家庭的保育者の認定研修 | 法人 | 9月9日他7日間 | 2 |
| 家庭的保育研修④ | 家庭的保育者の認定研修 | 法人 | 11月11日他7日間 | 1 |
| 他ブロック交換研修 | 保育ブロック→児童館ブロック 支援センターブロック→保育ブロック | 法人 | 11月11日～11月26日 | 2 |
| 全体施設長会 | 各ブロックからの報告、「第二次中期計画の推進と施設長の課題」、「第二次中期計画の課題と専門委員会からの報告」、「本部事務局からの報告と確認」、「タイムレコーダー商品概要説明 | 法人 | 4月25日 | 35 |
| 全体施設長会 | 「ミッションに立つ施設長を目指して」、各ブロックからの報告、各専門委員会からの報告、グループ話し合い・討議①、グループ話し合い・討議(地域毎)②、「本部からの報告と確認」 | 法人 | 10月24日 | 34 |
| 全体施設長会 | 「2011年度の総括と2012年度の課題」、各ブロックからの報告、各専門委員会からの報告、「第二次中期計画と地域福祉の展開について」、「ケーススタディ小金井地区、墨田地区での取り組み」、グループ話し合い・討議、「本部からの報告と確認」 | 法人 | 2月20日 | 35 |
| 全体会(会場:小金井生活実習所) | 礼拝、雲柱社憲章唱和、雲柱社の現状と2011年度の課題、永年勤続表彰、新人職員紹介 | 法人 | 4月3日 | 62 |
| 全体会(会場:高根学園保育所) | 礼拝、雲柱社憲章唱和、雲柱社の現状と2011年度の課題、永年勤続表彰、新人職員紹介 | 法人 | 4月7日 | 17 |
| 全体会(会場:墨田児童会館) | 礼拝、雲柱社憲章唱和、雲柱社の現状と2011年度の課題、永年勤続表彰、新人職員紹介 | 法人 | 4月9日 | 166 |
| 全体会(会場:松沢教会) | 礼拝、雲柱社憲章唱和、雲柱社の現状と2011年度の課題、永年勤続表彰、新人職員紹介 | 法人 | 4月10日 | 119 |
| 管理職研修 | ミッション研修「賀川精神の継承とこれから」講演会・シンポジウム | 法人 | 3月18日 | 36 |
| 新任管理職研修 | 法人が管理職に求めるもの、経理、労務管理実務研修 | 法人 | 3月17日、18日 | 10 |
| 墓前礼拝 | 墓前祈禱会、雲柱社管理職研修 | 法人 | 4月23日 | 39 |
| イエス団、本所賀川記念館、雲柱社合同施設長研修 | 1日目:礼拝、講演「放射能から子どものいのちを守る会・会津 現地レポート報告と質疑応答」、「本所賀川記念館の実践・立場から～地域福祉の実践と展開」、「法人の第二次中期計画を踏まえた地域福祉の実践と展開」、グループディスカッション①、懇親会 2日目:グループディスカッション②、報告とまとめ、礼拝 | 法人、イエス団、本所賀川記念館 | 1月27日 1月28日 | 36 |
| 全体事務局会議 | 法人のミッション聖書の学び、「2011年度の事業計画について」、「報告、スケジュール確認」 | 法人 | 4月4日 | 20 |
| 全体事務局会議 | 法人のミッション聖書の学び、「2011年度の事務局組織(役割分担)について」、各部門での打合せ(2011年度計画・目標等) | 法人 | 6月18日 | 19 |
| 全体事務局会議 | 法人のミッション聖書の学び、「障害者総合福祉法施行と子ども・子育て新システムと法人動向」、「各部署の2011年度上半期報告と下半期事業計画」、連絡・確認 | 法人 | 10月31日 | 19 |
| 全体事務局会議 | 法人のミッション聖書の学び、「苦情対応」、「事務局2012年度事業計画、2011年度1～3月の体制等」、「各部署の2011年度下半期総括と2012年度事業計画」 | 法人 | 12月29日 | 15 |

外部団体が開催する研修等

| 名称・内容 | 主催 | 開催日 | 参加人数 |
|---------------------------------------|---------------|-------------------------|------|
| お客様を満足させる「プレゼンテーション・コミュニケーション能力アップ」講座 | 東京都 | 4月13日、4月20日 | 3 |
| 情報セキュリティ(初級) | 東京都 | 4月16日、4月23日、4月29日、4月30日 | 2 |
| 「児童館ガイドライン」策定に伴う指定管理者指導講習会について | 墨田区 | 5月24日 | 1 |
| 人権問題雇用主研修会 | 渋谷公共職業安定所 | 6月21日 | 1 |
| 「東京都 都市型経費老人ホーム」で経営基盤の安定化を目指す! | (株)川原経営総合センター | 7月2日 | 1 |

| | | | |
|--|--|--|------------------------|
| 平成23年度社会福祉事業従事者人権研修 アサーションセミナー | 東京都 市民活動支援センター | 7月25日 8月27日、9月3日 | 1 1 |
| NP0のためのパワーポイント入門講座 情報セキュリティ(中級) | 新宿区 東京都 | 7月27日、7月28日 9月11日、9月18日、9月25日 | 1 2 |
| 平成23年度社会福祉事業従事者人権研修 社会保険の基礎知識 | 東京都 財)東京社会保険協会 | 9月12日 10月20日 | 2 1 |
| 60歳からの雇用保険と社会保険 出産・育児・介護休業と社会保険 | 財)東京社会保険協会 財)東京社会保険協会 | 10月25日 11月9日 | 1 1 |
| 働く人の心の健康づくり講座(一般職員向け) 働く人の心の健康づくり講座(職場のリーダー向け) | 公益財団法人東京都中小企業振興公社 公益財団法人東京都中小企業振興公社 | 7月15日 7月14日 | 1 2 |
| 仕事の質をカイズン!!問題解決の視点と仕事の進め方講座 決算書を活用した事業計画書の作り方～銀行はどこに注目するのか!～ 人事担当者が押さえておくべき実務からみた労働基準法 | ㈱トヨタエンタプライズ ㈱トヨタエンタプライズ ㈱トヨタエンタプライズ | 7月27日 8月18日 8月30日 | 1 1 3 |
| 従業員から喜ばれる年末調整の大研究 介護事業所のためのリスク・マネジメント講習 えせ同和行為対策セミナー | 小野税理士事務所 財)介護労働安定センター東京支部の雇用管理責任者講習特別企画 経済産業省中小企業庁(財)人権教育啓発推進センター | 9月16日 7月11日 10月31日 | 1 1 1 |
| 事業継続計画(BCP)セミナーのご案内 平成23年度社会福祉法人監事研修 社会福祉法人向け新会計基準対応セミナー | 東京海上日動火災保険㈱ 東京都社会福祉協議会 NEC/NECネットワークソリューションズ | 9月6日 12月20日 9月13日 | 1 2 3 |
| うつ病の方のための就労支援講座 採用担当者育成セミナー 高次脳障害の理解と支援 労働基準法に関する基礎研修会 | 東京都中部総合精神保健福祉センター 公益財団法人東京都中小企業振興公社 調布市社会福祉協議会 東京都社会福祉協議会 | 10月4日 10月5日10月12日10月19日 10月29日 11月2日 | 1 6 1 13 |
| 統合失調症の地域ケア：家族の役割と家族への支援 社会教育を進める「地域福祉計画づくりを基に」 H23年度社会福祉法人協議会経営者セミナー | 津田ホール 調布市社会福祉協議会 東京都社会福祉協議会社会福祉法人協議会 | 9月22日 10月1日 10月27日 | 1 1 7 |
| おひとりさまでも最後まで自分らしく生きるには 「アサーション」で快適なワーク・ライフ・バランス・人間関係を 精神保健ボランティア基礎講座 | 東京都社会福祉会 世田谷区男女共同参画担当課 調布市社会福祉協議会 | 11月13日 11月22日、11月25日 11月5日、11月19日、11月26日、12月10日 | 1 1 1 |
| 新たな社会福祉法人会計基準に関する研修会 クレームなんか怖くない!クレーム対応研修～電話対応実践編～ 平成23年度 社会福祉法人(国所管)新会計基準研修会 | 東京都社会福祉協議会 東京都中小企業振興公社 関東信越厚生局 | 11月21日 11月29日 12月5日 | 7 1 2 |
| 成年後見実践の課題と市民貢献推進事業 年金シニアライフセミナー 入社・退職時の社会保険の手続き | 日本社会事業大学 東京社会保険協会 東京社会保険協会 | 12月11日 1月21日 2月17日 | 1 1 1 |
| 講演会 働く人のメンタルヘルス～うつ病の予防と治療～ 社会福祉法人・施設会計実務研修会「会計決算実務研修」：保育所 ファミリー・サポート・センター事業におけるアドバイザースキルアップ研修会 | 日本産業カウンセラー協会東京支部保育・福祉専門部会 東京都社会福祉協議会 ファミリー・サポートきよせNPO法人 子育てネットワーク・ピッコロ | 12月3日 1月23日1月25日2月7日 1月24日 | 1 3 2 |
| 障害者雇用納付金等事業主説明会 新会計基準対応!福祉大臣体験セミナー Web会議活用セミナー | 独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 ディーアイエスソリューション㈱ ㈱マネージ 後援：富士通㈱ | 2月29日 1月27日 1月24日 | 2 2 1 |
| 福祉職員職務階層別・指導的職員研修 チラシづくりを超えるチラシ講座広報の極意 地域支援の意識と関係諸機関との連携～民生委員・児童委員に期待すること～ 狛江市ファミリー・サポート・センター会員養成講習会病児・病後児預かり対応追加講習 社会福祉法人様向け新会計基準対応セミナー | 東京都社会福祉協議会 調布市市民活動支援センター 東京都 狛江市ファミリー・サポート・センター ㈱大塚商会と㈱CITソリューションズ | 2月7日、2月8日 2月4日、2月25日 3月3日 3月5日3月10日3月16日 2月24日 | 14 2 2 3 2 |

2011年度理事会

| 名称 | 議案 | 開催日 | 出席人数 (書面出席) |
|----------|--|--------|----------------|
| 第一回緊急理事会 | 第一号議案 黎明保育園指導検査の結果についての改善報告に関する件 | 4月12日 | 7 (3) |
| 第一回理事会 | 第一号議案 第一次中期計画の総括について 第二号議案 2010(平成22)年度事業報告に関する件 第三号議案 2010(平成22)年度監事の監査報告及び決算報告に関する件 第四号議案 2010(平成22)年度資産総額に関する件 第五号議案 役員報酬規程の改定に関する件 第六号議案 保育所運営費からの東日本大震災への義援金支出に関する件 第七号議案 東日本大震災支援のための職員派遣及び特別休暇付与に関する件 第八号議案 荒川区ふれあい館指定管理プロポーザルに関する件 | 5月21日 | 8 |
| 第二回緊急理事会 | 第一号議案 新規事業に関する件 ・狛江市新設保育園 第二号議案 評議員辞任に関する件 | 9月9日 | 8 |
| 第三回緊急理事会 | 第一号議案 ケアホーム用地取得に関する件 | 10月18日 | 6 (2) |
| 第二回理事会 | 第一号議案 2011(平成23)年度資金収支最終補正予算に関する件 第二号議案 2011(平成23)年度管理職人事に関する件 第三号議案 小金井生活実習所(短期入所事業)運営規程変更に関する件 | 12月3日 | 10 |
| 第四回緊急理事会 | 第一号議案 ケアホーム 解体及び本体工事入札参加業者の設計監理(コンサルタント)契約に関する件 第二号議案 ケアホーム 解体業者入札選定基準及び解体業者決定に関する件 第三号議案 ケアホーム 本体工事入札選定基準に関する件 第四号議案 ケアホーム 創設に伴う独立行政法人福祉医療機構からの借入に関する件 第五号議案 ケアホーム 創設に伴う独立行政法人福祉医療機構への基本財産土地・建物の担保提供に関する件 第六号議案 狛江市新設保育園 本体工事の設計監理(コンサルタント)契約に関する件 第七号議案 狛江市新設保育園 本体工事入札選定基準に関する件 第八号議案 2011年度施設長人事に関する件 ・和泉児童館館長人事 | 1月31日 | 9 |
| 第五回緊急理事会 | 第一号議案 ケアホーム 本体工事入札参加者決定の件 第二号議案 管理職人事の件 | 2月10日 | 8 (1) |
| 第三回理事会 | 第一号議案 2011(平成23)年度資金収支最終補正予算に関する件 第二号議案 2012年度管理職人事に関する件 第三号議案 賀川学園の事業種別変更及び定款変更に関する件 第四号議案 2012(平成24)年度事業計画に関する件 第五号議案 2012(平成24)年度資金収支当初予算に関する件 第六号議案 苦情対応の第三者委員の選任に関する件 第七号議案 福利厚生制度事業者の選定の件 第八号議案 島看護師定年延長に関する件(光が丘第六保育園配属予定) | 3月10日 | 7 (1) |
| 第六回緊急理事会 | 第一号議案 (仮称)小金井ケアホーム 新築工事業者決定の件 第二号議案 祖師谷保育園分園敷地の「世田谷区保育事業に係る公有財産の有償貸付」に関する定期借地権設定契約について 第三号議案 祖師谷保育園の内容変更に関する件 | 3月15日 | 7 (1) |

2011年度評議員会

| 名称 | 議案 | 開催日 | 出席人数 |
|---------|---|-------|------|
| 第一回評議員会 | 第一号議案 第一次中期計画の総括について 第二号議案 2010(平成22)年度事業報告に関する件 第三号議案 2010(平成22)年度監事の監査報告及び決算報告に関する件 第四号議案 2010(平成22)年度資産総額に関する件 第五号議案 役員報酬規程の改定に関する件 第六号議案 保育所運営費からの東日本大震災への義援金支出に関する件 第七号議案 東日本大震災支援のための職員派遣及び特別休暇付与に関する件 | 5月21日 | 19 |
| 第二回評議員会 | 第一号議案 2011(平成23)年度資金収支補正予算に関する件について 第二号議案 2011(平成23)年度管理職人事について 第三号議案 小金井生活実習所(短期入所事業)運営規程変更に関する件 第四号議案 ケアホーム設立に関する件 | 12月3日 | 17 |
| 第三回評議員会 | 第一号議案 2011(平成23)年度資金収支最終補正予算に関する件 第二号議案 2012年度管理職人事に関する件 第三号議案 賀川学園の事業種別変更に関する件 第四号議案 2012(平成24)年度事業計画に関する件 第五号議案 2012(平成24)年度資金収支当初予算に関する件 第六号議案 苦情対応の第三者委員の選任に関する件 第七号議案 福利厚生制度事業者の選定の件 第八号議案 ケアホームに関する件 ・解体及び本体工事の設計管理(コンサルタント)契約 ・解体業者決定 ・解体及び本体工事入札選定基準 ・創設に伴う独立行政法人福祉医療機構からの借入及び基本財産 土地・建物の担保提供 ・本体工事入札参加者決定 第九号議案 狛江市新設保育園に関する件 ・本体工事の設計管理(コンサルタント)契約 ・狛江市新設保育園 本体工事入札選定基準 第十号議案 (仮称) 小金井ケアホーム 新築工事業者決定の件 | 3月10日 | 12 |

2011年度役員会

| 名称 | 議案 | 開催日 | 出席人数 (書面出席) |
|----------|---|-------|----------------|
| 第1回役員会 | ・税務署調査結果報告 ・3/11地震対応について(特別手当、全体会等) ・懶ラックス・コミュニケーションズ2010年度実績報告に関する件 ・川原経営総合センターとの2011年度の契約について 1 3/11地震に対応に関する件 ・建物調査結果 ・ボランティア派遣 2 タイムレコーダーの導入に関する件 3 雲柱社リカレント教育センター構想について | 4月12日 | 8 |
| 第2回役員会 | 1 5/21評議員会・理事会議案に関する件 ・役員報酬について ・法人事業報告について ・第一次中期計画の総括について ※予定議案配布予定 2 タイムレコーダーの導入に関する件 その他 2011年度苦情解決第三者委員会開催に関する件 荒川区ふれあい館指定管理に関する件 | 5月10日 | 8 |
| 第1回緊急役員会 | 1 荒川区ふれあい館指定管理に関する件 2 2012年度職員採用計画について 3 キリスト新聞社季刊誌「ミニストーリー」への広告掲載について | 5月21日 | 8 |
| 第3回役員会 | 法人より報告 ・本所記念館理事長の件 ・友愛コーポの件 ・2011年度苦情解決第三者委員会(6/29 10:30～ 本部会議室) ・その他 1 雨宮献二氏の代弁金に関する件 2 高松小学童クラブ人事に関する件 3 人事制度再構築に関する件 4 亀戸副館長人事の件 5 夏期賞与に関する件 | 6月14日 | 8 |
| 第4回役員会 | 法人より報告 ・荒川区町屋ふれあい館一次選考結果について ・被災地への職員派遣について ・平成23年度静岡県社会福祉協議会会長表彰候補者の推薦について 議案 1) かがわブロックより ①かがわサポートセンターウイングス日中一時支援事業指定申請に関する件 ②小金井生活実習所(短期入所事業)運営規程に関する件 ③小金井ケアホーム開設計画に関する件 2) 児童館ブロックより ①墨田区江東橋児童館指定管理者応募に関する件 3) 法人より ①五日市保育園・黎明保育園耐震診断業務委託に関する件 ②狛江市新設保育園運営法人への応募に関する件 ・狛江市新設保育園設置委員会の設置 佐藤洋子(前岩戸児童センター長、現祖師谷保育園分園長) 山口修(元岩戸児童センター長、現墨田児童会館館長、企画委員会) 吉岡恵(元岩戸児童センター長、現鳥山保育園園長、企画員長) 日下美恵子(元小金井生活実習所主任・看護師、現岩戸児童センター長) 網野一也(現ワークススタジオかがわ所長、政策委員長) ③社内報に関する件 ④2012年度職員採用計画に関する件 | 7月21日 | 8 |

| | | | |
|---------------|---|---------------|----------|
| <p>第5回役員会</p> | <p>法人より報告 ・祖師谷保育園、烏山保育園東京都指導検査に関する件 ・イエス団理事長交代について ・事故報告 上池台児童館 アレルギー対応について ・荒川区町屋ふれあい館プロポーザル選考結果について 議案 1) かがわブロックより 2) 児童館ブロックより ・墨田区江東橋児童館指定管理者応募に関する件 3) 支援センターブロックより 4) 保育ブロックより 5) 法人より ・専門委員会規則の制定について ・IT広報委員会からの社内報案再提出について</p> | <p>8月16日</p> | <p>7</p> |
| <p>第6回役員会</p> | <p>法人より報告 ・新会計基準について 議案 1) かがわブロックより ・ケアホームについて ・新体系への移行について ・40周年記念会について 2) 児童館ブロックより ・練馬区学童クラブについて ・江東橋児童館について ・町屋ふれあい館について 3) 支援センターブロックより ・小金井市支援センターの新体制について 4) 保育ブロックより ・狛江市新認可保育園について ・墨田区新子育て支援事業について ・世田谷区家庭的保育事業について 5) 法人より ・五日市保育園副園長人事について ・その他 ・12月定例評議員会・理事会議案について</p> | <p>11月29日</p> | <p>8</p> |
| <p>第7回役員会</p> | <p>法人より報告 ・12/20人事委員会での審議概要について ・記念会のもち方について 議案 1) かがわブロックより ・ケアホームについて 2) 児童館ブロックより ・30時間常勤職員の雇用について ・2012年度職員配置検討の進捗状況について ・高松小学童クラブの改善状況について 3) 支援センターブロックより ・狛江市ファミリーサポートセンターでの病児保育について 4) 保育ブロックより ・墨田区新子育て支援事業について 東駒形光の家(仮称) 八広子育て支援マンション ・狛江市新保育園について ・光6保育園職員体制等について 5) 法人より ・災害時優先電話について</p> | <p>12月20日</p> | <p>9</p> |
| <p>第8回役員会</p> | <p>法人より報告 ・2012年度法人研修年間予定等 議案 ①2/20 全体施設長会プログラム ②3/17、3/18 新任管理職研修プログラム ③3/24法人全体会プログラム確認 ④2012年度法人事業計画 ・経営委員会立ち上げ ・各専門委員会の取組み ※研修委員会の取組みとしての2012年度研修計画 ・管理職研修計画 ・役員、評議員懇談会(1/31理事会からの意見などを受けて) 各ブロックより、新規事業や2012年度人事体制等の報告 1) かがわブロック 2) 児童館ブロック 3) 支援センターブロック 4) 保育ブロック 5) 法人 3/6(火)17:00-定例の役員会について</p> | <p>2月8日</p> | <p>6</p> |
| <p>第9回役員会</p> | <p>議案 【1】3/10第三回評議員会・理事会議案に関する件 【2】役員・評議員懇談会について ①課題等の話し合いの場(役員や評議員の責任範囲の確認、常勤役員の定義等)として ②日時 5月19日(土)12:00-14:00 昼食をとりながら、施設長も同席し懇談会を行う。 【3】施設長会の日程について ①全体施設長会 ・4/23(月)10:30- ・10/21(日)15:00-10/22(月)15:00(宿泊) ・2/18(月)10:30- ②各ブロック施設長会</p> | | |

| | | | |
|--|--|------|----|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・支援センター長会 第2木曜日10:00- ・児童館ブロック 第3木曜日9:00- ・保育園ブロック 第2火曜日10:30- ・かがわブロック 不定期 ※施設長会の議案や報告の項目等について、ある程度統一・整理を行う。 【4】経営委員会について ①組織図(案)の確認 ②法人組織における経営委員会の位置づけ ③委員会メンバーの確認 各ブロックより報告 1)かがわブロックより 2)児童館ブロックより 3)支援センターブロックより 4)保育園ブロックより 5)法人より ・子育て支援マンションでのグループ型家庭的保育事業(キッズルーム併設) | 3月6日 | 10 |
|--|--|------|----|

2011年度苦情解決第三者委員

| 名称 | 議案 | 開催日 | 出席人数 (書面出席) |
|-----------|---|--------|----------------|
| 第一回第三者委員会 | 1. 苦情対応における第三者委員の機能について 2. 2010年度法人の苦情対応の現状 3. 今後の苦情対応についての助言 | 6月29日 | 6 |
| 第二回第三者委員会 | 1. 2011年度上半期苦情対応報告 2. 今後の苦情対応についての(助言・協議) | 11月14日 | 5 |

2011年度関係牧師懇談会

| 議案 | 開催日 | 出席人数 (書面出席) |
|--|--------|----------------|
| 1 牧師懇談会について 服部理事長 懇談 関係牧師懇談、陪席者(専門委員)との懇談 | 11月14日 | 10 |

2011年度行政監査

| 事業所名 | 指摘事項の有無(有る場合の内容) | 実施日 | 実施主体 |
|---------------|--|-------|--------------------|
| 練馬区立高松小学童クラブ | 文書指摘なし | 6月23日 | 練馬区 |
| 練馬区立高松小学童クラブ | 文書指摘なし | 6月24日 | 練馬区 |
| 練馬区立高松小学童クラブ | 文書指摘なし | 6月14日 | 練馬区 |
| 汐入ふれあい館 | 文書指摘なし | 2月7日 | 荒川区 |
| 鳥山保育園 | 文書指摘なし | 8月3日 | 東京都福祉保健局 |
| 祖師谷保育園 | 文書指摘なし | 8月2日 | 東京都福祉保健局 |
| 小金井生活実習所 | 文書指摘なし | 6月6日 | 東京都福祉保健局 |
| 墨田児童会館 | 文書指摘なし | 7月15日 | 墨田区 |
| さくら橋コミュニティセンタ | ・備品台帳の内容確認を行うこと | 8月1日 | 墨田区 |
| 高根学園保育所 | 文書指摘なし 助言指導として、苦情解決のための第三者委員を複数指名すること | 7月19日 | 静岡県健康福祉部 福祉こども局 |
| 押上保育園 | ・事業報告書の提出が15日以降に行われている月がある。 ・精算書の記入漏れ、施設長の印漏れがある。 | 8月5日 | 墨田区 |

2011年度監事監査及び内部統制監査

| 事業所名 | 指摘事項の有無(有る場合の内容) | 実施日 |
|---------------------------|---|--------|
| 練馬区立 大泉子ども家庭支援セン ター | <ul style="list-style-type: none"> ・勤務状況集計表及び給与の支給状況と、出勤簿等の記録に書類上不一致があった。口頭での確認の結果、実態と支給は一致しているため、突合できる記録を取ること。 ・会計、労務管理とも法人の書式を使用すること。 ・22時以降の深夜手当について法人書式がない。書式の整備を行うこと。 ・2010年度の決算において未収金の計上漏れがあったので是正すること。 ・領収書の宛名に一部記載漏れがあったので是正すること。 ・練馬地区会計事務について、明文化されていないため、早急に内容を整理し、書類を整えること。 ・緊急事態を想定した避難訓練を行い有事に備えること。 ・新澤センター長が練馬地区の事業所を訪問の際、自家用車を使用しているため、法人に届出をすること。 ・出納の都度、金銭残高金種別表を作成すること。 ・トワイライトステイ事業での食事提供については、食品の管理を徹底して行い食中毒などに注意を払うこと。 | 6月21日 |
| 上池台児童館 | <ul style="list-style-type: none"> ・現金収入があるが、3日以内に入金されていない。必ず3日以内に入金すること。 ・延長保育料の徴収金額に相違があった。金額の確認を行い、正しい額を徴収もしくは返金を行うこと。 ・行事の収支管理を裏付ける書類が残っていない。資料は必ず保管しておくように。 ・行事の事務処理が、担当者によって異なるため、事業所の事務処理マニュアルを作成すること。 ・出納の都度、金銭残高金種別表を作成すること。 ・領収書のあて名に一部記載漏れがあったので改善すること。 ・会計、労務管理とも法人の書式を使用すること。また、労務関係書類の訂正については、修正した理由を客観的に把握できるようにすること。 ・労働者名簿に一部不備があったので是正すること。 ・年次有給休暇申請書管理について、一部繰り越し日数に誤りがあった。適切な付与を行うこと。 | 10月25日 |

| | | |
|--------------|--|---------------|
| <p>亀戸児童館</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・講師への交通費は実費を支給すること。また、実費ではない場合は報酬とし源泉徴収を行うこと。 ・2010年度の決算において未払金の計上漏れがあったので、是正すること。 ・行事参加費の領収書が一部確認ができなかった。正しい整理保管をすること。 ・精算書に日付や押印漏れがあったので是正すること。 ・年次有給休暇申請書管理について、一部繰り越し日数に誤りがあった。適切な付与を行うこと。 ・出勤簿の押印漏れがあったので、以後注意するように。 ・会計、労務管理とも法人の書式を使用すること。 ・江東区は海拔0m地域であるため、自然災害の対応について、対応マニュアルを整備するとよい。 | <p>12月27日</p> |
| <p>ウイングス</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の勤務時間について、常勤職員の勤務開始及び終了時間の記録がない。また、一年間の変形労働時間制を採用しているが、後日変更になっていることが見受けられる。休日労働の取り扱いを確認すると共に、月単位の変形労働時間制の導入について検討が必要。 ・ヘルパー報酬の領収書の受け取りの際押印だけでなく、自筆での署名をもらうこと。 ・移動支援の実績提供記録及び自費提供記録に本人の確認印をもらうこと。 ・年次有給休暇管理表について、一部繰り越し日数に誤りがあった。適切な付与を行うこと。 ・兼務職員の労務管理について、保管場所や保管方法等の整理をすること。 ・労働基準監督署への届出は、前年度末までに提出すること。 | <p>2月21日</p> |

記入者 小山 正弘

①保育内容の見直しと整理

- ・講師から保育環境の話聞き他園の見学を重ねたことは、我々の保育環境を客観的にもう一度皆で見直してみるよい機会となった。特に他園の見学をして報告しあうことは、室内環境の具体的なイメージづくりや実践に役立った。
- ・それぞれのクラスが子どもの動線、より過ごしやすく遊びやすい環境づくりにむかって工夫を重ねてきている。普段はなかなか他の年齢のクラス環境についてみる機会はないものだが、学習会においてすべてのクラスをまわり、お互いに自分たちのクラスで工夫してみたことやその理由について報告しあう時間がもてたことはとても有意義なものとなった。

②キリスト教保育についての確認

- ・保育ブロック共通の「保育目標」についてもう一度確認した。日々繰り返される生活や遊びの場面でどのように子どもたちと接していくかがとても大切であることを確認しあった。
- ・幼児の礼拝をクラスごとにしていくあり方に子どもも保育士も慣れてきている。今年度から牧師先生が変わったが、とても親しみをもって接していただき、子どもたちも喜んでいる。行事や遊びにきていただく場面もあり、年長組は教会に足を運ぶ機会も出来た。
- ・保育士が子どもたちの前で祈るとき、保育士自身も感謝・希望・とりなしなどをより意識してくれていると感じている。

③役割分担、打ち合わせ、書類等の整理と見直し

- ・リーダー三人制をとってきたが、1月からはそのうちひとりを統括リーダーにした。それぞれのリーダーが、隣のクラスや全体を今まで以上に自ら意識して考えようとしてくれている。
- ・保育ブロックで日誌等の見直しがあったが、まだなじめずにいるところがある。時間をかけずに丁寧に作成することが今後の課題として残る。月案検討を毎月しているが、今後もこれを大事にしていきたい。

④地域の連携を強化していく。

- ・障がいなど特別な支援を必要とする子どものみならず、メンタル面での配慮を必要とする保護者がとても増えている。子ども家庭支援センター職員との情報交換は随時行っている。
- ・支援センターブロック担当理事の依田先生から、「子ども家庭支援センターの仕事」や「子育て家庭の悩み」について学ぶ。子どもを守るために、我々は指導よりもまず保護者の支援が必要であることを確認することができた。

⑤その他

- ・年度途中の職員の異動について、保護者の方々・子どもたちに不安を残した。一方、残る職員が一致団結し協力しあい、踏ん張る姿がみられた。
- ・子どもの名前を呼び捨てにしないこと、乱暴な言葉遣いをしないことを心がけるように呼びかけをするが、改善に至らないため、今後も繰り返し呼びかけを行い、職員に周知していく。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員 18名）

- ・産休明け保育実施
- ・延長保育実施（1時間延長後30分は自主事業）
- ・延長保育事業（零歳児の受入れ）
- ・障がい児保育事業実施（2名受け入れ）
- ・アレルギー児に対する除去食及び代替食実施(15名)

イ 地域子育て推進

- ・育児講座 年3回実施
- ・退所児童との交流 年3回実施
- ・小中高生の育児体験受入れ 年28名受入れ
- ・育児相談 随時実施
- ・園庭開放 毎日
- ・プール開放 とても好評であった。
- ・年末保育 (1名)

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

| クラス名 | 年齢 | 保育士数 | 園児数 | 障がい児数 | 備考 |
|-----------|----|------|-------|-------|-------------|
| つぼみ | 0歳 | 6名 | 18名 | | |
| たんぽぽ | 1歳 | 4名 | 20名 | | |
| ちゅうりっぷ | 2歳 | 4名 | 24名 | | |
| はな | 3歳 | 3名 | 26名 | 1名 | |
| ほし | 4歳 | 2名 | 26名 | 1名 | |
| つき | 5歳 | 2名 | 26名 | | |
| その他常勤 | | 4名 | | | 看護師、栄養士、調理師 |
| 一時保育 | | 2名 | 10名定員 | | |
| その他短時間パート | | 31名 | | | 保育補助、事務、調理等 |
| 合計 | | 58名 | 140名 | 2名 | |

イ 月別保育日数

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合計 294日 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|
| 25日 | 23日 | 24日 | 25日 | 27日 | 24日 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 25日 | 24日 | 24日 | 23日 | 24日 | 26日 | |

ウ 健康管理

健康診断

- 0歳 毎月1回
- 1、2歳 年3回（5月、11月、2月）
- 幼児 年2回（5月、11月）
- 歯科検診 年1回（6月）
- 蟻虫卵検査 年1回（6月）

エ 保 育

各組の保育目標

つき組（5歳児）の年間目標

- ・ 様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・ 様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しむ。
- ・ 健康、安全に必要な基本的な習慣や自主、自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・ 様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ生活の経験を広げる。
- ・ 異年齢や様々な人と関わる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・ 人の話をよく聞き、自分で考え自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・ 自分の持つ好奇心や知的探究心を働かせる事により、考える力が育ち、表現力が豊かになり、感じた事や思った事、想像した事などを自由に工夫して表現する。

年間目標 評価・課題

子どもが一日の流れを知り見通しをもって主体的に行動できるように考えてきた。室内活動については、コーナーの作り方や棚のおもちゃなどの整理によって子ども達がおちついて活動出来るようになったと感じられた。

一方、終盤は行事に追われてゆったりとした展開ができきれなかったと感じている。行事の内容や準備・進め方については、その意味を再検討し、見直していくことが課題であると考えている。

子どもたちの間でトラブルが発生したときには、自分たちで解決できるように自分の意見を言い、相手の意見をききとることができるよう介入に努めることができている。

ほし組（4歳児）の年間目標

- ・ 一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・ 友だちと遊ぶ事の喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
- ・ 意欲的に色々な事に挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ・ 人の話を聞いたり、自分の経験した事や思っている事を話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・ 自然や身近な事柄にふれ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、その事を表現しようとする。

年間目標 評価・課題

精神面で不安を抱え大人を求めて離れられない子どもが多い。必要に応じて保護者との面接をし、個々に応じた対応をしようしてきた。

「自ら遊びを求める経験」が足りないこと、「遊びによって達成感を得る経験」が足りないことを考えて環境づくりに励んだ。後半は、自分で選び、気持ちを安定させられる、達成感を得られるひとり遊びをたくさん用意したことで子どもたちの室内活動が充実し、全体的に安定している姿が多くみられるようになった。

はな組（3歳児）の年間目標

- ・ 生活が自立してくる事で自信を持ち、自分のやりたいことが表現できるようになる。
- ・ 外遊びを十分にするなど遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。
- ・ 食事・排泄・睡眠・衣服の着脱などの生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。

- ・ 自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・ 様々な物を見たり触れたりして、面白さ、美しさなどに気づき感性を豊かにする。

年間目標 評価・課題

年度途中でベテラン保育士の異動があり、子どもたち・保護者ともに不安を与えてしまった。抜けてしまったところに関しては主任をはじめ周りの保育士が皆で協力をしながら乗り越えることができるように努めた。

三歳児のクラスは、早朝の保育、土曜日の保育で使う部屋であること、また午睡の場所も室内であることから、環境の設定をすることに制約があるので今後どのようにしていくかが課題である。

ちゅうりっぷ組（2歳児）の年間目標

- ・ たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け入れてもらう事で、安心して気持ちを出せるとともに、自分の気持ちを切り替えられるようになる。
- ・ 身体を動かす事が楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・ 簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ・ 保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ・ 大人やまわりの事に興味を持ち、見立て、つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

年間目標 評価・課題

見学研修を参考に室内に机上遊びのスペースを多めにとり、個人個人が集中して遊ぶ環境づくりをめざしその成果も見られた。2歳児は24人いるため、「こいぬ」と「こねこ」の2グループに分け保育を行った。朝の時間はグループにとらわれずに子どもが自由に行き来して遊ぶ時間としてみた。グループごとに分かれた方が良い場面もあろうが、あらたな関わりが子どもの中にでき、両グループに広く分散することで、それぞれの生活や遊びが保障される場面も多くなる。2グループの連携が今後の課題である。

気になる子が何人かおり、その子の動きがクラス全体に影響をあたえてしまう場面がみられる。その子たちに関しての今後の個別の対応が課題である。

たんぽぽ組（1歳児）の年間目標

- ・ 一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と、情緒の安定を図る。
- ・ 保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い身体を動かすことを楽しむ。
- ・ 安心できる保育者との関係の下で、食事、排泄などを自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・ 安心できる保育者に見守られる中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
- ・ 身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心を持つ。

年間目標 評価・課題

駄々をこねる時期ともいえるので、ひとりひとりに時間をかけ子どもの気持ちを代弁し、なるべく肯定的なことばで子どもに問いかけながら関わるように努めている。

この時期は「嘔む・嘔まれる時期」というフレーズを押しよくすることが課題。試行錯誤しながら室内環境を変えてみることにした。初めは保育者も子どもも戸惑う場面がみられたが、変えてみることでみえてくることもあった。自分のしたいことを自分のペースで、自分のテリトリーを守りながらしたい時期であることを考えると、遊びの空間としての室内環境をどのようにつくりあげていくかが大きな課題。

プライベートゾーンをどのようにつくるかがもうひとつの課題。

つぼみ組（0歳児）の年間目標

- ・ 一人ひとりの子どもの甘えなどの依存欲求を満ちし、情緒の安定を図る。
- ・ 安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を変えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
- ・ 衛生的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活が出来るようにする。
- ・ 一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的要求を満ちし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・ 個人差に応じて離乳を進め、色々な食品に慣れ幼児食への移行を図る。
- ・ 優しく語りかけたり、発生や喃語に応答したりして、発語の意欲を育てる。
- ・ 聞く、見る、触るなどの経験を通して、感覚や手指の機能を促す。
- ・ 安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具などを見たり、触ったりする機会を通して、身のまわりのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

年間目標 評価・課題

育児については担当保育士を決めて行うことを原則としているが、子どもの泣きに気持ちのゆとりがなくなってしまうことがあった場合などは、担当にこだわらず、お互いとてもよく助け合っていた。生活リズムを大事に考えながらも、個々の子どもの生理的欲求を大事にしていく姿勢は今後も大前提であると感じられた。月案・週案などを通して、今後も話し合いを密にしなから、とにかく明るい雰囲気は乳児には必要であるとあらためて感じられた。

「もも（低月齢）」「すみれ（高月齢）」ともに、子どもの様子をみながら、生活・遊びの空間として室内・テラス・たたみの部屋をそれぞれに工夫していた。

今後の課題としては、月齢で2グループにわけているのが現状であるが、今後子どもの成長によって移行することも考えていきたい。

つくし組（一時保育）の年間目標

- ・ お家の生活リズムにあわせながら、安心して過ごせるようにする。
- ・ 安心できる環境、人的環境を考え、居心地の事の良い空間を提供していく。
- ・ 思いを受けとめ信頼関係を作り、情緒の安定を図る。

年間目標 評価・課題

定期も不定期も利用者がとても多い。定期利用ということでいつもきている子どもは保育園にも慣れ、落ち着いているので保育しやすい。一方、1歳未満の子を預かる場合は、体制上多くの子どもがあずかれなくなる上に、不定期で入る枠が少なくなった分、子育て家庭の支援という観点からすると利用しづらくなっている。

家庭が複雑なケースもみられ、必要に応じて子ども家庭支援センターと連絡をとり情報交換している。保護者との面接も随時行っている。保護者の方からは安心して預かってもらえるとの声も多く聞かれる。

2011 年度実施行事

- 4月5日 入園式
- 16日 保護者会総会
- 保護者懇談会

- 5月13日 救命救急講習会
- 5月31日 歯科検診
- 25日 地域食事会
- 6月25日 まきばの会(ケアの必要な子どもを支える会)
- 7月9日 地域お楽しみ会
- 27日 プール開き・地域プール開放
- 7月1日 0歳父親懇談会
- 9日 1年生の会
- 16、17日 年長お泊り保育
- 9月16日 Welcomeday (祖父母の集い)
- クラス懇談会
- 10月22日 運動会
- 29日 地域食事講習会
- 11月12日 秋祭り
- 14日 感謝祭礼拝
- 12月17日 クリスマス会、OBと地域のクリスマス会
- 1月13日 餅つき会
- 3月 5、8日 新入児説明会
- 17日 卒園式
- 22日 進級を祝う会

年間行事 評価・課題

職員の異動などもあり、行事の意義などがうまく伝わりきれていないため、形は残っているが意味合いなどあやふやになっている行事もあるという声が職員から時折聞かれる。ひとつひとつの行事のありかた・意味合いもそれぞれ確認しあい、整理し、整えていくこと、マニュアル化しても良いものはマニュアル化していくことが必要な時期であると感じている。

オ 栄養管理

- ・集団給食施設栄養報告 年4回
- ・栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
- ・季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
- ・給食供給者としての諸管理

栄養管理 評価・課題

放射線量の問題があり、心配される保護者の声もあった。食材は市場に出回っているものは安全の基準を守っているものであるという認識に加え、肉・野菜・米などはその産地等に気をつけながら仕入れることにした。

和食を多く取り入れていこうと数年前から取り組んできた。また、食育の一環として、園庭のプランターでの稲づくりは今年も実施した。

愛の園保育園の食事について大切にしてきたことがしっかりと伝わっていないまま形だけが残っているというところがある。今まで大事にしてきたことを確認するとともに、現在の保育環境や子どもたちの様子などから必要な改善を考えていくときであると考えている。

カ 安全管理

- ・非常災害時の避難訓練 毎月1回 隔月は夕方
- ・引き渡し訓練の実施 (10月21日)

安全管理 評価・課題

非常災害時に職員や子どもが混乱することが少しでも少なくなるように毎月の避難訓練には力を入れてきた。幼児クラスは日常的に上履きで過ごすことや、上履きのまま避難することに慣れてきた。乳児の避難体制ももう一度見直すなど、避難訓練がますます実際の災害を想定し、意識したものとなるように再確認が必要と感じられた。また、土曜日や朝・夕など職員体制が変わる場面の訓練が必要であろう。また放送機器は管理職のみならず、どの職員も使うことができるうよにしておくことが大切だと感じられた。

愛の園保育園、かがわ工房、賀川学園の三事業所での合同訓練を年1回行った。災害にみまわれた場合の逃げ場を想定して、隣地の早稲田実業側にも避難することができるように非常時の避難ドアを設けることができたことは良かった。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

| | |
|------------|-----------|
| 園長 | 1名 |
| 主任 | 1名 |
| 保育士 | 19名 |
| 調理員 | 3名(栄養士含む) |
| 看護師 | 1名 |
| 嘱託医 | 2名(非常勤) |
| 臨時職員、パート職員 | 30名 |

イ 健康管理

- ・健康診断 年1回(7~9月)
- ・細菌検査 年12回
調理、0歳児調乳担当のみ毎月1回

ウ 職員会議

- ・職員会議(毎月1回) ・行事前打合せ会(随時) ・反省会(中間反省会・年間総括)
- ・リーダー会(月1回) ・乳児・幼児打ち合わせ会(週1回)
- ・クラス別打ち合わせ会(月1回)

会議 評価・課題

会議・打ち合わせの内容や進め方については、重複している書類や内容があると感じているので再検討できると良いのではないかという声が職員から出ている。今後の課題と考えている。

職員会議では牧師先生による聖書の学びののち、諸問題について話し合った。

学習会として『保育環境』についての学びをした。他のクラスの環境を見て回り、お互いに報告しあい、刺激をしあい、良い学びの時となった。

エ 研修報告

- ・法人内研修 ・保育ブロック研修
- ・学習会(園内研修)
深見牧師に来ていただいて聖書の学びをしている。(月1回)
発達の気にかかる子の巡回指導(月1回)
他園の見学研修後、気づきを報告し、実践に生かす。
- ・法人外研修
小金井子ども地域ケア連絡会
東社協保育団体研修 食事研修

研修 評価・課題

法人内・法人外の保育園を見学し、「感じる」ことを大切にしてきた。愛の園保育園が積み重ねてきたことを大事にしつつ、客観的に見つけ直し整理していく良い機会となった。それぞれの研修が個人のものとしてだけでなく、よりよく皆に共有されるためにはどのように報告し伝えあっていくことが有効なのかを今後も考えていきたい。

オ 退職・福利厚生

独立行政法人・福祉医療機構 退職共済制度加入

東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入

株式会社リラックス・コミュニケーションズ 福利厚生倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

事務関係 評価・課題

子ども達一人ひとりの成長を考えていく上で指導計画の充実に努力している。特に月案を通してお互いの見方・考え方を確認していくことに大きな意味があると感じている。パート職員にも情報を共有することができてよかったと考えている。

アレルギー児がますます増えてきて、対象となる食材が広がってきているので大変な面はあるが、医者、看護師、栄養士、保護者と話し合いながら進められ、他の子とあまり変わらない食事が提供できたのは良かった。子どもの食育を考える上で一人ひとりの食事について保育士と調理担当側が調理委員会などを通じ考えながら進めてこられたのはよかった。

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新

設備関係 評価・課題

保護者から声のあった防犯に関してセキュリティの門を設置した事で保護者からは喜ばれた。しかし、乳児が散歩に出るとき避難車・散歩車の出入りがあるため、門扉を開き、そのままになってしまいかねない場面もあるなど問題点もあった。子どもの飛び出しや不審者の侵入を防止するため、門扉の開け放しがないように、具体的に改善していくために、避難車・散歩車専用の出入り門扉を設けることで安全性が高まったと考えている。

(3) 備品関係

ア 備品購入

イ 保育用品購入

ウ 給食用品購入

- ・食器補充

エ 固定資産物品購入

備品関係 評価・課題

子どもの生活環境について意見を出し合い、おもちゃ棚・ついたてを整え、遊びを充実させるなど職員がチャレンジを続けている。子ども達が落ち着いて遊んでいる姿が見られるとの報告も出ている。子どもたちが自分で朝の支度ができるようなロッカーを整えていき、ますます自立にむけての支援ができるようにしていきたい。

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

イ 防災設備の点検委託

年2回(内、届け出1回)

ウ 非常食糧の備蓄

- ・(全園児数+全職員数)×3食×3日分

災害対策 評価・課題

月に一回避難訓練を行なう中で子ども達は、火事、地震などが起こったらどうしたらよいかの話を聞き、避難の仕方にも上手になってきている。非常食も防災訓練の日に昼食として食べながら、本当に地震が起こっても保育園には食べるものがとってある事を伝えるとともに、在庫のものを新しいものと取り替えるようにしている。

3 地域社会との連携

- ・地域の子育て中の家庭を対象に親子通園、プール開放、育児講座、お楽しみ会などを行った。

地域社会との連携 評価・課題

在園児で気になる家庭の事を、近隣にある子ども家庭支援センターと連絡を取りながら必要に応じて対応してきた。

在園児保護者、一時保育利用者等、保護者のメンタル部分でのケアも必要とするケースが増えているため、近隣のこうした施設との連携はますます欠かせないものとなっている。

地域に向けてのお楽しみ会、プール開放などはとても喜ばれている。また育児不安があり、週一回母子で来られていた家族も保育者の子どもとの関わり、ほかの子どもたちの姿を見たり、悩みを相談したりして安心しているようだ。

4 その他

- ・2012年2月に利用者に対するアンケート調査の実施した。

- ① 2011年度は児童数88名からスタートし途中入園があり年度末3月で90名となった。
- ② 昨年度末、東日本大震災があり、防災、危機管理に於いて当園でも、特に例年行っている引き渡し訓練のやり方を検証し、必要な事項については変更した。職員の防災意識を高め、自発的に防災危機管理のプロジェクトを立ちあげて見直しを図った。今後もプロジェクト等を継続していく。
- ③ 昨年に引き続き職員の研修は0歳から6歳まで『保育と環境』の研修を継続して行い、雲柱社保育ブロックの各園を職員が交代で見学した。また、外部の見学研修や園内研修で講師を招いて行ったり、交代で見学し学びを多くした。
- ④ 『気になる子』の保育については、簡単な空間リソーススペースを作って対応を図り、統合的な保育を考え行った。その結果クラスが落ち着き『気になる子』について生活等の充実を見ることができた。
- ⑤ 途中0歳児の入園希望者が多く、待機児が7名ほどいた。スペースがなく受け入れることができなかった。
- ⑥ 9月1日より新事業としてあきる野市より委託された子育てひろば事業『子育てひろばいつかいち』の事業を開始した。利用者も徐々に増えてきており順調である。
- ⑦ 耐震検査を受けた。来年度、耐震工事の実施を考え、あきる野市へ予算を申請したが、建物やパイプラインの老朽化が進んでおり、建替工事を実施することで、あきる野市に変更の説明と届出書を提出している。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：6名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育実施（1時間延長）
- ・ 延長保育事業（零歳児の受入れ）
- ・ 障碍児保育事業実施（その他：4名）
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施

イ 地域子育て推進

- ・ 小中高生の育児体験受入れ 年35日受け入れ
- ・ 保育所体験 年10回実施
- ・ 出前保育 年11回実施
- ・ 年末保育 2011年12月29、30日に実施。

(2) 児童の処遇

ア クラス編成（3月現在）

| クラス名 | 年齢 | 保育士数 | 園児数 | 障碍児数 | 備考 |
|------|----|------|-----|------|-------------|
| つぼみ | 0歳 | 3名 | 8名 | | +パート1名（看護師） |

| | | | | | |
|--------|----|-----|-----|----|--------|
| たんぽぽ | 1歳 | 2名 | 11名 | | +パート1名 |
| ちゅうりっぷ | 2歳 | 3名 | 16名 | | +パート2名 |
| れんげ | 3歳 | 1名 | 19名 | | +パート1名 |
| すみれ | 4歳 | 1名 | 18名 | 1名 | +パート1名 |
| いちよう | 5歳 | 2名 | 18名 | 3名 | +パート1名 |
| 合 計 | | 12名 | 90名 | 4名 | 2月2名退園 |

イ 月別保育日数

| | | | | | | |
|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合 計 297日 |
| 25日 | 23日 | 26日 | 25日 | 27日 | 24日 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 25日 | 24日 | 25日 | 23日 | 24日 | 26日 | |

ウ 健康管理

・健康診断

乳児 毎月

幼児 年2回（4月21日、10月20日）

・歯科検診 年1回（6月1日）

・蟻虫卵検査 年1回（5月13日配布。17日回収）

エ 保 育

各組の保育目標

いちよう組（5歳児）の年間目標

- ・神と人から愛され、自分がかけがいのない存在であることを感じる子ども
- ・健康で体力のある子ども
- ・自分で出来ることを自分でする。また、意欲的に物事に取り組む子ども
- ・友達と遊ぶことを楽しむ子ども
- ・色々な人との関わりの中で相手を思いやりつつ、自己発揮できる子ども
- ・自然や命あるものとの出会いを大切に、豊かに感じとり、表現する子ども

年間目標 評価・課題

保育と環境についての研修に取り組み始めてから一人一人の自由活動や食事など、乳児の頃から職員全体で関わってきたクラスであった。グループでの食事を取り入れたり、自由選択活動を多くしてきたので、クラスの雰囲気は落ち着き子ども同士の仲が良い。3名の発達障害児がいて乳児から一緒に受け入れてきたが、子ども同士の批判も時にはあった。しかし、部屋にリソース的な空間を作って一人一人に対応できるように工夫したので徐々に落ち着きを取り戻すことができた。

すみれ組（4歳児）の年間目標

- ・保育士との関わりの中で、自分が大切にされ、安心して自分が出せる子ども
- ・身近な遊具や用具を使い、体を十分に動かし楽しむ子ども
- ・自分で出来ることを自分でする。
- ・異年齢児に関心やいたわりを持つ。簡単なルールのある遊びを楽しむ子ども
- ・自然事象、動植物への関心や愛護の心、身近な社会事象などにも興味関心を持つ子ども

年間目標 評価・課題

室内のコーナー保育は春先から整えられ、子どもたちの活動がスムーズに進められてきた。いつも同じ流れで進められたので、保育の流れが子どもたちにも理解でき、子どもたちが自分で出来る部分が少しずつ多くなってきたのではないかと感じている。ルールを守りながら友達と関わる点・遊びの広がりについては、今後の課題として残ったかと感じられた。

れんげ組（3歳児）の年間目標

- ・保育士との関わりの中で、自分が大切にされていると感じ、安心して自分が出せる子ども
- ・散歩や戸外遊びなどで、自ら楽しんで体を動かす子ども
- ・身の回りのことで、自分で出来ることをしようとする。
- ・ごっこ遊び等友達と仲良く遊びを楽しむ子ども
- ・身近な自然や小動物に興味をもつ子ども

年間目標 評価・課題

1歳児から自由選択活動もよく集中して取り組み、また朝登園すると活動に向かう姿が多く見られ習慣が身に付いてきた。食事のマナーもよい。身の回りのことを自分で行ったり、排便の始末も自分で出来る子が多かった。3歳後半になると外遊びでは、2・3人気の合ったことよく遊ぶ姿が見られ、喧嘩してもお互いの話し合いで解決することもできるようになった。咬みつきの子がいたが、周りもぐんと成長し全くそうしたトラブルはなくなった。

ちゅうりっぷ組（2歳児）の年間目標

- ・自分の要求を大人の援助を受けながら言葉で伝えようとする子ども。
- ・体を思い切り動かして遊ぶ子ども（走る、はねる、飛び降りる等）
- ・保育士に声をかけられながら、自分で出来ることをしようとする子ども
- ・少人数の友達と関わって遊ぶことを楽しむ子ども
- ・身の回りの事物や自然などに興味を持つ子ども

年間目標 評価・課題

環境は、食事、自由活動、机上、図書コーナーと用途に応じたコーナーを設け、行動にメリハリを持つことができた。『いつもと同じ様に』、『いつもの同じ場所で』を大切にしながら、コーナーをなるべく変えることなく「子どもにとってどうか」という意識深めながら、関わることにした。そして大人全員が謙虚に同じ目で見えるようにした。毎日の生

活がそこから見通せるようになり、子ども自身よく活動し落ち着いて過ごすことが出来ていた。

子どもの様子を見て、月齢の高い子が多く、幼児クラスへの準備も早くから出来た。

たんぽぽ組（1歳児）の年間目標

- ・保育士に受け止められながら、自分の世界を広げていく子ども
- ・自由に体を動かして遊んだり、色々な道具を使い一人遊びを楽しむ子ども
- ・自分でしようとする気持ちを持ちながら、少しずつ基本的な習慣が身についてくる。
- ・大人からの話掛けや、絵本の読み聞かせを喜び、自分でも片言話すことを楽しむ子ども
- ・子ども相互のふれあいや、人とのふれあいを経験する。

年間目標 評価・課題

1歳児半過ぎた頃から徐々に食事のマナーも少しずつ覚え、食事は時差で食べた。保育者が一人付きながらクラスの子どもを3グループに分けて食べる。食べた後はエプロンを片づけるなど一人でもできることに取り組んでいった。そして保育者の声掛けでも理解し、「自分で」と云って動けるようになった。食事中は、スプーンを持って自分で口に運びこぼさずに食べれるようになった。

遊びは、指先の活動が充実し、いろいろなことを経験できた

また、今年度は、1歳児の月齢の低い子を、4月から7月まで0歳児クラスにおき、徐々に子どもの様子を見ながら移行していった。しかし、1対1で対応することが多くなるため、保育者が手薄になってしまい、きちんとした対応が出来なかった。そのため職員の動きに無理が生じたので、2012年度は引き続き低月齢の移行について考えて行きたい。

つばみ組（0歳児）の年間目標

- ・特定の保育士との愛着関係が出来、安心して過ごせる。
- ・はいはい、伝い歩き等を経ながらしっかりと歩けるようになっていく。
- ・基本的な生活習慣が芽生え、徐々に離乳食が完成していく。
- ・簡単な言葉を理解したり、言葉を発したり、大人の真似を楽しむ。
- ・身近な人の働きかけや言葉かけを通して、身の回りのものに関心を示す。

年間目標 評価・課題

ゆるやかな担当制をとり、それぞれに安心出来る愛着関係が出来たのではないかと思う。年度当初から園児数が大きく変わらず、年度途中における職員の変更が不要だったので、例年に比べると大きな混乱が生まれにくかったのではないか。毎年月齢のさまざまな子どもたちがいるので、室内外に用意するおもちゃの種類をより充実させていきたいとかがえている。

2011年度 実施行事

| | |
|-------|-------------|
| 4月1日 | 入園式・進級式 |
| 5月20日 | 遠足（幼児は親子遠足） |
| 6月19日 | 花の日 老人ホーム訪問 |
| 7月2日 | 夏祭り |

| | |
|-----------|-------------|
| 7月 14、15日 | お泊り保育 |
| 8月 4、5日 | 卒園児キャンプ |
| 9月 16日 | 祖父母の集い |
| 10月 15日 | 運動会 |
| 10月 28日 | 2歳クラス親子遠足 |
| 11月 4日 | 遠足(2歳クラス以外) |
| 11月 11日 | 感謝祭 豚汁大会 |
| 12月 17日 | クリスマス会 |
| 1月 10日 | 新年挨拶会 |
| 1月 21日 | 6年生同窓会 |
| 3月 17日 | 卒園式 |
| 月例行事 | 誕生会 園開放 |

年間行事 評価・課題

園開放は、特に行事や簡単な課題を提供した。その為か、参加者も増えてきた。9月に『子育てひろばいつかいち』事業が市より委託されたためか、特に宣伝はしていないが、人から人へ伝えられ、実施日は数十人遊びに来るようになる。保育園に興味を持ったり、見学者やパートナー保育の方たちが増えた。今後の課題としては、園内の雰囲気・子どもの様子を見ていただき、興味を持つ企画を考えて行きたい。今年度からは誕生日会とは別に、園児の誕生日当日には誕生日シールを子どもの胸に付け、「おめでとう」と声を掛けることにしたが、子どもたちや保護者の方はとても喜んでくれている。(例えば一緒に室内で遊んだり、給食を食べたりする日を設けるなど)

オ 栄養管理

- ・ 集団給食施設栄養報告 年 4回
- ・ 栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
- ・ 季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
- ・ 給食供給者としての諸管理

栄養管理 評価・課題

乳幼児期における成長・発達を促すエネルギー量、たんぱく質量を考慮し、季節感を取り入れ、栄養素のバランスのとれた献立を作成し、実施することが出来た。

今後も引き続き、子どもたちに食の大切さを伝えていきたい。(畑での野菜づくり・クッキングデー他)

カ 安全管理

- ・ 非常災害時の避難訓練 (月 1回)
- ・ 引き渡し訓練の実施 (9月 1日)

安全管理 評価・課題

小学校のグラウンドを使い引渡し訓練を行う。特に 3.11 東日本大震災があつて職員の意識も高まり、引き渡し訓練は、特にプロジェクトを組んで今までのやり方を見直し、もう少し

安全管理を強化するように話し合いを何回か行った。これからも続けて話し合いを多くし、マニュアルを作成していきたい。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

| | |
|------------|-------------------|
| 園長 | 1名 |
| 副園長 | 1名(2012年1月より3月まで) |
| 主任 | 2名(内1名看護師) |
| 保育士 | 14名 |
| 育休職員 | 1名(2012年11月より復職) |
| 調理員 | 3名(栄養士含む) |
| 看護師 | 1名 |
| 嘱託医 | 2名(非常勤) |
| 臨時職員、パート職員 | 27名 |

イ 健康管理

| | |
|------|-------------|
| 健康診断 | 年1回(10月27日) |
| 細菌検査 | 年12回(全員) |

ウ 職員会議

- ・定例職員会 毎月1回
- ・事前リーダー打ち合わせ会 毎月1回
- ・クラス内打ち合わせ 毎月1回
- ・乳児カリキュラム会議・乳児クラス打ち合わせ 毎月各1回
- ・幼児カリキュラム会議・幼児クラス打ち合わせ 毎月各1回
- ・反省会(2012年1月26日)

会議 評価・課題

事前にリーダーと議題を確認することで各ブロック内での調整が可能となった。そのことにより、会議ではブロック毎の報告を行うことで内容と時間の合理化を図ることが出来た。

エ 研修

- ・園内研修 毎月1回
- ・法人内研修(階層別研修・職種別研修・他職場体験研修等)
- ・他保育園見学研修
- ・その他研修
- ・非常勤職員研修

研修 評価・課題

非常勤職員が多く在籍しており、職員会に出ていない職員には決定事項が伝わりにくい。そこで今年度月に1回クラス打ち合わせには、クラスに関わる非常勤職員も出席して行った。連絡事項や子どもの様子が共通して把握することが出来てよいと職員たちからは好評だった。また昼間と夜の時間を使い、非常勤職員研修を行った。勤務時間の関係から日常的にあまり会わない職員同士もいるので、これを機会に関係が密になり、良かったのではないかと感じている。法人内の研修は、その内容が多岐に亘っており、充実していたと思われる。保育内容については、非常勤職員も正規職員も同じように外部の研修に参加できたら良いと思う。また、皆が同じ他施設の見学研修に出掛けることで、共通のイメージが出来、とても大きな刺激になったようだ。新たな検討課題を見つけることに大いに役立つと感じている。

オ 退職・福利厚生

- ・社会福祉・医療機構 退職共済制度加入
- ・東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- ・株式会社リラックス・コミュニケーションズ 福利厚生倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

事務関係 評価・課題

会計事務においてはファイルの整理ができており、業務も行いやすくなってきている。今後もパソコン等の導入で処理しやすく合理化につなげていきたい。VPNによるネットワークにより事務作業がかなりしやすくなった。児童処遇事務においては、保育日誌や年間カリキュラム、週案など保育ブロックで統一され、記録の仕方など研修を行い学ぶことが出来た。より実地的な活躍できる書類となるようにしていきたい。

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新

設備関係 評価・課題

耐震検査を行った結果、良い結果が得られず、改築工事となった。その他、物置の整理など、並行していきたい。

(3) 備品関係

- ア 備品購入
- イ 保育用品購入
- ウ 給食用品購入
- エ 固定資産物品購入

備品関係 評価・課題

子どもがその興味・関心に応じて遊び、また生活の場面においても各々の空間が保障されるように、コーナー的な室内のつくりを必要とする。改装工事があるため、あまり遊びに大きな影響がないようにその都度様子を見てきた。特に椅子や机の老朽化が進んでいるので適宜用意していけたらと考える。そして、今後も家庭的で落ち着けるような雰囲気的环境づくりを目指していきたい。

(4) 災害対策

- ア 避難訓練
毎月1回
- イ 防災設備の点検委託
年2回(7月28日、1月31日)
- ウ 非常食糧の備蓄
(全園児数+全職員数)×2食×1日分

災害対策 評価・課題

避難訓練はほぼ予定通りに行われ、非常食糧の備蓄も出来ている。ただより現実的に災害を想定して訓練を行う為には、土曜日・朝夕・延長保育時間等、職員の人数が少なくなっている時間帯・曜日での避難訓練をしていく必要があると感じられた。

3 地域社会との連携

地域社会との連携 評価・課題

近隣の老人ホームや障害者施設とは行事等を通して交流を続けている。特に障害者施設は近いこともあり、散歩のときにお互い立ち寄りなど無理なく継続した交流が出来ている。小中高生の職場体験等も可能な限り受け入れ、様々な人との交流が出来るようにしている。はじめ慣れない子どももいるが、ほとんどの子どもは喜んで関わりをもっている。

4 その他(特記)

- (1) 卒園児キャンプ・・・東日本大震災の影響で中止
- (2) 6年生同窓会・・・2012年1月21日実施。保育園内で実施。
- (3) 母親講座・・・2012年1月21日実施。影山竜子先生のペアレントプレイングで話をしてもらった。参加者は15名。
- (4) 2月に利用者に対するアンケート調査を実施した。

記入者 伊藤 美代子

- 2011年は神愛保育園開設60周年の年であった。10年ごとに周年行事を行いお祝いしてきたので、どんな形ででも何かできればと考えてきた。職員も大きく入れ替わっている現在の職員集団の中で、できることは何か、実行委員会形式をとり委員が中心となり準備を進めた。実際は職員集団としての取り組みになるのだが、神愛の中で、子ども、職員どちらも取り組んでいこうと確認した民族舞踊の「荒馬踊り」を一緒に披露できたことはとても良かったと思っている。しかし、歴史を振り返り、今を見つめ、今後を考えていくことが実行委員はともかく、職員全体のものになっているかと言うと、まだ難しい面もあるように思う。周年行事を行う意義はここまで神様のお守りの中に歩んできた感謝と共に地域の方々と一緒にお祝いすること、そして、来し方を振り返りこれからを考える大切な契機にすべきところだと思うが、その部分をしっかりしていきたいと思う。
- 子育て支援は19年目を終わり20年目の大きな節目を迎えることになる。地域の子育て支援は先の改定保育指針の中で、保育園の大事な事業の一つとされたが、神愛はそれ以前から社会のニーズとして先駆的に取り組んできている。今後社会のニーズをどう捉えていくか、検討をしていく必要があると思う。色々な形でこれからも広がるだろう子育て支援の働きを、これからも地に足をつけて進めていきたい。
- 子どもの育ちを長い目で見ていくための卒園児支援プログラムを行った。特に大きな行事である「卒園児キャンプ」は長年利用してきた五日市のキャンプ場が閉鎖になり、2012年度から使うキャンプ場を探す。神愛の大事な柱として続けているこの事業をしっかり継いでいくために、卒園児との関わりをどう広げていくか、プログラムをすすめながら考えていきたい。
- 放射能の影響が食品のみならず、子どもの戸外活動や遠足にも出てきた1年だった。自然とのふれあいは子どもの成長にとって必要不可欠なものであるが、“ここは大丈夫なのだろうか？雨の後は？雪は？”と立ち止まって考えながらの保育は容易ではなかった。この状況はまだまだ続くだろうと思われる。ガイガーカウンターも購入したので安心、安全のために活用したい。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：9名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育実施（1時間延長）
- ・ 延長保育事業（零歳児のスポット受入れ）
- ・ 障害児保育事業実施（今年度は在籍2名）
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施

イ 地域子育て推進

- ・ 育児講座 年 6 回実施
- ・ お年寄りとの交流 年 10 回実施
- ・ 退所児童との交流 年 6 回実施
- ・ 小中高生の育児体験受入れ 年 30 日間受入れ
- ・ 育児相談 随時実施
- ・ 保育所体験 年 15 回 30 人受入れ実施
- ・ 出前保育 年 11 回実施
- ・ プレママプログラム 年 9 回 33 人受け入れ
- ・ 子育てサークル支援 年 15 回実施
- ・ 子育て情報誌の発行 年 5 回発行
- ・ 育児困難家庭への支援

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

| クラス名 | 年齢 | 保育士数 | 園児数 | 障害児数 | 備考 |
|--------|-----|------|-----|------|----|
| つくし | 0歳 | 3 | 9 | 0 | |
| たんぽぽ | 1歳 | 2 | 10 | 0 | |
| もも | 2歳 | 2 | 14 | 0 | |
| ちゅうりっぷ | 3歳 | 1 | 15 | 0 | |
| ひまわり | 4歳 | 1 | 16 | 1 | |
| ひまわり | 5歳 | 1 | 15 | 0 | |
| 子育て広場 | その他 | 1 | | | |
| 合 計 | | 11 | 79 | 1 | |

イ 月別保育日数

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合 計 297 日 |
|-----|-----|-----|----|----|----|--------------|
| 25 | 23 | 26 | 25 | 27 | 24 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 25 | 24 | 24 | 24 | 24 | 26 | |

ウ 健康管理

健康診断

乳児 毎 月

幼児 年 2 回 (5 月、10 月)

歯科検診 年 2 回 (6 月、10 月)

蟯虫卵検査 年 2 回 (6 月、10 月)

エ 保 育

各組の保育目標

ひまわり組（5歳児）の年間目標

- ・ 様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・ しなやかな体で、のびのびと自分の体を動かして遊ぶ。
- ・ 人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手、あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・ 友だちと同じ目的に向かって活動するようになり、自分のやらなければならないことや、必要性がわかってくる。
- ・ 異年齢や様々な子ども達とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようになる。
- ・ 友だちと共通のイメージを持って、自分たちの遊びをより楽しいものにしていく。
- ・ 自分の持つ好奇心や知的探究心を働かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり、感じたことや思ったこと、想像した事などを自由に工夫して表現する。

年間目標 評価・課題

ひとりひとりが良いところを持ちながらもなかなか前に一歩踏み出せないと思っていたが、年長の一年間で様々な経験を重ね、友だち関係の深みや広がりや力を自分たちでやってみようとするのを随所に見ることが出来た。担任の意向で1回きりの経験ではなく何回も同じ経験をすることでその力が付いて来たのだと思う。表現活動も描画版画を中心に色々取り組み自信につなげている。

（4歳児）の年間目標

- ・ 友だちとの楽しい経験を重ねることで、自分の気持ちに気づき、行動しようとする。
- ・ 意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 人の話を聞いたり、自分の思っていることを話したりして、言葉で伝え合う楽しさを味わう。
- ・ 友達と遊ぶことの喜びや楽しさをお互いに感じ、一緒に遊ぶ中で他の子ども達に考えかとも受け入れようとする。
- ・ 異年齢の子どもにも関心をもち、かかわりを広める。
- ・ 遊びの中から想像が豊かになり、それを表現する。
- ・ 自然の身近な事柄に触れ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、その事を表現しようとする。

年間目標 評価・課題

4、5歳児混合クラスの4歳児だが、担任の働きかけもあって、臆せず色々な経験を楽しんだ。もちろん力や理解力は違うのだが一緒にやることで楽しめていたようだ。その中で小さい子にも関心を示しやさしく接したりできるようになっている。担任が年度途中で交代し、保護者の中には不安を感じた人もいたが、子ども達はたくましく一緒に生活を楽しんだと思う。

ちゅうりっぷ組（3歳児）の年間目標

- ・ 生活が自立してくることで自信を持ち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ・ 色々な遊びをとして、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 自分の思ったことや感じたことを言葉に表現し、保育者や友達と遊ぶ中で言葉を楽しんで使う。
- ・ 気の合う仲間と一緒に遊ぶことを楽しむ。

- ・ 友だちの事がわかるようになり、助けてあげたり手伝ってあげるようになる。
- ・ 体験したことをもとに色々なことを発想してごっこを作っていく。
- ・ 自然の中で身近な動植物に触れあいたくさん遊ぶ。

年間目標 評価・課題

年間を通して食育や表現活動を計画的に進め実践してきた。子どもたちと一緒に楽しみながら、担任間で話し合いながら、共有しながら進めてこられたことを評価している。生活の自立や遊びの発展等子どもたちの力も確かに身につけてきていることがわかりうれしい。この年は放射能の影響を考えないわけにはいかない状況があり、今までと同じようには自然とふれあえなかったが、可能な限りということ考えてきたと思う。

もも組（2歳児）の年間目標

- ・ たくさんの自己主張や思いの表出を保育者に受けとめてもらうことで、安心して気持ちを出せるとともに、自分の気持ちをきりかえられるようになる。
- ・ 体を動かすことが楽しくなり、体をいっぱい動かしてあそぶ。
- ・ 保育者に助けてもらうことで、自分の気持ちを言葉で伝えようとし、思いがぶつかった時も、“どうしようかな”と少しずつ考えようとする。
- ・ 他の子ども達と遊ぶことが楽しくなり、一緒に遊びたいと思う仲間ができてくる。
- ・ 保育者や周りのことに興味を持ち、みため、ふり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。
- ・ 自然物や生き物を身近に感じ、喜んで触れ合う。

年間目標 評価・課題

自分中心にしながら、まわりのことにも目がむき始め葛藤の時代と言われる2才児だ。自分の気持ちを十分に表し受け止めてもらうことを、一つ一つ担任間で確認しながら進めてきた。担任間の話し合いは不可欠だが、その中で保育者も子どもを受けとめることを学んできている。活動としては乳児ながら食育を意識した取組を積極的に行っており、子ども達の喜びともなっていた。描画も今までよりはかなり積極的に取り組んでこられたのではないかと思う。

たんぽぽ組（1歳児）の年間目標

- ・ 「ジブンノ」「ジブンガ」の主張に見られるような自我が芽生え、その表出を保育者に受けとめてもらうことにより、安心して自分の思いを出す。
- ・ 歩くことを喜び、体が動くことを楽しむようになる。また、手指など自分の体をつかって、探索活動を十分に楽しむ。
- ・ 保育者と子どものゆったりした信頼関係の中で、ことばやしぐさで自分の思いを伝える。そして、その中で覚えた言葉を使うことを楽しむようになる。
- ・ 安心できる保育者に見守られる中で、他の子どもにも関心をもちかかわろうとする。
- ・ 身近な保育者の様子を真似しながら、みため・ふり遊びを楽しむ。
- ・ 身近な自然とのふれあいを十分体験する。また、小動物に対する興味や関心が育つ。

年間目標 評価・課題

放射能の影響があつて子ども2人が地方へ避難していたため、例年に増して子どもと保育者とのゆったりした信頼関係の中ではじめの時を過ごし、関係も作り易いというメリットはあった。それぞれの興味関心をふくらませ、探索活動を十分に保障したいと思いつつ集団としての動きに制限される事もある。しかし繰り返し公園に出かけることで子ども達に見通しが育ったのではないかと評価している。

つくし組（0歳児）の年間目標

- ・ 一人ひとりの子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。また、一人ひとりの生活リズムを大切にして、食欲、睡眠、排泄などの生理欲求をもたし、生活の安定を図る。
- ・ 大好きな人や欲しいものに興味を示し、自分から近づいていこうと姿勢を変えたり、移動するなど体を十分に動かす。
- ・ 寝返り、おすわり、はいはい、伝い歩き、歩くなどそれぞれの状態にあった遊びを楽しむ。
- ・ 聞く、見る、握る、つまむ、たたく、ひっぱる、しゃぶるなどの遊びを楽しむ。
- ・ 嬉しい、悲しいなどの感情が育ち、泣く、笑う、表情、しぐさ、喃語、片言などでじぶんのきもちを表す。
- ・ 保育者が歌う唄を喜んで聞いたり、手足や体を動かして楽しむ。また、保育者の動作を見て、まねをする喜びを味わう。
- ・ 身近な自然とのふれあいを十分に体験する。

年間目標 評価・課題

生活リズムがとても大切な0歳児。保護者の都合で生活リズムが乱れることも間々ある家庭にどう伝えていくか、毎年の大きな課題である。今年はそのような家庭の子どもが、双子であったという事もあり、一層難しさがあった。しかし働きかけを地道に続けていく中で少しずつ変わってきている。一人ひとりのリズムを大切にしながらクラスとしての動きも出てくるが、何より個の発達の視点から見た保育を心掛けてきた。

2011年度実施行事

- 4月 2日 入園式
- 6月 14日 こどもの日、花の日
- 6月 10日 親子遠足
- 7月 8日 プール開き
- 7月 14～16日 4、5歳児キャンプ
- 8月 5～7日 卒園児キャンプ
- 9月 16日 おじいちゃん、おばあちゃんと親しむ会
- 10月 8日 運動会
- 10月 21日 いもほり遠足（3～5歳児）
- 10月 25日 収穫感謝礼拝
- 11月 6日 神愛まつり
- 12月 17日 クリスマス会
- 1月 11日 餅つき
- 1月 17～24日 作品展示
- 3月 17日 卒園式
- 3月 22日 お別れ会
- 月例行事 誕生会・隔月で園外保育

年間行事 評価・課題

年間行事については、2011年度に多くの園内研修の時間をとって検討してきた。ねらい、内容、改善点等を洗い出し、2月末には次年度の方向性を確認できた。手作りの温かさを大切にしながら、乳児にとって、幼児にとってという視点を忘れず、子ども達にとって年齢にふさわしい楽しい経験としていくために、行事計画していきたい。保護者の負担感、職員の負担感それらが払拭できればと思う。

オ 栄養管理

- ・集団給食施設栄養報告 年 4 回
- ・栄養の質、量のバランスを考え献立表を作成
- ・季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
- ・給食供給者としての諸管理

栄養管理 評価・課題

年間を通して、季節の素材を積極的に取り入れた献立をたてること、安心・安全な食材を使用していくことは、園としての大事な考え方であるので、このあたりの確認を更にしっかりしていきたい。給食室の人間関係は固定している為、崩れるとなかなか修復が難しく、少しずつ改善されてきてはいるが、このあたりは依然課題として残る。

カ 安全管理

交通安全教育（11月14日）

非常災害時の避難訓練 毎月

引き渡し訓練の実施（9月1日）

安全管理 評価・課題

避難訓練は子どもたちの中に浸透してきており、上手に避難できるようになっている。課題として非常滑り台の使い勝手の悪さがあり、検討をしている。大地震の後なので、大きな地震・津波を想定した訓練、日頃の保育活動等見直しをしながら進めているところである。引渡し訓練も、防災の日実際に引き渡すことになる「森下公園」で実施することと計画していたが、雨が降ってしまい、いつもの保育室引き取りとなってしまった。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

| | |
|------------|-----------|
| 園長 | 1名 |
| 主任 | 1名 |
| 保育士 | 11名 |
| 調理員 | 3名（栄養士含む） |
| 看護師 | 1名 |
| 嘱託医 | 1名（非常勤） |
| 臨時職員、パート職員 | 16名 |

イ 健康管理

健康診断 年1回（9月～11月）

- 細菌検査 年2回(5月、10月)
- 給食、0歳児調乳担当のみ毎月1回

ウ 職員会議

- 定例会 毎月2回
- 行事前打合せ会(随時)
- 期別反省会(年2回)

会議 評価・課題

何を優先して話し合っていくのかが問われていると思う。内容、時間配分ともまだまだ工夫が必要だと思っている。会議の中で最も語り合わなければならないのは、やはり子どものこと、保護者のこと。その時間をどう確保できるか、会議全体の議題の見直しをして考えていく。具体的には職員会議では月案を優先し、行事は昼の会議に回すなどの工夫をしていく。SDSシートを期別反省で取り上げたが、効果はまだ見えない。職員の人材育成を考えた評価制度を法人として考えていかななくてはならないと思う。

エ 研修計画

- ・園内研修(年5回)
- ・法人内研修 ・保育ブロック研修
- ・キリスト保育連盟研修
- ・全国私立保育園連盟カウンセリング研修
- ・子どもの文化学校研修
- ・東社協保育士会研修、給食研修
- ・行政主導の研修
- ・江東区私立園長会研修 ・公私立園長会研修

研修 評価・課題

外部の研修は近場に出かけることが多かったが、職員が自分で学びたいと思うところに行けたのは良かったと思う。職員みんなで共有していくために、会議の冒頭に研修報告の時間を入れるようにしているが、全ての研修に報告が必要か見極めることも求められている。何を共有し、全体で学んでいくか取捨選択が必要だろう。民族舞踊の「荒馬踊り」に関する研修はこれからも園のものとして全額補助の考えでやっていこうと思う。

オ 退職・福利厚生

- ・独立行政法人 福祉医療機構 退職共済制度加入
- ・東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- ・株式会社リラックス・コミュニケーションズ 福利厚生倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務 ・実費徴収事務

- ・ 労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・ 保育指導計画等の作成・日誌・児童票
- ・ 給食献立表等の作成・給食日誌
- ・ 健康診断記録表等の作成・保健日誌

事務関係 評価・課題

会計事務、管理事務とも研修・相談を通し事務局の助けを借りながら、把握できるように努めている。事務のパート職員も3年目になり、園内のことが色々分かってきて随分と助けられている。行事に関わる資料の作成、印刷、必要に応じたクラスの資料、印刷なども計画的にできるようになってきている。とはいえまだ改善の余地はありそうだ。保育、給食の事務はなんとか時間内にとの気持ちはあるが、まだまだ難しい部分が残っている。

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新

- ・ 乳児室床磨き

設備関係 評価・課題

施設の建物自体の老朽化と設備の老朽化と双方を考えなければならない。見渡せば更新したい場所はいくらかでもある。老朽箇所を直す優先順位は改築との兼ね合いもありいつも悩まされる部分である。法人としての方針を明らかにしてもらう中で進めていきたい。

(3) 備品関係

ア 備品購入

- ・ 保育室扇風機
- ・ 防災無線機
- ・ ガイガーカウンター

イ 保育用品購入

- ・ 乳児用防災頭巾
- ・ 鉄棒

ウ 給食用品購入

- ・ 非常食の追加購入

エ 固定資産物品購入

備品関係 評価・課題

防災、節電に関わる備品の購入がほとんどであった。これでも十分とは言えないのだが、少しずつでも進んで来ている

実感はある。

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

イ 防災設備の点検委託

年2回(内、届け出1回)

ウ 非常食糧の備蓄

○(全園児数+全職員数)×3食×2日分

災害対策 評価・課題

災害時の避難訓練もほぼ予定通り実施。本当の時はどうなるのか課題は一層緊迫したものになっているが、話し合いながら、必要なものを揃えながら進めていくしかない。園で用意している避難靴、防災頭巾なども十分なのか試してみたい。また、今年も防災の日、非常食を食べてみて子ども達にもその意識を持って欲しいと実行した。非常食はアレルギー児用も必要だと気が付き、アレルギー対応のものも用意、行政の補助金も受けて数も増やした。

3 地域社会との連携

- ・花の日に近くのデイサービスホームを訪問する。
- ・江東区子ども発達センター、親子教室との連携
- ・近隣の小中学校との連携は今年も、近隣の4園が協力し年長児の保護者対象に小学校の校長先生に就学に向けて講演会をお願いした。3回と回を重ねてきた効果か、参加者がグンと増えたことはとてもうれしい。その他にも保育士と教員の交流や園児と児童の交流などを積極的に進めている。また、夏の保育園体験ボランティアにも協力していただいている。反対に小・中学校の職場体験も受け入れ、相互交流となっている。
- ・近隣地域の保育施設との勉強会も回数を重ね、少しずつ定着してきていると感じている。保育ママさんの参加はなかなか難しいが、根気よく誘っていきたい。

地域社会との連携 評価・課題

60周年で改めてご近所に協力していただいている関係について全員で再確認したが、職員も経験を重ねてきて日々関係ができてきている。職員みなで努力した結果ともいえるだろう。今後もパートの人も含めた特に若い職員の対応を確認すると共に、職員全体で気をつけていくことを書類でも確認していく。

子育て支援事業を進めていく上でも、みずべとの協力関係はもちろん、保健センターとの連携も努力していく必要があると感じながら、すすめてこられなかったのは反省点として残る。地域にひだまりの広報をしていくことはこの場を知

ってもらわないので、これから積極的に考えていきたい。

学校との連携では、小学校長の講演会や交流等の連携を近隣4園の協力のもとに進めてこられたのはよかった。今後どう発展できるかを探っていくことが課題となりそうだ。小学校の他中学校では体験学習の場としての交流をこれからも進めていきたい。

4 その他

- ・2月に利用者に対するアンケート調査の実施した。

記入者 菊地 せい子

2011年度は、東日本大震災の経験を踏まえた防災対策と、福島原発事故への対応が年度を通じての大きな課題であった。まず余震が治まらない中で4月の遠足の親子遠足を中止にしたり、年度前半の園外保育（散歩）も控えた。また、備蓄食糧や防災頭巾の確認をしたり、専門業者による点検を受け園舎内の落下防止、転倒防止などの安全対策を見直した。

放射能対策としては、世田谷区からの情報や2回実施した園内外の放射線量検査結果など必要情報を常に保護者に知らせるようにした。給食食材については子どもたちに安全・安心な給食を供給できるよう産地を注意して仕入れるようにしていたが9月からは産地について保護者にも知らせるようにした。

放射能汚染については保護者の不安は大きく、問い合わせや要望もあったが、このような対策と関連情報を常時提供し、個別対応もていねいにした結果なのか、保護者からの大きな苦情は出なかった。飲料水についても当初は何人かが持参してきたが、最終的には個人で水を持参する人は一人になった。

しかし、近年中に首都圏を大規模地震が襲う可能性が高い中で、食糧備蓄がまだ不十分であったり、防災マニュアルの作成、災害時優先電話の使い方など課題は山積している。

家庭的保育については2年目を迎え、新たな保育者を雇ったり補助者の異動があったが、後半は落ち着いてきた。課題はまだたくさんあるが、注目されている事業でありマスコミの取材も多かった。

本園と分園と2012年度からの一体化に向けて、法人本部も入りこの1年間準備を進めてきたが、本園より分園の保護者、職員の不安は大きかったようだ。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：9名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育実施
- ・ 延長保育事業（零歳児の受入れ）
- ・ 障がい児保育事業実施（特児対象：1名）
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施

イ 地域子育て推進

- ・ 小中高生の育児体験受入れ 47日間受入れる
- ・ 保育所体験 延べ500人以上受入れ実施
- ・ 出前保育 年7回実施
- ・ 育児困難家庭への支援

ウ 家庭的保育事業との連携

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

| クラス名 | 年齢 | 保育士数 | 園児数 | 障碍児数 | 備考 |
|------|-----|--------|------|------|-----|
| うさぎ組 | 0歳 | 3名 | 9名 | | 看護師 |
| あひる組 | 1歳 | 3名 | 14名 | | |
| はな組 | 2歳 | 3名 | 18名 | | |
| つき組 | 3歳 | 2名 | 22名 | 1名 | |
| ほし組 | 4歳 | 1名(1名) | 24名 | | |
| ゆき組 | 5歳 | 1名(1名) | 24名 | | |
| | その他 | 主任1名 | | | |
| 合計 | | 16名 | 111名 | 1名 | |

イ 月別保育日数

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合計 296日 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|
| 25日 | 23日 | 26日 | 26日 | 26日 | 24日 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 24日 | 24日 | 25日 | 23日 | 23日 | 26日 | |

ウ 健康管理

健康診断

乳児 毎月(1回) 幼児 年2回(5月、10月)

*視力検査(4、5歳児)年1回(10月)

歯科検診 年1回(5月)

蟻虫卵検査 年1回(5月)

エ 保育

各組の保育目標

ゆき組(5歳児)の年間目標

- ・様々な活動に取り組み、仲間に認められる事によって自信を得、自己発揮する。
- ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かす事を楽しむ。
- ・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
- ・異年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・人の話を良く聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・自分のもつ好奇心や知的探求心を働かせる事により、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じた事や思った事、想像した事などを自由に工夫して表現する。

年間目標 評価・課題

今年のゆき組は「できないことにも挑戦する」をテーマに取り組んだ。運動会では全員で大縄に挑戦

した。得意な子が苦手な子に教える姿もあり、鎖が出来た時には大きな達成感を感じた。行事では子ども達が主体となって取り組めるように、子ども達の意見を大事にした。11月の作品展では、おかしの家を作り、2月の「おおきくなったよ」の会でおかしの家を舞台にヘンゼルとグレーテルの劇ごっこをやった。つながりを持った保育が出来たと思う。

ほし組（4歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
- ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・自然や身近な事柄に触れ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

年間目標 評価・課題

行事をみんなでやり遂げる体験を積みながら、友だちと一緒に楽しさ、友達の大切さを感じてきた。また、友だちとの関わりを集団の遊びを通して深め、トラブルの中から相手の気持ちを知ることへつなげていった。また、戸外活動では様々な虫や生き物などの自然に触れ、興味や関心を広げてきた。

つき組（3歳児）の年間目標

- ・基本的な生活習慣の自立に重点を置き、一人ひとりに合わせて丁寧に関わり、子ども達ができる流れを作るようにした。そのため初めは差があったが最終的には一応の自立ができたと思う。
- ・環境的なこともあり異年齢の交流が少なかった。保育園の良さを活かすことが課題。
- ・クラス、仲間というところでは関係ができていたが小さくまとまりがちだった。

年間目標 評価・課題

女の子が多いクラスであったが、運動遊びや体を使った遊びを多く取り入れてきた。また、「氷オニ」や「ダルマさんが転んだ」等ルールのある遊びも取り入れて理解度が増してきている。

はな組（2歳児）の年間目標

- ・身の回りのことを自分でできるようになるので、自立の要素を受け止め困った時は手助けをしながら自分でできる喜びを持たせる。
- ・保育者や友達と一緒に全身を使った遊びや、ごっこ遊びをする楽しさを体験できるようにする。
- ・反抗したり強く自己主張するようになるが、自我の芽生えとのときと受け止め、自信をもって行動できるように援助していく。

年間目標 評価・課題

- ・クラスでブロッコリースプラクトの栽培や、プランターではミニ人参やべんり菜の種をまき、水やり、収穫、その野菜を使ってのクッキングを楽しんだ。
- ・また、オタマジャクシ、カブトムシ、メダカの飼育を通して生き物に対する興味、関心も深まった。
- ・押入れの下を空け遊びのスペースにしたり、ごっこ遊びも楽しめるような道具を増やし、遊びが充実できるように工夫した。

あひる組（1歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保存と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分にこない行い体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られる中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
- ・身の回りの様々なものを見たり、いじったり、身の回りの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ

年間目標 評価・課題

言葉がまだ出ない時期は嘔みつきやひっかきなどがあり、その度に双方の気持ちを受け止め代弁して関わってきた。こだわりも強いクラスで、どうしたかったのかを言葉で確認しながら、その子が納得いくようじっくり関わることを大切にしてきた。

嘔みつきなどのトラブルは言葉の育ちとともになくなってきたが、こだわりはまだまだ強いので、状況と気持ちのバランスを考えながらの保育が必要と考える。

うさぎ組（0歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子ども甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
- ・保健的で安全な環境をつくり、常に体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活ができるようにする。
- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的要求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・個人差に手応じて離乳を進め、いろいろな食品に慣れ幼児食への移行を図る。
- ・優しく語りかけたり 発語や保育士とのやりとりを楽しむ。
- ・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能を促す。
- ・安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具など、見たり、触れたりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

年間目標 評価・課題

ゆるやかな担当制で子どもとの関わりを持つことで情緒の安定を図った。また、朝早くから遅くまでの長時間保育の子が多く、1人ひとりの生活リズム、体調を大切にし一日を通して機嫌よく過ごせるように配慮した。また、月齢の高い子も多く、テラス・園庭散歩など戸外遊びを十分に楽しむことが出来た。

2011年度実施行事

- 4月 入園式 各クラス懇談会
- 6月 花の日子どもの日礼拝 一週間縦割り保育
- 7月 夕涼み会 プール開き 5歳児お泊り会 (本園)
- 8月 卒園生遊ぼう会
- 9月 ほのぼの会
- 10月 運動会 5歳児プラネタリウムとお泊り会 (分園)
- 11月 そしがや祭り 収穫感謝祭
- 12月 クリスマス礼拝 卒園生クリスマス
- 1月 餅つき 1週間縦割り保育
- 2月 大きくなったよ会 各クラス懇談会
- 3月 5歳児思い出親子遠足 お別れ会 卒園式 進級式

年間行事 評価・課題

行事に取り組む際には、必ずその目的や取り組みを会議などで確認、検討し全体で共有している。また、余震の影響で3、4、5歳児の親子遠足は中止にした。分園合同で5歳児のお泊り会を行う。

オ 栄養管理

- ・ 集団給食施設栄養報告 年 2 回
- ・ 栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
- ・ 季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
- ・ 給食供給者としての諸管理

栄養管理 評価・課題

調理のカウンターで子どもと会話をしつつ、畑で育てた野菜を使ってのクッキングをしていくことができた。食事は季節の物を取り入れながら、色など見た目にも気をつけるようにしている。郷土料理、伝統食作りも少しずつ取り入れているが、さらにいろいろな食に身近に触れる機会を増やしていきたい。

カ 安全管理

- ・ 非常災害時の避難訓練
- ・ 引き渡し訓練の実施

安全管理 評価・課題

毎月安全点検をし、安全な環境を常に心がけている。

(3) 職員の処遇

ア 職員構成

園 長 1名

| | |
|---------|-------------|
| 主 任 | 1 名 |
| 副 主 任 | 1 名 |
| 保 育 士 | 1 5 名 |
| 調 理 員 | 2 名 (栄養士含む) |
| 看 護 師 | 1 名 |
| 嘱 託 医 | 1 名 (非常勤) |
| リトミック講師 | 1 名 (非常勤) |
| パート職員 | 1 3 名 |

イ 健康管理

健康診断 年 1 回 (6 月)

細菌検査 年 1 2 回

ウ 職員会議

定例会 (毎月 1 回) 乳幼児打ち合わせ (毎月 2 回)

行事前打合せ会 (随時) クラス、食事打ち合わせ (毎月 1 回)

期別反省会 (年 2 回) 主任会 (毎月 2 回)

会議 評価・課題

司会者は会議で、職員が意見を出しやすいような雰囲気づくりに努めた。議題を整理し、時間内で治まるような工夫も見られた。保育との同時進行となるため出席できない職員は記録を読み、報告を受け周知徹底を図った。

エ 研修

- ・園内研修
- ・法人内研修
- ・全国私立保育園連盟研修
- ・東京都社会福祉協議会研修
- ・世田谷区の研修
- ・保育ブロック研修
- ・自主研修

研修 評価・課題

園内研修では引き続き外部講師による本園、分園合同で研修を実施したり、保育の振り返りもしたり学びを共有することができた。また、法人内研修、外部研修にも多くの職員を参加させることが出来た。

オ 退職・福利厚生

- ・独立行政法人 福祉医療機構 退職共済制度加入
- ・東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- ・株式会社リラックス・コミュニケーションズ 福利厚生倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、
- ・実費徴収事務
- ・労務管理 (出勤管理、有給休暇管理 等)

イ 児童処遇事務 (保育、給食、健康管理)

- ・保育指導計画等の作成

- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

事務関係 評価・課題

- ・園長、主任、非常勤事務職員の役割を確認しながら、分園の業者支払いと家庭的保育事業の小口も含む事務処理を行うことが出来た。職員の事務時間がなかなか取れず、勤務中の事務処理の仕方は課題である。

(2) 設備関係

- ア 固定遊具の設備点検
- イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新

設備関係 評価・課題

- ・玄関出入り口の雨漏り修理、駐車場の整備、畳替え、0、1歳児クラスの騒音防止のためホール側の小窓を二重にした。砂場にターゴラと雨除けに屋根の設置等、保護者の要望に応えた。

(3) 備品関係

- ア 備品購入
 - ・シュレッター、液晶テレビ、会議用テーブル（3）、ホワイトボード壁掛け（2）
 - ・イナバ物置、防災頭巾、ヘルメット、壁掛け扇風機（7）タオル蒸し器、すのこ、杵（2）
- イ 保育用品購入
 - ・カプラ台、コマ回し台、園庭用のテーブルと椅子、遊具棚（2）、オルゴールツリー
 - ・移動式棚、ピアノ椅子
- ウ 給食用品購入
 - ・炊飯器（2）食器、鍋
- エ 固定資産物品購入
 - ・ミラー、工技台（保護者会より）、綿菓子機

備品関係 評価・課題

- ・卒園の記念品として毎年、工技台を少しずつ贈呈してもらっている。

(4) 災害対策

- ア 避難訓練
 - 毎月1回
- イ 防災設備の点検委託
 - 年2回（内、届け出1回）
- ウ 非常食糧の備蓄
 - （全園児数＋全職員数）×3食×3日分

災害対策 評価・課題

- ・9月保育ネット烏山の合同避難訓練に参加し、地域の保育施設との災害時の協力体制を確認する。

3 地域社会との連携

地域社会との連携 評価・課題

- ・保育ネット烏山では、保育園紹介や防災訓練、児童館でのイベントなどに参加し、地域の保育園としての役割を果たす。
- ・出前保育では地域の公園に出向き、地域の親子と一緒に様々な遊びを楽しんだり、園開放ではリズムック、おやつを試食会、発育相談などを行った。

4 その他

- ・3月に利用者に対するアンケート調査実施した。

1. 待機児対策解消園としてスタートして、まだ3年だが地域の基盤や利用者の園への信頼度も少しずつ出来ていると感じている。園開放を通じて、孤立しがちな家庭での子育ての悩みや、仲間づくりの場の提供として、保育士だけの関わりだけでなく次年度は栄養士、看護師も取り入れた関わりを計画し、ニーズに応えた地域支援の力をつけていかなければならない。
老人ホームとの交流は、ホーム訪問だけでなく、2歳児と共に公園で一緒に遊ぶなど、どちらも積極的な交流を進めてきた。
ただ、日程の計画ミスや、老人施設の担当者との連絡不十分さから地域の利用者には迷惑かけた事も多々あり、次年度にはこの反省を生かしていきたい。
2. 保護者からは、要望も苦情もたくさんあったが、ひとつ、ひとつを丁寧に取り組むことを心がけ、時には、親たちも巻き込み再発防止のためのマニュアルも共同で作成したことも数件あり、分園保育園としても大きな力となり信頼をもって進めることが出来た。
同じく原発事故による「放射能汚染」の問題では、健康に不安を抱く親も多く、園の取り組み方に厳しい意見や要望をたくさん寄せられたので研修の学びから、園の放射線量の測定や行政、園の取り組みなど積極的に開示する方向で共有をした。保護者にとり満足いく取り組みとまでは言えないものの、第三者評価の利用者アンケートには、「評価している」との意見も寄せられていた。
3. 職員育成は、日々の保育をこなす事で精一杯だった職員も今年度から保育ブロックでの「SDS」の学びを実施したことにより、自ら学ぶ、研修に行くなど学ぶことの重要性を自覚した職員も多く次年度は自らの課題をもって保育に取り組み、各々のスキルアップを高め、一体化となった本園の職員とも学びの共有をしていく。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：9名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育実施
- ・ 延長保育事業（零歳児の受入れ）
- ・ 障碍児保育事業実施（特児対象：2名）
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施

イ 地域子育て推進

- ・ 小中高生の育児体験受入れ 50日間受入れる
- ・ 老人施設訪問10回
- ・ 出前保育 年 回実施
- ・ 緊急一時保育 （5名受入れ）

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

| クラス名 | 年齢 | 保育士数 | 園児数 | 障碍児数 | 備考 |
|---------|----|------|------|------|-------------|
| つくし組 | 0歳 | 3名 | 9名 | | 看護師 |
| すみれ組 | 1歳 | 3名 | 14名 | | |
| たんぽぽ組 | 2歳 | 3名 | 15名 | | |
| ちゅうりっぷ組 | 3歳 | 2名 | 16名 | | |
| ひまわり組 | 4歳 | 1名 | 15名 | | |
| さくら組 | 5歳 | 1名 | 7名 | 1名 | |
| 家庭的保育 | | 7名 | 30名 | | 支援者1名保育者6名 |
| 園長 | | 1名 | | | |
| 合計 | | 21名 | 106名 | | 分園76名家庭的30名 |

イ 月別保育日数

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合 計 294日 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------------|
| 25日 | 23日 | 26日 | 26日 | 26日 | 24日 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 24日 | 25日 | 23日 | 23日 | 23日 | 26日 | |

ウ 健康管理

健康診断

| | | | |
|-------|-------------|--------------|----------|
| 乳児 | 毎月(1回) | *耳鼻科検診 | 年1回(5月) |
| 幼児 | 年2回(5月、10月) | *視力検査(4、5歳児) | 年1回(10月) |
| 歯科検診 | 年1回(6月) | | |
| 蟻虫卵検査 | 年1回(5月) | | |

エ 保 育

各組の保育目標

さくら組(5歳児)の年間目標

- ・様々な活動に取り組み、仲間に認められる事によって自信を得、自己発揮する。
- ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かす事を楽しむ。
- ・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
- ・異年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・人の話を良く聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・自分のもつ好奇心や知的探求心を働かせる事により、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じた事や思った事、想像した事などを自由に工夫して表現する。

年間目標 評価・課題

- ・7名と少人数クラスで在ったため、製作等ではひとり一人と丁寧な関わりが出来、大人数では難しい事にも挑戦出来て良かった。心配していた集団遊びも4歳児や本園5歳児と交流する事で補っていく事が出来た。
- ・園庭が狭いのもっと園外の散歩に出たり、運動遊びを取り入れていけると良かった。

ひまわり組（4歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
- ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・健康面、安全面等で基本的な生活習慣を徐々に身に付ける。
- ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉が伝わる楽しさを味わう。
- ・自然や身近な事柄に触れ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

年間目標 評価・課題

- ・5歳児が7名と少数であったことから、共に生活することが多く、見て学ぶことも多かったことから、それぞれ自信になっていた。
- ・ルールのある遊びを生活の中で行ったことによって、理解力を向上することが出来た。
- ・全体に自己主張の強い子が多く、すべての子どもたちの要求に応えることが出来なかった。

ちゅうりっぷ組（3歳児）の年間目標

- ・基本的な生活習の自立に重点を置き、一人ひとりに合わせて丁寧に関わり、子ども達が自分でできる流れを作るようにした。そのため初めは差があったが最終的には一応の自立ができたと思う。
- ・環境的なこともあり異年齢の交流が少なかった。保育園の良さを活かすことが課題。
- ・クラス、仲間というところでは関係ができていたが小さくまとまりがちだった。

年間目標 評価・課題

- ・4, 5歳だけでなく、1, 2歳児との交流も行ったきたため、自分達が大きくなったことを、実感し自信を持つ事ができた。
- ・基本的な生活習において、初めは個人差が大きかったが、保育者同志連携をとり個々に合わせた援助をすることで全体が自立していた。

たんぽぽ組（2歳児）の年間目標

- ・身の回りのことを自分でできるようになるので、できることはやらせ、困った時は大人の手助けを得ながら自分でできる喜びを持たせる。
- ・保育者や友達と一緒に全身を使った遊びや、ごっこ遊びをする楽しさを体験できるようにす

る。

- ・反抗したり強く自己主張するようになるが、自我の芽生えと受け止め、自信をもって行動できるように援助していく。

年間目標 評価・課題

- ・2歳児特有の自己主張が個々に出て、受けきれない時もあったが、受け止める保育を主として行った。
- ・ごっこ遊びは、大人よりも子どもたちから展開し、そこへ保育者が介入し広げ深める事が出来た。
- ・自立しようとする気持ちを受け止めるが、出来るところ、甘えたいところの線引きが難しかった。

すみれ組（1歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保存と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分にこない行い体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られる中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
- ・身の回りの様々なものを見たり、いじったり、身の回りの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ

年間目標 評価・課題

- ・担任間で話し合いを多くもち共通の意識の中で保育を行うことができた。
- ・2つのグループに分け活動することで子どもたちも落ち着いて活動に入っていくことができた。
- ・製作、手遊び、散歩等を計画的に取り入れることができた。

つくし組（0歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子ども甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したり等のいろいろな身体活動を十分に行う。
- ・保健的で安全な環境をつくり、常に体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活ができるようにする。
- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的要求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を進め、いろいろな食品に慣れ幼児食への移行を図る。
- ・優しく語りかけたり 発語や保育士とのやりとりを楽しむ。
- ・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能を促す。
- ・安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具など、見たり、触れたりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

年間目標 評価・課題

- ・ゆるやかな担当制にしたが人見知りなどで保育園に慣れにくい子どもたちに対しては担当制にした方が良かったのか知れないが、保育士の負担も大きくなる為そのようにしなかった。
- ・ひとり一人の生活リズムに柔軟な対応をし、無理なく園の生活をすごせた。
- ・安全な環境を考慮してきたが、配慮に欠ける部分があり、改良をしていきたい。

家庭的保育の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保存と情緒の安定を図り、きめ細やかに保育しやすい温かい家庭的な保育を目指す。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分にこない行い体を動かすことを楽しむ。
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
- ・子どもたちが安全かつ健康で情緒の安定した生活が出来るよう、本園分園との連携を取りながらひとり一人の子どもたちの最善の利益を守る
- ・身の回りの様々なものを見たり、いじったり、身の回りの自然や事象に対する好奇心や関心を持つ。

年間目標 評価・課題

- ・ひとり一人の家庭の事情や生活リズムに柔軟に対応し無理なく過ごせた。
- ・各“おへや”での保育を基本にし、異年齢での活動や同年齢での活動等保育内容に変化をつけた。
- ・本園や分園の園庭や保育室を活用し、保育環境の幅を広げたり、同年齢児との交流ができたが今後保育計画をしっかり立て保育を行えるようにする。
- ・栄養士、看護師との連携をより深めていく為になに出来るかを考える。（会議の参加、おやつ喫食状況の把握、保護者への離乳食相談、アレルギー児の把握等）

2011年度実施行事

- | | | |
|-----|--------------|----------------------|
| 4月 | 入園式 | 各クラス懇談会 |
| 5月 | 3～5歳児クラス親子遠足 | |
| 6月 | 花の日こどもの日礼拝 | プール開き |
| 7月 | 夕涼み会 | 5歳児お泊り会（本園） |
| 9月 | ほのぼの会 | |
| 10月 | 運動会 | 5歳児フプラネタリウムとお泊り会（分園） |
| 11月 | そしがや祭り | 収穫感謝祭 |
| 12月 | クリスマス礼拝 | 卒園児クリスマス |
| 1月 | 餅つき | |
| 2月 | 各クラス懇談会 | |
| 3月 | お別れ会 | 卒園式 進級式 |

年間行事 評価・課題

- ・本園合同で5歳児の泊まり保育を分園で行う。日常的な交流も取り入れ、楽しそうにしている子どもたちの姿に保護者からの前向きな反響も得られた。
- ・保護者参加の合同行事では（そしがや祭りなど）課題が多くあがったので、改善していきたい。

オ 栄養管理

- ・集団給食施設栄養報告 年2回
- ・栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
- ・季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
- ・給食供給者としての諸管理

栄養管理 評価・課題

- ・子ども用に絵の献立表も作成すると、毎日の食事に関心をもつことが多くなった。引き続き継続していく。
- また、郷土料理を月1回取り入れ、日本の食文化を子どもたちに伝えていく
- ・毎月年齢に合ったクッキングや食育を行っていく。

カ 安全管理

- ・非常時災害時の避難訓練
- ・引き渡し訓練の実施（9月17日）

安全管理 評価・課題

- ・引き渡しの確認、人数の把握と受け渡しを各遅番の部屋で行う。
- ・実生活でも地震が多発しているので、訓練も危機意識をもって参加することを共有して行った。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

| | |
|---------|-----------|
| 園長 | 1名 |
| 家庭的支援者 | 1名 |
| 保育士 | 12名 |
| 非常勤保育士 | 1名 |
| 調理員 | 2名（栄養士含む） |
| 看護師 | 1名 |
| 嘱託医 | 1名（非常勤） |
| リトミック講師 | 1名（非常勤） |
| 家庭的保育者 | 6名 |
| パート職員 | 15名 |

イ 健康管理

- ・健康診断 年1回（6月）
- ・細菌検査 年12回

ウ 職員会議

- ・定例会（毎月1回）
- ・乳幼児打ち合わせ（毎月2回）
- ・行事前打合せ会（随時）
- ・クラス、食事打ち合わせ（毎月1回）
- ・期別反省会（年2回）
- ・リーダー会（毎月2回）

会議 評価・課題

- ・会議開始から集まれる職員が少なく、なかなか全員で同じ時間を共有することが困難であった。クラス内での伝達を強化した。内容によってはパート職員にも共有してもらえるように職員の意識向上を図ってきた。（クラス打ち合わせに参加等）
- ・行事打ち合わせに関しては、係からの発信が係以外の職員になかなか浸透しづらかった。年々職員全員の意識は高まり意見も出るようにはなっているため、さらに創意工夫を盛り込み、職員全体を巻き込みながら行う。
- ・期別反省会は、事前準備をもっと早い段階で練り上げることが必要。その時に必要と思う内容の提示をしていくことは続けていきたい。

エ 研修

- ・園内研修
- ・世田谷区の研修
- ・法人内研修
- ・保育ブロック研修
- ・自主研修
- ・全国私立保育園連盟研修
- ・東京都社会福祉協議会研修

研修 評価・課題

- ・園内研修は、今必要なことを課題として取り上げてきた。保育をしていく中で基盤となる部分を共有していきたいという職員の意識が高くなってきた。
- ・自主的に学びたい研修（外部）は学びが少なかったが、自己啓発の「SDS」の学びを取り入れたことにより、研修で学ぶ重要を感じた職員が多かった。次年度に期待する。

オ 退職・福利厚生

- ・独立行政法人 福祉医療機構 退職共済制度加入
- ・東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- ・株式会社リラックス・コミュニケーションズ 福利厚生倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、
- ・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成

・健康診断記録表等の作成

事務関係 評価・課題

- ・本園事務員に事務の一部を補ってもらい、事務量が軽減された。
- ・献立表などマンネリ化せず、他園の案なども入れて、より子どもたちに食べることの意欲を高めるために献立表も絵で描き各クラスに掲示し、サンプル表示の工夫などして食育の充実につながる工夫をした。
- ・行事や保育体制で保健の時間を作るのが難しく保健指導の機会が少なくなってしまった。

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新

設備関係 評価・課題

- ・門扉（裏表）と再度センサーが作動しなくなることが多々あり、その都度早急に対応した。
- ・乳児用砂場と幼児園庭が隔離してあるので、狭い園庭でも怪我防止になっている。
- ・強い台風で避難用口門扉が倒れたため、風通りのある門扉に取り換えた。

(3) 備品関係

ア 備品購入

- ・テレビ ・冷蔵庫 ・畳

イ 保育用品購入

- ・各クラスの絵本や玩具の購入 ・0、1歳時食事エプロン等 ・跳び箱

ウ 給食用品購入

- ・食器類

エ 固定資産物品購入

- ・園庭遊具 ・自転車置き場屋根設置

備品関係 評価・課題

- ・跳び箱や鉄棒を購入し、室内遊びの充実を計った。遊具はまだ購入していきたい。
- ・アレルギー児用食器類を整えたり、乳児用の深めの食器類を購入した。
- ・玄関エントランスの雨除けや、2階乳児室の生活環境を整えた。

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

イ 防災設備の点検委託

年2回（内届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄

(全園児数+全職員数) × 3食 × 3日分

災害対策 評価・課題

- ・毎月実施している避難訓練は、子どもも大人も落ち着いて取り組むことが出来ているが、乳児の避難の細やかな配慮をさらに意識し、すみやかに的確な行動が出来るよう心がける。
- ・家庭的保育事業とも連携して、災害など合同避難訓練を行っている。
- ・非常食の備蓄では、水難や土砂災害をふまえて、水に濡れても大丈夫なようにビニールでさらに包装するなど工夫をして、倉庫に片づけるようにしていきたい。

3 地域社会との連携

地域社会との連携 評価・課題

- ・保育ネット烏山に加わり世田谷区の3園（烏山・祖師谷本園・分園）共同で入園相談を行う。
- ・要保護児童支援烏山地区協議会研修参加
- ・老人施設（ロングライフ成城）の訪問や上祖師谷中学校の学生の体験受け入れを積極的に行う。

4 その他

- ・3月に利用者に対するアンケート調査実施した。

立ち上げから5年間経ち、外部からの認識・内部の保育運営ともに「雲柱社の鳥山保育園」となってきたように感じる。2011年度は鳥山の保育を深めるため、今までの保育を振り返り、何を大切にしているかを、職員間で言語化する機会を増やした。その結果、年度途中で「一人ひとりを大切にし、日々の成長を楽しみ、保護者と共有する」という基盤を確認した。その観点から、2011年度保育計画の重点課題に沿って、以下のように報告する。

I. ボトムアップ、意思疎通のスムーズな組織力向上

2人いた主任を1人にし、副主任を新しく置いたことにより、相談や打ち合わせの機会も増え、現場と管理職の距離が近くなった。

管理職の役割分担に初めのころ戸惑いがあったが、後半からはそれぞれの個性を現場職員も理解し、適応し、なおかつ職員ひとりひとりが、より現場で考え検討する機会が増えた。利用者の気持ちに添う場面では、ほとんどの職員が実践できている。

しかし、まだ自分で考える前に結果を早急に求める姿はみられる。利用者のための最善の方法を考えられる職員集団を目指したい。

II. 幼児乳児クラスの一体的運営と人材育成

職員数も多く、乳児担当と幼児担当がはっきり分かれて保育しているため、お互いの保育の具体的な内容が見えづらかった。乳児リーダー、幼児リーダーが、互いの打ち合わせに参加しあい、保育中の異年齢交流を意識的に行うことを実行してきた。2012年度も引き続き積極的に行いたい。

人材育成に関しては、保育力向上のため、昨年引き続き自分の実践を振り返るエピソード記録に取り組んだ。園の保育の基盤にてらし、日誌の中から選んだものを園内研修で取り上げ、ディスカッションし共有をはかった。今後もクラス間の生活の流れや、発達にそくした環境設定の流れが、園全体としてスムーズに進めることができるよう具体的に検討していきたい。

III. 特別保育(延長、休日)、食育活動のねらいを明確にし、環境を整備する。

中期計画にもある園の特色のうち、上記の2つの分野をしっかりと確立していくよう力をいれた。

延長保育には、立ち上げから担当している保育士と、ベテランの保育士を配置し長時間の個別保育を環境から見直した。

休日保育では、乳児の利用が増える中、乳児も幼児も一人ひとりが満足する関わりを模索した。

食育では、担当の栄養士を明確にし、クッキング保育だけでなく、子どもの生活全般の中で食生活をとらえていった。看護師と協力した「食育保健活動」（パクモリタイム）を実施した。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・0歳児保育特別対策事業実施（0歳児取扱人員：13名）
- ・産休明け保育実施
- ・延長保育実施（0歳児の受け入れ、4時間延長） *月延長登録児…平均55名

- ・休日、年末保育 *休日利用…日平均、6～8名 *年末保育(2日間)…30名利用
- ・障がい児保育事業実施(1名)
- ・アレルギー児に対する除去食及び代替食実施(8名)

イ 地域子育て推進

- ・出前保育 6回
- ・パートナー保育登録 60名
- ・中・高生の育児体験受入れ 延べ50人受入れる
- ・地域交流事業 年9回・概ね200人
- ・卒園生交流 年6回・概ね60人
- ・育児困難家庭への支援 2名受入れ

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

| クラス名 | 年齢 | 保育士数 | 園児数 | 障害児数 | 備考 |
|--------|-----|---------|------|------|----------------|
| ひよこ組 | 0歳 | 5名 | 13名 | | 看護師1名 パート2名 |
| ちょうちょ組 | 1歳 | 4名 | 19名 | | パート2名 |
| うさぎ組 | 2歳 | 4名 | 21名 | | パート1名 |
| たんぽぽ組 | 3歳 | 2名 | 22名 | | |
| やま組 | 4歳 | 2名 | 22名 | 1名 | パート1名 |
| ひ組 | 5歳 | 2名 | 22名 | | |
| | その他 | 休日、延長4名 | | | |
| 合計 | | 23名 | 119名 | 1名 | |

イ 月別保育予定日数

| | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合計 361日 |
| 30日 | 31日 | 30日 | 31日 | 31日 | 30日 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 31日 | 30日 | 30日 | 28日 | 28日 | 31日 | |

ウ 健康管理

健康診断

乳児 毎月(1回)

幼児 年3回(5月、プール前、10月)

- ・視力検査(4、5歳児)年1回(10月)
- ・歯科検診 年1回(5月)
- ・耳鼻科健診 年1回(9月)
- ・身体測定 毎月1回
- ・蟻虫卵検査 年1回(5月) (胸囲、頭囲 年2回)

・各クラスでその都度必要なテーマで保健指導を行った。栄養士と協力して「食育保健活動」(パクモリタイム)も行い、身体の大切さ、生活習慣確立の大切さを知らせ、意識づけることができた。

・インフルエンザ感染者が48名と感染が拡大した。地域に流行し始めた段階で、広報し、マスクの着用を検討していきたい。

- ・ヒヤリハットは、全ケースを職員会議で読み上げるなど、共有している。課題である。分析・検討をすすめ、安全確保や事故予防に努めたい。

エ 保 育

各組の保育目標

ひ組（5歳児）の年間目標

- ・様々な活動に取り組み、仲間に認められる事によって自信を得、自己発揮する。
- ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かす事を楽しむ。
- ・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
- ・異年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・人の話を良く聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・自分のもつ好奇心や知的探求心を働かせる事により、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じた事や思った事、想像した事などを自由に工夫して表現する。

年間目標 評価・課題

子ども同士個性を認め合えるよう、編み物やくぎ打ちなど、集中して個人で取り組む遊びを提供した。クラスの課題や行事の内容などを毎日の集りの時間に相談し、子ども達が話し合い自分たちで決められるよう援助した。子どもたちや保護者の一人ひとりの気持ちに寄り添うよう丁寧に関わった。

やま組（4歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
- ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・自然や身近な事柄に触れ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

年間目標 評価・課題

友達や先生の前で自分の経験や考えを話す機会を多く持った。同時に、相手の話を聞くことの大切さを丁寧に伝えてきた。製作や塗り絵など、個人で集中する時間や環境を大切にしつつ、ルールのある遊びやごっこ遊びで、集団での活動の楽しさを経験した。

たんぽぽ組（3歳児）の年間目標

- ・生活が自立してくることで自信をもち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ・外遊びを十分にするなど遊びの中で身体を動かす楽しさを味わう。
- ・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。

- ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づき感性を豊かにもつ。

年間目標 評価・課題

基本的な生活習慣は、一人ひとりの成長・発達に応じ、個別に丁寧に対応してきた。
遊びでは、少人数の遊びから、集団遊びを通し、順番、ルール等を経験しながら、友達との関わりが多くみられるようになった。

うさぎ組（2歳児）の年間目標

- ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを出せるとともに、自分の気持ちを切り替えられるようになる。
- ・身体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ・大人やまわりのことに興味を持ち、みため・つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

年間目標 評価・課題

少人数で時間に余裕を持って過ごすことで、子ども一人ひとりの思いに耳を傾けたり、生活面でも「自分でやりたい」という気持ちを大切にすることができた。

ちょうちょ組（1歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られる中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
- ・身の回りの様々なものを見たり、いじったり、身の回りの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ。

年間目標 評価・課題

月齢に合わせてグループを分け、少人数での関わりを大切にすることで、信頼関係を十分築けた。信頼できる大人との関わりを十分に持つことで、他児を思いやる気持ちをはぐくんだ。また、経験したことのない活動でも、興味・関心を広げることができた。

ひよこ（0歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を

十分に行う。

- ・保健的で安全な環境をつくり、常に体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め、快適な生活ができるようにする。
- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的要求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を進め、いろいろな食品に慣れ、幼児食への移行を図る。
- ・優しく語りかけたり 発語や保育士とのやりとりを楽しむ。
- ・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能を促す。
- ・安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具など、見たり、触れたりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

年間目標 評価・課題

個々の気持ちを大事に受け止め、成長を見守ることができた。今年度は、延長保育利用の子どもが半数いた。安全で、活動しやすく、長時間でも飽きないよう身体をつかった環境などを考えた。担任と共に他クラスへいき異年齢交流を楽しんだ。クリスマスや節分など、季節の行事をクラスで、0歳児なりに楽しめるよう工夫した。

つき・ほし組（延長保育）の年間目標

- ・家庭的で落ち着いた雰囲気保育を行う。
- ・個々の子どもの状態を深く捉えて愛情を注ぎ、細かい配慮によって楽しい時間を過ごす。

年間目標 評価・課題

個々の子どもの家庭状況等に配慮し、柔軟な対応を心掛け、支援の姿勢を持ちを続けてきた。長時間保育の子どもが、安心して、楽しい時間の中でお迎えを待つことができることを目標とした。遊びの面での工夫に力を注ぐとともに、一人ひとりの気持ちに寄り添うことを大切にした。

にじ組（休日保育）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・安心できる大人の見守りの中で、他の子どもにも関心を持ち、一緒に遊ぶ楽しさを知る。
- ・一人ひとりのペースを考慮して、無理なく食事や午睡をする。
- ・異年齢児間で、世話をしたり世話されたりする喜びを知る。

年間目標 評価・課題

利用者の半数が0歳児という乳児中心の日が多くなった。乳児も幼児も安心して過ごせる事を目標に、一人ひとりのリズムを念頭に保育にあたるよう心掛けた。後半は異年齢児が楽しそうに一緒に遊ぶ姿が、多くみられた。今後も乳児の利用ニーズが高まると思われるので、丁寧な対応や異年齢の保育のバランスを大切にしていく。

2011 年度実施行事

- 4月 進級式・入園式
- 5月 保護者会 4、5歳児遠足
- 6月 5歳児プラネタリウム遠足 プール開き
- 7月 夏祭り 七夕 笹もやし 5歳児お泊り保育
- 9月 プールじまい お月見会
- 10月 運動会 5歳児遠足
- 11月 3、4歳児遠足 敬老の集い 豚汁会

| | | |
|-----|-------|----------------------|
| 12月 | 生活発表会 | クリスマス会 |
| 1月 | 餅つき | |
| 2月 | 節分 | おやじの会（クラス看板づくり）保護者会 |
| 3月 | 雛まつり | 卒園式・卒園を祝う会 5歳児さよなら遠足 |

年間行事 評価・課題

日々の保育を大切にするという方針にてらして、行事を見直した。大きな変化は3月の卒園式のあとで行っていた。各クラスの発表を、12月に変更したことである。一年間の結果を見せるのではなく、年度途中の発達や集団の成長の過程を、保護者と共有したいと考えたからである。運動会など例年と同じ行事も、内容をより子ども中心のものにし、保護者の理解を得るよう努めた。

オ 栄養管理

集団給食施設栄養報告 年2回

栄養素の質、量のバランスを考えて献立表を作成

季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成

給食供給者としての諸管理

栄養管理 評価・課題

0から1歳児の移行食について、保育と協力して低月齢児には離乳食対応を行うことができ、クラスの枠にとらわれることなく、月齢や個人の発達に応じたゆるやかな移行食を実施できた。

食育については、看護師と連携した「食育保健活動」（パクモリタイム）を幼児に向けて行った。また保護者へも日ごろの活動を掲示コーナーで知らせ、レシピコーナーも常設し共有した。

課題としては、保育士との連携でお互いの専門性を活かすことができず、クッキング保育などの長期的展望が不足した。次年度は目標に向けて、子どもの保育に寄り添う食育内容へと発展させたい。同時に、乳児の食育活動も取り入れていきたい。

カ 安全管理

非常災害時の避難訓練

引取り訓練の実施

安全管理 評価・課題

3.11の経験より、毎月の避難訓練の内容をより具体的にした。また、余震が続いたため、管理職が不在の場合にも、緊急時のマニュアルにより対応できるようにした。また物品もすぐに使えるように整備をした。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

| | |
|-----|-----|
| 園長 | 1名 |
| 主任 | 1名 |
| 副主任 | 1名 |
| 保育士 | 23名 |
| 看護師 | 1名 |

| | |
|------------------|-----------|
| 栄養士 | 3名（調理師含む） |
| パート職員（調理、見回りも含む） | 13名 |
| リトミック講師 | 1名 |
| 嘱託医 | 1名（非常勤） |

イ 健康管理

| | |
|-----------|------|
| 健康診断 | 年1回 |
| 細菌検査 | 年12回 |
| 給食、職員・非常勤 | 毎月1回 |

ウ 職員会議

- ・職員会 月1回
- ・運営会①（園長、主任、副主任）月2回
- ・乳児、調理打ち合わせ会 月1回
- ②（上記と乳児、幼児リーダー）1～2回
- ・キリスト教勉強会 隔月1回
- ・幼児打ち合わせ会 月3回
- ・延長、休日打ち合わせ 月1回
- ・クラス打ち合わせ会 月に1回
- ・献立、離乳食打ち合わせ 月1回
- ・安全委員会 月1回

会議 評価・課題

「一人ひとりを大切にしたい保育」を目標に、クラス打ち合わせを重視する。また研修報告などを取り入れ、各人の保育を振り返り意見交換することで、保育実践に生かすことができた。しかし、クラス打ち合わせの時間を作るためには、他クラスへの応援など工夫が必要であった。前年度課題であった週案打ち合わせには、管理職も入り、他クラスにも目を向け職員全員で、子ども達を見ていくよう心掛けた。

エ 研修

- ・園内研修（中間年間保育まとめを含む）
- ・法人研修
- ・保育ブロック研修
- ・自主研修
- ・世田谷区の研修
- ・全国私立保育園連盟研修
- ・東京都社会福祉協議会研修
- 他

研修 評価・課題

今年度は「記録の取り方」（子どもの見方）をテーマに園内研修を行い、外部研修にも参加した。園内研修では、各自が日誌の中からエピソード記録として書かれているものを出し合いその中から3～4点を取り上げグループディスカッションを行った。個人の書き方や保育の批判にならないように「自分ならばどうするか」ということにポイントを置いて話し合い、その中で評価・反省をしてみるという形をとった。

外部研修では、2名ずつ3つの継続した研修（今井和子先生の「指導計画、記録と評価」や、「加藤繁美教室」「遊びと援助を考える教室」）に参加し、園内研修で発表し共有した。

オ 退職・福利厚生

- ・独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入
- ・東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- ・株式会社リラックス・コミュニケーションズ 福利厚生倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務 ・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

事務関係 評価・課題

事務関係 評価・課題

園長、主任、副主任の3名で、効率よく役割を分担することが、当初難しかった。後半もそれぞれの業務に追われて、運営会議の持てない時があり、口頭での連絡事項や相談が増え、丁寧さにかけてしまった。1年が過ぎ、ようやく3人の役割が明確になってきた。週3回の非常勤の事務担当者からの提案があり、書類やITの整備が少しずつ進んだ。次年度は幼児リーダーと乳児リーダーも、管理運営の役割を分担していく体制を確立したい。

(2) 設備関係

ア 乳児冷房設置

イ 大型収納棚設置

ウ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新

設備関係 評価・課題

世田谷区所有の建物で事業を行っているが、築20数年が経過し、保育に支障がある部分が明確になってきた。しかし、区の予算では、修繕をしてもらえないものがあり、法人の修繕の予算内で行った。0、1、2歳児室は冷房が年々きかなくなり、健康上も心配なため、リースで冷房機をいれた。調理室にスチームコンベクションを入れ、業務の効率化と、人件費の節約を図った。その分、放射性物質対応もあり食材には費用をかけた。材料を気にかけての結果、蒸しものの味が大変おいしくなり、栄養価もアップした。また、地域の活動に使用できる本なども収納でき、教材が使いやすく収納できる大型収納棚も1台設置できた。

(3) 備品関係

ア 備品購入

- ・テラス倉庫
- ・掃除機
- ・裏庭遊歩道材料他
- ・砂場用砂

イ 保育用品購入

- ・0歳児用ベット
- ・幼児用いす70個
- ・玩具他
- ・一輪車練習用玩具
- ・砂場用トレーラー

ウ 給食用品購入

- ・食器
- ・調理器具他

エ 固定資産物品購入

- ・事務室用書類庫

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月 1 回

イ 防災設備の点検委託

年 2 回 (内、届け出 1 回)

ウ 非常食糧の備蓄

(全園児数+全職員数) × 3 食 × 3 日分

災害対策 評価・課題

- ・保育ネット鳥山の合同避難訓練に参加し、地域の保育施設との災害時の協力体制を確認し、その後も関わりを増やした。
- ・区の建物ということもあり、庁舎とともに修理や安全面の確認を行った。非常食も 3 日分に増やした。
- ・緊急時における情報配信の方法が課題であるが、基本的に午後 10 : 15 まであいているので、体制や食糧などの不安はすくない。休日保育に関しては 365 日開いているので、開園中に災害の起こる確率は高く、その際の職員の対応をより訓練する必要がある

3 地域社会との連携

地域社会との連携 評価・課題

- ・地域交流 (園開放) では、担当者の丁寧な対応や栄養士や看護師からの話し、リトミックなど好評で定員を設けない回は、ホールがいっぱいになる。今年度は保護者同士の交流がより深まるような内容を実施した。
- ・出前保育では、遊びや遊具の紹介だけでなく保護者の子育て相談なども聞くことができ、続けていきたい。
- ・昨年に引き続き近くの認証保育所の年長クラスとの交流を数回持った。地域の保育の質の向上を目指す保育ネット鳥山に参加すると共に、会の運営を担う役割を果たした。

4 その他

- ・3 月に利用者に対するアンケート調査を実施した。

年主題 「寄り添う」 法人事業理念 保育理念にそって

○3月の東日本大震災を経験して、あらためて安全対策に多くの心を配った1年であった。放射能による空間線量への不安で、年度初めから引越しや帰国等で退園もあり、在園児の入退園が多く6月まで1名の欠員があった。除染のため園庭の砂場の砂を入れ替えたり、内部被爆リスクを抑えるために牛乳やお茶なども産地を厳選して対応していった。

○第三者評価または利用者に対するアンケート調査は毎年行ってきたが、年々保護者も意識が低下してきていることが気になっていた。しかし今回は回収率もあがり、保育園に対しては信頼をいただき、若い職員にたいして高評価をいただいたことが大変うれしかった。

○礼拝計画を2歳クラスから立てていたにも関わらず、毎週かならずクラス礼拝をすることができなかった。教本を「成長」に変えたが、かえって難しかったのかもしれない。キリスト教保育を土台に置く保育園であり、心の教育のよりどころなのであるから、次年度は最優先して礼拝を守っていきたい。

○2011年度の事業計画で掲げた、「寄り添う」という年主題の展開は、特に東日本が震災の痛みを担いながらの日々であったので、職員が心をひとつに寄り添いながら歩めた1年であったと思う。光ヶ丘第六保育園との引き継ぎなど職員の変動もあったが、信頼して任せてきた。職員1人ひとりの働きに心から感謝したい。

保育方針 「神と人から愛されかけがえのない存在であることを知る」
「一人ひとりを大切にする」

保育目標 神と人から愛されていることを知り、自分やまわりの人を大切にする子ども

1. ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
2. のびのびとしなやかに、からだを動かして遊ぶ子ども
3. 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
4. さまざまな人との関わりを大切に、思いやりをもって共に生きる子ども
5. 自然や命あるものとの出会いを大切に、豊かに感じとり表現する子ども

- 配慮点
- ・誰もが神と人から愛され、かけがえのない存在であることを知るように保育する。
 - ・子ども達一人ひとりの個性や権利を尊重して保育する。
 - ・保護者が安心して働くことができ、子ども達が心身共に健やかに育つよう保育する。
 - ・保護者と共に、地域との交流をもって子育てを援助する。

事業の内容と展開

1 体調不良の子どもへの配慮

- ・医務室に簡易ベッドを購入したので、保育中の急な発熱などで集団生活が難しい場合など

保護者のお迎えを待つ間、静かに休む場所を保障して見守ることができた。しかし、看護師や職員が専属で看ることができないので、主任や園長が病児の様子を見ていくことが多く課題も残る。

2 非定型一時保育の柔軟な受け入れ

- ・リフレッシュや通院、通学利用の枠を広げ、仕事でなくても月5日以内利用できるようにした。震災の影響もあり、例年より利用者数が減ったが、年末年始や年度末などは幼稚園など他の施設に通っている子の利用が増えた。

3 子育てひろばの充実

- ・3階多目的室の環境を整備して、地域の親子がゆったり保育園で遊べるオープンスペースとして解放する日を増やした。震災の影響もあったが延べ67名の利用があった。また、地域担当の副主任がファシリテーターとなる母親のための座談会【ティータイム】は食事会も合わせたので大変人気となり、参加者が増えた。

4 職員研修

- ・2010年度に引き続き、乳児保育等の研修のため今井和子先生に2回来ていただいたが、1回目は職員の求めているものとずれてしまった事もあり、2回目は事前に気になる子どものケース検討をした。これはは良き学びとなった。次年度は職員の自主性を重んじたものを取り入れたい。

5 モラルサーベイ委員会の継続

- ・職場の人間関係は他の法人の施設と比べると良い関係にあると自認している。しかし、“問題がない関係などはない”という考えのもとでアシスタント職員との関係に課題を抱える時もあったが、1人ひとりが自分の仕事を責任を持って取り組んでいけたと思う。モラルサーベイ委員会は実際には活動実態がなく日々の保育に追われてしまった。

施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：12名）
- ・産休明け保育実施
- ・延長保育実施（2時間延長）
- ・障害児保育事業実施
- ・アレルギー児に対する除去食及び代替食実施
- ・非定型一時保育（4時間を超える）実施

イ 地域子育て推進

- ・育児講座 年6回 延べ100名

- ・お年寄りとの交流 年 10 回実施
- ・退所児童との交流 年 6 回実施
- ・中高生の育児体験受入れ 年間延べ 126 名
- ・育児相談 随時実施 年間 102 件
- ・保育所体験 毎週水・金 年間 44 組
- ・子育てサークル支援 年 7 回実施 延べ 75 名
- ・子育て情報誌の発行 年 12 回 583 通
- ・外国人児童受入れ (4 名受入れ在籍)
- ・年末保育 12/29～12/30 実施 5 名
- ・育児困難家庭への支援 2 ケース
- ・出前保育 年 6 回実施 延べ 77 名

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

| クラス名 | 年齢 | 保育士数 | 園児数 | 障害児数 | 備考 |
|------|------|------|-------|------|-------------|
| ひよこ | 0 歳 | 4 | 1 2 | | 看護師 1 |
| りす | 1 歳 | 4 | 1 9 | | 保育補助 1 |
| うさぎ | 2 歳 | 3 | 1 9 | | |
| こぐま | 3 歳 | 2 | 2 0 | | |
| ぱんだ | 4 歳 | 1 | 2 0 | | 幼児保育補助フリー 2 |
| きりん | 5 歳 | 1 | 2 0 | | |
| こあら | 一時保育 | 1 | 1 0 | | 保育補助 2 |
| その他 | | 2 | | | |
| 合 計 | | 1 8 | 1 1 0 | 0 | |

イ 月別保育日数

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 合 計 2 9 5 日 |
|-------|-------|-------|-----|-----|-----|----------------|
| 2 5 | 2 3 | 2 6 | 2 5 | 2 7 | 2 4 | |
| 1 0 月 | 1 1 月 | 1 2 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | |
| 2 5 | 2 5 | 2 3 | 2 3 | 2 4 | 2 5 | |

ウ 健康管理

健康診断

乳児 毎月 1 回 (0 歳児クラス)

乳児・幼児 年 2 回 (5 月 11 日、10 月 12 日)

歯科検診 年 2 回 乳児 (6 月 16 日、11 月 17 日) 幼児 (5 月 19 日、10 月 13 日)

歯科指導 (年 5 回)

年間目標 評価・課題

「のびのびとしなやかに自分のからだを動かして遊ぶ子ども」

- ・ 月の目標、配慮、保健指導、保護者への働きかけやおたより等 年間計画に沿って保健業務を行った。受診に至る怪我は28件。昨年と比べやや増加しているが、転倒で歯を打撲する等の歯科受診が目立った。環境設定等、安全面について考え直す必要がある。
- ・ 感染症については、例年同様1～2月はインフルエンザに罹患する子どもが目立ち、3月は1～2週目の1週間で罹患者が急増したため、今後は感染症流行時の行事との兼ね合いについても考えていく必要がある。
- ・ 今後の課題は、安全面と危機管理の見直しを強化していく必要がある。

エ 保 育

各組の保育目標

きりん組(5歳児)の年間目標

- ・ 様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・ 様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して身体を動かすことを楽しむ。
- ・ 健康、安全に必要な基本的な習慣や自主、自立の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・ 様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ生活の経験を広げる。
- ・ 異年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・ 人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・ 自分の持つ好奇心や知的探究心を働かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

年間目標 評価・課題

- ・ 基本的な生活習慣が身に付き、生活や遊びを自分たちで進めていく力がついた。
- ・ 友達との遊びや関わりを通して、自分の気持ちを伝えたり、相手の思いに気づくなど、様々な経験ができた。
- ・ 様々な行事や活動を通して、達成感を味わい、自信を得て自己発揮につながった。
- ・ 人の話を聞いたり自分で考える力がついた事で、表現力が豊かになり、様々な場面で自分の意見が言えるようになった。

ぱんだ組(4歳児)の年間目標

- ・ 一人ひとりの子どもの欲求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・ 友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 意欲的にいろいろなことに挑戦し、身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。

- ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っている事を話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・自然や身近な事柄にふれ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

年間目標 評価・課題

- ・意欲的にいろいろなことに挑戦する姿が多く見られた為、その姿を大切にしていっしょに見守ったり必要に応じて援助していった。また、出来たことに対しては共に喜び、自信に繋がるようにしていった。
- ・クラスで話し合うこと、友達の前で話す機会を多く持つように心がけた。言葉で伝える楽しさを味わうと共に、伝えることの大切さや友達の話聞く大切さも話していった。
- ・トラブルの際、言葉で伝えようとするが、言い方が強くなってしまったり大声で伝えて話し合いができなくなってしまうことが多々あった。保育者が仲立ちし、優しく自分の気持ちを伝えられるように促していくと、少しずつ子ども達だけで解決できることも増えていった。

こぐま組（3歳児）の年間目標

- ・生活が自立してくることで自信をもち、自分のやりたいことを実現できるようになる。
- ・外遊びを十分にするなど、遊びの中で身体を動かす楽しさを味わう。
- ・食事、排せつ、睡眠、衣服の着脱等の生活に必要な基本的習慣が身につくようにする。
- ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、友だちと一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づき、感性を豊かにもつ。

年間目標 評価・課題

- ・手洗い、トイレ、室内での過ごし方等、基本的な生活習慣が身につくように、一人ひとりと丁寧に関わっていった。理由なども子ども達のわかりやすい言葉を選び、繰り返して伝えていったことにより、理解して行動していた。また、その姿を認めていった。
- ・友だちとの関わりの中では、自分の気持ちを言葉で伝えられるようになり、この遊びはこの子とやりたい等、友達関係も見ると見るとうちにひろがっていたので、見守っていった。
- ・発想が豊かな子がいて、その子を中心に同じ遊具でも色々な遊びへと変化したり、面白さを十分感じて遊んでいた。

うさぎ組（2歳児）の年間目標

- ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちをだせるとともに、自分のきもちを切り替えられるようになる。
- ・身体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・簡単な身の周りの活動を自分でしようとする。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びのなかで、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ・大人やまわりのことに興味をもち、見立て、つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

年間目標 評価・課題

- ・たくさんの自己主張をし、保育者に受けとめてもらうことで、少しずつ自分で気持ち切り替え、次の行動に移ることができるようになっていった。
- ・「同じ遊びをする友達」から「気の合う友達」へと友達関係や遊びが広がっていった。経験した事を遊びに取り入れて楽しむ姿があった。
- ・自分の気持ちをうまく相手に伝えられず、「バカ」「キライ」といった言葉も聞かれたがその都度、子どもの思いを聞いて言葉で相手に思いを伝えることを心掛けていった。4期になると「～って言われたら悲しいよ。」等と自分の思いを自分で相手に伝える姿も見られた。

りす組（1歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排せつ等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られる中で、他の子どもにも関心を持ち、関わろうとする。
- ・身の回りの様々なものを見たり、いじったり、身の回りの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ。

年間目標 評価・課題

- ・昨年度の今井先生の園内研修での学びを4月より生かし、まずはグループに分かれての少人数保育を大切に、その中で子どもとの関係づくり、安心できる環境づくりを心掛けていった。
- ・「イヤダ」「ジブンデ」の時期であるこの年齢。様子を見ながらフリーの保育者に臨機応変に動いてもらうことで、できるだけ個々の気持ちに丁寧に関わっていけるようにしていった。
- ・放射能の影響により、例年に比べ遊びが制限されてしまうことが多かったのは残念であった。
- ・1年を通して保護者からの要望がとても多いクラスであった。職員が協力、相談しながら、保護者の思いに耳を傾け、気持ちに寄りそっていけるよう関わっていった。

ひよこ組（0歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行なう。
- ・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快

適な生活ができるようにする。

- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排せつなどの生理的欲求をみだし、情緒の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を進め、いろいろな食に慣れて幼児食への移行を図る。
- ・優しく語り掛けたり、発音やなん語に応答したりして、発語の意欲を育てる。
- ・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能を促す。
- ・安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用品などを、見たり触ったりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

年間目標 評価・課題

- ・初めて集団での園生活を送る子ども達が安心して過ごせるよう、また保護者の方々が、安心して預けることができるよう、クラスみんなで一人ひとりにあった保育が出来るよう話し合っ、様々な欲求を受け止めていけたと思う。
- ・人との関わりの大事な基礎となるこの時期に、限られた環境の中でどのように考え、気持ちにゆとりを持って受けとめられるか、現場の保育環境の中では課題であると思う。

こあら組（一時保育）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの欲求を十分満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活や遊びを通して身体を動かすことを楽しむ。
- ・一人ひとりの家庭での生活リズムに考慮して、無理なく食事や午睡をする。
- ・安心できる大人の見守りの中で、他の子どもにも関心を持ち一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・身の回りの様々なものを見たり、触れたりして、自然や事象に興味・関心をもつ。

年間目標 評価・課題

- ・昨年度よりも仕事で一時保育を利用する家庭が減ったことと震災の影響があり、登録者数が190名近くだったにも関わらず、定員が10名に満たない日が多かった。来年度、利用者ニーズをリサーチし、一時保育のあり方を再検討していく必要がある。
- ・ひとり一人が安心できる場所になるよう保護者との信頼関係を築きながら丁寧に保育をしていった。子どもに合った遊具や絵本を増やすことで、子ども自身も保育園で過ごすことを楽しみにしていた。
- ・子ども同士の関わりでも、顔や名前を覚えて保育者に「いつ来るの?」と聞いてきたり、登園してきた子に「おはよう」と声をかけたり、慣れてきた子が泣いている子を慰めるような微笑ましい姿もみられた。

2011年度実施行事

4月 1日 入園式 (82,730円)

5月20日 親子遠足 (大島小松川公園・風の広場) (バス代1,600円 職員分)

6月 6日 子どもの日花の日礼拝 (3,000円)

- 7月 4日 夕涼み会 (20,000円)
- 14～15日 年長お泊まり保育(ファミリーロッジ五日市) (109,497円)
- 27～29日 小中学生キャンプ(五日市青少年旅行村) (520,000円参加者徴収)
- 7月21日～8月31日 中高生ボランティア受け入れ
- 9月15日 祖父母会
- 10月 8日 ファミリーデー (171,462円)
- 10月21日 いもほり遠足(幼児) (206,937円)
- 11月 1日 収穫感謝祭
- 12月17日 クリスマス礼拝・祝会 (219,853円)
- 地域ともしびクリスマス
- 1月12日 餅つき会 (7,320円)
- 2月24日 大きくなったね遠足 (45,360円)
- 3月17日 卒園式 卒園を祝う会 (243,725円)
- 月例行事 誕生会 (プレゼント350円×110名、バースデーファイル280円×110名)

年間行事 評価・課題

- ・やはり震災の影響から、遠足や園外保育はしばらくは慎重になる。震災直後の5月の親子遠足は観光バスを使わない地域の公園に変更して行った。放射線を心配して土手や公園もしばらくは制限した。
- ・夏以降はお泊まり保育をはじめ、キャンプも芋掘り遠足も例年と同じように行うことが出来た。
- ・年長きりん組が同法人の神愛保育園の年長ひまわり組とお泊まり保育が同じ場所ということがきっかけで、お互いの保育園に行き竜陣太鼓を教えてもらったりして、交流することができた。

オ 栄養管理

集団給食施設栄養報告 年4回

食事年間目標

- ・食べ物の大切さ、食事の楽しさ、感謝する気持ちを伝える。
- ・クッキングを通して作る事の楽しさを知る。
- ・3食育を通じて「食」に興味を持つ。

栄養管理 評価・課題

- ・栄養士が子どもと一緒に食事をする中で、食べることの楽しさやマナーを伝え、日々の食事を大切に心がけることができた。また、栄養三色ボードを使い栄養と身体について話をしたり、食器の置き方について具体的に分かるよう、写真を展示することができた。
- ・食物アレルギー児に対して、保育士ときちんと毎日確認をして、誤食が無いよう十分気をつけた。
- ・内部被曝のリスクを減らすため、出来るだけ食材を検査済みのものや安心できる地域のもの

のを仕入れるよう心がけてきた。

カ 安全管理

- ・救急救命講座 AEDの使い方講習会 日 (大人対象)
- ・非常災害時の避難訓練 毎月一回
- ・引き渡し訓練の実施 (9月1日) 緊急時・災害時カードの導入 緊急メールの活用
- ・危機管理マニュアルの整備

安全管理 評価・課題

- ・3/11の震災を経て、保育園の最優先課題が「子どもの命を守るため」として、緊急時の対応マニュアルの整備や月ごとの避難訓練の内容をチェックしてより現実的なものに変えてきた。
- ・東京湾や荒川も近くにあるため、津波や浸水被害を想定しての避難訓練も行った。大津波を想定して、近隣のビルに緊急時の避難所としての依頼もした。
- ・簡単メールは震災後は特に重要視して、登録者も99%になった。保護者との速やかな連絡を緊急時のみでなく、感染症や行事のお知らせなど頻繁に活用してきた。
- ・日本全体が余震や地震が群発してきている。首都直下型を想定して具体的で現実的な避難マニュアルを作成していくこと、地域との連携を強めていくことが必須である。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

| | |
|-------------|-----------------|
| 園 長 | 1名 |
| 主 任 | 1名 |
| 副 主 任 | 1名 |
| 保 育 士 | 18名 |
| 調 理 員 | 2名 (栄養士含む) |
| 看 護 師 | 1名 |
| 嘱 託 医 | 2名 (非常勤医師・歯科医師) |
| 非常勤職員、パート職員 | 17名 |

イ 健康管理

健康診断 年2回 (5月11日に集団検診、9月以降 寿康会健診センターにて個々に健診)
細菌検査 年12回 (職員全員)

ウ 職員会議

定例会 毎月1回 乳児・幼児カリキュラム会 毎月1回
行事前打合せ会 (随時)
期別反省会 (年3回) 年度末会議 6回

会議 評価・課題

- ・行事等の打ち合わせはできるだけ午睡時間にあててきたが、行事前の職員会や年度末の会議はどうしても長引くことが多くなった。会議に参加する一人ひとりの職員の意識を高めていくべきであろう。（意見を言う人、言わない人とわかれつつある）
- ・子どもについてや行事のあり方について、じっくり話し合い、共通認識を持つ為の会議を今後は重要視して入れていく必要がある。

エ 研修計画

- ・園内研修 年5回
- ・法人内研修 階層別・職種別研修
- ・全国私立保育園連盟保育カウンセリング研修 5名参加
- ・厚生労働省 ・江東区保育課 ・全国保育協議会 ・東京都社会福祉協議会
- ・全国私立保育園連盟 ・東京都民間保育園協会 など

研修 評価・課題

- ・園内研修は外部講師として2年連続今井和子先生に来ていただいた。1歳児2グループ制の動きのアドバイスしていただいたり、気になる子どものケース検討をしたが、限られた時間の中で職員全員が満足するものになるには難しかった。
- ・保育カウンセリング研修は保育士以外にも、保護者との相談・面接が多い栄養士や看護師にも参加してもらった。

オ 退職・福利厚生

- ・独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入
- ・東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- ・株式会社リラックス・コミュニケーションズ 福利厚生倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務 ・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

事務関係 評価・課題

- ・事務の非常勤職員は9月まで週3日勤務の専任がいたが、10月からは保育アシスタントと兼務だったので、事務仕事を園長や主任が負担するものが増えてしまった。

・管理職(園長・主任)の仕事量を副主任や事務職員と分散させてはきたが、より会計や事務仕事の内容を整理して分担していく必要がある。

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

- ・放射能の空間線量がこの地域としては高かったので、7月に砂場の砂と植え込みの土を削り砂を入れ替えて除染した。(除染費用 64,050円)

イ 設備の点検・修繕

- ・外部階段手すり改修工事 (395,850円)
- ・食器消毒保管庫修理 (129,150円)
- ・給食用ワゴン修繕 (16,485円)
- ・園内消毒、害虫駆除 (99,960円)

設備関係 評価・課題

・外階段の手すりに子どもが乗って危険なため外側から内側に改修した。
 ・幼児クラスの布団棚の修理がなかなか進まず、年度を越してしまった。修繕と言うより扉そのものを別の形にリフォームすることになり2012年度早々に工事をしていく。
 ・園庭のデコボコはその都度マットをひいたり土を盛ったりしてきた。庭半分が全天候型に加工されているため改築当初のように戻すにはだいぶ経費がかかる。次年度以降の課題である。

(3) 備品関係

ア 備品購入

- ・3歳児こぐま組網戸 (63,000円)
- ・液晶テレビ (30,800円)
- ・ワイヤレススピーカー(地域補助金) (91,700円)
- ・加湿器 (15,420円)
- ・ヒムプレーヤー (141,750円)

イ 保育用品購入

- ・新年度準備用品 (418,747円)
- ・各クラス遊具 (205,465円)
- ・砂場遊具 (36,500円)
- ・月刊絵本 (47,880円)

ウ 給食用品購入

- ・新年食器類の補充 (54,440円)

エ 固定資産物品購入

- ・ヒムプレーヤー (141,750円)

備品関係 評価・課題

- ・震災後、危機管理に必要な備品の購入が増えた。素早い情報を入手するためにテレビを設置したり、ノーパンクタイヤの自転車（施設強化推進費補助金）を購入した。
- ・各クラスの保育室の環境設定では小さな遊具を揃えたり、手作り遊具を作るなど工夫して出費を抑えた。

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

避難降園訓練（引き渡し訓練）9月1日

イ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄

- ・スーパー保存水4ケース・アルファ米5K×4箱・炊き出しセット五目御飯5k×2箱
豚汁30人分×3缶・白粥40g×24袋・保存用ビスコ4箱
非常用備蓄おやつ 7袋×7個 その他使い捨て容器（お椀・皿・スプーンなど）
防災用品の購入（162,960円・ノーパンクタイヤ自転車含む）

災害対策 評価・課題

- ・毎年の施設強化推進費補助金（15万円）を利用して、災害時に活用できるノーパンクタイヤ自転車や炊き出し用のかまど、水害用の土のうなどを購入した。
- ・23年度に限って江東区災害対策補助金があり、非常時備蓄食料を中心に揃えることができた。（55,000円）

3 地域社会との連携

- ・コーラスともしび（中高齢者コーラス活動）との交流、園行事の参加
- ・東陽・大島・深川北・南砂子ども家庭支援センターとの連携
- ・近隣の中高生の保育ボランティアの受け入れ（延べ126名）

地域社会との連携 評価・課題

- ・元園長の芳賀先生に職員向けキリスト教勉強会を月1回昼に行った。前期は新人向け、後期はリーダー職員向けと対象を変えて聖書研究をした。アドベント礼拝や地域ともしびクリスマスでも礼拝説教を依頼し引き続きミッションの学びをしてもらった。
- ・昨年からの第五砂町小学校と5・5交流（五年生と五歳児）と称して、五年生が保育園に来たり年長が学校探検や学校給食を一緒に食べるなど、積極的な学校との交流をしてきた。今年も5砂小の研究授業にも参加し、より小学校との関係を深める取り組みができたが、5砂小以外でも交流していくことが課題である。

4 その他

- ・2月に利用者に対するアンケート調査の実施した。

- 光の園保育学校は「キリストの愛により共に育ち合う」ことを保育方針としている。保育を通して、子どもだけではなく、保護者も家庭も職員も、そして地域も、キリストの愛によって共に育つことをめざしてきた。そうした中で子どもたちは「神と人から愛されていることを知り、自分や周りの人を大切にできる子ども」としての成長を願い、大切に保育していることを、新入園児説明会や入園式の時や、4月と5月の園だよりやクラス懇談会、父母の会等を通して全園児の保護者に機会あるごとに伝えてきた。
- 今年度はモラルサーベイを継続しながら、新しく産業医と契約を結び、安全衛生委員会を2カ月に1度実施してきた。墨田区内の保育園（光の園、押上）、4つの児童館、本部と産業医の小玉医師と連携しながら、労働災害の防止と快適な職場環境の整備を図り、職員の安全と健康を（メンタルヘルスも含む）を学びつつ実施することができたことは大きな安心でもあり、心強いものとなった。
- 利用者に対するアンケート調査を行い、導入し、全職員で保育の質の向上に繋がるよう話し合い、共通理解をするとともに、利用者対応に関しては、全職員が丁寧に寄り添う関係、利用者にとっての最善の利益を考えながら保育をしてきた。保育は一人で負うのではなくチームワークであることを確認し、管理職、保育士、看護師、調理、事務がそれぞれの役割を担いながら連携していくことの大切さを学び合うことができた。まだ課題は沢山あるので、引き続き保護者対応や一人一人の子どもに寄り添う関係を大切にしていける保育を目指していく。
- 環境整備として建物や備品が古くなってきているので修理、修繕に費用が多くかかっているもも組（1歳児低月齢）の手洗いとトイレが設置できる方法を考えていく必要がある。
- 地域との連携
 - ・ 本所賀川記念館、東駒形教会の三法人で行っている「地域連絡懇談会」が定着してきて、地域の主任児童委員、民生委員の方からのお話を聞き、「地域から見えてくる地域福祉」を学び合うことができた。
 - ・ 幼、保、小、中、連絡協議会に参加し地域の学校との連携を密にしていた。（本所中学校にて）また、気になる子どもたちの保育、生活等心理の先生を通して相談や、アドバイス、指導を定期的に受けることで、保育者にとっても良い学びの時となっている。
- 今年度は地震、放射能等の不安や心配が、園の日々の生活や行事などでも大きな課題となり、職員や保護者の方々と話し合うこと、考え合うこと、理解し合うことが沢山あった。今後もこの課題は継続して対応して考えていくことになる。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：18名）
- ・ 産休明け保育実施（43日から）
- ・ 延長保育実施（2時間延長）
- ・ 延長保育事業（零歳児の受入れ）
- ・ 障害児保育事業実施（特児対象：2名、その他：7名）
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施

イ 地域子育て推進

- ・育児講座 年3回実施
- ・お年寄りとの交流 年26回実施
- ・退所児童との交流 年6回実施
- ・小中高生の育児体験受入れ 年27日間受入れ
- ・育児相談 随時実施
- ・保育所体験 年26回 378人受入れ実施
- ・調理講習会 年3回
- ・外国人児童受入れ 2名受入れ在籍
- ・年末保育 12/29実施 36名、30日 11名
- ・在宅支援 パートナー登録者 59名
- ・出前保育 年8回 1回につき約92名 約46組
- ・ナースリールーム 年15回 1期5回9組、2期5回12組、3期5回9組

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

| クラス名 | 年齢 | 保育士数 | 園児数 | 障がい児数 | 備考 |
|---------------|----|------|------|-------|-------------------------|
| つぼみ組 | 0歳 | 7名 | 18名 | 0名 | 内分園リーダー1名 |
| もも組 さくら組 | 1歳 | 4名 | 24名 | 0名 | 心室中隔欠損症：1名 結節性硬化症：1名 |
| たんぼぼ組 すみれ組 | 2歳 | 4名 | 24名 | 0名 | 心理相談：1名 |
| ちゅうりっぷ組 | 3歳 | 2名 | 28名 | 0名 | 心理相談：3名 |
| ばら組 | 4歳 | 2名 | 28名 | 0名 | 心理相談：2名 |
| ゆり組 | 5歳 | 2名 | 28名 | 0名 | 心理相談：1名 |
| その他 | | 3名 | | | 地域活動担当等 |
| 合計 | | 24名 | 150名 | 0名 | |

イ 月別保育日数

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合計 295日 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|
| 25日 | 23日 | 26日 | 25日 | 27日 | 24日 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 25日 | 24日 | 23日 | 24日 | 23日 | 26日 | |

ウ 健康管理

健康診断

- 乳児 毎月1回
- 幼児 年2回(5月、10月)
- 歯科検診 年2回(5月、10月)
- 蟻虫卵検査 年2回(6月、11月)

エ 保 育

各組の保育目標

ゆり組（5歳児）の年間目標

- ・さまざまな活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・さまざまな遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しみ、新しい体験にチャレンジする。
- ・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
- ・異年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・自分のもつ好奇心や知的探究心を発揮することにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じたことや思ったこと、想像したことを自由に工夫して表現する。

年間目標 評価・課題

園児の「朝の集まり」の他に、今年度より「帰りの集まり」を取り入れ、翌日への期待を持てるようにしてきた。それらの中で自分たちで気付いたこと、考えたことを友だちと共有する時間を持つことができたことは良かった。

お泊り保育やファミリーデイ、ページェントなどの行事を通し一人ひとりが自己発揮すると共に、友だちと認め合いながら生活する中でクラスとしてのまとまりができてきた。

日々の生活の中で、異年齢の友だちに興味を持ち様々なことをお世話し、一緒に遊ぶこと、楽しむことができた。探究する生活の中で、疑問に感じることもある場合、本や図鑑を見て友だち同士で知識を得、一緒に考え伝え合うことを楽しんでいる姿が見られた。また廃材を利用し、イメージしたものを形に表わす力も育ってきた。

ばら組（4歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・友達と遊ぶ喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
- ・健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・自然や身近な事がらに触れ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

年間目標 評価・課題

4、5月は小さな集団で一緒に遊んでも個々の遊びが目立ち、自分の思いとは違ったりする時、引っ掻きや手が出ることも多く、友だちの思いを考慮することができなかったが、グループ活動や他クラスとの交流、日々の保育を経験していく中で少しずつ集団ということに気付くトラブルが起きても、自分の気持ち、思いを伝えたり子どもたちの中でどうしたら良いかなど考えられる姿が見られるようになってきた。戸外、室内あそびにおいてもルールのある遊びを楽しむようになり、鬼ごっこのルールを自分たちで確認して始められるようになった。5歳児との関わりが多い中で、教えてもらったことを小さい3歳児に教えてあげる姿が見え、一年間の子どもたちの心身の成長が感じられた。

ちゅうりっぷ組（3歳児）の年間目標

- ・生活が自立してくることで自信をもち、自分のやりたいことが実現できるようになる。

- ・外遊びを十分するなど遊びの中で身体を動かす楽しさを味わう。
- ・食事・排泄・睡眠・衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
- ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ、美しさなどに気づき感性を豊かにもつ。

年間目標 評価・課題

12人のクラスから、28人の大きい集団のクラスになるので、最初は2グループの小さい集団で生活し、安心して生活できるように配慮した。子どもからの声や思いを大切に遊び、生活、活動を提供したことで、一人ひとり自らすすんでやりたいことや好きな遊びができていた。友だちとのトラブルの中で自分の気持ちを相手に伝えていけるように、個々に話したり、みんなの前で話をしたり、友だちの話を聴ける環境づくりをしてきた。気になる子、配慮児に対して、保育者が関わるように子どもたちも同じような声かけや援助をし、クラスの大切な友だちとして受け入れてきた。

たんぽぽ組 すみれ組（2歳児）の年間目標

- ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを出せると共に、自分の気持ちを切り替えられるようになる。
- ・身体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ・大人やまわりのことに興味をもち、みため、つもり遊びを通してイメージを豊かに広げている。

年間目標 評価・課題

生活面では前期は月齢差、個人差が大きいので個別に関わることを大切にし、後期は自分で出来た達成感を味わい自信につながるような援助をしてきた。担任同士、時にはクラスを超えて、協力し合い保育者と子どもと一対一の時間を作り個別対応ができるようにした。戸外では忍者ごっこなどで積極的に体を動かせるようにし、室内でもリズムあそびやリトミックなどで楽しく体が動かせるようにしてきた。関わりの中で子どもたちの葛藤を見守り、時には思いを言葉で代弁したりしながら、待つことを大切にしてきた。ままごとやブロックあそびなど子どものイメージが広がるよう援助してきた。また、植え込みなどに配慮しながら戸外遊びを積極的に行い、自然物に触れたり、季節の移り変わりに気付けるように豊かな時を大切にしてきた。

もも組 さくら組（1歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られる中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
- ・身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心をもち、もつ。

年間目標 評価・課題

子どもたちの自己主張を受けとめながら、友だちとトラブルに成りそうな時、その関係を大切にし、保育者が仲立ちしながら子どもの気持ちを言葉で代弁し、気持ちが十分に満たされる

ような関わりを心がけてきた。散歩に出かけ、広い場所で思い切り体を動かし、歩行することを楽しむ機会を作ってきた。また、室内では手指の発達を促し遊びや生活を通して一人一人が楽しく取り組むことができるように配慮してきた。その事を通して、子どもたちは自分がいつも保育者にしてもらっていることを、そのまま人形あそびに再現するところから、関わりが広がり色々な友だちと遊ぶ姿が見られるようになった。放射能による影響によりいつものように、草花や落ち葉に触れて遊ぶことが出来なかったが、散歩にでかけ木々の色づきや風の温かさや冷たさを感じることで季節の移り変わりを知ることができるような声かけをしてきた。

つぼみ組（0歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行なう。
- ・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活ができるようにする。
- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を進め、いろいろな食品になれ幼児食への移行を図る。
- ・優しく語りかけたり、発声や喃語に応答し、発語の意欲を育てる。
- ・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能を促す。
- ・安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具などを、見たり、触れたりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

年間目標 評価・課題

ゆるやかな担当制をとることで子ども一人ひとりの甘えや欲求を細やかに受け止め発達を促すことができた。冷凍母乳も保護者のニーズに応え今年も対応してることができた。低月齢、高月齢に分かれているが、18名の子どもたちを全員で見守るように心がけてきた。できるだけ戸外に出て自然を感じたり、地域の方々との関わり持てるように配慮してきた。今年度は保護者の放射能への心配に対応するため、雨の翌日は散歩や砂場あそびは控えるなどし、また、放射線量の測定値を確かめた上で徐々に外での活動を増やしていった。一人ひとりの発達に応じて玩具、絵本などの入れ替えをし、自ら興味を持って動きだしたくなるように環境を整えてることができた。食事に関しては栄養士と担当が連絡し合い食材の形態など、個々に合わせて離乳食を進めることができた。また、アレルギー対応についても看護師にアドバイスをもらい、細やかな対応ができた。

2011年度実施行事

| | | | | | | |
|-----|------|--------------------------|--------|----------------|-----|---------|
| 4月 | 1日 | 入園式 | 3日～9日 | 家庭訪問 | 11日 | イースター礼拝 |
| 5月 | 20日 | 幼児親子遠足（4、5歳児） | | | | |
| 6月 | 11日 | だんご虫広場（1年生の会） | 13日 | 子どもの日花の日 | | |
| | 29日 | プール開き | | | | |
| 7月 | 7～8日 | お泊り保育（年長） | 15～16日 | お泊り保育（年中） | | |
| 9月 | 6日 | 創立記念日 | 9日 | 祖父母招待会 | | |
| 10月 | 1日 | ファミリーディ | 14日 | 芋ほり遠足（5歳児、4歳児） | | |
| 11月 | 3日 | バザー | 18日 | 2、3歳親子遠足 | | |
| | 24日 | 収穫感謝祭 | 25日 | お料理パーティー | | |
| 12月 | 17日 | クリスマス礼拝（ページェント）、卒園児クリスマス | | | | |
| | 27日 | 餅つき | | | | |

2月 24日お別れ食事会
 3月 9日年長親子遠足 12日 卒園式 23日 進級式
 月例行事 誕生会

年間行事 評価・課題

5月の幼児親子遠足については、3. 11の地震・放射能等のことを考え4、5歳児親子でなにかあってもすぐに園に帰ってこられるように、子どもたちの大好きな、近くの隅田公園に行つて親子、職員との親睦、交流の時を持つことができた。また、2、3歳児親子遠足も秋に隅田公園で一日子どもたちの好きな遊びを、お母さん、お父さん職員とで楽しい交流や親睦の時を過ごすことができた。2、3歳児の親子遠足は少し寒くなる時期だったので、もう少し暖かい時期に設定した方が良いと実施時期についての課題が残る。

他の行事に関しては、楽しく無理なく行うことができて良かった。特にファミリーデイは天気恵まれ、外手小学校の校庭で行うことができたことは非常によかった。クリスマス礼拝、ページェントのビデオ撮影を保護者が撮らないで自分の目や、心をこめて参加できたことは、子どもと同じ気持ちで参加できて大変良かった。最後に、今年度は全ての行事に関して、地震・放射線対策を考える必要があり、いろいろな心配をしながら、また、想定をしながら事を進めなければならなかったことは、今までと大きく異なることであった。

オ 栄養管理

- ・ 集団給食施設栄養報告 年4回
- ・ 栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
- ・ 季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
- ・ 給食供給者としての諸管理

栄養管理 評価・課題

- ・ アレルギー児の代替え食対応が増えているので、個人献立表を作成し毎週行っているカリキュラム会議でも確認し合ったり、調理室内での朝のミーティングを密にして間違いがないようにしてきた。
- ・ 調理と保育との連絡を密におこなった結果、間違いがないように、アレルギー専用の食器やトレイを使用したり、名前カードをつけたりして、誤食がないように気をつけ、それぞれの子どもに提供することができた。
- ・ 食育やクッキング保育は年間カリキュラムをたて調理と保育とが連携し、見通しを持って進めることができた。今年度も子どもたちに好評だったのは一匹丸ごと、さんまを焼いて食べたこと。食育という視点からも良い経験となった。
- ・ 今年度は放射線量のことが心配され、常に食品の産地のことに気を使い、業者とも常に連絡を取り合い安全だと思われる産地からの食材を用いてきた。2月、3月は区を通して食材の放射線量の測定を月1回ずつ、1日の昼食、おやつ、夕食分の献立分実施できたことは良かった。

カ 安全管理

- ・ 交通安全教育 (1月20日) その他、随時、各クラス散歩の度に行なっている。
- ・ 非常災害時の避難訓練 (9月1日)
- ・ 引き渡し訓練の実施 (9月1日)
- ・ 防犯訓練 (6月17日)

安全管理 評価・課題

環境整理マニュアルに基づいて定期的に点検をしている。

引き渡し訓練を今年度も消防員立会いのもと行う。今年は今にも雨が降りそうだったのでピロティでの引き渡しをおこなった。臨場感がありいつもより保護者の協力も多く得られた。保護者の方も広域災害には危機感をもっているため、かんたんメールや園便りにも、避難場所等を詳しく記載した。消防員とのカンファレンスでは火災の時は外に避難した方が良い

が、地震や津波などの時は屋内・高い場所にいた方が安全で良いとの指導を受ける。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

| | |
|-------------|-----------------------|
| 園長 | 1名 |
| 主任 | 1名 |
| 保育士 | 24名 (内 育児休暇中1名、休職中1名) |
| 栄養士 | 3名 |
| 看護師 | 1名 |
| 嘱託医 | 2名 (非常勤内科医師、歯科医師) |
| 産業医 | 1名 |
| 非正規職員、パート職員 | 27名 |
| 講師 | 4名 |

イ 健康管理

- ・健康診断 年1回
- ・細菌検査 年6回
- 給食、0歳児調乳担当のみ毎月1回

ウ 職員会議

- ・定例会 毎月 1回
- ・行事前打合せ会 (随時)
- ・0歳児、乳児、幼児、食事等各カリキュラム会議(月1回)
- ・期別反省会 (年3回)

会議 評価・課題

会議の目的にあわせ、会議の前に工夫企画できたことがよかった。法人の事業基本理念や保育ブロックの事業目標等を会議の初めにみんなで唱和することで、理念や目標の共有化ができたことは良かった。課題となっていた、保育当番のため会議に出られない職員に関する会議内容の伝達の方法として、議事録を読み確認をしていくことで、全員が会議内容を把握できるように徹底している。会議時間を配分しながら時間内に終了するように、主任、リーダー会でアジェンダの確認をし工夫した。また幼・乳・0歳児のカリキュラムの内容や検討事項、課題、報告などの工夫や共有事項などをコンパクトに要領よく話し合うことで昼間の会議が充実し、その分それぞれの夜の会議時間が短縮されてきた。

エ 研修計画 (研修費用)

- ・園内研修 年7回 約5万円
- ・法人内研修 ・保育ブロック研修
- ・保育団 全国私立保育連盟研修参加
墨田区保育協会主催の研修 (年4回) 約2万円
東社協の研修

研修 評価・課題

園内研修がスキルアップにつながるように、今学ぶべきことをリアルタイムでグループに分かれて学び合ったり、看護師による救急法や嘔吐などの応急手当てを学ぶことで、具体的に保育の中で使える内容を充実させ学んだ。(リトミック、わらべうた、環境チェック、救急法、発達障害と児童虐待等)今年度は特に、メンタルヘルスについて、ほとんど全職員が産業カウンセラー協会の研修に参加できたことは、大きな収穫であった。また、区、私立保育園協会で開催している研修にも職員の参加が多く、スキルアップに繋がるものと思っている。危機管理研修も墨田区での死亡事故を通して、何度も検証を含め研修が開催されたので、研

修を受けた者が全職員と内容を分かち合い、日々の保育の中で起こさないようシュミレーションし、リスク管理を強化した。また、危機管理時の優先順位を共有して、学び合った。

オ 退職・福利厚生

- ・独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入
- ・東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- ・株式会社リラックス・コミュニケーションズ 福利厚生倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務 ・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

事務関係 評価・課題

- ・ 園長、主任、事務パートでの職務分担を話し合い実践を重ねることで、事務作業に追われながらも対応できるようになってきている。
- ・ 職員の事務作業に関して、PC 対応が必要なものが増えてきているので、安全でスムーズにいくように配慮して設置し、DVD も含めて必要機種などを購入し、保守点検やメンテナンスなどの充実に力を入れてきた。

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

園庭アスレチックの点検と修理 箱ブランコの修理 2台（97,000円）

イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新

- ・ 保育室サッシのカギ取り換えと修理
- ・ トイレ改修、男子用便器を新しく取り換える。水洗用タンクの取り外し工事
3歳児トイレ、4歳児トイレ、5歳児トイレ（490,000円）
- ・ 1階、2階のトイレの窓の網戸を設置する。その他（148,000円）
- ・ 電気工事208,000円）
- ・ 2歳児クラス（すみれ）の空調機（462,000円）
- ・ 分園給湯器工事（500,000円）

等

設備関係 評価・課題

- ・ 園舎が老朽化しているため修理、補修が常に必要となっている。今年度は園庭遊具の修理をはじめ、網戸の設置、幼児トイレの工事や節電のための、電気工事などをする。また空調機や分園の給湯器が寒い時期に老朽化により壊れてしまい、急ぎで新しく設置することになっ

た。いろいろな面で大きな費用がこれからも必要になる可能性が予想される。

(3) 備品関係

- ア 保育用品購入
 - ・ 各クラス用遊具
- イ 給食用品購入
 - ・ 食器、器具など
- ウ 固定資産物品購入 なし

備品関係 評価・課題

職員の仕事の合理化のために IT 環境を整えることにした。また子どもたちの生活や遊びの環境を保証し整備することの大切さから遊具を整え、安全で楽しく過ごせるように、常に安全チェック表をつけ、不備がないように全員で確認し、共有していくことにした。また、延長時間の間好きな遊びが一人ひとりできて、安心して落ち着いて過ごせるような玩具を整えていきたい。

(4) 災害対策

- ア 避難訓練
 - 毎月 1 回
- イ 防災設備の点検委託
 - 年 2 回 (内、届け出 1 回)
- ウ 非常食糧の備蓄
 - (全園児数 + 全職員数) × 3 食 × 3 日分と水を備蓄

災害対策 評価・課題

備蓄している物の賞味期限を定期的に点検する。それとともに期限前に順次使っていく、そのたびに補充している。
防犯訓練を今年は 1 回行なったが、建物の構造上、誰でも出入りが出来るので、現在すぐできる所から見直し、ピロティへの鍵や 2 階のセキュリティドアを時間により施錠するようにした。保護者の方にも協力していただき、現在は暗証番号で出入りをしている (分園と本園 2 階)。3 月 11 日の大震災後建物の点検ではヒビが入った園庭 (砂地) や壁や通路脇に隙間が開いてしまった所等について、専門家のチェックを受けた。地震も以前より発生しているので、その都度園内放送で TV からの情報を伝え、子どもの安全を第一に守り園生活を過ごした一年間であった。

3 地域社会との連携

- ・ 東駒形教会、賀川記念館との連携及び法人地域関係機関との連携。
- ・ 墨田区シルバー人材センター内のボランティア団体「どすこいくらぶ」との定期的な交流。
- ・ 墨田福祉保健センター「みつばち園」「横川小学校」「本所中学校」とのネットワークを強めていくことができた。
- ・ 来年度以降、子育て支援総合センターとの連携を必要に応じておこなっていく。

地域社会との連携 評価・課題

・ 本所賀川記念館内の三法人で連携しながら館設備のことや事業内容等について月 1 回報告、検討し合っている。行事関係や子どもや職員の礼拝等大きな支えとなっている。
・ 今年度は地域連絡懇談会の中で 2 名の地域の民生委員から話を聞き、地域からの声を聞くことができた。(5 月、2 月)

- ・地域の横川小学校との就学前プログラム等の連携を持ち、年長組の子どもたちと小学校の子どもたちや先生と豊かな交流を持つことができた。また、賀川記念館学童クラブとの交流を通して、年長組の子どもたちも、学校、学童への認識や楽しさを感じたりしながら過ごしている姿が見られた。
- ・幼、保、小、中の連絡協議会に参加し、互いの状況や、情報の共有、相談等の連携を作り繋がりを大切にしている。
- ・これからも子どもをとりまく地域との関わりが広まり、繋がり、顔が見える関係が構築できるように関わりを作っていくことを大切にする。

4 その他

- ・災害対策委員会を設置する

園長、主任、リーダー、分園リーダー、調理リーダー、看護師をメンバーとし災害対策マニュアルの見直し、有事の時に備えることを再確認した。

- ・産業医の小玉医師と法人、光の園保育学校、押上保育園、区内の法人児童館で安全衛生委員会を設置し、光の園に集まり、それぞれの抱えている衛生管理上の課題を話し合い、産業医から、情報を得、指導を受けることができたことは大変心強く、次の目標を掲げ、それに向かってプログラムを立て実行していくことができた。今後の課題として、他施設と情報や学ぶことを共有しあいながら、問題意識を持ち寄れる場として継続していきたいと願っている。
- ・2012年度は、近隣にグループ型小規模保育室として、「ぶどうの木保育室」を立ち上げる準備を行う。6月中旬オープンを目指す。
- ・2月に利用者に対するアンケート調査実施した。

以上

2011年度は主任が交代し、新たに副主任を据えた体制でスタートする。年度後半、練馬区立光が丘第六保育園への職員の異動はあったが、その他は職員の異動がほとんどなく、職員集団は安定してきた。今までの保育を大事にしながら、園内研修、外部研修、SDSに取り組み、会議などを通して、保育の質の向上を目指した。

特にSDSは全員が各自のテーマを持って取り組み発表の機会を設けた。今後も質の充実を図れるよう取り組んでいきたい。また、2つの学童保育クラブと保育園の連携、職員の働き方などを見直し、より良い形を模索中である。

一時保育は多くの利用があり受付、連絡、電話対応、集金等の事務量が多くなり、システムの効率化を図っている。一時保育は地域の中でも認知度が上がり、緊急一時保育の利用も多くなった。

子育て講座なども含めて地域活動をいろいろ行っているが、地域のニーズを考えて、内容、時間、場所など見直ししていくことが課題であった。ひろば活動（子育てサークル支援）は参加者が少なく、次年度は見直ししていく方向である。

東日本大震災後、放射線量、食材、園生活等に関しては区の指導に基づき対応してきた。心配な事は職員間で確認してすすめてきた。園舎の耐震検査を行い、基準値内であった。家具等の転倒防止取り付け、ガラスの飛散防止フィルム貼りを業者に依頼し行った。今後の災害に対する備えを次年度も継続して取り組んでいく。

建築後43年、大規模修繕後22年のため、修繕の必要な箇所が増え、空調、電気系統の修理も多くなってきている。将来的な建て替えに向けて堀切教会との話し合いもスタートした。堀切の地で保育園、学童保育、一時保育を含んでどのような事業が必要とされ、展開できるのか話し合いを重ねて行きたい。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：10名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育実施（1時間延長）
- ・ 延長保育事業（1歳以上児受入れ）
- ・ 障がい児保育事業実施
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施
- ・ 一時保育事業

イ 地域子育て推進

- ・ 小中高生の育児体験受入れ 年20日間受入れ
- ・ 育児相談 随時実施
- ・ 保育所体験 年20回・20人受入れ実施
- ・ 出前保育 年7回実施
- ・ 子育てサークル支援（ひろば） 年6回実施
- ・ 子育て情報誌の発行 年10回発行
- ・ 育児困難家庭への支援（1名受入れ在籍）
- ・ 年末保育 12/29実施

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

| クラス名 | 年齢 | 保育士数 | 園児数 | 障がい児数 | 備考 |
|------|------|------|-------|-------|-----|
| ひよこ | 0歳 | 3 | 10 | | 看護師 |
| うさぎ | 1歳 | 3 | 15 | | |
| こあら | 2歳 | 3 | 18 | | |
| ひつじ | 3歳 | 2 | 19 | | |
| ぱんだ | 4歳 | 1 | 17 | 1 | |
| きりん | 5歳 | 1 | 19 | 1 | |
| こぶた | 一時保育 | 2 | 10名定員 | | |
| その他 | | 1 | | | フリー |
| 合計 | | 16 | 98 | 2 | |

イ 月別保育日数

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合計 297日 |
|-----|-----|-----|----|----|----|---------|
| 25 | 23 | 26 | 25 | 27 | 24 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 25 | 24 | 25 | 23 | 24 | 26 | |

ウ 健康管理

健康診断

0歳児 毎月

乳児・幼児 年2回(6月、11月)

歯科検診 年2回(6、11月)

蟯虫卵検査 年1回(5月)

エ 保 育

各組の保育目標

きりん組(5歳児)の年間目標

- ・年長児としての自覚を持ち、生活の仕方などを確認し、決まりや約束を守って行動する。
- ・自分たちで考えたことを遊びの中で実現したり、表現したりする楽しさを体験する。
- ・自分で考え行動へと移すことができる。
- ・自分の思いや考えを相手に伝え、友だちに自分の思いを聞いてもらう喜びを味わう。

年間目標 評価・課題

集団生活の中で約束を決め、友だちと協力しあって当番活動を進めていくようにしていった。その中で自分の居場所を作り、さらに友だちといることで安心してすごせるようになった。いろいろな行事を体験し「自分のことは自分です」「一つのことをやりとげる」など身につくことができた。また、異年齢クラスとの関わりを通して年長児としての自覚を高めることができた。

ぱんだ組（4歳児）の年間目標

- ・友達と一緒に充分遊ぶ。
- ・自分の持っている力を出し合って行動する。
- ・物事に対する関心を深め、考え表現する。
- ・基本的生活習慣が身につく

年間目標 評価・課題

個人の自己主張が激しく、手の出るトラブルが前期に多く見られた。個人別に注意しつつ、クラスでも「いけないこと」として全体に投げかけ、全体のルールとして確認できた。障がいを持った子がいる中、療育施設でのサポート内容や方法などもっと聞いて連携を取っていったら良かった。

ひつじ組（3歳児）の年間目標

- ・自分で出来ることは、自分です。
- ・体を使ってよく遊ぶ
- ・みんなで遊ぶ楽しさを知る。
- ・自分の思いや感じたことを言葉で伝える。

年間目標 評価・課題

前半は身のまわりのことの介助をしつつ、自信を育てていくようにした。後半は子どもの様子に応じて自分でやることを促し、認めていくようにし、自分でできることを増やして行った。アスレチック遊びを予定していたが取り入れることが少なかったことは反省である。震災のため、散歩に行く機会が少なかった時期もあり、体を使った遊びが不十分であった。室内、テラスの利用を工夫し、動くスペースを作っていくことが課題である。個々の思いを受け止めながら、言葉で代弁しそれを相手に伝えられるように保育士が仲立ちとなった。集中力がついてきた頃から発表の時間を作るようにし、相手に伝えること、思いを聞くことを通して思いや感じたことを言葉で伝えることができるようになってきた。

こあら組（2歳児）の年間目標

- ・自分のことは自分でしようとする。
- ・周りの人に興味を示し、要求を言葉で伝えようとする。
- ・遊びに集中し楽しむ。
- ・全身を使った遊びを楽しむ

年間目標 評価・課題

子どもにとっての動線を考え、新しい取り組み（シャワー・うがいコップの使用・水着）をしたが細かい打ち合わせのもとで始めたので特に混乱はなく進めることができ、3歳になっても身につけていたのは良かった。震災後のため着替え、排泄の取組が遅れてしまい、やりたい気持ちを我慢させてしまうことがあった。しかし、取り組み後は保護者と相談しながらトイレトレーニングがすすめられ、無理なく全員が綿パンツに移行できた。

特に一学期は子どもも安定しないことがあるので、配膳や午睡準備に手伝いがあると、保育者は子どもの方へ向けるので補助がほしいところではある。

うさぎ組（1歳児）の年間目標

- ・ひとり一人の自我の芽生えを大切にして気持ちを受け止めていく。
- ・できた時の達成感を共感し、ほめて自信につなげる。
- ・友だちとのやりとりの中で保育者が仲介に入り、交友関係を深めていく。

年間目標 評価・課題

個々の発達や成長にあわせた援助を心がけて日々の保育を行った。ゆるやかな担当制と小グループにわかれての活動を通して精神面でも生活面でもゆとりを持って接し、成長の援助をすることができた。また、時間には余裕を持ち、保育士がじっくりとひとり一人の課題や遊びに向き合えるよう配慮しながら、信頼関係を築きあげていった。手をつないだり追いかけてっこをして「友だちと一緒に」という楽しさを感じるられる子どもたちであったので、保育士が盛り上げ役やイメージの橋渡しをすると全員が同じ遊びを楽しめるようになった。その繰り返しの中、友だちを思いやる行動や、やりとりの方法を自然と身につけていくことができた。

ひよこ組（0歳児）の年間目標

- ・よく遊び、よく食べ、よく眠り気持ちよく過す。
- ・発達にあった手足、身体の動きが見られるようになる。
- ・個々の要求や欲求を表し、求めようとする

年間目標 評価・課題

担当制をとり、できるだけ関わりを一定にし、子どもたちが安定するように心掛けた。年度始めにひきつけを起こしたこどももいて担当外の保育士が関わることで、クラスの安定を支えることもあったが、緩やかな担当制で子どもたちの生活は安定したようだ。午前寝を大切にすることでしっかり遊び、食事もよく摂れる流れが出来たが午前寝をなくすタイミングが難しく年間を通しての課題であった。保護者との連携では衣服の調節が（下着や薄手）がうまく伝えられなかった。

こぶた組（一時保育）の年間目標

- ・新しい環境の中で保育士や子ども同士の関わりを通して安心して園生活を送ることができる。
- ・一日の生活を無理なく、楽しく過す。

年間目標 評価・課題

- ・新規児から、定期的に登園している子どもに至るまで、保育士同士が子どもの状況の伝え合いを行なうようにしてきた。そのため継続児が安定し、新規児に保育士が一对一で関わっていても、クラスの中が落ち着いて、子どもたちは安心して一日をすごしていた。
- ・「当日キャンセル利用」のシステムを導入したことにより、登園児数が安定し、ほぼ定員を満たしていた。
- ・登録面談で伝えることが十分でなかったこともあり、利用者に後々尋ねられることもあったので面談、利用者への通知は丁寧に的確に行なうようにしていく必要がある。

2011 年度実施行事

| | |
|-----------------------------|----------------------|
| 4 月 1 日 入園式 | 13 日 イースター礼拝 |
| 5 月 14 日 親子遠足 (幼児) | 15 日 ウェルカムパーティー |
| 6 月 4 日 親子遠足 (乳児) | 8、9 日 こどもの日・花の日礼拝訪問 |
| 7 月 1 日 プール開き | 14、15 日 お泊り保育 |
| 9 月 16 日 おじいちゃん・おばあちゃんと遊ぼう会 | |
| 10 月 8 日 運動会 | 28 日 芋掘り遠足 |
| 11 月 5 日 おまつり広場 | 17 日 収穫感謝祭礼拝・豚汁パーティー |
| 18 日 収穫感謝祭訪問 | |
| 12 月 17 日 クリスマス礼拝・祝会 | |
| 1 月 13 日 もちつき会 | |
| 3 月 1 日 幼児お別れ遠足 | 17 日 卒園式 |
| 月例行事 誕生会 身体測定 避難訓練 | |

年間行事 評価・課題

行事の目的や内容を職員間で毎回確認し、実施してきた。反省をもとに次年度につなげていけるよう記録の方法を統一してきた。

オ 栄養管理

集団給食施設栄養報告 年 2 回
 栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
 季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
 給食供給者としての諸管理

栄養管理 評価・課題

旬の食材を使い、新メニューを積極的に取り入れた。クッキングをしている姿をみることや一緒に食事をとることがあまり出来なかったのは反省である。一年を通して野菜ちぎり、型抜き、皮むきなどのクッキングや、バイキング式の食事を取り入れたたり、各クラスに入って子どもと一緒に食事をするを多くしていきたい。

カ 安全管理 毎月 1 日安全点検

交通安全教育
 非常災害時の避難訓練 (毎月)
 引き渡し訓練の実施 (9 月 1 日)
 環境教育、ゴミ処理を通してリサイクルの大切さを学ぶ (11 月)

安全管理 評価・課題

震災をうけ、建物の安全性を見直し、未設置のところに転倒防止、ガラスの飛散防止フィルム取り付けを行う。災害時に備えての備蓄を整備してきているが次年度も継続していく。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

| | |
|------------|-----------|
| 園長 | 1名 |
| 主任 | 1名 |
| 副主任 | 1名 |
| 保育士 | 16名 |
| 調理員 | 4名（栄養士含む） |
| 看護師 | 1名 |
| 嘱託医 | 1名（非常勤） |
| 臨時職員、パート職員 | 18名 |

イ 健康管理

| | |
|------|------|
| 健康診断 | 年1回 |
| 細菌検査 | 年12回 |

ウ 職員会議

| | |
|----------------------|------------|
| 職員会（毎月1回） | リーダー会（月1回） |
| 行事前打合せ会（随時） | |
| 乳児・幼児・食事カリキュラム（月各1回） | 乳幼会（月2回） |
| 保育のまとめ、振り返り（年2回） | |

会議 評価・課題

職員会は毎回議題を前もって知らせ、会議が時間内に効率よく行われるようになってきた。保育園、学童、一時保育の担当職員が一緒の職員会議ではより充実した会議とするために、議題、話す内容を吟味していく必要がある。

エ 研修計画

- ・園内研修（6回）
- ・法人内研修 ・保育ブロック研修
- ・葛飾区子育て支援課・葛飾区私保連・全私保連・厚生労働省・東京都社会福祉協議会
ムジカ音楽教育研究所・キリスト教保育連盟・子どもの文化研究所

研修 評価・課題

キャリア別に研修を組みスキルアップできるようにした。数名は自主研修にも参加。研修報告を職員会の中に毎回組み込んだ。今年度はじめて全員で SDS に取り組んだ。テーマの決め方、方法などまだまだ課題はあるが、次年度も継続してより質の向上を目指す。

オ 退職・福利厚生

- ・独立行政法人 福祉医療機構 退職共済制度加入
- ・東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- ・株式会社リラックス・コミュニケーションズ 福利厚生倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

- ア 会計事務、管理事務
 - ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
 - ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）
- イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）
 - ・保育指導計画等の作成
 - ・給食献立表等の作成
 - ・健康診断記録表等の作成

事務関係 評価・課題

会計、労務管理の事務処理を見直し、適正に処理できるように取り組んだ。保育園、一時保育、学童クラブと事務量が多く、職員間でどう分担していくかが課題である。保育指導計画等は法人統一の書式を使い始めた。記入の仕方など職員へ指導しながらすすめてきた。特に問題なくできている。

(2) 設備関係

- ア 固定遊具の設備点検
 - 園庭の固定遊具のメンテナンス
- イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新

エアコンの故障が相次ぎ、修理が多かった。暖房設備のボイラーが3月に故障し、2012年度には取替えをする。

建物が老朽化してきているので修繕箇所も増えてきている。

(3) 備品関係

- ア 備品購入
- イ 保育用品購入
- ウ 給食用品購入
- エ 固定資産物品購入

備品関係 評価・課題

2011年度からリトミックを始めたので楽器を整備した。

(4) 災害対策

- ア 避難訓練
 - 毎月1回
- イ 防災設備の点検委託
 - 年2回（内、届け出1回）
- ウ 非常食糧の備蓄
 - ・（全園児数＋全職員数）×3食×3日分

災害対策 評価・課題

東日本大震災が起きたので毎月の避難訓練も真剣に取り組んできた。非常食、備品の見直しを行い、災害時の備えを整えていきたい。

3 地域社会との連携

〈れいめい堀切・宝学童保育クラブも加わって事業が行われた〉

- (1) おまつり広場、地域活動、もちつき会、保育ボランティア活動、卒園児学童キャンプ
運動会、卒園式、一時保育登録児クリスマス

地域社会との連携 評価・課題

行事を通して地域や教会の方を招いたり、また、地域の行事にも参加してきた。地域とのつながりを大切にしていく。教会とは月一回の連絡会で話し合いを持ち、協力関係を保っている。一時保育、出前保育、子育て講座など地域の在宅子育て家庭への支援活動も認知度が高まり、利用、参加が増加している。

4 そのほか

- ・ 2月に利用者に対するアンケート調査の実施した。

<れいめい宝学童保育クラブ、れいめい堀切学童保育クラブの地域社会との連携>

(1) 小学生事業

～事業の評価と今後の課題～

月間70名を越す子どもたちが遊びを通してボランティア活動に参加した。行事活動では、ウェルカムパーティー、学童保育クラブの児童と合同キャンプ、おまつり広場、スポーツ大会と展開できた。

ボランティア活動では子どもたちからは、ちょっとした居場所として学童クラブが利用され、保護者からは、居場所があることによって安心すると感謝の言葉を頂いた。今後も同様に活動を続けていきたい。

(2) その他の行事 (2011年度に実施した事業をすべて報告する)

| 月 | 行事名 | 内 容 |
|----------|----------------|-----------------|
| 5月 | ウェルカムパーティー | 学童春のお祭り |
| 8月 | 学童合同サマーキャンプ | 宝学童・高学年と合同キャンプ |
| | ののほな合同ディキャンプ | ののほな(教会員)とのイベント |
| 10月 | ハロウィンパレード | 仮装して地域を回る |
| | 黎明保育園 おまつり広場 | 黎明保育園との合同イベント |
| 1月21日(土) | 鉄板焼き&スポーツパーティー | 調理とスポーツを楽しむ |

(3) 野外活動

| 開催日 | 活動内容・行き先等 | 対象者 | 参加者数 |
|--------|-----------------------------|-------|------|
| 8月3～5日 | 学童合同サマーキャンプ 千葉県千葉市少年自然の家 | 4～6年生 | 20人 |

※活動の評価と課題

学童保育クラブ卒所児と、学童保育クラブ児童と合同ではあったが、4年生～6年生の子どもたちが参加してキャンプを行なうことが出来た。また、学童保育クラブのキャンプ活動に則して活動ができ、互いに尊重しながらものびのびと活動が行えたことは評価できる。次年度も、継続して行っていきたい。

(4) 小学生対象年間イベント

| 開催日 | イベント名 | 参加者数 |
|----------|--------------------------|------|
| 5月28日(土) | ウェルカムパーティー | 10名 |
| 11月5日(土) | 黎明保育園 おまつり広場 | 10名 |
| 1月21日(土) | 学童児・卒所児交流プログラム(鍋&スポーツ大会) | 10名 |

※活動の評価と課題

*ウェルカムパーティー：学童保育クラブの行事に卒所児が実行委員として参加し、事前準備としてゲーム作りや看板作りを行い、当日はゲームコーナーの担当として参加した。

*黎明保育園おまつり広場：子ども劇場を担当し、劇やダンスを創作し、ゲームブースの担当を担った。

両行事とも、学童や保育園と連携し積極的な関わりを行ない、地域との交流を深めた。

スポーツ大会&鉄板焼き：卒所児のみの行事として単独で行事を行なった。当日は、クッキングをしてウェルピアでスポーツ活動を行なった。

学童で大切にしている子どもたちの思いを尊重した活動が、高学年でも展開することができており、今後も活動を継続していく。

(5) 中・高校生対象事業

事業の評価と今後の課題

遊びを通してボランティア活動を行い、各イベントでは職員の補助を担うなど責任感が芽生えてきた。

課題としては、学年の世代でバランスが悪く中学生全体での活動をしていきたい。高学年プログラムの卒業生を待ちつつ、現状を維持していきたい。

(6) 合同イベント

| 開催日 | 活動内容 | 参加者数 |
|---------------------|---|--------------|
| 5月15日(土) | ウェルカムパーティー： 『れいめい(宝・堀切)学童と黎明保育園との合同イベント』 | 300名 |
| 6月25日(金) ～26日(土) | 学童合宿：『れいめい(宝・堀切)学童合同合宿』 | 宝30名 堀50名 |

(7) 地域の人のための事業

| 事業名 | 活動内容 | 回数 | 延参加数 |
|-----------|-------------------|----|------|
| ののはな交流 | イースター礼拝 | 1 | 30 |
| ののはな交流 | 子どもの日、花の日礼拝 | 1 | 30 |
| ののはな交流 | ののはなデイキャンプに参加 | 1 | 30 |
| ののはな交流 | 収穫感謝祭 | 1 | 30 |
| ののはな交流 | クリスマス礼拝 | 1 | 30 |
| 堀切京南自治会交流 | 氷川神社神輿担ぎの宣伝と有志で参加 | 1 | 15 |
| 堀切京南自治会交流 | 敬老もちつき会の宣伝と有志で参加 | 1 | 5 |

学童クラブ事業部門 (れいめい堀切学童保育クラブ)

事業の評価と今後の課題

今年度は、入所と退会の変動があったが、子どもたちは乱れることなく、その状況にあわせ落ち着いてすごすことが出来た。製作を含め、運動遊び、集団で遊び、活動を多く取り入れ、上級生が先頭に立って活動に取り組む様子が見られた。

入所人数の増加により、職員とパート職員の連携がより必要となる。また、一人一人の子どもたちの支援や保護者への対応を丁寧に行えるよう、地域や学校での関わりを多く持つていくことが課題となる。

クラブ在籍数－学年別、男女別－

| 学年別 | 1年生 | | 2年生 | | 3年生 | | その他 | | 合計 | 延長保育 (実利用者数) |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----------------|
| | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | | |
| 4月 | 6 | 8 | 13 | 9 | 11 | 9 | 0 | 1 | 57 | 3 |
| 5月 | 6 | 8 | 13 | 9 | 11 | 9 | 0 | 1 | 57 | 3 |
| 6月 | 6 | 8 | 13 | 9 | 11 | 9 | 0 | 1 | 57 | 5 |
| 7月 | 6 | 8 | 12 | 9 | 11 | 8 | 0 | 1 | 55 | 3 |
| 8月 | 6 | 8 | 12 | 9 | 11 | 8 | 0 | 1 | 55 | 4 |
| 9月 | 6 | 8 | 12 | 9 | 11 | 8 | 0 | 1 | 55 | 5 |
| 10月 | 7 | 8 | 12 | 9 | 10 | 9 | 0 | 1 | 56 | 5 |
| 11月 | 8 | 8 | 12 | 9 | 10 | 9 | 0 | 1 | 57 | 5 |
| 12月 | 8 | 8 | 12 | 9 | 10 | 9 | 0 | 1 | 57 | 4 |
| 1月 | 8 | 8 | 12 | 9 | 10 | 9 | 0 | 1 | 57 | 5 |
| 2月 | 8 | 8 | 12 | 9 | 10 | 9 | 0 | 1 | 57 | 5 |
| 3月 | 8 | 8 | 12 | 9 | 10 | 9 | 0 | 1 | 57 | 4 |
| 合計 | 83 | 96 | 147 | 108 | 126 | 105 | 0 | 12 | 677 | 51 |

事業報告

～日常活動～

(一日保育) 8:30登所 - 9:00勉強タイム - 10:00自由タイム - 12:00昼食 - 13:00食後のんびりタイム、自由遊び - 15:00おやつ、掃除、自由遊び(校庭開放) - 17:00帰りの会

室内ではままごと、オセロ、ブロック遊び。庭ではドッジボール、サッカー、縄跳び。校庭では、一輪車、鬼ごっこなどで遊ぶ。

～延長保育～

18:00～19:00 室内で宿題やおもちゃ遊びで過ごす。

～おやつ～

フルーツやひと手間加えたものを多く提供し、駄菓子ばかりにならないように配慮した。
手作りおやつでは、季節行事やイベント毎にちなんだおやつを提供した。

～グループ活動・誕生会等～

誕生会（毎月実施）・ゲーム会・手芸タイム・工作・学習などを行う。
生活班グループを作成し、おやつを食べたり、掃除やお祈り当番のグループ活動を行なった。
昼食会を行い、共にクッキングをする等の活動を行なった。

行事・外出

| 月 | 行事名 | 内容 |
|-----|--------------|-----------------|
| 4月 | イースター礼拝 | ののはな（教会員）とのイベント |
| 5月 | ウェルカムパーティー | 学童春のお祭り |
| 6月 | 子どもの日・花の日礼拝 | ののはな（教会員）とのイベント |
| | お泊り合宿 | 宝学童と合同合宿 |
| 7月 | 警察署による防犯訓練 | 本田警察署員との訓練 |
| 8月 | サマーキャンプ | 宝学童・高学年と合同キャンプ |
| | ののはな合同ディキャンプ | ののはな（教会員）とのイベント |
| 9月 | 氷川神社祭り | 地域町会のイベントへの協力 |
| 10月 | ハロウィンパレード | 仮装して地域を回る |
| 11月 | 収穫感謝礼拝 | ののはな（教会員）とのイベント |
| 12月 | クリスマス会 | 学童のクリスマス会 |
| 2月 | お別れ合宿 | 3年生限定のお別れ合宿 |

その他の活動－個人面談、保護者会、他

| | | | | |
|---------------|--------------|---------------------|---------|--------------|
| 4月入所式 | 5月保護者会 | 7月キャンプ説明会 | 10月個人面談 | 2月新入 所児面接 |
| 3月新入所児説明会・卒所式 | 10月保育園運動会に参加 | 11月保育園おまつり 広場に参加 | | |

学童クラブ事業部門 (れいめい宝学童保育クラブ)

事業の評価と今後の課題

今年度は昨年と同様、年間を通して入所と退所の変動が激しかった。また入所人数が増加し定員の30名を超える程となった。事業発足以来、初めての事で地域の中で「れいめい宝学童保育クラブ」の認知度、ニーズが向上している結果ではないだろうか。活動内容では集団の形成と子どもたちの自主性を目標とし、学童全体、同学年、同学校などに分けてイベントを設定し、職員がサポートしながら子どもたちがイベントの企画をした。評価としては、学年、学校などの小グループの活動は充実できたが、学童全体での活動があまり出来なかった。個人の登所状況を把握し細かく設定していかなければならない。今後の課題としては、学童のニーズが向上している中で更なる入所人数の増加が予想される。施設設備や活動内容を見直しその時の状況に合った事業を展開していく。

クラブ在籍数一学年別、男女別一

| 学年別 | 1年生 | | 2年生 | | 3年生 | | その他 | | 合計 | 延長保育 | |
|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|----|------|----|
| | 男女別 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | 男 |
| 4月 | | 6 | 2 | 5 | 8 | 5 | 5 | 2 | 0 | 33 | 7 |
| 5月 | | 6 | 2 | 5 | 8 | 5 | 5 | 2 | 0 | 33 | 7 |
| 6月 | | 6 | 2 | 5 | 8 | 5 | 5 | 2 | 0 | 33 | 7 |
| 7月 | | 6 | 2 | 5 | 7 | 5 | 5 | 2 | 0 | 32 | 5 |
| 8月 | | 6 | 2 | 5 | 7 | 5 | 5 | 2 | 0 | 32 | 4 |
| 9月 | | 6 | 2 | 5 | 7 | 5 | 5 | 2 | 0 | 32 | 5 |
| 10月 | | 6 | 3 | 5 | 7 | 5 | 5 | 2 | 0 | 33 | 6 |
| 11月 | | 5 | 3 | 5 | 7 | 5 | 5 | 2 | 0 | 32 | 5 |
| 12月 | | 5 | 3 | 5 | 7 | 5 | 5 | 2 | 0 | 32 | 5 |
| 1月 | | 5 | 3 | 5 | 7 | 5 | 5 | 2 | 0 | 32 | 5 |
| 2月 | | 5 | 4 | 4 | 7 | 5 | 5 | 2 | 0 | 32 | 5 |
| 3月 | | 5 | 4 | 4 | 7 | 5 | 5 | 2 | 0 | 32 | 5 |
| 合計 | | 67 | 32 | 58 | 87 | 60 | 60 | 24 | 0 | 388 | 66 |

事業報告

～日常活動～

<一日保育> 8:00 登所 9:00 学習タイム 10:00 自由遊び 12:00 昼食 1
 3:00 ビデオタイム 14:00 自由遊び 16:00 おやつ 16:30 掃除 1
 7:00 帰りの会 (学校終了後から同様に保育)
 室内・・・玩具、ブロック、ボードゲーム、カードゲーム、工作など
 プレイルーム・・・ボールを使うスポーツ、一輪車、竹馬、縄跳びなど

～延長保育～

18:00～19:00 室内で宿題やおもちゃ遊びで過ごす。

～おやつ～

15:30～16:00（複数の学校からの登所の為、遅めのおやつ）
手作りのおやつを提供し、様々な食に触れる機会を増やした。また、アレルギー児を配慮した手作りおやつを提供し、学童保育クラブ全体でアレルギー対応についての情報が共有できるきっかけとした。

～グループ活動・誕生日会等～

グループ活動・・・掃除当番、食前・食後のお祈り、帰りの会の挨拶当番
誕生日会・・・月に1回誕生日会を実施。誕生日の児童にインタビューや特別おやつで祝う。

行事・外出

| 月日 | 行事名 | 内容 |
|-----------|------------|---|
| 5月28日 | ウェルカムパーティー | 新しい入所児、保護者を受け入れるパーティー |
| 6月24、25日 | お泊り合宿 | 夕食作り、お楽しみ会（スポーツ大会） |
| 8月3、4、5日 | キャンプ | 千葉県少年自然の家 野外炊飯、ナイトハイク、ハイキング、キャンプファイヤー、製作活動 |
| 10月25、26日 | ハロウィンパーティー | 仮装しお世話になっている地域の方々の所を訪問 |
| 12月17日 | クリスマス会 | 会食、学童児の出し物発表 |
| 3月27日 | お別れデイキャンプ | インフルエンザの蔓延のため 宿泊の合宿を中止にしたのでデイプログラムのみ行なう |

その他の活動－個人面談、保護者会、他

*保護者関連 ・5月保護者会・7月キャンプ説明会・9、10月個人面談・2月新入所児面接・説明会
*その他活動 ・毎月集団遊びの実施・10月黎明保育園運動会参加・11月黎明保育園おまつりひろば参加・1月卒所児対象のイベント

記入者 土屋 恵子

2011年度をふりかえって ～事業の内容と展開～

3月11日の震災を受け、安全・安心対策の見直し、備品・備蓄品の点検補給を実施した。近年低年齢児の入所希望者が多く、0歳児は、残念ながら一部の入所を断ったが、1歳児は、部屋の一部改修を行い、定員2名の増員を行った。

保護者の勤務状況が多様のため、今年新たに、自由参観日を一週間にわたって実施した。保護者をはじめ祖父母の参加が複数回あり、保育への理解や関心が深まった。

子ども達が、集団生活を通じて社会性をはぐくむ為に様々な活動を展開している。具体的には、お茶のお点前を21年間継続実施してきた。礼儀を学び人を思いやることができるようにとスタートしたが、効果が十分あり定着した事業となった。また、元保護者であるネイティブスピーカーの協力を得て、英語で遊んだりする機会を引き続き実施した。小さいクラスほどよりネイティブに近い発音ができ、身の回りのことや歌を英語で表現して楽しんでいる。

子育て支援センターでは、今年新たに1地区を追加し、2地区へ積極的に出ていく保育を行った。地域とより密接な関係が構築され、支援活動が評価されている。また、妊婦対象の「ママの会」を新たに開設し、情報提供や交流の場をつくり、安心して子育てができるよう支援した。また、食事体験（一日4組）は、ほとんど毎日定員いっぱい、食育をはじめ味付け、食材等様々な情報を提供した。様々な活動の結果、子育て支援センターの利用者が、昨年と比べて1,000人増加し、約4,000人（延べ利用者）の利用があった。

これらのことを進めていくうえで基本となる「神と人ともに仕える仕事をする」ため、御殿場教会中島牧師を招いて、賀川豊彦の思想と実践（キリスト精神）を学んだ。

1. 緊急時の見直しとして、2階での午睡を1階に移し、緊急避難が速やかにできるようにした。
2. 備品などの追加をした。（携帯ラジオ、おんぶ紐、携帯用ブランケットなど）
3. 一時預かり事業は、集団保育の利点を生かす為、各クラスにて対応した。延424人が利用した。
4. 子育て支援センターでは、地域と連携を密にして、月3回積極的に出前保育を行った。
また、食事体験は好評で口コミで広がり、延べ938人が利用した。
5. 様々な文化に親しむ為、お茶のお点前を引き続き実施した。40分間継続してお点前をすることもでき、相手を思いやる実践活動として効果を上げた。また「英語で遊ぼう」は、日本語は一切使わないですべて英語で行っているが、子どもや保護者からも大変好評である。また、体操教室では、子ども達の運動能力が向上し、自由遊びで鉄棒・縄跳びを楽しんでいる。また、小さいクラスの子もよい影響を受け、進んで挑戦する姿が見られる。
6. クリスマス会、イブ礼拝、卒園式における御殿場教会中島牧師の話が、保護者にも大変好評で、キリスト教保育への理解が深まっている。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・延長保育実施（1時間延長）年間延べ589名利用
- ・乳幼児保育事業（零歳児の受入れ）
- ・アレルギー児に対する除去食及び代替食実施
- ・一時預かり事業

イ 地域子育て推進

- ・地域子育て支援拠点事業（センター型）
- ・育児講座 年7回実施 173名参加
- ・お年寄りとの交流 年4回実施
- ・退所児童との交流 年2回実施
- ・小中高生の育児体験受入れ 年間受入れ延べ216名
- ・育児相談 随時実施
- ・保育所体験 年6回、28人受入れ実施
- ・子育てサークル支援 1才児クラブ14回（262名）、2才児クラブ14回（279名）
- ・子育て情報誌の発行 年12回発行
- ・出前保育（サロンを含む）36回

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

| クラス名 | 年齢 | 保育士数 | 園児数 | 障害児数 | 備考 |
|--------|-----|------|-----|------|---------------|
| ちゅうりっぷ | 0歳 | 3 | 9 | | 途中入所があった為、 |
| たんぽぽ | 1歳 | 3 | 17 | | 年齢区分による人数と |
| ひまわり | 2歳 | 4 | 23 | | 保育士数が異なる |
| もも | 3歳 | 2 | 27 | | |
| すみれ | 4歳 | 2 | 24 | | |
| ゆり | 5歳 | 1 | 23 | | |
| | その他 | 4 | | | 子育て支援2、一時預かり2 |
| 合計 | | 19 | 123 | | |

イ 月別保育日数

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合計 294日 |
|-----|-----|-----|----|----|----|------------|
| 24 | 23 | 26 | 25 | 27 | 24 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 25 | 24 | 23 | 23 | 24 | 26 | |

ウ 健康管理

健康診断

| | |
|-------|-------------|
| 乳児 | 年2回（5月、10月） |
| 幼児 | 年2回（5月、10月） |
| 歯科検診 | 年1回（5月） |
| 蟯虫卵検査 | 年1回（5月） |

エ 保 育

各組の保育目標

ゆり組（5歳児）の年間目標

- ・ 様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・ 様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しむ。
- ・ 健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・ 様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
- ・ 異年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・ 人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・ 自分のもつ好奇心や知的探究心を働かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

年間目標 評価・課題

集団遊びを取り入れていく中で、友達の想いを考えたり、自分の気持ちを伝える力を身に付けられるようにしていった。このルールをこうしたらどうだろう、など一緒に考えたりしていく中で、自分達の生活の中での友達関係にも生かしていくようにしていった。様々な用具は、体操教室以外にも使う時間を作るようにした。体を動かす事を楽しみつつも、できるようになる事で自信をつけ、また友達同士で、ほめて認め合う姿も多く見られた。

すみれ組（4歳児）の年間目標

- ・ 一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・ 友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
- ・ 意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ・ 人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・ 自然や身近な事がらにふれ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする

年間目標 評価・課題

友達や保育者とのやりとりでは、思ったことを相手へしっかり伝えられるよう、一人ひとりの気持ちに耳をかたむけていった。子ども達同士の会話も増え、友達の話もよく聞くようになった。集団で活動する行事などは、一人ひとりが楽しい気持ちを持てるよう、共に明るく取り組み、みんなで頑張ろうという気持ちを高め団結力も深まっていった様に思う。自然とのかかわりが少なく、もっと遊びの中で保育者が丁寧に計画する必要があった。

もも組（3歳児）の年間目標

- ・生活が自立してくることで自信をもち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ・外遊びを十分にするなど遊びの中で身体を動かす楽しさを味わう。
- ・食事・排泄・睡眠・衣服の着脱等の生活に基本的な習慣が身につくようにする。
- ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づき感性を豊かにもつ。

年間目標 評価・課題

一日の生活の流れを一つ一つゆっくり覚えていき、衣服の着脱やボタン掛けなど、個々に合わせて寄り添いながら進めていくことで自信が持てた。戸外では、鬼ごっこやかくれんぼを友だちや保育者を誘って、体をたくさん動かして遊ぶことができ、遊びのルールも知っていくことができた。室内では、ハサミや糊、粘土のコーナー等を作り、自分がやりたい遊びを十分に遊んでいけたが、ブロック遊びやままごとなど、いつも遊びが同じになってしまう子もいた。もっと工夫し遊びを広げてあげると良かった。

ひまわり組（2歳児）の年間目標

- ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを出せるとともに、自分の気持ちを切り替えられるようになる。
- ・身体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりと楽しむ。
- ・大人やまわりのことに興味をもち、みため、つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

年間目標 評価・課題

低月齢クラス：個々の様子に合わせて言葉かけや援助をしていくことにより、少しずつ身の回りのことを自分でしようとする姿が見られるようになっていった。意欲的に進めていけるようたくさん褒めたり、励ましたりと温かい言葉かけを大切にしていた。保育者や友だちとの会話を楽しむことも増えていき、ごっこ遊びなどイメージがふくらんでいけるよう保育者も子どもたちの遊びの中に入り、言葉のやりとりを楽しんでいった。

高月齢クラス：個々の成長に合わせて対応したり、じっくり取り組めるよう関わることで、子ども達が自分でやってみようと意欲を持って取り組み、段々と身の回りのことが一人で

できるように援助していった。子ども同士の関わりが増えるにつれて、ごっこ遊びや集団遊びを取り入れ、イメージや個々の思いを大事にし仲介することで、思いっきり体を動かしたり、いきいきとやりとりを楽しんで遊ぶ姿がみられた。興味に合わせた玩具やイメージが広がる道具などもっと工夫して用意できたらよかった。

たんぽぽ組（1歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られる中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
- ・身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ。

年間目標 評価・課題

一人ひとりの子どもと信頼関係をつくり、一日を安心安定して過ごせるよう心掛けていった。月齢が幅広いので前半は高・低年齢で活動を遊ぶ子と休息中心に分けていった。散歩では、自分で見たり触れたりしながら体験をする機会を大切にしていた。一人ひとりの発見を共有することで発語も増えていったように思う。散歩や指先を使った遊びを多くすると良かった。

ちゅうりっぷ組（0歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
- ・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活ができるようにする。
- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を進め、いろいろな食品に慣れさせ幼児食への移行を図る。
- ・優しく語りかけたり、発音や喃語に応答したりして、発語の意欲を育てる。
- ・聞く、見る、触るなどの経験を通して、感覚や手指の機能を促す。
- ・安心できる人的物的環境の下で絵本や玩具、身近な生活用具などを、見たり、触ったりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

年間目標 評価・課題

食事に関しては、家庭と園で連携し個々のペースに合わせて進めていくことができた。玩具では、子どもたちの発達に合わせて音のでる玩具、つまむ・入れるなど指先を使う玩具、マット・すべり台など身体を動かし遊ぶ環境を用意することができた。一人ひとりの健康に気をつけ、甘えの欲求を満たし情緒を安定させ過ごせるよう努めた。

2011 年度実施行事

- 4月 4日 入園式 21日 春の親子遠足
5月16日 さつまの苗さし
6月 9日 花の日の礼拝と訪問 22日 花火教室
6月27日～7月1日 保育参観（3歳以上児クラス） 7月2日 懇談会
8月 3日 卒園生のつどい
9月17日 運動会 29日 秋の遠足
11月 2日 芋掘り・焼芋大会
11月15日 球根植え 17日 収穫感謝祭 24日 幼児祝福式
11月24日、25日 保育参観（3歳未満児クラス） 26日 懇談会
12月17日 クリスマス会 20日 もちつき 21日 イブ礼拝
1月 5日 雪あそび 21日 お茶会 25日 観劇
2月18日 保育参観と講演会
3月 2日 ふれあいピクニック 17日 卒園式
月例行事 誕生会

年間行事 評価・課題

今年度は自由参観日を一週間にわたって実施した。保護者をはじめ祖父母の参加もあり、保育の理解や関心が深まった。次年度もこの形の保育参観を継続していきたい。

オ 栄養管理

- ・集団給食施設栄養報告 年1回
- ・給食供給者としての諸管理

栄養管理 評価・課題

食品衛生監視監査で厨房の清掃の頻度を見直すことが望ましいとの指導があったので、清潔になるよう心掛けた。

カ 安全管理

- ・交通安全教育（7月8日、11月1日、3月8日）交通指導員による「子どもの安全教室」
- ・非常災害時の避難訓練（11月4日）
- ・引き渡し訓練の実施（11月4日）

安全管理 評価・課題

災害時に備えて毎月1回御殿場市地域防災無線通信訓練を行っている。東日本大地震の際は、電話が使えなかったが地域防災無線により情報を交信することができた。緊急地震速報を感知して通報動作を行う機器を市が設置した。

交通指導員による「子どもの安全教室」を年3回開き、交通事故の防止に努めた。また、地域の「高根防犯まちづくりの会」に加入し、のぼり旗を立てたり、登降園時に巡視し近隣の方々と声かけをし、連絡を密にした。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

| | |
|-----|---------|
| 園長 | 1名 |
| 主任 | 1名 |
| 保育士 | 19名 |
| 栄養士 | 1名 |
| 調理員 | 2名 |
| 事務員 | 1名 |
| 嘱託医 | 2名(非常勤) |

イ 健康管理

| | |
|---------|---------------------|
| 健康診断 | 年 1回 (11月と2月に分かれて) |
| 細菌検査 | 年 24回 |
| 調理師、保育士 | 毎月 2回 |

ウ 職員会議

| | |
|-------|--------|
| 定例会 | 毎月 1回 |
| 期別反省会 | (年 2回) |

会議 評価・課題

会議に先立ち牧師からの言葉をいただき、会議を開いた。この為、職員が何を大切にしていけばいいかが理解でき、積極的な意見が出やすくなってきている。

エ 研修計画

- ・園内研修
- ・法人内研修 ・保育ブロック研修
- ・保育団体研修 (県保育所連合会、市保育の会等 その他研修)

研修 評価・課題

御殿場教会の中島善子牧師を招いて、聖書の学びを行った。「神中心という事」このテーマで聖書の学びを行った。全ての研修参加者は研修レポートを提出して、それを全職員に回し職員に伝達研修ができた。保育団体研修にも積極的に参加し、資質を高め共有

化を図った。

オ 退職・福利厚生

独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入

静岡県社会福祉協議会 従事者共済会加入

株式会社リラックス・コミュニケーションズ 福利厚生倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・健康診断記録表等の作成
- ・保育要録の作成

事務関係 評価・課題

特に問題はなかった。

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新

設備関係 評価・課題

特に問題はなかった。

(3) 備品関係

ア 備品購入

| | |
|--------------|---------|
| 木製乳児用椅子 3脚 | 48,150 |
| オルガン耐震器具 4台分 | 43,600 |
| 掃除機 3台 | 102,375 |

イ 保育用品購入

| | |
|-------------|--------|
| プレイバルーン 5色型 | 69,720 |
|-------------|--------|

ウ 給食用品購入 なし

エ 固定資産物品購入 なし

備品関係 評価・課題

検収の結果、すべて問題がなかった。

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月 1 回

イ 防災設備の点検委託

年 2 回 (内、届け出 1 回)

ウ 非常食糧の備蓄

○ (全園児数+全職員数) × 3 食×1 日分

災害対策 評価・課題

非常食の点検をして増やした。

ツナ缶・おかず缶・乾パン・ビスケット・ごはん類 140 名×3 食×1 日分 飲料水 2 日分

3 地域社会との連携

地域社会との連携 評価・課題

周辺小学校とお便りなどの情報を交換し合い、交流を図った。また、子育て支援センターでは、地域福祉団体と連携し、地域子育てサロン事業の手伝いをした。

4 その他

- ・ 1 1 月に御殿場市の保護者会主催の利用者アンケートが実施された。

2011年度をふりかえって

- 民営化3年目、職員体制が大きく変動した年である。年度途中の異動が3名、また産休に入った職員も2名と人の出入りがある中、年度当初から、予測できた異動に関しては充分話し合いをして、対応することができたが、思わぬ異動があり、採用の募集をかけたが、数か月かけても決まらずやっと人材派遣で対応した。しかし、いろいろな事情が重なり契約期間の途中でやめることになった。資格者の採用の厳しさを考えさせられたが、通常の体制が手厚い配置であり、また、年度の後半の時期でもあった為、特に問題なく過ごすことができた。
- 保育内容に関しては昨年同様、行事の変更や保育内容に関しての変更は保護者からの同意を得てから行うようにした。「おイモ掘り遠足」「おじいちゃん・おばあちゃん会」「卒園式、茶話会」「親子遠足」など子ども達に経験させたい保育内容の変更を園だけの一方的な押しつけにならない様に配慮しながら、園の考えもしっかり発信した結果やっと3年目にして実現できた行事である。
- 昨年度実施した利用者に対するアンケート調査で「オートロック解除時間が長いので心配」との声があった為オートロックの時間の見直しを行った。
- 職員へのモラルサーベイのアンケートを通して、職場への不満も多く出された。経験者の多い保育集団であり、その経験が保護者の安心に繋がっているところもあるが、保育観の違いの壁も大きい。ただ今年度は、職員同士がより理解し合えるよう、カウンセリングの手法を用いたプログラムを午後の時間に設定し行なった。また、会議の運営、内容を整理し、意見が偏らないように一人一人の意見が出しやすい参加型に変更したことにより会議での意見も多く出されるようになり、クラスを超えた横のつながりが少しながら、スムーズになった。また、非正規雇用の方々の不満や要望を年2回の園内パート研修だけでは把握し切れなかったことは、日々のコミュニケーション不足が大きいと思われる。来年度の課題である。
- 震災後の放射性物質に対する対応は、区の方針に基本的には従い、法人の各施設からの情報を参考にして取り組んだ。保護者からの反応としては、3～4件の質問や要望があったので、1歳児になるまでは、備蓄用の水を提供したり、牛乳を少量にしたりするなどの取り組みを行った。今後は基準値も変わってくる可能性もあるので情報を常にキャッチし、調理の担当者と共有しながら継続して取り組む問題である。
- 保護者の中でコミュニケーションが取りづらい関係が続き、法人へ苦情があがったり、区の担当者に苦情があがったりした。この問題に対して全職員で「親支援、親理解について」かがわブロック担当理事の野村理事より研修をうけた。相手を攻撃しコミュニケーションを取りにくくしたいと本人自身も思っている訳ではないという事と本人が一番傷を負っているのだからすこしずつ癒されることを待つことが大事とアドバイスをうけた。また虐待と思われるような対応もあり、子育て支援総合センターが関わる内容ではなかったが、今後も見守るようにと区からアドバイスがあり、保健センターと連携をとっていくことになった。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：9名）
- ・ 産休明け保育実施

- ・延長保育実施（4時間延長）
- ・延長保育事業（零歳児の受入れ）
- ・スポット保育事業
- ・障がい児保育事業実施（その他：1名）
- ・アレルギー児に対する除去食実施

イ 地域子育て推進

- ・退所児童との交流 年1回実施
- ・育児相談 随時実施
- ・外国人児童受入れ
- ・年末保育 12/29～12/30 実施
- ・墨田区子育て安心ステーション事業
- ・園庭開放（定時）

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

| クラス名 | 年齢 | 保育士数 | 園児数 | 障がい児数 | 備考 |
|-------|--------|------|-------|-------|----------|
| いるか組 | 0歳 | 4名 | 9名 | | 2月のみ1名欠員 |
| りす組 | 1歳 | 4名 | 14名 | | |
| うさぎ組 | 2歳 | 4名 | 18名 | | 9月のみ1名欠員 |
| こあら組 | 3歳 | 2名 | 20名 | | |
| ぱんだ組 | 4歳 | 2名 | 20名 | | |
| らいおん組 | 5歳 | 2名 | 20名 | | |
| ぺんぎん組 | 0～5歳まで | 1名 | 4名定員 | | |
| 合計 | | 19名 | 101+4 | | |

イ 月別保育日数

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合計 295日 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|
| 25日 | 23日 | 26日 | 25日 | 27日 | 24日 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 25日 | 24日 | 23日 | 23日 | 24日 | 26日 | |

ウ 健康管理

健康診断

- 乳児（0歳児） 毎月3回
- 幼児 年2回（6月、10月）
- 歯科検診 年2回（5月、2月）
- 蟻虫卵検査 年2回（6月、11月）

エ 保 育

各組の保育目標

らいおん組（5歳児）の年間目標

- ・基本的な生活習慣の自立を目指し、見通しを持っていきいきと生活する。

- ・ 集団の中で自己主張をし、人の立場を考えながら行動できる。
- ・ 集団生活や遊びを通して、協力しあう大切さを知り、仲間意識を深める。

年間目標 評価・課題

子ども達が自分でできることは自分でするような生活を大切にしました。ロッカーのカゴの設置や遊具棚の配置換えや午睡後の布団をしまう場所など昨年度からの引き継がれた事が基本的な生活習慣の自立へと繋がっている。また民営化前から各クラスをまわって人数確認をすることが年長児の役割として行っているが、年長児としての喜びや自覚へと繋がっている。1つ1つの活動や行事の実践を通し、仲間意識を育て友だちとやり終えた喜びの体験を増やしたいと考え取り組みを行った1年だった。

ぱんだ組（4歳児）の年間目標

- ・ 基本的な生活習慣を身につける
- ・ 自分の気持ちを言葉で表現し、相手の気持ちにも気づいていく
- ・ 集団遊びを楽しみ仲間関係を広げていく
- ・ いろいろな経験をする中で、期待を持ち楽しく生活する

年間目標 評価・課題

一人ひとりが個性豊かな子ども達だが、新入園児が1名はいり、心理相談の件数もあり、まとまりに欠ける面もみられ安全を考慮し、しばらく園外保育は1名多い職員体制で行った。友だちとのトラブルや小さな怪我が多く、日ごろの運動遊びの少なさや経験の幅の狭さも次年度への課題となった。保護者から保育内容についての質問を受け、子ども達の「今」の様子を丁寧に話したことで理解を得ることができた。

こあら組（3歳児）の年間目標

- ・ 基本的な生活の仕方が分かり、自分からしようとする。
- ・ 自分の要求や思ったことを相手に言葉で伝えられるようになる。
- ・ 友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知り、互いに共感できる関係を作っていく。
- ・ 手指や身体全体をたくさん使って、色々な遊びを楽しむ。

年間目標 評価・課題

年長児や年中児から良い刺激を受け何でもやってみたいという意欲をうまくとらえ生活に織り込むことができた。行事の後の「ごっこ遊び」など楽しそうな遊びが始まるが、まだまだ環境が整理されていないので遊びの継続ができていないと思われる。

うさぎ組（2歳児）の年間目標

- ・ 生活習慣が身についていく。
- ・ いろいろな経験を通して、自分の思いや要求を言葉で伝えようとする。
- ・ 保育士や友だちと楽しく遊ぶ。
- ・ 身体を使った遊びを十分に楽しみながら丈夫な身体作りをしていく。

年間目標 評価・課題

毎年トイレの誘導の問題があり、職員の動きに共通認識が確立するまで何度も担任同士の話し合いを持った。1名、年度途中で抜けた職員がいたが、非正規職員とも連携を強め、特に混乱なく過ごすことができた。園外への散歩では、短い距離から少しづつ伸ばし、遠い公園にも出かけ体力がついたのか、インフ

ルエンザが園の中ではやった時も感染が少ないクラスだった。

りす組（1歳児）の年間目標

- ・ 食事、排泄、睡眠、衣類の着脱などの活動を通し、自分でやろうとする。
- ・ 歩行が安定し、身体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ
- ・ ひとり遊びを楽しむ
- ・ 身近なものに興味を持ち、探索活動を十分に楽しむ
- ・ 保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、言葉のやり取りを楽しむ
- ・ 色々な思いや要求を言葉や態度で表現しようとする

年間目標 評価・課題

新入園児を5名加えてスタート。昨年度から環境の見直しをしてきた事柄の1つである食事の場所と午睡の場所を大きく変更して、生活を整えたことにより子ども達の動きがスムーズになった。低月齢、高月齢の2グループに分かれちょっとの時差をつけて、食事やおやつを取ることも昨年度に引き続きいとも落ち着いて生活ができた。絵本の読み聞かせや、リズム遊びを充分取り入れてきたことにより、表現豊かな姿が多くみられた。

いるか組（0歳児）の年間目標

- ・ よく寝て、よく食べ、よく飲み、機嫌良く過ごす
- ・ 快、不快や、要求を泣いたり、声を出して表現し、また心地よさを知る
- ・ 意欲的に生き生きと遊ぶ
- ・ 大人や友達との関わりを喜ぶ
- ・ 見る、聞く、触れるなどの外界の刺激しっかりと受け止める
- ・ 発達の道筋にそって体を動かすことを喜ぶ

年間目標 評価・課題

産休明けコーナー担当と高月齢児担当者の担当制の動きに少し食い違いがあり、また途中で担当者が異動となってしまった為、十分な話し合いができなかった。緩やかな担当制の在り方を子ども達との愛着関係を中心に据え、職員間で学び合っていく必要が早急な課題である。

2011 年度実施行事

| | | |
|---------|----------------|-----------|
| 4月 1日 | 進級 入園おめでとうの会 | |
| 5月 | 保護者会（1日毎に各クラス） | |
| 6月 18日 | 蟻虫検査 | |
| 6月 24日 | プール開き | |
| 8月 27日 | プールおさめ | |
| 9月 7日 | おじいちゃん・おばあちゃん会 | （3歳クラス） |
| 9月 8日 | 同上 | （4歳クラス） |
| 9月 9日 | 同上 | （5歳クラス） |
| 10月 8日 | 運動会 | |
| 10月 21日 | バス遠足（お芋ほり） | （5歳児、4歳児） |
| 12月 2日 | お楽しみ会 | |

| | |
|--------|-----------------|
| 12月16日 | 餅つき会 |
| 12月24日 | クリスマス会 |
| 12月29日 | 年末保育 |
| 12月30日 | 年末保育 |
| 1月25日 | ごっこ遊び |
| 2月3日 | 節分 |
| 2月9日 | お茶会 |
| 2月 | 保護者会（1日ごとに各クラス） |
| 2月25日 | 親子遠足（5歳児親子） |
| 3月2日 | 3歳児遠足 |
| 3月10日 | 卒園式・茶話会 |
| 3月14日 | 4歳児遠足 |
| 3月23日 | 忘れないでねの会 |
| 月例行事 | 誕生会 |

年間行事 評価・課題

行事の見直しについては、急な変更は混乱を招くと判断し、あまり変えずに2年間おこなってきた。今年度は昨年度に行ったアンケートや父母の会との協議を元に幾つかの行事の曜日や内容の変更を行った。

オ 栄養管理

- ・集団給食施設栄養報告 年4回
- ・栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
- ・季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
- ・年間クッキング保育を作成
- ・給食供給者としての諸管理

栄養管理 評価・課題

アレルギー児の除去食対応で間違いがないように調理と保育との連絡を密に行なった。

年間クッキング保育の計画はできているが、積極的に調理と打ち合わせするクラスとできなかったクラスがあった。クッキング保育の意義を確認する必要がある。

異年齢児の交流を目的に、一緒に食事を行なうため、バイキングの回数を増やした。日常保育の中で、自分で盛り付ける等の経験不足が目立った。来年度の課題である。

カ 安全管理

- ・交通安全教育（6月、9月）
- ・非常災害時の避難訓練（9月1日）
- ・引き渡し訓練の実施（9月1日）
- ・防犯訓練（年3回）

安全管理 評価・課題

- ・交通課より、交通安全の指導を受けた。

・環境安全マニュアルに基づいて定期的に点検をおこなっている。裸足保育をしている問題として、逃げる時難しいのではないかという意見が出され来年度の課題である。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

| | |
|------------|-----------------------------|
| 園長 | 1名 |
| 主任 | 3名 (1名異動予定のためフリーとしての動きを取った) |
| 保育士 | 22名 |
| 調理員 | 3名 (栄養士含む) |
| 看護師 | 1名 |
| 嘱託医 | 2名 (非常勤) |
| 臨時職員、パート職員 | 26名 |

イ 健康管理

| | |
|------|---------|
| 健康診断 | 年 1 回 |
| 細菌検査 | 年 1～2 回 |
| 全職員 | 毎月 1 回 |

ウ 職員会議

| | |
|--------------------------------|--------|
| 定例会 | 毎月 1 回 |
| 昼礼 | 毎日 1 回 |
| 行事前打合せ会 (随時) | |
| 0歳児、乳児、幼児、食事等各カリキュラム会議 (月 1 回) | |
| 期別反省会 (年 2 回) | |

会議 評価

会議の中で意見を出しやすくするように担当を振り分けたり、小集団での話し合いをしたりと参加型の会議をできるだけ行った。意見は以前より出るようになったが決定が曖昧になった所は反省しなければならない。経験を重ねてきたのでスムーズに行うことが多くなったが、打ち合わせの為に資料ができてなかったり、ギリギリにおこなったりと緩みもみられ担当者の責任と自覚を促している。

エ 研修計画 (研修費用)

- ・園内研修 年 5 回
- ・法人内研修 ・保育ブロック研修
- ・保育団体 全国私立保育連盟研修参加 なし
墨田区保育協会主催の研修 (年 5 回) 約 2 万円
東社協の研修
- ・区の研修

研修 評価・課題

全国レベルの保育大会には参加できないが、法人の研修、区主催の研修もあり、学ぶ機会がたくさんあったが、研修報告をしたり、職員会のテーマとして学び合う時間を取れなかったことは反省点である。

SDSシートを使って自分の課題を見つめ自ら学ぶ姿勢を強めて欲しい。自己評価と他者評価を認

識する機会をもつ。最低でも年2回は施設長による個人面談を行うが、日々の中でのコミュニケーションがとても大事なことは言うまでもない。

オ 退職・福利厚生

独立行政法人 福祉医療機構 退職共済制度加入
 東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
 株式会社リラックス・コミュニケーションズ 福利厚生倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務
- ・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育課程の作成
- ・保育指導計画等の作成
- ・健康診断記録表等の作成
- ・保育要録の作成

事務関係 評価・課題

2010年度は、給食費が予算を大幅に上回ってしまった為、2011年度は1カ月ごとに予算の確認をおこなった。また、高値な取引業者は他の業者に変更したり、初物はひかえたりしながらも食事の質を低下させない様、調理担当者に努力をしてもらった。

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

なし

イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新

- ・床研磨（階段部分のみ）

設備関係 評価・課

床がささくっていて裸足保育では危険があると判断し昨年度に引き続き床研磨の工事をした。

(3) 備品関係

ア 備品購入

- ・0歳児授乳椅子
- ・加湿器 1台
- ・タオル蒸し器 1台
- ・カラーベンチ 3台

イ 保育用品購入

- ・各クラス用遊具

ウ 給食用品購入

- ・ 食器補充 (0歳用コップ)

エ 固定資産物品購入

備品関係 評価・課題

区との備品取り決めとして、現在使用している備品が故障したり壊れた場合は、区の担当者が購入か修理かの判断をすることになっているが、今年度はガスレンジは区が取り換え、電気がまど加湿器は法人で購入した。

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

イ 防災設備の点検委託

年2回(内、届け出1回)

ウ 非常食糧の備蓄

(全園児数+全職員数)×3食×3日分

エ 防犯訓練 年3回

災害対策 評価・課題

非常食糧の備蓄を追加する。特に水を追加した。

アルファ米が区から支給されたので避難訓練の中で子ども達に作り方をみせ、食事として提供した。

3 地域社会との連携

- ・ 東駒形教会との連携
- ・ 同法人児童館との連携

地域社会との連携 評価・課題

東駒形教会関連施設として年に一回開催している合同研修に職員の半数が参加。地域の施設との良い交流の時となり、また地域福祉の視点で学び合ういい機会となった。来年は、全員参加の予定。

法人内の保育園・児童館との連携を少しずつ行ない始めた。児童館で乳幼児活動の中の食育指導に協力したり、園でのクリスマス会にサンタクロース役を児童館の職員にお願いした。今後も地域の連携を密にしていく方向で関わりを増やしていく予定である。

4 その他

- ・ 震災後の保育ボランティアとして、岩手県に2名保育士を派遣した。

| | 子育て支援活動（乳幼児・親） | 学童クラブ（本館・言問分室） | 小学生を対象とした活動 | 中・高校生を対象とした活動 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--|---|--|-----|-------|------|-----|-----|-----|-----|-------|----|-------|-----|-------|-----|---|------|--|--|---|---|---|-----|----|----|----|-----|---|----|----|-----|---|----|----|-----|---|---|---|-----|---|---|---|-----|---|---|---|---|----|----|----|---|--|---|---|---|-----|-------|-------|-------|-----|--------|--------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|----|-------|--------|--------|---|--------|--------|--------|---|
| 事業の総括 | <p>・地域での子育て、子育て支援の拠点となるよう、今年度は地域へと出て行く活動を展開、発信をしていった。</p> <p>・「乳幼児とお母さんのつどい」の活動を中心に在宅で子育てをしているお母さん同士が気軽に日常の中で情報交換や友達作りができる場を設ける。乳児だけでなく、幼児、父親参加の活動にも目を向け、様々な形の子育て支援プログラムを行う。ととにもいつでもほっとして立ち寄れるような居場所作りや環境整備を行った。</p> <p>また親子で参加できる行事「劇団公演」などのプログラム作りを心がけ、地域で安心して子育てをしていけるように支援に努めた。</p> <p>・在宅で育児をしている方の支援プログラムをより多く企画して「仲間とともに楽しい育児」を支援していった。</p> <p>・「お母さんのための七宝焼教室」は開館以来 25 年の歴史があり、区主催の体験講座には参加者の中から、講師として協力を行ってきた。また子どもたちへの指導にもかかわるなど幅広いボランティアやセンターのプログラム展開につながっていった。</p> <p>・その他現在、子育てをしているお母さん方にも講師をしていただき、体験講座を行っていくことができた。</p> <p>（英語で遊ぼう・らくがき会・ままヨガベビーマッサージ）</p> | <p>・子どもたちにとって、家庭にかわる安心・安全な生活の場としての活動を行なった。</p> <p>・ひとり一人に配慮し、寄り添うことで充実した毎日が過ごしていけるように、見守り、援助していくよう動めた。</p> <p>・学童クラブの仲間として、ひとつの集団で遊び、友達関係の輪を広げ、生活経験を豊かにするため児童館部門のコミュニティクラブと連携を取っていった。</p> <p>・保護者の就労を支援していくためのお便り作りや交流活動（キャンプなどをはじめとした地域の方との交流、イベントへの参加）</p> <p>* 墨田区学童クラブ条例に基き、家庭にかわる安全で楽しい生活の場としての役割を担った。</p> <p>* 言問小学校分室も3年目となり登録希望者は増えてきている。今年度は他の小学校からの児童も受け入れることになった。言問分室は地域の方々の支援が大きいため、それらの人々との関わりを大切に育てていった。</p> <p>* 本館学童クラブは児童館併設、分室は学校内施設のよさを生かして活動を展開した。（また両クラブ同士の連携をもち育成の交流機会を持ち合同プログラムの実施で交流を図る。）</p> <p>* 特別支援学校に通う児童も、区の移動支援を利用してセンターへ来館 放課後を地域の友達とすごしていくことができた。</p> <p>* 生活不安・心理的不安などにおびやかされている児童・家庭への配慮（他施設との連携）をきめ細かく行った。</p> | <p>・センターのイベントや日常のグループ活動を中心としてたくさんの友達と知り合い、友達関係を広げ、生活経験を豊かにしていくプログラムを行った。</p> <p>・年齢や学年に応じ子どもたちひとり一人が自分の力を発揮できるような活動を展開し、後半には実行委員会をつくってお祭りをおこなった。</p> <p>・友達と力を合わせて取り組む楽しさを体験するイベントを多く実施した。地域の育成委員会や町会、子ども会などと協力し地域での体験も行った。</p> <p>・生活スキルの向上（クッキング等）</p> <p>・体力増進活動の展開（様々な運動プログラムに挑戦）</p> <p>・保護者の方々とともに子どもたちの居場所づくりに努める。（安心・安全対策を中心とした交流。それに加え、体験事業などの実施の中で学ぶ。）</p> <p>・世界の現実にも目を向けたボランティア活動への取り組みを行った。</p> <p>・児童文化に触れる機会を作り、子どもたちが情操を深める場とした。特に日常の中で職員が読み聞かせを行うなど、遊びの中から大切なことを伝えていった。</p> <p>・身近なエコ活動への取り組み （エコキャップ収集・アルミ缶収集・古切手収集。子どもたちと作業をして取り組んだ）</p> <p>・学習支援への取り組み</p> <p>* 地域のボランティアの方々との協力の下、地域活動に参加することの大切さの理解を深め、参加を具体化していった。</p> | <p>・常に中・高校生たちと話し合いの機会を持ち、仲間同士でもひとりでも来館しても利用できるプログラムを用意した。</p> <p>・活動を通して他者を思いやる気持ちを育てた。スポーツ、学習、遊び、イベントを通して仲間の大切さや関わりを深める場とした。</p> <p>・夜間の利用が主となるため、常に家庭との関わりを密にし、中・高校生たちが充実して過ごせるようなプログラムを展開した。（18：00～21：00）</p> <p>・同じ目的を持った仲間との交流（音楽室活動・キャンプなど） 体験キャンプ（8月）</p> <p>・学習支援活動の時間を設けいつでも学習のできる体制をとった。学習会：火・木曜日</p> <p>・体育館の自由利用(夜間利用名簿あり)</p> <p>・障児の受け入れ</p> <p>・ボランティア活動に参加</p> <p>* 「音楽室活動」については利用者の OB や OG の専門的な音楽知識に助けられていることを報告しておきたい。25 年にわたる公設民営児童館の中高生の中で素晴らしいボランティアが育ってきていることは誇りである。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <p><乳幼児とお母さんのつどい> (10:30-11:30) 0歳児(ぼんだ)・毎週金曜日 ※年度後半には低月齢のクラス(こパンダ)も実施 1歳児(うさぎ)・毎週木曜日 2歳児(りす)・毎週火曜日 3歳児(こあら)・毎週月曜日 ※幼稚園2年保育の方の支援クラス <幼児クラス> (14:30-15:30) 3歳児クラス・4歳、5歳児クラス <日常利用> ・幼児室の安全衛生面などの整備に努める。 9:00-18:00の自由利用 ・プレイルーム・広い体育室を利用した活動遊具を準備し、交流の場として開放 水、土の午前中・午前クラス活動終了後 ランチタイム・11:45-13:00 <年間行事>遠足、うんどう会、劇団公演、よみきかせ、クリスマス会、子育て講座・講演会<その他> ・各機関との連携(保健師、子育て相談員、保健センター、女性センター、民生員他との交流・意見交換・学習会なども継続していく。 ・子ども服リサイクル 6月・10月実施 ・子育てサークルへの支援 ・ひととき保育(午前中)の実施 *自主事業 1階のトイレ「誰でもトイレ」 ・オストメイト対応・幼児用便座・車椅子対応用便座は利用者にとって好感を持たれている。 *区の子育てマップやバリアフリーマップに掲載し、より区民の方に利用していただくよう環境設定に努めた。 *地域施設との交流をより深めていった。 小梅保育園(認証保育所)・押上保育園 保育ママ(家庭保育室) 言問幼稚園</p> | <p><定員> *本館(さくら橋コミュニティセンター内) 40名 最大受け入れ枠50名(障児含む) *分室(言問小学校内) 40名 最大受け入れ枠40名(障児含む) <対象> 1年-3年(特別な事情がある場合6年迄) <育成時間> 通常 下校時間-17:00 延長 17:00-18:00(以降は児童館で学校休業日 8:30- 相談の上検討) 4月 入会式 7月 父母会主催キャンプ 8月 おでかけ 12月 クリスマス会 3月 お別れ会・3年生送る会・ハイキング <日常活動> 公園あそび・学童クラブレクリエーション 買い物体験・誕生日会・季節のイベント ・手作りおやつ・観劇・グループ活動 <その他> 保護者との連携 父母会活動(共催事業 他)・個人面接アンケート(区作成) 実施 毎年1月予定 *区のイベントへ参加 6月 環境フェスタ・ヤゴ救出作戦 12月 ふれあいフェスティバルにミュージックベルにて参加。(ボランティア講師の方からのお声がけから実現) 手話や盲導犬体験も参加させていた *その他・・・さくらパートナーシップへの参加(菜の花・コスモスの花摘み、種まき) ◎ 時には一般来館の子や利用者の方とも一緒に活動をした。</p> | <p><利用時間>下校時(9:00-) 18:00 まで *グループ活動 <低学年コミュニティクラブ 1年生-3年生> ・学年別の定例活動 週1回 期ごと ・毎週 火、木、金曜日 ・内容:スポーツ、手作り、生活技術体験、野外活動、ハイキング、キャンプ他 ・「クオレ」(ショートステイ事業)の実施 ※在宅で子育てをしている家庭への支援として(小1~小6まで) *自主事業 <高学年コミュニティクラブ 4年生-6年生> ・学年を越えての活動 ・週2回程度 水、土曜日 ・内容:スポーツ、レクリエーション、おかしづくり、イベントへの準備、ボランティア活動、学習、野外活動キャンプ、ハイキング 映画鑑賞、講座(しゃべり場)等 ・地域の福祉施設との交流 ・法人内児童館との交流イベント 自由利用 <日常プログラム> ・スポーツ活動・設定スポーツ、自由遊び ・文化活動・・・映画、工作、手芸、うた、よみきかせ、おかしづくり、料理、伝承遊び 他 自分自身を見つめる機会や創造力を養う体験をする。 ・レクリエーション・体力増進活動 子どもたちの成長に合わせた交流プログラムや体力増進の活動をおこなう。</p> <p><年間行事>こどもの日フェスタ、えんにち、ハイキング、キャンプ、クリスマス、もちつき、コミュニティ(ポイント)ラリー、ひろば(子どもまつり)</p> <p>その他:地域のお祭り、各町会の集まり ほか 墨田区育成委員会との共催事業 *東京芸術大学とのワークショップ(9月) 作品を橋に飾るなど盛大に行われた。</p> | <p><利用時間> 下校時(9:00-) 月、水、金曜日 19:00 火、木、土曜日 21:00 日曜日、祝祭日 19:00 <中学生コミュニティクラブ> <高校生コミュニティクラブ> ・体育館を利用したのスポーツ活動 設定スポーツ、他館とのスポーツ交流 ・文化活動 ・ボランティア活動 ・学習会 火、木曜日 19:00-20:00 ・中高生タイム 18:00-19:00・21:00 ・イベント ・体験学習キャンプ「ワークキャンプ」実施 <音楽室活動> ・バンド活動 音楽室の利用者会議、機材の整備 <ボランティア登録> ・センター行事のお手伝い ・プログラムの計画、実施を行う ※現在では中学生から中高年までの幅広い登録がある 区にて募集「夏ボランティア」も参加</p> <p><学校との連携> 中学生実習、奉仕活動 高校生実習、奉仕活動 特別支援学校実習 大学・保育、教育専門学校実習受け入れ 区役所 夏ボランティア ほか</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <p>(登録数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス名</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳児 A</td> <td>57組</td> </tr> <tr> <td>0歳児 B</td> <td>118組</td> </tr> <tr> <td>1歳児</td> <td>95組</td> </tr> <tr> <td>2歳児</td> <td>65組</td> </tr> <tr> <td>3歳児 A</td> <td>9組</td> </tr> <tr> <td>3歳児 B</td> <td>46組</td> </tr> <tr> <td>4・5歳児</td> <td>65組</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>455組</td> </tr> </tbody> </table> | クラス名 | 計 | 0歳児 A | 57組 | 0歳児 B | 118組 | 1歳児 | 95組 | 2歳児 | 65組 | 3歳児 A | 9組 | 3歳児 B | 46組 | 4・5歳児 | 65組 | 計 | 455組 | <p>(在籍児数) 学童クラブ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>8</td> <td>15</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>9</td> <td>17</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36</td> <td>53</td> <td>89</td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 19 | 20 | 39 | 2年生 | 8 | 15 | 23 | 3年生 | 9 | 17 | 26 | 4年生 | 0 | 0 | 0 | 5年生 | 0 | 1 | 1 | 6年生 | 0 | 0 | 0 | 計 | 36 | 53 | 89 | <p>(2011年度来館者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>4,249</td> <td>4,161</td> <td>8,410</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>14,495</td> <td>11,325</td> <td>25,820</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>3,151</td> <td>637</td> <td>3,788</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1,091</td> <td>426</td> <td>1,517</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>1,708</td> <td>12,586</td> <td>14,294</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24,694</td> <td>29,135</td> <td>53,829</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開館日数 348日 ※1日平均 154.6人</p> | | 男 | 女 | 計 | 乳幼児 | 4,249 | 4,161 | 8,410 | 小学生 | 14,495 | 11,325 | 25,820 | 中学生 | 3,151 | 637 | 3,788 | 高校生 | 1,091 | 426 | 1,517 | 一般 | 1,708 | 12,586 | 14,294 | 計 | 24,694 | 29,135 | 53,829 | <p>(その他の事業、特記事項) 児童館ブロック ・1年生歓迎会 36名 ・小学生合宿 1回 15名 ・高学年サマーキャンプ 20名・低学年サマーキャンプ 25名 ・墨田4館交流ドッジボール大会 36名 ・墨田区合同ドッジボール大会 38名 ・体験学習キャンプ参加 ・さくら橋コミュニティセンター運営委員会 2回</p> <p>※墨田区内学童クラブでのおやつ時の窒息事故後の対応について ①「安全に食べるための実施指針 講演会」 4月22日(金) 於:墨田区役所 学童クラブ職員 10名参加 ②墨田児童会館5学童クラブにおいて、「嗜ミング30」の指導、励行 4月22日より ③「事故調査報告会」 9月20日(火) 於:墨田区役所 職員 13名参加</p> |
| クラス名 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳児 A | 57組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳児 B | 118組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳児 | 95組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2歳児 | 65組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3歳児 A | 9組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3歳児 B | 46組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4・5歳児 | 65組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 455組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 19 | 20 | 39 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 8 | 15 | 23 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 9 | 17 | 26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4年生 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5年生 | 0 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6年生 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 36 | 53 | 89 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳幼児 | 4,249 | 4,161 | 8,410 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 14,495 | 11,325 | 25,820 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 3,151 | 637 | 3,788 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 1,091 | 426 | 1,517 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般 | 1,708 | 12,586 | 14,294 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 24,694 | 29,135 | 53,829 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 墨田児童会館
記入者 山口 修

指定管理
墨田

| 事業の総括 | 子育て支援活動・幼稚園児活動 | 学童クラブ（本館・二寺分室・隅田分室・梅若分室） | 小学生活動 | 中・高校生活動 | コミュニティー事業・自然体験事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|--|------------------|--------|---------|------|-----|--------|-----|------|-----|----|---------|------|-----|----|-----|------|-----|----|-----|------|-----|----|---------|------|-----|------|-----|------|-----|---|--|--|------|--|--|----|----|----|------------------|---------|----|------|----|------|---------|-----|-----|------|-------|-----|-----|------|-------|-----|-----|---|--|------|------|--|--|---|---|---|-----|-------|-------|--------|-----|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|----|-------|--------|--------|---|--------|--------|--------|-------|------|--|--|-------|------|--|--|--|
| <p>1 0～3歳児（未就園）クラスは、子育て支援、幼稚園児は子どもの活動に目的を設定。</p> <p>2 子育て講座の効果的な実施。</p> <p>3 乳幼児一時預かり事業を行なった。自主事業。（原則、1日最大2名、午前中、月～金）</p> <p>4 1Fを乳児室に、3Fを幼児室に設定し、住み分けを行った。</p> | <p>1 安全な育成と放課後の生活のために ①カミング30の指導 ②交通安全、防犯指導 の実施</p> <p>2 梅若分室の事業開始とスケールの分割（父母会も含めて、4学童共通の取り組みと個別の取り組みの使い分け）。</p> <p>3 父母の交流機会を設けた。</p> | <p>1 各室活動の活性化。特に体育室の利用者数の増加に努めた。図書室は読書の奨励のためのキャンペーンを行った。</p> <p>2 月例プログラムの充実。工作、手芸、ダンス、映画会</p> <p>3 興味や趣味の伸長のためにクラブメニューを増やした。</p> <p>4 墨田区の取り組みに合わせて、フットサルのプログラムを行った。</p> | <p>1 前年度まで中学生の利用を制限していたため、年度途中まで中学生の利用はほとんど無かったが、1月頃から利用者が増え始めた。</p> <p>2 音楽室活動（バンド活動支援）は、ライブの会場を体育室からスタジオに変更した。スタジオが広いので、ライブハウスの風情が楽しめ好評で、今後はこの形を基本とすることにした。</p> | <p>1 母親コーラス（講師派遣、会場提供、交流会等の実施）</p> <p>2 母親卓球（3グループ）会場提供と協力 ・墨田区母親卓球大会</p> <p>3 母親バドミントンへの協力、会場提供</p> <p>4 募金活動、支援活動 A: 「赤い羽根共同募金」鐘ヶ淵駅前 B: 一般行事での募金「WFP 国連食糧計画」 C: その他</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>活動・行事報告</p> | <p>1 プレイルーム（体育室開放）：乳幼児向けに体育室を開放した。週3回。</p> <p>2 年齢別プログラム：保護者相互のつながりを重視して活動した。</p> <p>3 育児相談（保健士、子育て相談員、等）をクラス活動の中で行った。</p> <p>4 1F乳児室、3Fサンルーム（幼児室）の開放</p> <p>5 子育て講座 ①しっかり噛んで、しっかり食べよう、②ビューティーペルヴィス、③遊びうたで遊ぼう、④応急救護講座</p> <p>6 主な行事等：6月子ども服リサイクル(159名)、7月水遊び(74名)、8月フィンガーペインティング(37名)、乳幼児映画会(85名)、10月子ども服リサイクル(121名)、ファミリーデイ(211名)、12月乳幼児クリスマス会(150名)、2月乳幼児ふゆまつり(127名)</p> <p>7 一時預かり：登録34名、利用者39名</p> <p>8 梅若保育園父母会共催行事 梅若ふれあいフェスティバル (253名)</p> | <p>活動内容</p> <p>1 手作りおやつ：職員が作る、子ども自身で作る手作りおやつ、買物体験、誕生会等</p> <p>2 主な活動：レクタイム、学年タイム ※屋外、館庭、校庭あそびは随時実施</p> <p>3 主な行事等 [4月] 入会式 [5月] 保護者会 [7月] 保護者会 [8月] 昼食会-父母会 主催各学童4回(206, 178, 159, 195名)、[9月] 本館梅若合同合宿(64名)、二寺隅田合同合宿(51名) [10月] 4学童合同プログラム①(20名) [11月] 4学童合同親子パスハイク(60名) [12月] 保護者会、4学童合同プログラム②(47名) [2月] 4学童合同プログラム③(25名) [3月] 保護者会、4学童合同プログラム④(119名) 年末特別保育 12月29～30日</p> | <p>1 主な行事：[4月] 1年生歓迎会(63名) [5月] 低学年フットボールミニハイク(33名) [6月] 田植え体験(23名) [7月] 将棋交流戦(43名) [8月] 高学年サマーキャンプ(10名)、3年生サマーキャンプ(14名)、2年生サマーキャンプ(31)、映画会「戦争を知らない子どもたちへ」(140名)、こわいお話し出てこい [10月] 1年生ハイク(16名)、2・3年生ハイク(14名)、高学年ハイク(3名)、交流フェスタ(11名)、乳幼児ファミリーデイ(223名)、稲刈り体験(20名) [11月] 3～6年生合宿(20名)、1年生合宿(44名)、2年生合宿(20名) [12月] フットサルで遊ぼう&見学(60名)、クリスマス会(220名) [1月] 墨田区ドッジボール大会(45名) [2月] 交流ドッジフェスタ(31名)、雪国体験ウィンターキャンプ(37名) [3月] 1年生ハイク(37名)、高学年ハイク(5名)、2・3年生遠足(39名)、ファミリー&コミュニティーフットサル大会(27名)</p> <p>2 月例プログラム：工作、手芸、映画会、読み聞かせ、輪投げ大会、スポーツ大会、ダンス</p> <p>3 フットボールクラブ事業 ・フットボールクラブ 1年生 33回 535名 ・フットボールクラブ 2年生 33回 483名 ・フットボールクラブ 3年生 33回 413名 ・フットボールクラブ 高学年 32回 275名</p> <p>4 各種クラブ事業 ・お料理クラブ 低学年 10回 166名 ・お料理クラブ 高学年 10回 89名 ・ドッジボールクラブ 34回 2,228名 ・将棋教室（中根指導師範）20回 345名 ・フットボールクラブ 2回 50名</p> <p>5 体育室事業 ・設定スポーツ 259回 4,845名 ・スポーツ大会 11回 323名</p> <p>6 体力増進活動 34回 542名</p> <p>7 図書事業 ・貸し出し 395名 662冊 ・貸し出し促進キャンペーン 2回</p> | <p>1 中高生タイム 7回 101名</p> <p>2 音楽室活動 ・利用者会議 11回 51名 ・スタジオ利用 421回 1,531名 ・ライブ 3回 97名</p> <p>3 体験学習キャンプ（雲柱社合同行事）1名</p> <p>2. 全体事業 [5月] こどもの日スペシャル (267名) [7月] 夏祭り (1,503名) [10月] すみだわんぱく (234名) [11月] やきいも会 (410名) [1月] もちつき会 (456名)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>登録者・来館者</p> | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>(登録数)</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>クラス名</th> <th>曜日</th> <th>登録数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳 低月齢</td> <td>赤ちゃんばんだ</td> <td>金 AM</td> <td>51組</td> </tr> <tr> <td>0歳 高月齢</td> <td>ばんだ</td> <td>金 AM</td> <td>75組</td> </tr> <tr> <td>1歳</td> <td>うさぎ A、B</td> <td>火 AM</td> <td>74組</td> </tr> <tr> <td>2歳</td> <td>こあら</td> <td>木 AM</td> <td>62組</td> </tr> <tr> <td>3歳</td> <td>いるか</td> <td>木 PM</td> <td>11組</td> </tr> <tr> <td>3歳</td> <td>年少さん集まれ</td> <td>木 PM</td> <td>24組</td> </tr> <tr> <td>4・5歳</td> <td>くじら</td> <td>火 PM</td> <td>37組</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>334組</td> </tr> </tbody> </table> | 年齢 | クラス名 | 曜日 | 登録数 | 0歳 低月齢 | 赤ちゃんばんだ | 金 AM | 51組 | 0歳 高月齢 | ばんだ | 金 AM | 75組 | 1歳 | うさぎ A、B | 火 AM | 74組 | 2歳 | こあら | 木 AM | 62組 | 3歳 | いるか | 木 PM | 11組 | 3歳 | 年少さん集まれ | 木 PM | 24組 | 4・5歳 | くじら | 火 PM | 37組 | 計 | | | 334組 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>(学童在籍児数) ※最多時</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>場所</th> <th>定数</th> <th>在籍</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">墨田児童会館第1・第2学童クラブ</td> <td rowspan="2">墨田児童会館内</td> <td>第1</td> <td rowspan="2">120名</td> </tr> <tr> <td>第2</td> </tr> <tr> <td>二寺分室</td> <td>第二寺島小学校</td> <td>60名</td> <td>60名</td> </tr> <tr> <td>隅田分室</td> <td>隅田小学校</td> <td>60名</td> <td>60名</td> </tr> <tr> <td>梅若分室</td> <td>梅若小学校</td> <td>40名</td> <td>32名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>260名</td> <td>272名</td> </tr> </tbody> </table> | | 場所 | 定数 | 在籍 | 墨田児童会館第1・第2学童クラブ | 墨田児童会館内 | 第1 | 120名 | 第2 | 二寺分室 | 第二寺島小学校 | 60名 | 60名 | 隅田分室 | 隅田小学校 | 60名 | 60名 | 梅若分室 | 梅若小学校 | 40名 | 32名 | 計 | | 260名 | 272名 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>(2011年度来館者数)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>6,904</td> <td>6,844</td> <td>13,748</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>25,164</td> <td>17,381</td> <td>42,545</td> </tr> <tr> <td>中・高校生</td> <td>3,760</td> <td>1,307</td> <td>5,067</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>2,121</td> <td>14,154</td> <td>16,275</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37,949</td> <td>39,686</td> <td>77,635</td> </tr> <tr> <td>※開館日数</td> <td>348日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※1日平均</td> <td>223人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 乳幼児 | 6,904 | 6,844 | 13,748 | 小学生 | 25,164 | 17,381 | 42,545 | 中・高校生 | 3,760 | 1,307 | 5,067 | 一般 | 2,121 | 14,154 | 16,275 | 計 | 37,949 | 39,686 | 77,635 | ※開館日数 | 348日 | | | ※1日平均 | 223人 | | | <p>その他・特記事項</p> <p>・交流将棋 小学生と地域の大人が将棋を通して交流を図る。 ・将棋交流戦</p> <p>※墨田区内学童クラブでのおやつ時の窒息事故後の対応について ①「安全に食べるための実施指針 講演会」 4月22日（金） 於：墨田区役所 学童クラブ職員 10名参加 ②墨田児童会館5学童クラブにおいて、「噛ミン30」の指導、励行 4月23日より ③「事故調査報告会」 9月20日（火） 於：墨田区役所 職員 13名参加</p> |
| 年齢 | クラス名 | 曜日 | 登録数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳 低月齢 | 赤ちゃんばんだ | 金 AM | 51組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳 高月齢 | ばんだ | 金 AM | 75組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳 | うさぎ A、B | 火 AM | 74組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2歳 | こあら | 木 AM | 62組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3歳 | いるか | 木 PM | 11組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3歳 | 年少さん集まれ | 木 PM | 24組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4・5歳 | くじら | 火 PM | 37組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | 334組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 場所 | 定数 | 在籍 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 墨田児童会館第1・第2学童クラブ | 墨田児童会館内 | 第1 | 120名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 第2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 二寺分室 | 第二寺島小学校 | 60名 | 60名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 隅田分室 | 隅田小学校 | 60名 | 60名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 梅若分室 | 梅若小学校 | 40名 | 32名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | 260名 | 272名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳幼児 | 6,904 | 6,844 | 13,748 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 25,164 | 17,381 | 42,545 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中・高校生 | 3,760 | 1,307 | 5,067 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般 | 2,121 | 14,154 | 16,275 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 37,949 | 39,686 | 77,635 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※開館日数 | 348日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※1日平均 | 223人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 文花児童館
記入者 野口 啓子

指定管理
文花

| | 子育て支援活動 | 学童クラブ（本館・押上分室） | 小学生活動 | 中・高生活動 | 全世代事業、自然体験事業、ボランティア活動など | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---|--|---|--|--------|----|----|----|--------|----|----|----|----------|----|----|----|------|----|----|----|---|-----|-----|-----|---|--|---|---|---|-----|----|----|----|-----|----|---|----|-----|----|----|----|-----|---|---|---|-----|---|---|---|---|----|----|-----|---|--|---|---|---|-----|-------|-------|-------|-----|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|----|-------|--------|--------|---|--------|--------|--------|---|
| 事業の総括 | <p>○クラス活動は昨年度に比べ、1歳児の登録が少ないものの、他クラスの登録、プログラムの参加者の人数は大差なかった。</p> <p>○継続した事業として、幼稚園児対象のちびっこミュージックが定着し、メンバーの日常の来館や、プログラム参加もあり幼稚園児の利用が大幅に増加した。</p> <p>○乳幼児室を2階から3階に移動し、グループ活動を行った。又飲食スペースを設定したことで午前中から利用する親子が増えた。</p> | <p>本館学童クラブでは子どもたち同士の関係づくりに力を入れ、きめ細かく対応する事を心がけた。又後半は異年齢の交流にも力を入れてきた。今後も異年齢交流を中心に子どもたちの関係づくりに積極的に取り組んでいきたい。</p> <p>分室は、子ども集団としての関係作りを目標に、横の繋がりを意識してプログラムを展開してきた。3年生はリーダーシップを発揮して学童クラブの集団形成を引っ張っていく姿も見られた。</p> | <p>1、2年生定例活動が一般来館児を対象にしたため、活動日には低学年の来館が多くみられた。</p> <p>折り紙、将棋、音楽、ヒップホップなど専門家から習う場を増やし、子どもたちの興味を広げ、スキルを学び向上させる機会となった。小学生だけでなく、だれでも参加できるプログラムとして、将棋やミュージッククラブの活動を行った。昨年度から引き続き行うことで地域の方の協力もあり、特に将棋は継続して参加するメンバー多くなってきた。</p> | <p>学習会の参加人数が昨年度と比べて増加した。主に小学生からつながりのある中学生の参加が中心であった。</p> <p>また今年度中学生のプログラム参加やボランティア、体育室の利用は、学習会メンバーが中心となり展開された。</p> <p>昨年同様に何らかの課題、問題を抱えている中・高校生たちの来館が多く、その対応にかなりの時間を割くことになった。</p> <p>中学生のボランティア活動を通して学習以外にも生活技術や将来に目を向けた活動を来年度も継続していきたい。</p> | <p>ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦（公園、周辺の清掃）各定例活動にて各3回実施 ・共同募金（街頭募金）各定例活動にて実施 <p>自然体験事業</p> <ul style="list-style-type: none"> キャンプ 3回 計 51名 ディキャンプ 1回 計 10名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <p>ちびっこミュージック（毎週1回）</p> <p>子育て講座 3講座3回実施 計 164組</p> <p>子ども服リサイクル 2回実施 計 80組</p> <p>乳幼児運動会 36組</p> <p>クリスマス会（乳児） 75組</p> <p>クリスマス会（幼児） 27組</p> <p>親子遠足 16組</p> | <p>本館親子交流会 2回</p> <p>分室親子交流会 2回</p> <p>分室クリスマス会 34名</p> <p>本館クリスマス会（インフルエンザの為、中止）</p> <p>本館分室合同遠足</p> <p>分室お別れ遠足</p> <p>本館お別れ会（保護者含む） 50名</p> <p>その他 分室遠足3回 本館遠足2回</p> <p>分室・本館 1年生タイム、2年生タイム、3年生タイム</p> <p>分室・本館 工作タイム、手芸タイム</p> | <p>1、2年生定例活動（毎週1回）</p> <p>3～6年生定例活動（毎週1回）</p> <p>スポーツ大会（毎月1回）</p> <p>体力増進活動（毎週1回）</p> <p>ヒップホップ、トランポリン（毎月1回）</p> <p>ミュージッククラブ（毎月2回）</p> <p>将棋教室（毎月1回）</p> <p>声を出して読もう（毎週1回）</p> <p>おはなし会（毎週1回）</p> <p>ブックトーク（毎月1回）</p> <p>折り紙で遊ぼう（毎月1回）</p> <p>手作り教室（毎月1回）</p> <p>小学生学習会（毎週1回）</p> <p>他、体育室プログラム（毎週5回）</p> | <p>中高生学習会</p> <p>英語・算数・数学（毎週1回）</p> <p>中高生トーキングタイム（毎月1回）</p> <p>中高生カフェテリア（毎週1回）</p> <p>中高生スポーツ大会（毎月1回）</p> <p>中高生野球大会 30名</p> <p>中高生合宿 2回 計 19名</p> <p>中高生クリスマス会 11名</p> <p>中高生体験学習キャンプ 1名</p> <p>音楽室利用者ミーティング（毎月1回）</p> | <p>共通行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> こどもの日スペシャル 111名 パークランドフェスティバル 916名 すいかわり 145名 夕涼み映画会&ポイントラリー 158名 ふれあい交流会 82名 フレンドリーラリー 115名 やきいも会 290名 もちつき会 110名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <p>（登録数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス名</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳児クラス</td> <td>45</td> <td>43</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>1歳児クラス</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>2,3歳児クラス</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>ちびっこ</td> <td>27</td> <td>39</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>101</td> <td>119</td> <td>220</td> </tr> </tbody> </table> | クラス名 | 男 | 女 | 計 | 0歳児クラス | 45 | 43 | 88 | 1歳児クラス | 12 | 20 | 32 | 2,3歳児クラス | 17 | 17 | 34 | ちびっこ | 27 | 39 | 66 | 計 | 101 | 119 | 220 | <p>（在籍児数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>20</td> <td>17</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>30</td> <td>9</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>15</td> <td>21</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>69</td> <td>48</td> <td>117</td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 20 | 17 | 37 | 2年生 | 30 | 9 | 39 | 3年生 | 15 | 21 | 36 | 4年生 | 3 | 1 | 4 | 5年生 | 1 | 0 | 1 | 計 | 69 | 48 | 117 | <p>（2011年度来館者数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>2,976</td> <td>2,839</td> <td>5,815</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>15,860</td> <td>12,871</td> <td>28,731</td> </tr> <tr> <td>中・高校生</td> <td>7,726</td> <td>3,306</td> <td>11,032</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>3,219</td> <td>11,923</td> <td>15,142</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29,781</td> <td>30,939</td> <td>60,720</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開館日数 348日 ※1日平均 174.5人</p> | | 男 | 女 | 計 | 乳幼児 | 2,976 | 2,839 | 5,815 | 小学生 | 15,860 | 12,871 | 28,731 | 中・高校生 | 7,726 | 3,306 | 11,032 | 一般 | 3,219 | 11,923 | 15,142 | 計 | 29,781 | 30,939 | 60,720 | <p>（その他の事業、特記事項）</p> <p>新一年生歓迎会 50名</p> <p>小学生合宿 2回 計 174名</p> <p>墨田区児童館対抗ドッジボール大会参加</p> <p>児童館ブロック 体験学習キャンプ参加、交流フェスタ参加、ドッジフェスタ参加</p> <p>小学生クリスマス会 92名</p> <p>文花児童館運営協議会 2回</p> <p>※墨田区内学童クラブでのおやつ時の窒息事故後の対応について</p> <p>①「安全に食べるための実施指針 講演会」 4月22日（金） 於：墨田区役所 学童クラブ職員 10名参加</p> <p>②墨田児童会館5学童クラブにおいて、「嚙ミング30」の指導、励行 4月23日より</p> <p>③「事故調査報告会」 9月20日（火） 於：墨田区役所 職員 13名参加</p> |
| クラス名 | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳児クラス | 45 | 43 | 88 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳児クラス | 12 | 20 | 32 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2,3歳児クラス | 17 | 17 | 34 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ちびっこ | 27 | 39 | 66 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 101 | 119 | 220 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 20 | 17 | 37 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 30 | 9 | 39 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 15 | 21 | 36 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4年生 | 3 | 1 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5年生 | 1 | 0 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 69 | 48 | 117 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳幼児 | 2,976 | 2,839 | 5,815 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 15,860 | 12,871 | 28,731 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中・高校生 | 7,726 | 3,306 | 11,032 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般 | 3,219 | 11,923 | 15,142 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 29,781 | 30,939 | 60,720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 外手児童館
記入者 森 裕樹

指定管理
外手

| | 子育て支援活動 | 学童クラブ（本館・分室・業平分室） | 小学生活動 | 中・高生活動 | 全世代事業、自然体験事業、ボランティア活動など | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|---|--|--|---|--------|----|----|-----|--------|----|----|----|--------|----|----|----|--------|----|----|----|--------|----|----|----|--------|---|----|----|---|-----|-----|-----|---|--|---|---|---|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|---|---|---|-----|---|---|---|-----|---|---|---|---|----|----|-----|---|--|---|---|---|-----|-------|-------|-------|-----|--------|--------|--------|-------|-------|-----|-------|----|-------|--------|--------|---|--------|--------|--------|-------|-----|---|--|-------|-------|---|--|--|
| 事業の総括 | 今年度は0歳児の参加を中心に他のクラスとも多くの参加があった。震災・放射能の風潮被害により室内での活動に参加が増えたものと思われる。活動の浸透が数字に出てきているが、部屋が限られており、今後の活動の展開を考えるには他施設利用も視野に入れるであると考えている。 | 2011年度も、昨年同様おやつや玩具等への対応を3学童共通で行う事に重点を置き、特におやつに関しては食育の観点から献立表を月の案内に掲示し、腹もちする物、安全な物、季節の物などを組み合わせ、子どもたちにとって楽しいおやつを心がけ、保護者の理解も得るように努めた。また手づくりおやつ等のメニューも増やし、調理の楽しさを体験することにも取り組んだ。 各学年ごとのプログラムを展開し、新たな発見や興味を増やした。 3学童クラブ合同行事として1年生の児童館合宿、2、3年草ぶえの丘宿泊を実施し交流を深めることができた。 | 今年度から始めた学習会は定着し平均22名と年間通して安定していた。昨年に比べ6年生女子の利用が多く、組織活動やイベントの参加も多かった。逆に男子は近くの公園で遊んでいる事が多く、施設の狭さがマイナスになっている。1年ぶりのグリーンフェスタも児童の意見を尊重した内容で行うことが出来た。また東日本大震災の支援として小学校全生徒によるメッセージカード作りは児童館と小学校の関係を強めた。 | スポーツ大会を職員も全員参加の形で、館外で行う事が定着してきた。また障がい児の受け入れも定着してきた。一般来館の児童も3月に急激に増加した。 大学生以上で構成されている青年部は東日本大震災の支援活動として陰ながら準備を手伝ってくれた。 障がい児の受け入れは、特に学校の長期休業日の利用が多く、事務室を中心に居場所を提供した。 | 夏祭りでは、小学生の組織メンバーを中心に、児童館に関わる団体や学童クラブの保護者等の協力によって運営する事が出来た。都民の日スペシャルでは、恒例の駅前での赤い羽根の街頭募金を行った（10名）。昨年同様クリスマス会は小学校の体育館を借りて合同で行った。お母さんコーラスや各組織の出し物、職員も合唱で参加したりと幅広い年齢層が楽しめる会となった。またもちつき、芋煮会との参加数が大幅に増加した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | 0歳児クラス合計30回延べ1066組参加 1歳児クラス合計36回延べ825組参加 2歳児クラス合計34回延べ942組参加 3歳児クラス合計35回延べ559組参加 4歳児クラス合計17回延べ238組参加 5歳児クラス合計17回延べ148組参加 （工作・運動あそび・おでかけ・クッキング等） 出前保育合計7回延べ322組参加（映画会・西瓜割り・ミニえんにち・工作等）お母さん向け合計9回74名参加 （スポーツ大会・園芸・手芸・お菓子作り・昼食会・映画会等）プレイルーム37回384名、すくすく計測11回124組、マタニティ10回22人、一時保育延べ187人、水遊び100名、夕涼み映画会14名、ベビープレイルーム51名、おはなし会69名お母さんリフレッシュ188名 | 本館（定員60）合計69 1年男12女16 2年男6女7 3年男15女8 4年男1女1 5年男1 6年男1女1 分室（定員40）合計41 1年男12女10 2年男9女6 3年男1女3 業平（定員40）合計38 1年男6女6 2年男3女13 3年男4女6 + 誕生日会・買い物おやつ・手作りおやつ・おでかけ（プラネタリウム・防災館・アスレチック・草ぶえの丘（2、3年）・どじょうすくい・夏祭り・クリスマス合宿（1年）等） | 組織活動～子どもたちを学年層でグループ化して活動～ 遊ぶ・学ぶ・ボランティアを中心に… こども会議（月1回）高学年のみ・スポーツ・工作・お菓子作り・クッキング・映画会・考えよう（低学年）・公園清掃・夏祭り、クリスマス・ミニ縁日の装飾運営（3年以上）・おでかけ等、小学生合宿13名 低学年1年男38女44、2年男13女13、3年男15女18 高学年4年男6女2、5年男4女8、6年男15女2 一般参加 スポーツ大会（11回303人）、手芸（9回91人）、手作り（9回119人）、映画会（108回1909人）、読み聞かせの会（50回470人）等学習会32回460名・七福神巡り6名 | 中学生定例会11回41名・高校生定例会11回7名・軟式野球大会（台東区リバーサイド2回34名）・サッカー大会（外手小体育館1回27名）・映画会・クッキング12回54名・館内スポーツ大会10回72名・館内合宿1回8名（被災地支援）・クリスマス会13名 | 幼児おでかけ15名・低学年おでかけ32名・高学年キャンプ10名・こどもの日スペシャル106名・都民の日スペシャル112名・夏祭り628名・クリスマス366名・芋煮会240名・グリーンフェスティバル210名・公園、館内清掃・赤い羽根街頭募金10名・ドッジフェスタ26名・もちつき204名・幼児運動会107名・小学生合同ハイク19名・交流フェスタ25名・合同ドッジ52名・田植え体験20名・高学年合宿18名・1・2年生合宿50名 小学生キャンプ24名・体験学習キャンプ1名・稲刈り体験18名・幼児ハロウィンパーティー184名・交流フェスタ12名・お母さんコーラスとのお茶会12回84名中高生ハイキング5名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | （登録数） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th>クラス名</th><th>男</th><th>女</th><th>計</th></tr> <tr><td>0歳児クラス</td><td>66</td><td>96</td><td>162</td></tr> <tr><td>1歳児クラス</td><td>44</td><td>39</td><td>83</td></tr> <tr><td>2歳児クラス</td><td>36</td><td>42</td><td>78</td></tr> <tr><td>3歳児クラス</td><td>17</td><td>29</td><td>46</td></tr> <tr><td>4歳児クラス</td><td>18</td><td>32</td><td>50</td></tr> <tr><td>5歳児クラス</td><td>7</td><td>12</td><td>19</td></tr> <tr><td>計</td><td>188</td><td>250</td><td>438</td></tr> </table> | クラス名 | 男 | 女 | 計 | 0歳児クラス | 66 | 96 | 162 | 1歳児クラス | 44 | 39 | 83 | 2歳児クラス | 36 | 42 | 78 | 3歳児クラス | 17 | 29 | 46 | 4歳児クラス | 18 | 32 | 50 | 5歳児クラス | 7 | 12 | 19 | 計 | 188 | 250 | 438 | （在籍児数） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th></th><th>男</th><th>女</th><th>計</th></tr> <tr><td>1年生</td><td>30</td><td>32</td><td>62</td></tr> <tr><td>2年生</td><td>18</td><td>26</td><td>44</td></tr> <tr><td>3年生</td><td>20</td><td>17</td><td>37</td></tr> <tr><td>4年生</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>5年生</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>6年生</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>計</td><td>71</td><td>77</td><td>148</td></tr> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 30 | 32 | 62 | 2年生 | 18 | 26 | 44 | 3年生 | 20 | 17 | 37 | 4年生 | 1 | 1 | 2 | 5年生 | 1 | 0 | 1 | 6年生 | 1 | 1 | 2 | 計 | 71 | 77 | 148 | （2010年度来館者数） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th></th><th>男</th><th>女</th><th>計</th></tr> <tr><td>乳幼児</td><td>3,865</td><td>4,192</td><td>8,057</td></tr> <tr><td>小学生</td><td>14,592</td><td>13,340</td><td>27,932</td></tr> <tr><td>中・高校生</td><td>2,826</td><td>864</td><td>3,690</td></tr> <tr><td>一般</td><td>2,363</td><td>11,001</td><td>13,364</td></tr> <tr><td>計</td><td>23,646</td><td>29,397</td><td>53,043</td></tr> <tr><td>※開館日数</td><td>347</td><td>日</td><td></td></tr> <tr><td>※1日平均</td><td>152.8</td><td>人</td><td></td></tr> </table> | | 男 | 女 | 計 | 乳幼児 | 3,865 | 4,192 | 8,057 | 小学生 | 14,592 | 13,340 | 27,932 | 中・高校生 | 2,826 | 864 | 3,690 | 一般 | 2,363 | 11,001 | 13,364 | 計 | 23,646 | 29,397 | 53,043 | ※開館日数 | 347 | 日 | | ※1日平均 | 152.8 | 人 | | （その他の事業、特記事項） 出前保育（光の園保育学校との共催）・お母さん向けリフレッシュ企画（乳幼児保護者） 東日本大震災支援活動（絆が見える化プロジェクト） ○カード収集（墨田区11館+法人児童館ブロック） ○大曲小学校6年生卒業記念キーホルダー製作（さくら橋・興望館共催） ○岩手県山田町3学童クラブに青年部が凶鑑を寄贈、また3学童クラブも色紙を書いて一緒に郵送した。 外手小連合子供会祭り、新たにモーニングフィバーに参加 学童クラブ児童についてのケース会議 業平分室資料室借用（24年度定員10名増加） ○運営協議会 年2回開催 ※墨田区内学童クラブでのおやつ時の窒息事故後の対応について ①「安全に食べるための実施指針 講演会」 4月22日（金） 於：墨田区役所 学童クラブ職員 10名参加 ②墨田児童会館5学童クラブにおいて、「嚙ミング30」の指導、励行 4月23日より ③「事故調査報告会」 9月20日（火） 於：墨田区役所 職員 13名参加 |
| クラス名 | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳児クラス | 66 | 96 | 162 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳児クラス | 44 | 39 | 83 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2歳児クラス | 36 | 42 | 78 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3歳児クラス | 17 | 29 | 46 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4歳児クラス | 18 | 32 | 50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5歳児クラス | 7 | 12 | 19 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 188 | 250 | 438 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 30 | 32 | 62 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 18 | 26 | 44 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 20 | 17 | 37 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4年生 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5年生 | 1 | 0 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6年生 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 71 | 77 | 148 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳幼児 | 3,865 | 4,192 | 8,057 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 14,592 | 13,340 | 27,932 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中・高校生 | 2,826 | 864 | 3,690 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般 | 2,363 | 11,001 | 13,364 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 23,646 | 29,397 | 53,043 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※開館日数 | 347 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※1日平均 | 152.8 | 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 平野児童館
記入者 松原 万紀子

指定管理

平野

| | 子育て支援活動 | 学童クラブ（本館・分室） | 小学生活動 | 中・高生活動 | 全世代事業、自然体験事業、ボランティア活動など | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|--|--|---|--|--------------------|-------|----|----|-------------|-------|----|----|-------------|-------|----|----|------------|-------|----|----|---|--------|-----|----|---|--|---|---|---|-----|---|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|---|----|----|----|--|--|---|---|---|-----|-------|-------|--------|-----|--------|-------|--------|-----|-------|-----|-------|----|--|--|--------|---|--------|--------|--|---|--|--|--------|-------|--|--|-----|-------|--|--|-------|---|
| 事業の総括 | <p>・3.11 の大震災の影響を受け、実家（遠方）に里帰りしたり、自宅待機したりする方が多数いた。</p> <p>そんな中、子育て不安を持つ保護者に寄り添い、子育ての楽しさ・コミュニケーションの取れる場所として、少しでも児童館で気晴らしして過ごせる様に工夫し、新しいイベントの「おにいさんとあそぼう」を企画する。おにいさんとのダイナミックなあそびは子どもたちに人気であり、さわやかなおにいさんの歌や体操は保護者の方に大人気であり、初日には80名の参加があった。うたのおねえさんとあそぼう、おにいさんとあそぼう等のイベントでは異年齢の子どもと保護者の交流を深める場となり大変良かったと感じた。</p> <p>・0～3 歳児の子育てひろばクラスではその発達に沿ったあそび、運動、クッキングに取り組み、様々な体験を提供することができ、子育てひろばイベントを通して、顔見知りになったり、信頼関係を築く中で、ちょっとした出来事でも職員に話しかけてくれるようになる。児童館に向向いて来れない親子向けには出前保育のイベントを通して、児童館のPRをしながら子育て相談を受けた。</p> | <p>・前年度に比べて人数は減少したが、1年生も6時間授業が始まり、クラブで過ごす時間が短くなったこともあり、遊び時間を長く取れるよう、おやつ前の時間で屋上を貸切で使う等工夫した。</p> <p>・2クラスを3年生の部屋として使うことで、生活の流れはスムーズであったが、1、2年生と3年生との交流が少なくなってしまうので、3学期はおやつを全学年合同で行い、交流の機会を増やし、友達関係の輪が広がっていった。</p> <p>・ゲーム会、集団活動の参加はメンバーに偏りが見られたが、クッキングや宝探し等の行事は人気が高く、とても好評であった。後期はクリスマス会やドッジボール大会といった行事があり、クラブ児童が一丸となって協力し、成果を発揮することができた。その中で生まれた友情はその後の育成の中でもより深まっていた。1つの目標に向かって挑戦できるような機会を増やし、次年度、更に人数が少なくなる中で、子ども同士、職員と子どもとの関係をより深めていきたい。</p> | <p>・今年度から「将棋の会」や近隣のきつずクラブで遊びを提供する「出前児童館」を行った。新規事業を行うことで、新たに児童館をPRするきっかけとなった。</p> <p>・地域のサークルの方、ボランティアの方を招いて伝承遊び、劇、紙芝居といった活動を取り入れ、良い世代間交流の場となった。</p> <p>・近隣にきつずクラブができたことや学校授業数増加や習い事により、低学年の来館が減少した。子どもたちにとって魅力あるプログラムを企画していくことはもちろんであるが、乳幼児期からの良い関係を学童期になっても保ち続けていくことにより来館も増えるのではないかと考えている。</p> <p>・今年度から児童館での受け入れ土曜きつずクラブの育成が始まる近隣のきつずクラブ元加賀・明治・平野学童の登録メンバーの週一合同育成であり個々の細かい対応に配慮をした。</p> | <p>・あそびを通して、小学生との交流がよく見られ、遊びのルールやアドバイス等を行っている。</p> <p>・職員との関わりに慣れてきたためか児童館の使用のルールなどが曖昧になっている。中学生との日々の関わりの中でルールを確認していく。</p> <p>・小学生との関わりや学校・家庭などで生まれた不安などの気持ちを受容できるような環境作りを進めていきたい。</p> <p>・中学生事業に中学校の副校長・担任の先生が自主的に参加して下さったり、中学生間で問題が生じた時等、連絡を取り合い協力体制がとれる良い関係を持つことができた。</p> <p>・23年度は中学3年生が多く来館していたため、児童館のルールを周知しながらも、一人ひとりの悩みなどを受け止めた。特に、家庭環境・友人関係・問題など。</p> | <p>・日頃の活動・行事を通して利用者（児童・乳幼児保護者・学童児保護者・学童クラブ父母会）・地域（民生委員・町会長・読み聞かせボランティア、スポーツクラブ）・近隣の諸機関（保育園・幼稚園・小中学校・支援センター他）との連携がスムーズに持つことが出来、様々な方面からのボランティアとして活動、行事に参加した。</p> <p>自然体験として、木の実、落ち葉拾い、キャンプでは日常経験できない自然活動を体験することで五感を磨き自然の大切さを知ることが出来た。</p> <p>・児童館を飛び出し、毎月第三水曜日に近隣の公園に出向いて、子ども達や近隣の大人の方と駒・ペーゴマ・かけっこ等の昔遊びを楽しむ場を設けることにより体力向上にも繋がるように努めた。</p> <p>・東京都現代美術館の打ち水体験に参加し、地域の方に児童館をPRでき、美術館とも良い関係を築いている。</p> <p>・ひらのまつりでは、夜の部として近隣の公園でミニ縁日、盆踊り、抽選くじなどを地域のみなさんと共に楽しむ。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <p>【年間行事報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児運動会 459名 ・水遊び 185名（6回） ・子ども服リサイクル 246名（2回） ・乳幼児クリスマス会 460組 ・出前保育 1237名（9回） ・パパベビーオイルマッサージ74名（6回） ・マママッサージ 190名（9回） ・0歳児未満児・マタニティマールーム 100組（7回） ・お誕生日会 194名（11回） ・うたのおねえさんとあそぼう 696名（11回） ・おにいさんとあそぼう 428名（9回） ・節分の会 138名（1回） ・幼児一輪車タイム 364名（35回） ・プレイルーム 490名（38回） <p>【子育て講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て講演会（乳幼児）深川消防署隊員による応急手当・事故予防策講座 42名 （乳幼児）幼稚園ってなあに 近隣幼稚園長によるお話 92名 （乳幼児）保育士によるおやつ紹介 2回 60名 | <p>・4月入会式・6月おすもう大会・7月合宿、遠足（猿江公園）観劇会・8月水あそび、すいか割り大会・塗り絵コンテスト・9月引渡し訓練・10月ハロウィンパーティ、クッキング・11月人形劇観賞・12月クリスマス会、大掃除・クッキング（お好み焼き）1月お正月遊び・2月節分・3月お別れ会、お別れ遠足（木場公園）、深川北部ドッジボール大会</p> <p>定期活動：月1回 学年別活動、避難訓練、制作、おたのしみおやつ、誕生日会、キングコンテスト</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会：5月、7月、3月 ・入会説明会：3月 ・個人面談：6月（1年生）11月（2、3年生） | <p>【週間プログラム】（年間参加人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツタイム（ドッジ、サッカー、ユニホック、キックベース、タスケ）3,462名 ・習字の会（毎週水曜日）219名 ・将棋の会（月1回）113名 ・わくわくひろば（月1回）147名 ・スポーツ大会（月1回）170名 ・工作タイム（月1回）294名 ・手芸タイム（月5回）243名 ・わなげ大会（月1回）282名 ・一輪車検定（月2回）239名 ・アコロンのお話会（月1回）120名 ・映画会（年2回）85名 ・ビデオシアター（月1回）計162名 ・みやこどりの劇公演（年1回）35名 ・手芸教室（年1回）12名 ・折り紙の会（年3回）62名 ・出前児童館（年1回）56名 <p>【季節行事】（実施日、参加人数 ※全世代事業を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生歓迎会（年1回）24名 ・合同スマイルクラブ（年2回）32名 ・こどもクリスマス会（年1回）128名 ・深川北部ドッジボール大会（年1回）9名 ・春のお茶会（年1回）18名 <p>【組織活動】（参加人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生スマイルクラブ（388名） ・2・3年生スマイルクラブ（434名） ・高学年スマイルクラブ（209名） | <p>【年間行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おたのしみ会（5/5 9名） ・グラタンづくり（6/22 3名） ・タスケ大会（7/20 6名） ・しおりづくり（8/8、8/15 4名） ・木工工作（9/15・20 3名） ・3年生トーク会（10/19 6名） ・もんじゃ焼き作り（11/25 10名） ・鍋パーティー（12/16 8名） ・面接講習会（1/11 4名） ・中学生シアター（2/15 7名） ・プレ中学生（3/21 4名） ・おたのしみ会（3/24 9名） | <p>【全世代交流事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの日フェスタ（5/5 142名） ・ピアノリサイタル（6/6 144名） ・相撲大会（6/8 186名） ・ひらのまつり（7/17 862名） ・いきいき秋まつり（10/30 502名） ・こども冬まつり（2/18 195名） <p>【自然体験・宿泊体験事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サマーキャンプ（自然人村 7/21-23 29名） ・1年生館内合宿（9/16 20名） ・防災体験合宿（10/15 27名） ・ANA飛行機工場親子見学（10/24 39名） <p>【ボランティア活動】 使用済み切手収集、エコキャップ収集</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会（6/23 25名） ・打ち水体験（8/10 58名） ・かかしコンクール（8/3 18名） ・深川春のこどもまつり（森下文化センター 3/4） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <p>子育てひろば（年齢別活動）登録・実績数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス名</th> <th>延出席数</th> <th>実施回数</th> <th>1回平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳児（ぼんだクラスいちご・りんご）</td> <td>2,992</td> <td>62</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>1歳児（うさぎクラス）</td> <td>3,596</td> <td>62</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>2歳児（こあらクラス）</td> <td>2,366</td> <td>62</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>3歳児（りすクラス）</td> <td>1,116</td> <td>32</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,070</td> <td>218</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table> <p>子育て相談件数：180件</p> | クラス名 | 延出席数 | 実施回数 | 1回平均 | 0歳児（ぼんだクラスいちご・りんご） | 2,992 | 62 | 48 | 1歳児（うさぎクラス） | 3,596 | 62 | 58 | 2歳児（こあらクラス） | 2,366 | 62 | 38 | 3歳児（りすクラス） | 1,116 | 32 | 40 | 計 | 10,070 | 218 | 46 | <p>（学童クラブ在籍児数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>18</td> <td>13</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>43</td> <td>37</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 8 | 12 | 20 | 2年生 | 18 | 13 | 31 | 3年生 | 17 | 12 | 29 | 計 | 43 | 37 | 80 | <p>（2011年度来館者数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>4,614</td> <td>6,504</td> <td>11,118</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>12,822</td> <td>9,415</td> <td>22,237</td> </tr> <tr> <td>中・高</td> <td>1,560</td> <td>693</td> <td>2,253</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td></td> <td></td> <td>16,091</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18,996</td> <td>16,612</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>51,699</td> </tr> <tr> <td>※開館日数</td> <td></td> <td></td> <td>322</td> </tr> <tr> <td>※1日平均</td> <td></td> <td></td> <td>160.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>学童</p> | | 男 | 女 | 計 | 乳幼児 | 4,614 | 6,504 | 11,118 | 小学生 | 12,822 | 9,415 | 22,237 | 中・高 | 1,560 | 693 | 2,253 | 一般 | | | 16,091 | 計 | 18,996 | 16,612 | | 計 | | | 51,699 | ※開館日数 | | | 322 | ※1日平均 | | | 160.6 | <p>（2011年度 新規事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児一輪車タイム（幼児） ○ おにいさんとあそぼう（乳幼児） ○ ピアノリサイタル（乳幼児～） ○ レッツプレイサッカー（小学生） ○ かかし作り（小学生～） ○ 将棋の会（幼稚園・保育園年長組～） ○ 防災体験合宿（小学生） ○ 出前児童館（小学生） ○ 手芸教室（小学生） |
| クラス名 | 延出席数 | 実施回数 | 1回平均 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳児（ぼんだクラスいちご・りんご） | 2,992 | 62 | 48 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳児（うさぎクラス） | 3,596 | 62 | 58 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2歳児（こあらクラス） | 2,366 | 62 | 38 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3歳児（りすクラス） | 1,116 | 32 | 40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 10,070 | 218 | 46 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 8 | 12 | 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 18 | 13 | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 17 | 12 | 29 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 43 | 37 | 80 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳幼児 | 4,614 | 6,504 | 11,118 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 12,822 | 9,415 | 22,237 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中・高 | 1,560 | 693 | 2,253 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般 | | | 16,091 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 18,996 | 16,612 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | 51,699 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※開館日数 | | | 322 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※1日平均 | | | 160.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 亀戸児童館
記入者 永澤 和男

指定管理
亀戸

| | 子育て支援活動 | 学童クラブ（本館） | 小学生活動 | 中・高生活動 | 全世代事業、自然体験事業、ボランティア活動など | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--|--|--|--|-----|-----|----|-----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|---|----|----|---|-----|-----|-----|---|--|---|---|---|-----|---|---|----|-----|---|----|----|-----|---|---|---|---|----|----|----|--|--|---|---|---|-----|-------|-------|-------|-----|--------|-------|--------|-----|-------|-------|-------|--------|-----|-------|-------|---|--------|--------|--------|------|-------|--|--|------|-------|--|--|---|
| 事業の総括 | <ul style="list-style-type: none"> 各クラス「運動・ふれあい・リズム遊びや製作、誕生日会」など通して親子の交流や育児支援を行い、好評であった。 新しい取り組みでは、保護者自身がリフレッシュしたり異年齢の子の保護者同士が交流する機会として、母親を対象にした活動を実施。幼稚園児を対象にした親子の運動遊びの時間も実施。幼稚園年齢の親子も来館しやすくなるよう具体的な時間や活動内容で呼び掛けた。 父親や家族の育児参加促進を目的にパパと遊ぼう、季節行事などを継続して実施した。 今後の課題は、更に地域に開かれた児童館活動とし、プログラム以外でも来館しやすい環境作りを進めることである。 | <ul style="list-style-type: none"> 昨年度より登録児童数が減ったが、この状況を活用し、年間通して丁寧に縦割りのグループ活動を行い、子ども同士が関り合う機会を多く設けた。育成室の環境や遊び内容も見直し、生活の安定や子ども同士の関係を深めることができた。 第三者評価や父母会から提案のあった「交流」については親子行事を実施し、概ね好評であった。しかし、保護者の様々な事情を考慮し、今後の「交流」のあり方は検討しながら取り組んでいきたい。 児童館を従来通り活用し、多様な人間関係の中での経験や育ちの機会とした。学童クラブとして毎週外遊びに出かけ、体力づくりと心身の開放、遊びによる子ども同士の関係の発展を図った。毎月食育活動に取り組んだ。 江東きっずクラブとの交流、夏休みの乳幼児への読み聞かせ活動、児童館かめっ子1、2年生との合同ハロウィン遊び、地域のボランティア団体による布芝居制作など地域と関わりを深めている。 | <ul style="list-style-type: none"> 低学年は近隣在住の子が主だが、遠い子は保護者が送迎して利用するなど地域の安心出来る居場所として認識されている。 プログラムは、新しいスポーツをプログラム化して活動の充実を図った。 高学年は中学生と一緒にスポーツすることを希望するなど、職員とは違う年上との交流が児童館の魅力のひとつとなっている。 野外活動、合宿行事への参加希望が多く、非日常的な活動への期待は大きい。今後も更に工夫して提供していきたい。 土曜江東きっずクラブでは亀戸学童クラブと合同で館外行事を実施した。 今後の課題は、こどもたちにとって利用しやすく多様な関心を引き出す事業展開と児童館で受けとめられる家庭のニーズに目を向けながら、地域の方との関係を築いていくことである。 | <ul style="list-style-type: none"> 日常来館では、スポーツやおしゃべりに加え、学習をする姿が多くなった。職員に質問したり友だち同士で教え合ったりしていたが、学習支援の必要性も感じた。 児童館事業へのボランティア参加では、意欲的に協力したり乳幼児親子・小学生の他、ジュニアリーダーたちとの交流の機会となり、中学生にとって今後への期待や地域でのすごし方の幅が広がったようである。 今後の課題はもっと中学生がリラックスして過ごせる場となり、自己発揮し充実感や有用感を感じられるような取り組みを行うことである。来館促進の工夫と、日頃のニーズに応えたり新しい関心を引き出すことが求められる。児童館からの積極的な発信、連携して見守っていく関係作りが欠かせない。 | <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災とその後の対応として、お出かけ等遠距離への外出を控えるように区からの要請があり、前期は思うようにいかなかったが、高学年野外体験学習・アイススケート・木場プレイパーク・カブトムシ博士等自然に親しむ機会をもつことができた。 身近なボランティア活動としてエコキャップリサイクルに取り組み5年目を迎え、ユニセフより感謝状をいただく。地域、小学校、会社等、いろいろな方の協力をいただき、エコキャップリサイクルを通して、ワクチンへの還元を進めている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <p><年齢別グループ活動></p> <p>0歳児低月齢 赤ちゃんばんだ 毎週金曜日 10:00～10:45</p> <p>0歳児高月齢 ばんだクラス 毎週金曜日 11:00～11:45</p> <p>1歳児 うさぎクラス 毎週火曜日 10:30～11:30</p> <p>2歳児 こあらクラス 毎週木曜日 10:00～10:45 11:00～11:45</p> <p>3歳児 りすクラス 毎週月曜日 10:30～11:30</p> <p><月例活動>パパと遊ぼう、ママの手作り、歌とお話、プレイルーム</p> <p><行事>子育て講座(心の東京塾・離乳食講座・親子音楽遊び・親子体操・乳幼児の冬のスキンケアなど)・なつまつり・夏休み特別幼児活動・夏休み特別水遊び・ハロウィンパーティー・親子運動会・親子遠足・クリスマス会・子ども服リサイクル・ふれあいまつり・劇団公演</p> | <p><日常活動>公園遊び、季節の製作、お誕生日会、おはなし会と布芝居制作、おもしろおやつ、他</p> <p><おやつ>惣菜系の軽食、スナック、季節に合うものなど献立を考慮し提供した。</p> <p><行事>入会式／親子遠足／観劇会／遠足／きっず一亀との交流水遊び／保護者個人面談／ハロウィン遊び／新年お楽しみ会／学童合宿／江東区ドッジボール大会</p> <p><保護者協力行事>亀戸レストラン（昼食補助）／親子クリスマス会／親子遠足／児童館なつまつり／児童館ふれあいまつり</p> | <p><学年別グループ活動></p> <p>かめっ子1，2年生 毎週金曜日 16:00～17:00</p> <p>かめっ子3，4年生 毎週木曜日 17:00～18:00</p> <p>かめっ子5，6年生 毎週火曜日 17:00～18:00</p> <p><日常活動>スポーツ活動、文化活動、伝承遊び、自由工作など</p> <p><月例活動> 検定（なわとび、一輪車）</p> <p>大会（スポーツ、わなげ、バンパー）</p> <p>文化的活動（おはなし会、クッキング、ふしぎ研究所、手芸、工作、折紙）</p> <p><行事>おいでよ！一年生・ハッピーキッズデー・高学年お出かけ、館内合宿、なつまつり、夏の特別かめっ子活動、野外体験活動（木場プレーパーク、代々木交流フェスタ、自然体験キャンプ）・交流ドッジボールフェスタ・城東地区卓球大会・ふれあいまつり</p> | <p><日常活動></p> <p>17:00～19:00（日曜日は18:00まで）を目安にスポーツ、ゲーム、学習など自由に過ごす。</p> <p><行事>3on3大会、ビリヤード大会、サッカー大会</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <p>(登録数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス名</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳児</td> <td>101</td> <td>47</td> <td>148</td> </tr> <tr> <td>1歳児</td> <td>41</td> <td>47</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>2歳児</td> <td>44</td> <td>36</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>192</td> <td>145</td> <td>337</td> </tr> </tbody> </table> | クラス名 | 男 | 女 | 計 | 0歳児 | 101 | 47 | 148 | 1歳児 | 41 | 47 | 78 | 2歳児 | 44 | 36 | 80 | 3歳児 | 6 | 15 | 21 | 計 | 192 | 145 | 337 | <p>(在籍児数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16</td> <td>21</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 6 | 5 | 11 | 2年生 | 8 | 14 | 22 | 3年生 | 2 | 2 | 4 | 計 | 16 | 21 | 37 | <p>(2011年度来館者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>4,407</td> <td>3,853</td> <td>8,260</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>12,739</td> <td>9,977</td> <td>22,716</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>1,692</td> <td>1,288</td> <td>2,980</td> </tr> <tr> <td>高校生・一般</td> <td>914</td> <td>7,942</td> <td>8,856</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,752</td> <td>23,060</td> <td>42,812</td> </tr> <tr> <td>来館日数</td> <td colspan="3">323 日</td> </tr> <tr> <td>一日平均</td> <td colspan="3">133 人</td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 乳幼児 | 4,407 | 3,853 | 8,260 | 小学生 | 12,739 | 9,977 | 22,716 | 中学生 | 1,692 | 1,288 | 2,980 | 高校生・一般 | 914 | 7,942 | 8,856 | 計 | 19,752 | 23,060 | 42,812 | 来館日数 | 323 日 | | | 一日平均 | 133 人 | | | <p>(その他の事業、特記事項)</p> <p>東日本大震災による影響が色濃く残る中で2011年度は始まり、様々な制約も加わって当初予定していたプログラムも十分展開出来なかったが、この災害を通して命の大切さを学んだ。またお互いの絆を深める機会にもなったり、助け合うことや協力し合うことの大切さを学ぶことになった。これらの状況から時期や様子を見て事業展開をするように心掛けたり、子どもたちの姿を見てプログラムを実施し、色々な経験が出来るように職員も配慮に配慮を重ねて実施した</p> <p>今年度は5年間の指定管理受託の更新の年にもあたり、前年度末には第三者評価の実施と放課後支援課育成係からの利用者アンケートも実施され、亀戸児童館としての事業展開及び職員の意識等振り返る機会となった。その中で保護者や小中学校、地域との連携と協力が課題としてあがり、反省すると共にたくさんの事に気付かされ、児童館、学童クラブを運営していく時の大事な視点を再確認することが出来た。また、亀戸児童館の自己評価により、公設民営の児童館として利用者へのサービスがきちんと行われているか再点検し、次の指定管理受託に向けて事業展開を進める一年となった。</p> |
| クラス名 | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳児 | 101 | 47 | 148 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳児 | 41 | 47 | 78 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2歳児 | 44 | 36 | 80 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3歳児 | 6 | 15 | 21 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 192 | 145 | 337 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 6 | 5 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 8 | 14 | 22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 2 | 2 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 16 | 21 | 37 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳幼児 | 4,407 | 3,853 | 8,260 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 12,739 | 9,977 | 22,716 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 1,692 | 1,288 | 2,980 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生・一般 | 914 | 7,942 | 8,856 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 19,752 | 23,060 | 42,812 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 来館日数 | 323 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一日平均 | 133 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 汐入ふれあい館
記入者 鶴澤 陽

指定管理
汐入

| | 子育て支援活動 | 小学生活動 | 中・高生活動 | 高齢者・成人対象事業 | 貸室事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|--|--|--|---|--------|-----|--|-----|--------|-----|--|-----|--------|----|----|-----|--------|----|----|----|----------|----|----|----|---|-----|--|-----|----|-----|---|-----|--------|---|-----|--------|-----|-------|----|--------|---|--------|------|-----|---|------|-----|---|--|--|
| 事業の総括 | <p>○館の周囲は全て団地マンション等が建ち並び多くの人口を抱える街である。移住者や引越し等が多いせいもあって、現時点では15歳以下の人口比率が周辺地域よりもかなり高い。その影響もあり乳幼児プログラム活動への要望も強く、自由来館での利用も多い(乳幼児室の利用等)。</p> <p>要望の多い0歳児は、月齢で分けた3クラス制にした。また1、2歳児は、従来どおりの各2クラスにして受け入れた。3歳児、及び4、5歳児クラスは午後に実施した。各クラスともに、定員を設けず、希望者は全て受け入れた。</p> <p>○託児付き映画会、ピラティス等を行った。</p> <p>○父親・祖父母参加の運動会等の、家族としての子育て支援の活動も行った。</p> <p>○近隣の公園に出かけ、紙芝居・手遊び等を活動も、昨年に引き続き実施し、来館されない方の支援活動も行なった。</p> | <p>○各種活動プログラム等は、それぞれ毎日行ない、曜日で種目を分ける等の工夫を行なった。年度の途中でも見直しをするなど、参加しやすいように工夫した。多目的室(体育室)でのスポーツを中心とするプログラム活動が、年齢年代学年を問わず、人気が高い。一方で、料理・手芸・読書・折り紙等の生活経験の幅を広げる活動も重視し展開した。</p> <p>○「荒川家族の日」に合わせた親子での活動を充実させて来た。親子でのスポーツ・木工・観劇等を実施した。多少なりとも、親子の関わりの場を提供できたと考えられる。</p> <p>○高齢者と合同の輪投げ会も好評で、世代を越えた交流が持てた。図書室の環境を整え、読書活動の内容も充実させた。</p> | <p>○主に多目的室(多目的室)が使えることでスポーツ運動を主な目的に来館する者が多い。バスケットと卓球の利用が多い。</p> <p>○成人の方々との交流卓球大会も、昨年に引き続き実施した。</p> <p>○もんじゃ、ポップコーン等のおやつ作りを通し友だち・仲間、職員との良い交流の時が持てた。</p> <p>○サロンでは職員がなるべく丁寧に対応してきた。出来るだけ利用者の思いを受け止め、彼らの意向に沿った活動を実施し、居場所作りにも力を注いできた。</p> | <p>○スポーツタイム・健康体操・絵手紙・カラオケ・映画会・お出かけ・パソコン体験・等、利用者の要望を探りながら実施した。</p> <p>○健康に関心が高く、体操系・スポーツ系は参加も多い。卓球タイムは特に熱心な参加者が多く、楽しまれているように見受けられた。</p> <p>○子どもたちとの交流試合も積極的に参加して下さった。同様に小学生との輪投げ会も熱心であった。</p> <p>○お出かけの行先の要望をきき、参加者同士の交流が図れた。</p> <p>○老人会(3つ)の活動も熱心で、館としては活動の支援に配慮して来た。</p> | <p>区で定められた貸室事業として、地域のグループ活動等に貸室を実施した。</p> <p>貸室のための準備・清掃などのほか、区で定められた予約・利用料の取り扱い・還付作業等も行なった。</p> <p>原則として、 平日 19～22時 日祝祭日 9～22時</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <p>クラス活動</p> <p>0歳児〔毎月曜〕ひよこ・こぼんだ・ぱんだクラス 1歳児〔毎火曜〕こうさぎ・うさぎクラス 2歳児〔毎木曜〕りすクラス 2歳児〔毎金曜〕こあらクラス 3歳児〔毎水曜〕ひつじクラス 4・5歳児〔毎木曜〕きりんクラス</p> <p>子育て講座：救急法、歯の話、講演会等 プレイルーム(乳幼児室)開放 プレイパーク(多目的室・体育室に玩具を出して開放)開放 遠足(上野公園) 乳幼児運動会 クリスマス会 お母さんの為の映画会 子ども服リサイクル：奇数月 無料 ランチコーナー：毎日開館時間中 自由に使って貰う。 区カウンセラーの育児相談 年6日 おひさま広場：週2回程度 汐入公園 瑞光橋公園等</p> | <p>○多目的室 設定スポーツ(種目別の時間) ドッジボール、バスケットボール、サッカー、ユニホック、輪投げ等 自由遊び 一輪車、縄跳び、レクリエーションゲーム等 一年生タイム(1年生の時間)</p> <p>○創作室 自由工作、折り紙タイム、絵手紙タイム、絵手紙教室(講師)、木工製作、手芸タイム等</p> <p>○図書室 読書、お話し会、素喃、パネルシアター、紙芝居、読み聞かせ、手話と歌、等</p> <p>○サロン 百人一首、オセロ、ゲーム、読書、等</p> <p>○和室 映画会等</p> <p>○年間行事 夏まつり、ふれあいまつり、クリスマス</p> <p>小学生クラブ「ソルティークラブ」(登録制) スポーツ、料理、ボランティア等</p> | <p>○中学生タイム 月～金曜 主に多目的室 主にスポーツ(バスケット、卓球、等) 設定スポーツ大会 水・土曜日</p> <p>○サロン 月～日曜日 18:00～19:00 雑誌、ゲーム類、手芸等</p> <p>○図書室 [不定期] 手芸、学習等</p> <p>○洋室 (月1回) リトルキッチン(おやつ作りと交流)</p> <p>○行事 クリスマス会 新年会 体験学習キャンプ 他館合同スポーツ大会 館活動の手伝い体験(ボランティア体験) 各種ボランティア活動 成人との交流卓球大会 等</p> | <p>○大人のスポーツタイム 週1回 卓球、ニュースポーツ、等</p> <p>○卓球タイム 週1回 健康体操 週1回 ストレッチ等を取り入れ、基礎的な運動を行った。</p> <p>○ころばん体操 週1回 [区規定]</p> <p>○その他 踊り、カラオケ、輪投げ、パソコン</p> <p>○体験(文字入力等の基本的操作・インターネット体験・等)、書道タイム、絵手紙教室、映画会、等</p> <p>○ふれあい寄席 ※原則年1回。ただし本年度は、あらかじめ避暑地で1回追加、計2回実施した。</p> <p>○サロン マッサージ機、血圧計、ヘルストロン、雑誌等の設置利用</p> | <p>貸室対象の部屋 図書室 創作室 和室 多目的室</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者数など | <p>乳幼児活動 登録数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳児クラス</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">225</td> <td style="text-align: center;">225</td> </tr> <tr> <td>1歳児クラス</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">145</td> <td style="text-align: center;">145</td> </tr> <tr> <td>2歳児クラス</td> <td style="text-align: center;">57</td> <td style="text-align: center;">63</td> <td style="text-align: center;">120</td> </tr> <tr> <td>3歳児クラス</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">28</td> <td style="text-align: center;">45</td> </tr> <tr> <td>4～5歳児クラス</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">27</td> <td style="text-align: center;">44</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">370</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">579</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">91</td> <td style="text-align: center;">118</td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 0歳児クラス | 225 | | 225 | 1歳児クラス | 145 | | 145 | 2歳児クラス | 57 | 63 | 120 | 3歳児クラス | 17 | 28 | 45 | 4～5歳児クラス | 17 | 27 | 44 | 計 | 370 | | 579 | 91 | 118 | <p>来館者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td style="text-align: center;">15,063</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">/</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td style="text-align: center;">31,652</td> </tr> <tr> <td>中高生</td> <td style="text-align: center;">3,635</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td style="text-align: center;">25,108</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">75,458</td> </tr> <tr> <td>開館日数</td> <td style="text-align: center;">360</td> <td style="text-align: center;">日</td> </tr> <tr> <td>1日平均</td> <td style="text-align: center;">209</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> </tbody> </table> | 乳幼児 | 15,063 | / | 小学生 | 31,652 | 中高生 | 3,635 | 一般 | 25,108 | 計 | 75,458 | 開館日数 | 360 | 日 | 1日平均 | 209 | 人 | <p>荒川区の全館事業・全世代対象事業 夏まつり(7月) 900名 ふれあい祭り(11月) 765名</p> <p>区・地域地区の事業 南千住地区演芸大会 南千住わくわく街歩き探検隊(ウォークラリー) 南千住なかよしまつり 汐入町会文化祭 南千住新春風上げ(たこあげ)大会 南千住ふれあいまつり 荒川区ふれあい館交流フェスタ ※すべてに参加・運営に協力をした。</p> | <p>あらかわ避暑地 節電対策の一環として、荒川区全般で実施した。 汐入ふれあい館では、写真展、冷茶サービス、ふれあい寄席の特別開催、等を実施した。</p> <p>運営協議会の開催(年2回) (学校関係、町会、利用者代表などが参加)</p> |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳児クラス | 225 | | 225 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳児クラス | 145 | | 145 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2歳児クラス | 57 | 63 | 120 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3歳児クラス | 17 | 28 | 45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4～5歳児クラス | 17 | 27 | 44 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 370 | | 579 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 91 | 118 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳幼児 | 15,063 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 31,652 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中高生 | 3,635 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般 | 25,108 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 75,458 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開館日数 | 360 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1日平均 | 209 | 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 岩戸児童センター
記入者 日下 美恵子

指定管理
岩戸

| | 子育て支援活動 | 小学生クラブ（学童） | 小学生活動 | 中・高生活動 | 全世代事業、自然体験事業、ボランティア活動など | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|--|--|---|---|-----|-------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|--------|---|--|---|---|---|-----|---|---|----|-----|---|---|----|-----|---|---|----|-----|---|---|---|-----|---|---|---|---|----|----|----|---|--|---|---|----|-----|--|--|--------|-----|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|----|--|--|--------|---|--------|-------|--------|--|
| 事業の総括 | <p>はいはい・よちよち・とっこクラブは、月1回のプログラムとして内容を充実させた。そのため出席率が高くなり、年間を通して多くの親子が参加した。ねんね赤ちゃんプレイルームは、このクラス専用の身長体重測定日を月に2回設け、子育て相談へとつなぐことができた。また、このプログラムは、ひろば利用のきっかけとしても大きな役割を果たしている。</p> <p>利用状況は昨年度と比べて減少したが、これは東日本大震災の影響で、外出を自粛する方、長めに里帰りをした方が多かったためである。3年前より0歳児を中心に全体的に増加している。</p> <p>昨年度から取り入れたたんぼぼタイムは、異年齢の親子交流の一つにもなっており、この時間を楽しみに来館する親子もいる。次年度も継続して実施し、ひろばへ来るきっかけの一つとして大切にしていきたい。</p> | <p>昨年度と同様今年度も在籍数が学童定員を超えての開所となった。</p> <p>2部屋の利用に関しては、学習、遊びの住み分けを引き続き行ったことで生活にメリハリを出すことができた。今年度も障がい児は7名受け入れた。障がい児のためのスペースを確保しつつ、共に楽しめるプログラムの設定や遊びの仕掛けを増やすことで良い関係作りができた。</p> <p>在籍児が特別感や季節感をえられるよう小学生クラブ独自の行事を多く取り入れた。今年度末には、昨年度行うことができなかったお別れ遠足、お別れ会も行った。</p> <p>延長利用の登録者数は減少しているものの、スポット利用は引き続き多く、ニーズも高い。災害時に備えて、小学生クラブ独自のメール配信の試行も行った</p> | <p>行事の見直しを図りながらも、年間の回数は増やしている。1回1回をしっかりと準備し、質の高いプログラムを展開した。ファミリーデーや親子キャンプなど、保護者も参加するプログラムに加えて、館庭を活かしたプログラムを充実させた。</p> <p>体育館・図書室・ワイワイルームなどは終日子ども達で大いににぎわっていた。各プログラムの見直しや、より使いやすい環境を整えていった。体育館の使用を時間帯によってプログラムを分けることで、遊びやスポーツの住み分けを図った。</p> <p>1年生、2、3年生の組織活動はそれぞれ毎回多くの子どもが参加し、スポーツ、創作活動などテーマに沿ったプログラムを展開していった。高学年の組織活動は今年度より、アスリートクラブ、ビストロッキーとして、スポーツ、料理に特化した二つの形で行った。また、今年度も引き続き体力増進活動も取り入れ、スポーツ活動が特に充実していた。</p> | <p>中高生活動は不定期ではあるが、2か月に1回程度スポーツやクッキングの行事を行った。夜間はバスケットボールを目的とした中高生が多く来館していた。6時から7時の図書室の中高生ルームも浸透してきており、試験期間前には勉強目的で来館する姿も見られた。</p> <p>第二中学校の職場体験を年1回受け入れ、地域中学校との連携も取れていた。バスケ以外のスポーツの推進を図り、ノーバスケデーを設けたことで、バレーボールなどの利用も増え。それに合わせてボールなどの中高生向けの物品も随時購入した。また、図書室には中高生向けの雑誌や、ゲームなどを購入し、スポーツ以外の居場所の充実を図ったが、大きな結果は残せなかった。</p> | <p>保護者に積極的に参加を促し、ファミリーデーを年間2回実施した。スポーツ、調理等それぞれのテーマで行い、毎回多くの親子が参加した。また、秋には親子でのキャンプを企画し、13組の親子が参加した。昨年度同様竹藪に入って、竹を切りだしそれを用いて、流しそうめんを行ったり、魚の掴み取り、陣馬山などの登山自然体験を行った。</p> <p>また、夏祭りやセンター合宿では小学生クラブの保護者を中心に、調理などのボランティア参加があった。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <p>たんぼぼひろば（AM9:00～PM6:00まで開放）</p> <p>相談件数・・・年間657件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねんね赤ちゃんプレイルーム 年間947組（延べ人数） ・はいはいクラブ 年間327組（延べ人数） ・よちよちクラブ 年間357組（延べ人数） ・とっこクラブ 年間346組（延べ人数） ・ノーバディズ・パーフェクト 3クール 各30名 ・すくすく測定 年間467組（延べ人数） ・幼児食教室 1回実施 計15組 ・たんぼぼシンキング 3回実施 39組 ・すいとん 38名 ・えんにち 138名 ・水あそび 18回 453名 ・おいもほり 109名 ・たんぼぼハロウィン 89名 ・たんぼぼクリスマス 320名 ・たんぼぼ春まつり 88名 | <ul style="list-style-type: none"> ・新入生入会式 22名 ・歓迎会 49名 ・お花見 44名 ・レトルトデー 全3回 110名 ・昼食作り 全2回 82名 ・クリスマスパーティー 43名 ・水遊び 全2回 41名 ・新春映画会 16名 ・豆まき 42名 ・お別れ遠足 41名 ・お別れ会 34名 ・保護者会 全2回 44名 <p>毎月1回：手作りおやつ・誕生会・体育館DAY 駄菓子屋さん</p> | <p>各部屋に職員を配置し児童の自由な遊びを促す。 内容は、スポーツ、工作、スポーツ大会、映画会、お話し、折り紙タイム、ちっちゃなアトリエ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生歓迎会 32名 ・ファミリーデー① 43名 ・2～6年生遠足 30名 ・ロッキーえんにち 447名 ・ふるさと交流キャンプ 24名 ・親子キャンプ 25名 ・低学年センター合宿 50名 ・児童館交流フェスタ 29名 ・高学年ビストロッキー合宿 11名 ・ロッキークリスマス 197名 ・ファミリーデー② 34名 ・交流ドッジフェスタ 62名 ・ロッキー春まつり 213名 | <ul style="list-style-type: none"> ・3ON3大会 9名 ・バスケットボールタイム 5名 ・タスケ大会 4名 ・もんじゃ焼きパーティー 6名 ・クリスマスパーティー 10名 ・たこ焼きパーティ 9名 ・お好み焼きパーティー 7名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーデーを2回実施 5月 ドッジボールやタスケなどのスポーツ大会を実施 43名 1月 五平餅、豚汁作りを実施。34名 ・姉妹提携都市である新潟県川口との交流を図る。地元の人などと触れ合うきっかけを作った。 ふるさと交流キャンプ 24名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <p>（延べ来館者数）※利用カード登録者のみ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0歳児</td><td>6,098</td></tr> <tr><td>1歳児</td><td>3,480</td></tr> <tr><td>2歳児</td><td>2,372</td></tr> <tr><td>3歳児</td><td>941</td></tr> <tr><td>4歳児</td><td>475</td></tr> <tr><td>5歳児</td><td>132</td></tr> <tr><td>計</td><td>13,498</td></tr> </tbody> </table> | 年齢 | 計 | 0歳児 | 6,098 | 1歳児 | 3,480 | 2歳児 | 2,372 | 3歳児 | 941 | 4歳児 | 475 | 5歳児 | 132 | 計 | 13,498 | <p>（在籍児数）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年生</td><td>9</td><td>9</td><td>18</td></tr> <tr><td>2年生</td><td>9</td><td>9</td><td>18</td></tr> <tr><td>3年生</td><td>7</td><td>4</td><td>11</td></tr> <tr><td>4年生</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>5年生</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>計</td><td>28</td><td>22</td><td>50</td></tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 9 | 9 | 18 | 2年生 | 9 | 9 | 18 | 3年生 | 7 | 4 | 11 | 4年生 | 2 | 0 | 2 | 5年生 | 1 | 0 | 1 | 計 | 28 | 22 | 50 | <p>（2011年度来館者数）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>乳幼児</td><td></td><td></td><td>13,498</td></tr> <tr><td>小学生</td><td>10,547</td><td>5,687</td><td>16,234</td></tr> <tr><td>中・高校生</td><td>1,985</td><td>1,122</td><td>3,107</td></tr> <tr><td>一般</td><td></td><td></td><td>13,243</td></tr> <tr><td>計</td><td>12,532</td><td>6,809</td><td>46,082</td></tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 合計 | 乳幼児 | | | 13,498 | 小学生 | 10,547 | 5,687 | 16,234 | 中・高校生 | 1,985 | 1,122 | 3,107 | 一般 | | | 13,243 | 計 | 12,532 | 6,809 | 46,082 | <p>（その他の事業、特記事項）</p> <p><体験学習・実習生> 狛江市第二中学生職場体験学習 2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会の開催 （参加者は行政関係、学校関係、利用者代表など） |
| 年齢 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳児 | 6,098 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳児 | 3,480 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2歳児 | 2,372 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3歳児 | 941 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4歳児 | 475 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5歳児 | 132 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 13,498 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 9 | 9 | 18 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 9 | 9 | 18 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 7 | 4 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4年生 | 2 | 0 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5年生 | 1 | 0 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 28 | 22 | 50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳幼児 | | | 13,498 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 10,547 | 5,687 | 16,234 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中・高校生 | 1,985 | 1,122 | 3,107 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般 | | | 13,243 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 12,532 | 6,809 | 46,082 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 雲柱社 支援センターブロック 事業報告

施設名 狛江市子ども家庭支援センター

記入者 日下 美恵子

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|--|--|-----|--------------|--|-----|-----------|--|-----|--|
| 事業の総括 | <p>1. ひろば事業</p> <p>ねんね赤ちゃんプレイルームは、月1回の測定日にかなりの混雑があったため、年度途中ではあったが、測定日を月2回に変更した。今年度もアウトリーチの活動が実り、0歳児の利用者は増えている。小さい子が（人数の多い時は保護者の判断で）、庭や体育館で遊ぶように子どもに声掛けをして誘導することも多くみられるが、逆に異年齢の親子の交流も多く見られるようになった。これはこちらの働きかけと共に二人目、三人目の兄弟姉妹がひろばを利用する機会ができたことも大きいと思われる。今後も限られたスペースの中で異年齢の親子が共存していくための工夫や空間作りを利用者と共に考えていきたい。</p> <p>2. 相談事業</p> <p>ひろば相談は「発達・健康」についての相談が主で、他の子や、育児書やインターネットなどの情報と比べ、自分の子は発達が遅れていないか、「自分の子育てで良いのか」等の不安を口にする母親たちが多く。情報があふれる中、答えのない子育ての大変さを分かち合う人の存在の大切さを痛感する。センターがその一つとして利用していただけるよう、よりいっそう努力していきたい。</p> <p>3. サービス提供事業</p> <p>（一時保育）市の保育園で0、1歳児の一時保育が始まったが、すぐにいっぱいになってしまうこと、手続きが大変であるということもあり、こちらの一時保育を利用したいという声もあった。しかしこちらも一日一名の枠であるため、お断りせざるを得ないことも多々あった。（ショートステイ）今年度も、市が中心となって対応している養育困難ケースの受け入れとしての働きがほとんどであった。（育児支援ヘルパー）昨年度と比較して利用人数は増加した。初産の方はもちろんのこと、第二子、三子でのご利用も多かった。</p> <p>4. 先駆型・虐待対策</p> <p>児童虐待防止、予防機能が付加された先駆型も5年目となり、各関係機関の方々にも子ども家庭支援センターの機能、市役所子育て支援課との協働対応等、これまで以上に周知・理解していただいていることを実感し、より「日常的に顔の見える連携」がしやすい一年であった。</p> <p>しかし、先駆型の子ども家庭支援センターに求められているのは、新規受理や対応のみならず、「防止」にも力を入れることだと、年々痛感させられているのも事実である。要保護児童対策地域協議会構成機関だけにとどまらず、いかに市民に啓発することも検討し、初めて「健康まつり」に参加し、ブース設置を実施。11月の虐待防止強化月間には、シンポジウムも初開催した。また、養育家庭の普及・啓発においても新たな試みとして、市内コミュニティバス「狛バス」内に手作りポスターを掲示するなど、関係機関のみならず、市民啓発も一層強化した一年であった。</p> <p>◎件数</p> <table border="0"> <tr> <td>・児童虐待通告・児童相談</td> <td>新規</td> <td>94件</td> </tr> <tr> <td>・関係者会議開催延べ件数</td> <td></td> <td>70件</td> </tr> <tr> <td>・家庭訪問延べ件数</td> <td></td> <td>49件</td> </tr> </table> | ・児童虐待通告・児童相談 | 新規 | 94件 | ・関係者会議開催延べ件数 | | 70件 | ・家庭訪問延べ件数 | | 49件 | <p>事業目標・方針の総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろば事業では、日々の相談が気軽にできるという利点もある反面、各家族の抱えるさまざまな問題を痛感する。事業目標にもある「地域の子どもとその家族が抱える問題を受け止める」ことは、より一層専門性を高める必要がある。日々の振り返りや研修等の内容を考え、見直すところは直し、職員同士高め合えるように努力すると共に、地域の専門機関との連携が図れるように、日頃から関係機関とのつながりを大切にしていきたい。 ・全体の傾向としては、0歳児のプログラムへの参加者が増えており、アウトリーチの成果でもあるといえると同時に、乳児を持つ母の居場所が少ないということでもあると思う。設定されたプログラムだけでなく、日常のひろばの方へどのように繋げていくかが今後の課題である。 ・毎年のことではあるが、「虐待防止」に向けた啓発活動には、より力を入れる必要性を痛感させられる。500の手作りオレンジリボンの配布は例年通り行なうなか、初の試みも行った。「健康まつり」に参加し、ブース設置を実施。来場者に向け、制度の説明やパンフレットの配布等、虐待予防啓発を行った。また、11月の虐待防止強化月間には、シンポジウムも初開催した。 ・養育家庭の普及・啓発においても新たな試みとして、市内コミュニティバス「狛バス」内に手作りポスターを掲示をしたり、毎年行っている市役所ロビーのパネル展示時にブースを設置。児童相談所、子育て支援課職員と共に制度の説明や相談窓口対応を行った。 ・先駆型も5年目となり、これまで以上の「日常的に顔の見える連携」がしやすい一年であった。新規受理件数としては、昨年度よりは下回ってはいるものの、5年間毎年100件前後の受理というのは、周知や連携の結果と捉えることができよう。6年目に向け、これまで以上の対応をしていけるよう、市役所子育て支援課の方々をはじめとする関係機関と協働のもと、予防、発見、援助、見守りのどの段階においても、「日常的に顔の見える連携」をより実現していけるよう、今後も地道な対応に努めたい。 |
| | ・児童虐待通告・児童相談 | 新規 | 94件 | | | | | | | | |
| ・関係者会議開催延べ件数 | | 70件 | | | | | | | | | |
| ・家庭訪問延べ件数 | | 49件 | | | | | | | | | |
| 主な行事報告 | <p>・日常プログラム：たんぼタイム（異年齢親子の交流と体操）、わくわくwork（お母さんの製作）、すくすく測定（身長・体重測定）ねんね赤ちゃんプレイルーム週1回、はいはいクラブ・よちよちクラブ・とっとこクラブ～各月1回</p> <p>・毎月1回季節の行事や児童センターとの合同プログラムを実施。（えんにち、おいもほり、ハロウィン、クリスマス会など）</p> <p>・乳児健診への出張事業（月2回）</p> <p>・野川たんぼひろば：月1回（市内公民館への出張事業、狛江市との共催で実施）</p> <p>・子ども服リサイクル：年4回 ・Daddy's Kitchen：年3回 ・リフレッシュヨガ、ベビーマッサージ：各年3回</p> <p>・たんぼThinkingことばが伸びる上手な子育て～中川信子さん：年1回 ・離乳食教室：年2回 ・幼児食教室：年1回</p> <p>・たんぼほっとroom：年2回</p> <p>・Nobody's Perfect（完璧な親なんていない）：連続6回 定員10名（年間3クール）</p> | <p>年間利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規登録者数：511組 ・総登録者数：3,622組 ・子ども延べ利用者数：13,498人 （内訳 0歳児：6,098人、1歳児：3,480人、2歳児：2,372人、3歳児：941人、4歳児：475人、5歳児：132人） ・親延べ利用者数：12,080人 ・相談件数：657件 ・サービス事業利用状況（一時保育：45人 ショートステイ：14人 育児支援ヘルパー：13人） | | | | | | | | | |
| | | | <p>環境・修繕の総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玩具の整備・購入 ・災害対策用備蓄品整備 ・ふれあいルーム、赤ちゃんコーナーの環境整備 <p>人事その他</p> <ul style="list-style-type: none"> センター長 1名（岩戸児童センターと兼務） 支援ワーカー 2名 虐待対策ワーカー 1名 非常勤支援ワーカー 4名 スーパーバイザー 龍野陽子（子どもの虐待防止センター元専任相談員） | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 和泉児童館、狛江市ファミリー・サポート・センター
 記入者：松元 新

| 事業の総括 | 子育て支援活動 | 小学生クラブ（学童） | 小学生活動 | 中・高生活動 | 全世代事業、自然体験事業、ボランティア活動など | ファミリー・サポート・センター | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|---|---|--|---|--|------------------|---|-----|---|-----------|---|--------|----|---------|----|----------|----|---|----|-----|---|----|----|-----|---|---|---|-----|---|---|---|---|----|----|----|--|-----|--------|-----|--------|-----|-----|-----|-----|----|--------|---|--------|------|-----|------|-------|---|----|---|---|----|---|----|------|---|---|---|---|----|--|----|----|------|-----|----|--------|-----|---|------|----|---|---|-------|----|------|----|----|------|-------|-----|
| 事業の総括 | 2011年度は、前年度とほぼ同じ数の乳幼児と保護者の利用があった。 プログラムの行われない日でも児童館を利用する乳幼児と保護者の姿があった。利用者にとって、児童館が地域の居場所として定着していることがうかがえる。 新しい取り組みとしては、すくすく測定時に狛江市栄養士会の協力で栄養相談を行える機会を設け、利用者から喜ばれた。また、お子さんを出産する前から児童館という場所を知ってもらう取り組みとして「マタニティーのためのカンガルークラス」という企画を行い、大好評のうちに幕を閉じた。 前年度から行っているシャボン玉アワーでは、子ども同士が自然に異年齢交流ができ乳幼児の保護者から好評をいただいた。 今後もより一層地域内各種機関との連携と協力を大切にす一方、利用者のニーズに則した対応や独自性のある企画を実施していきけるように努めたい。 | 今年度は定員を大幅に超えた65名からの開所であった。障がい児も過去6年間で一番多く13名であった。 人数が増えることで一人一人へのきめ細かい対応ができるかどうか課題となり、第一の目標に「安心・安全」を据えて育成をすすめた。一年を通して日々の関わりを大切にできたが、一方で小学生クラブ独自のプログラムに力を注ぐことができず縮小せざるを得なかった。 pop kids(ダンスチーム)は年間を通しての活動となり、市民まつり等狛江市内で発表の機会が多くあった。保護者の期待も大きい。健康児と障がい児が交流できる時間となった。 次年度は3年生を中心とした班活動をより一層充実させ、仲間と協力しながら自分の役割を責任をもって行えるようサポートしていきたい。 おでかけ、ゲーム大会などのプログラムも積極的に進めるよう工夫していきたい。 障がい児の事故、トラブルがあったので具体的な対策をたて、非常勤職員も含め徹底するように努めていきたい。 | 新1年生の受け入れを強化したことで、6月には300人を超え、全学年で一番の来館者数となる。 中学年層の受け入れとして組織活動を3、4年生の枠で新たにスタートさせたことにより中学年の利用も多くなってきた。 毎月行っているプログラムも見直しを図り、子どもたちが参加したくなるようなものを取り入れた。 地域とのつながりも大切にし、近隣の小学校のお祭りへの参加や、市内のお祭りへの参加、近くの子ども会や、学童クラブとの合同イベントなどを取り入れる。児童館のPRと近隣団体との顔つなぎができた。 今までの組織活動に加え、講師を招いて火起こし体験などの野外活動を展開してきた。反響も大きく、こういった活動をもっと多く取り入れてほしいとの声も多く聞かれた。 | 毎月のおたより発行し、月毎に様々なプログラムを月ごとに行っていく中で、参加人数は少しずつ増えていった。 狛江市立第二中学校の職場体験を受け入れ、地域中学校との連携を図ったり、狛江高校のイラスト部に児童館祭りのボランティアを要請し来てもらうなど地域の中学校、高校とのパイプを強めていった。 図書室で中高生向けの雑誌を置き、育成室には少し難しいボードゲームを取り入れるなど、新たな利用者層の拡大を図った。 | 狛江高校イラスト部へ中学生おたよりの挿絵を依頼、また、秋祭り「ノーバンパーフェスト」には一つのブースをお願いするなど地域高校との交流も少しずつ生まれてきた。 キャンプや、合宿への大学生のボランティア参加も少しずつ増えてきている。 登録制野外活動には保護者を中心に、準備や片付けのボランティア参加が定着してきた。 | 今年度はファミリー・サポート・センター事業が地域の中でさらに認知されるようになり、着実に利用会員・サポート会員の数が増加してきている。特に、障がい児の利用について希望者が多い。また、サポート会員についても受け入れに理解を示し、積極的な受け入れをして下さる会員の方が増加した。 事業全体としては予算の都合上、保育体験等、縮小せざるを得ない活動もあった。また、小学生クラブの職員パートとサポート会員兼務のスタッフが、障がい児の送迎を実施していたが、スタッフの負担の増大と対応の限界が生じたので、見合わせることにした。予算、人員、環境面などの限界がある中で様々なニーズに対応することの難しさを痛感する一年であった。 病児病後児預り活動を予定するためサポート会員に特別に講座を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | ひまわりルーム（AM9:00～PM3:00まで開放） 相談件数・・・年間40件 ・ひまわりリズム 11回実施 計1,268人 ・おりがみタイム 6回実施 計63人 ・ベビーダンス 2回実施 計70人 ・幼児食教室 3回実施 計109人 ・子ども服リサイクル 2回実施 計286人 ・わらべうたと絵本の会 16回実施 計415人 ・水遊び 11回実施 計470人 ・すくすく測定 23回実施 計507人 ・ハンドベル 4回実施 計185人 ・お母さんの手作りタイム 6回実施 計103人 ・ひまわりランチ会 4回実施 計69人 ・さんぽにいこう 計116人 ・さわやかコンサート 計131人 ・しゃぼん玉アワー 2回実施 計176人 ・すいかわり 計77人 ・ハロウィン仮装コンテスト 計38人 ・ノーバンパーフェスト 計259人 ・巨大しゃぼん玉で遊ぼう 計65人 ・やさいも 計92人 ・ひまわりクリスマス会 計255人 ・オルタナティブコンサート 計107人 ・マタニティー企画 カンガルークラス 計10人 ・児童館に遊びに行こうよ！ 計48人 | ・入会式 57名 ・親子晩ごはん会 全2回 163名 ・懇談会 全3回 55名 ・しゃぼん玉アワー 全2回 43名 ・ランチ会 全5回 ・手づくりおやつ 全120回 ・ハロウィンおでかけ 50名 ・クリスマス会 109名 ・西河原公園おでかけ 38名 ・和音（障がい児の音あそび）全25回 204名 ・pop kids（ダンスグループ）全32回 674名 ・毎月1回：お誕生会、かいものおやつ、わなげ大会 | 各部屋に職員を配置し児童の自由な遊びを促す。 スポーツ、工作、スポーツ大会、映画会、一輪車検定、折り紙教室、カラオケタイム、低学年タイム等 ・1年生歓迎会 42名 ・黒川キャンプ 40名 ・1年生黒川デイキャンプ 20名 ・逃走中合宿 37名 ・1年生合宿 64名 ・親子で餃子作り 6名 ・グループ活動合宿 28名 ・代々木フェスタ 18名 ・焼き芋会 140名 ・クリスマス 108名 ・交流ドッチフェスタ 28名 | ・アニメ会 19名 ・たこやき作り 8名 ・カラオケタイム 3名 ・牛丼の日 3名 ・タイピング練習 5名 ・英語で遊ぼう 2名 ・勉強会 2名 ・怖い話の科学 7名 ・クリスマス会 2名 ・ビデオ会 1名 | [ボランティア数] ・黒川キャンプ 19名 ・1年生デイキャンプ 8名 ・逃走中合宿 3名 ・1年生合宿 3名 ・中学生ボランティア受け入れ 6名 ・おにぎり少年団 10名 ・逃走中 1名 ・ノーバンパーフェスト 5名 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流会</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ステップアップ講習</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>雲柱社連絡会</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ファミサポ通信</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>アドバイザー研修</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回</th> <th>利用</th> <th>サ</th> <th>両</th> <th>託</th> </tr> <tr> <th></th> <th>数</th> <th>会</th> <th>ポ</th> <th>方</th> <th>児</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>員</th> <th>ー</th> <th>会</th> <th></th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th>ト</th> <th>員</th> <th></th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th>会</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>説明会</td> <td>15</td> <td>141</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>講習</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>43</td> <td>0</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>保育体験</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>累計</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用会員</td> <td>852</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>サポート会員</td> <td>190</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>両方会員</td> <td>54</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,096</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動状況</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動状況</td> <td>4,908</td> <td>587</td> </tr> </tbody> </table> | 内容 | 回数 | 交流会 | 1 | ステップアップ講習 | 1 | 雲柱社連絡会 | 1 | ファミサポ通信 | 1 | アドバイザー研修 | 1 | | 回 | 利用 | サ | 両 | 託 | | 数 | 会 | ポ | 方 | 児 | | | 員 | ー | 会 | | | | | ト | 員 | | | | | 会 | | | 説明会 | 15 | 141 | 15 | 3 | 47 | 講習 | 4 | 0 | 43 | 0 | 15 | 保育体験 | 1 | 0 | 7 | 0 | 10 | | 累計 | 増減 | 利用会員 | 852 | 50 | サポート会員 | 190 | 5 | 両方会員 | 54 | 9 | 計 | 1,096 | 64 | 活動状況 | 回数 | 人数 | 活動状況 | 4,908 | 587 |
| 内容 | 回数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 交流会 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ステップアップ講習 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 雲柱社連絡会 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ファミサポ通信 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アドバイザー研修 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 回 | 利用 | サ | 両 | 託 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 数 | 会 | ポ | 方 | 児 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 員 | ー | 会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ト | 員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 説明会 | 15 | 141 | 15 | 3 | 47 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講習 | 4 | 0 | 43 | 0 | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保育体験 | 1 | 0 | 7 | 0 | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 累計 | 増減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 利用会員 | 852 | 50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サポート会員 | 190 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 両方会員 | 54 | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 1,096 | 64 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動状況 | 回数 | 人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動状況 | 4,908 | 587 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | (子育てくらぶ登録数) <table border="1"> <tr> <td>0歳 (こぼんだ・ぼんだ)</td> <td>359 (参加者：1,831人)</td> </tr> <tr> <td>1歳 (うさぎ)</td> <td>261 (参加者：1,099人)</td> </tr> <tr> <td>2,3歳 (こあら)</td> <td>257 (参加者：1,437人)</td> </tr> </table> | 0歳 (こぼんだ・ぼんだ) | 359 (参加者：1,831人) | 1歳 (うさぎ) | 261 (参加者：1,099人) | 2,3歳 (こあら) | 257 (参加者：1,437人) | (在籍人数) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>35</td> <td>27</td> <td>62</td> </tr> </table> 障がい児 13名 | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 11 | 9 | 20 | 2年生 | 10 | 5 | 15 | 3年生 | 8 | 13 | 21 | 4年生 | 3 | 0 | 3 | 5年生 | 3 | 0 | 3 | 計 | 35 | 27 | 62 | (2011年度来館者数) <table border="1"> <tr> <td>乳幼児</td> <td>10,527</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>11,455</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>557</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>302</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>10,218</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>33,059</td> </tr> <tr> <td>開館日数</td> <td>302</td> </tr> <tr> <td>1日平均</td> <td>109.4</td> </tr> </table> | 乳幼児 | 10,527 | 小学生 | 11,455 | 中学生 | 557 | 高校生 | 302 | 一般 | 10,218 | 計 | 33,059 | 開館日数 | 302 | 1日平均 | 109.4 | (その他の事業、特記事項) <体験学習・実習生> 狛江市立第一中学生職場訪問 3名 狛江市立第三中学生職場体験学習 3名 ・運営協議会の開催 (参加者は行政関係、学校関係、利用者代表など) ・施設長交代 植松牧人 2011年12月31日退任 松元 新 2012年1月1日就任 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳 (こぼんだ・ぼんだ) | 359 (参加者：1,831人) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳 (うさぎ) | 261 (参加者：1,099人) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2,3歳 (こあら) | 257 (参加者：1,437人) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 11 | 9 | 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 10 | 5 | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 8 | 13 | 21 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4年生 | 3 | 0 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5年生 | 3 | 0 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 35 | 27 | 62 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳幼児 | 10,527 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 11,455 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 557 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 302 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般 | 10,218 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 33,059 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開館日数 | 302 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1日平均 | 109.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

指定管理

狛江ファミサポ
和泉

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 たまだいら児童館ふれっしゅ
 記入者 八重田 裕一郎

指定管理

たまだいら

| | 子育て支援活動 | 小学生活動 | 中・高生活動 | 全世代事業、自然体験事業、ボランティア活動など | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--|--|--|----|---|-----|---|--|---|-----|--------|-----|--------|-------|-------|----|--------|---|--------|-------|------|-------|------|---|--|
| 事業の総括 | <p>地域へ積極的に足を運んだ一年であった。近隣の公園への出向く回数を増やしたり、出向いた事のない公園へ出向いた事で、新たなPR活動を繰り広げる事ができた。</p> <p>また、日野市の基幹型児童館構想に沿い「ファミリー体操」を行ったり、子ども家庭支援センターとの協働により、「離乳食講座」を開催した。</p> <p>土日の父親の来館が多い事から父親参加型プログラムを多く展開した。特に「トミプラの日」や「おでかけ」ではお父さんが大活躍し家族間での交流が多くみられた。</p> <p>地域との連携では二中地区育成会さんの「三世代の集い」に参加し、地域の様々な団体とつながることができ、児童館の働きを地域に広げることができた。12月には今年度も主だった機関（町会・自治会・子ども会・中学校等）の方々の協力により、サンタクロース役を演じて頂くことも出来た。</p> | <p>放課後子どもプラン「ひのっち」へ出向き変化があった1年だった。今までは金曜日のみに出向いていたが、主幹課の子育て課からの希望日、水曜日に出向くことにも挑戦した。水曜日は「ひのっち」を利用する小学生も多く、また出向いた先の学童クラブの児童とも一緒に遊んでいる事もあり非常に良いPR活動となった。その成果が土日の来館へとつながっていった。児童館の中だけで事業を展開するのではなく、地域に足を運ぶことで、保護者をはじめ関係機関からの生の声を聞ける事は、未開拓分野へ挑戦できる新たな発見でもあった。</p> <p>また、高学年タイム・クリスマス活動・館内合宿において、「考えよう」のコーナーを設け、平和についてのメッセージを児童館から送った。また、小学生のやりたい遊びがすぐできるように、プログラムを余り詰め込まなかった事で、ニーズにも応える事ができた。</p> | <p>日々の中高生とのかかわりが実を結んだ一年となった。近隣の中学校の来館が増えた。様々な形の地域とのかかわりの中で学校の先生方とも連携を取れるようになって来ている。昨年度からのつながりで、高校生から中学生へダンスを教えてあげたりという上下の関係も自然と構築されていった。また基幹型児童館との共催で「多摩平キャンプ（館内合宿）」を行い、同じ地域の中高生を集めて行えたのは非常に良かった。その後も来館してくれるようになった。昨年度、震災のため中止になった「E-69（バンドコンサート）」は5月から高校生が実行委員会を組織し、準備を重ねステージで披露することができた。日野市立第二中学校と「校外授業地域清掃」においての協働は残念ながら雨のため中止となってしまった。</p> | <p>ボランティア活動において新たな取り組みが行われた1年となった。二中地区育成会主催「三世代の集い」から児童館で活躍するボランティアリーダーと日野市で活躍するジュニアリーダーが後半協働して行う機会が増えた。今後の展開が楽しみである。</p> <p>区画整理のため、今回で最後になった「労作活動」。今年は天候にも恵まれ、お米も豊作だった。また、目的にある「除草」もしっかり行う事ができた。最後の会「餅つき」では家族で収穫を喜ぶ機会を持つことができた。</p> <p>東日本大震災を受け「クリスマス活動」では被災地にも温かい光を届けようという事でキャンドルとクリスマスカードを作成し届ける事ができた。活動を通して子どもたちと「同じ日本に住む仲間を考える」大切な一時となった。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <p>※登録制年齢別活動：各年齢月1回</p> <p>※自由参加型年齢別活動：各年齢月1回</p> <p>0歳児対象活動には民生委員、支援センターワーカーも参加</p> <p>※公園児童館「げんきっず」：月2回</p> <p>※「夕涼み会」、「ファミリーデイ」、「人形劇観賞」「保育付母親講座」「田んぼで焼き芋大会」</p> <p>※「妊婦向け講座」（共催：基幹型児童館）</p> <p>※「パパクッキング」年2回</p> <p>※利用者アンケート（館内、地域）年1回</p> <p>※土、日曜日体育室環境の充実（トミプラの日・ボールプールの日）（父親向け）</p> | <p>※低・高学年キャンプ：7・8月</p> <p>※低学年親子クッキング：年2回</p> <p>※高学年クッキングクラブ：年10回</p> <p>※クリスマス活動（被災地支援・施設訪問）</p> <p>※労作活動（お米作り）5月から11月</p> <p>※映画会：毎月1回</p> <p>※低・高学年タイム：週1回/月2回</p> <p>※夏休み低学年親子工作（とんぼ玉）1回</p> <p>※子ども実行委員会：9・10月</p> <p>※館内合宿：2月・3月</p> | <p>※スポーツ大会：毎月1回</p> <p>※映画会：毎月1回</p> <p>※ライブコンサート：年1回</p> <p>※ボランティア活動（餅つき・小学生合宿）</p> <p>※館内合宿：年1回</p> <p>※調理活動：年3回</p> | <p>※労作活動（お米作り）：5月～11月</p> <p>※子どもの日スペシャル 5月</p> <p>※日野市立第五小学校PTA「夏まつり」7月</p> <p>※多摩平5丁目「夏祭り」7月</p> <p>※多摩平商店連合会「ハロウィン」10月</p> <p>※日野市立第五小学校「総合授業」出向10月</p> <p>※日野市「手をつなごう∞こどもまつり」10月</p> <p>※日野市立第二中学校「地域清掃」11月</p> <p>※二中育成会「三世代の集い」11月</p> <p>※クリスマス活動：11、12月</p> <p>※餅つき1月</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <p>(登録数)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>0歳児クラス</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> <tr> <td>1歳児クラス</td> <td style="text-align: center;">80</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">120</td> </tr> </table> | 0歳児クラス | 40 | 1歳児クラス | 80 | 計 | 120 | <p>(2011年度来館者数)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">計</td> </tr> <tr> <td>乳幼児</td> <td style="text-align: center;">11,683</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td style="text-align: center;">14,994</td> </tr> <tr> <td>中・高校生</td> <td style="text-align: center;">6,051</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td style="text-align: center;">12,471</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">45,199</td> </tr> <tr> <td>※開館日数</td> <td style="text-align: center;">312日</td> </tr> <tr> <td>※1日平均</td> <td style="text-align: center;">144人</td> </tr> </table> | | 計 | 乳幼児 | 11,683 | 小学生 | 14,994 | 中・高校生 | 6,051 | 一般 | 12,471 | 計 | 45,199 | ※開館日数 | 312日 | ※1日平均 | 144人 | <p>その他の事業、特記事項)</p> <p>【地域内機関とのつながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまだいら児童館ふれっしゅ評議委員会：年2回 ・指定管理者連絡会：月1回・日野市児童館館長：月1回/児童館職員会議：月1回 ・日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会：年2回/ケース会議：随時 ・日野市立第五小学校PTA連絡会「はぐくみの会」：年2回 ・日野市立二中地区青少年育成会運営委員会：年4回、役員会：年5回 ・日野市放課後子どもプラン「ひのっち」連絡会：月1回 ・多摩平の森ふれあい館連絡会：月1回 合同清掃：月1回 ・2012年1月1日付で、内堀浩幸から八重田裕一郎に館長交代があった。 | |
| 0歳児クラス | 40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳児クラス | 80 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 120 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳幼児 | 11,683 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 14,994 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中・高校生 | 6,051 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般 | 12,471 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 45,199 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※開館日数 | 312日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※1日平均 | 144人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 支援センターブロック 事業報告書

施設名 江東区東陽子ども家庭支援センター
記入者 早川 貴美子

指定管理

東陽

| | | | |
|-----------------|--|-------------------|--|
| <p>事業の総括</p> | <p>1 ひろば活動 ・夏ごろまではひろばで3.11震災による地震、放射能汚染に対する不安感などの声が相談として、あるいはひろばでの会話にも多く出て、母親たちが子どもの健康の安心と安全について葛藤を抱えつつも、母親自身が不安定になってはいけなと懸命に子育てをしている姿を感じた。それぞれの親自身の価値観、決断を尊重しながら話を聴くことの大切さを何度もスタッフは経験した。 ・生後1カ月間もない赤ちゃんの来所が今年も多くあった。母親の産後の健康状態を心配すると同時に、産後しばらくの間の母子の暮らしをサポートする体制が様々な理由で困難な家庭が多くあることを実感する。そのようなケースにおいては、ひろばで過ごすひとときが親子にとってホッと一息できる時間や場となるよう、スタッフの共通確認のもと対応していけるよう配慮していった。 ・スポーツセンターの出張ひろばは来所者が定着する一方、子どもの年齢も大きくなり和室では手狭になってきた。スポーツセンターとの話し合いを持ち、多目的広場の部屋の使用、遊具の設定などを検討した。</p> <p>2 相談活動 ・日常的にひろばに来所される方との関係ができるごとに、子育ての悩み、家族および人間関係の悩みなどについて話されるようになる。保護者だけではなく子どもについても細やかな配慮を要するケースが多くあることを感じる。また今年から江東区要保護児童対策地域協議会の実務者会議が地域の保健相談所で開催されるようになり、保健相談所との連携を要するケースがかなりあることに気がつく。早速スタッフ間で現在の状況を確認し保健相談所と連絡を取り対応する。</p> <p>3 人材育成養成講座、地域の子育て応援者の発掘、ボランティアセンターとの連携 ・ひろばボランティアが減少気味となっているが、区報で子ども家庭支援士養成講座を掲載したところ多くの方から問い合わせ、申し込みがあった。潜在的に子育て支援の活動を希望している方が地域に多くあるということを実感する。ボランティアセンターとの連携は今後の重要な課題として検討をしたい。 ・支援者が家庭を訪問し、見守りや日常生活支援を行うことで、児童虐待防止と地域生活の支援を図るために、2011年度より「子ども家庭支援士訪問事業」を江東区からの委託により開始。その事業内容からも次年度2012年度から南砂子ども家庭支援センターに事業委託先が変更となる。年度内活動ケースは2件。</p> | <p>事業目標・方針の総括</p> | <p>1 ひろば活動の充実 ・ひろばには生後まだ間もない赤ちゃんから、幼稚園帰りにひろばで遊ぶことが日常の生活の流れになっている子どもたちまで、0歳から3・4歳の乳幼児の子どもたちが集う。そのような状態の中では当然様々な問題が発生してくる。親たちもひろばに来所するきっかけ、理由、期待することも様々である。しかし共通項として身体的にあるいは精神的に疲労感を恒常的に抱えている方が多いように感じる。家庭の中で、母子2者間のゆとりを欠いた関係に親自身が自ら危うさを感じて、来所してくるケースが多くある。何人かの方から「みずべは母子の避難場所です」という言葉をたびたび耳にする。実際そのような機能をひろばは担っていることを実感している。そしてその対象は親だけにとどまらず、様々な行動でSOSを発信している子どもたちも含まれている。アンケートでは職員の対応について、親切、温かい、親身になって話を聞いてくれる、と多くの方から評価していただいているが、今後は職員チームとしての対応の在り方など、母と子の状況をケース検討会などで十分に話し合いながら行っていきたい。 ・ひと時保育の利用が、親にとっての有効性だけではなく、子どもにとっても非常に意味ある成長のサポートになっていることを感じる。保健相談所からひと時保育の保育料免除ケースとしての利用依頼や、南砂のホットラインからの利用依頼も増えてきている。ある期間定期的に継続的に母子がひと時保育利用を生活の中に入れていくことにより、母と子の関係に良好な変化の兆しを感じることは多々ある。課題として保育を終えた後の支援士さんとの振り返りの充実を図ること。それは何よりのフォローアップ研修となると思うが現在十分に行われていない。またひろばとひと時保育の場が1Fと3Fとなっているため、それぞれの子どもの様子を共有する時間を作りだしていく必要を感じている。</p> <p>2 相談活動の充実 ・年4回開催のケース会議で一つのケースについて話し合える機会は貴重な時間となっている。ケース検討に出すことにより、職員一人一人のケースに対する対応を振り返り、チームとしての対応につながる機会となっている。またブロックの相談研修も日頃のひろばでの親子の対応を学ぶ貴重な研修となっているので全職員が参加できるようにしていきたい。</p> |
| <p>環境・修繕の総括</p> | <p>・ひろば及びひと時保育室の環境については、保護者アンケートにおいても清潔面安全面、ほっとできる雰囲気があるとの良好な評価を受ける 衛生管理のための「ひろば遊具類清掃週間予定表」を作成し遊具の衛生管理に努めた。 ・修繕面一夏に入ってからエアコン故障のため修理。冬季対策としてホットカーペットを増やす。 こどもトイレ水栓工事修理、給湯室扉カギ修理 コインロッカーのカギ修理</p> | <p>年間利用者数</p> | <p>ひろば事業 ・新規登録者数 897人 ・総登録者数（年間）14,214人 ・子ども延べ利用者数 14,776人 ・親延べ利用者数 11,753人 ・親子合計 26,529人 ・相談件数 610件 専門相談 107人 ・体験学習事業参加者数 3,186人 ・ボランティア登録者数 89人（参加延べ人数 553人・参加延べ時間数 1,051時間）</p> <p>ひと時保育事業 ・新規登録者数 391人 ・利用延べ人数 2,323人（利用実人数 1,194人） ・支援士（東陽）登録者数 42人 ・活動者数 23人</p> |
| <p>主な行事報告</p> | <p>1 ひろば事業 母親講座・父親講座・グループ懇談会・助産師による講座・お話し会・めだかクラブ・親による自主活動</p> <p>2 ・人材育成「子ども家庭支援士養成講座基礎講座・スキルアップⅠ」 10月～ 江東区の4か所の子ども家庭支援センターでひと時保育を開始して5回目の養成講座。ひと時保育を担う支援士養成が主な目的であるが、区報による講座募集掲載に申し込みの電話が殺到し、ほぼ即日で定員となる。今回は、基礎講座のみの受講も受けた。基礎講座のみの受講者17名。スキルアップⅠ受講者22名。スキルアップⅠ修了生の22名全員がひと時保育の支援士登録をし、1月から活動実施する。 ・人材育成「子ども家庭支援士養成講座スキルアップⅡ」 1月～ スキルアップⅠを修了、ひと時保育で活動している支援士が対象。3回目の養成講座となる。おもに今後のセンターの出張ひろばの活動の協力者養成が目的となっている。受講生11名のうち、修了者は9名。</p> <p>3 こども家庭支援士訪問事業養成講座の実施 5月～ 支援士の養成講座を5回の連続講座として実施。受講対象者は地域の民生児童委員、児童福祉関係の仕事の経験者、児童福祉を学ぶ学生、子ども家庭支援士スキルアップⅡの修了生。今回受講者27名のうち、訪問支援士登録者は19名。</p> <p>4 子ども家庭相談研修 2月～ 区内の保育現場で課題となっている様々な問題をテーマにして学ぶ3回連続の研修。今年度は認証保育園からの参加者が多くあった。発達障がいについての理解と保育現場での実際の対応を同一講師の2回連続講座で組んだが、非常に好評であった。講座受講施設37施設、受講者延べ118名。</p> | <p>人事その他</p> | <p>センター長 1名 ・子ども家庭支援ワーカー 3名 ・非常勤 3名 （地域支援ワーカー1名一兼務） ・保育支援ワーカー 2名 ・非常勤 1名 ・専門相談員 伊志嶺美津子（浦和大学 こども学部教授） 染谷 利一（東京大学附属病院こころの発達診療部：臨床心理士） 小川 未佳（家族機能研究所、IFF相談室セラピスト、臨床心理士）2011年6月まで 杉山由希子（東京メンタルヘルスアカデミー、カウンセラー）7月から</p> <p>・スーパーバイザー 新沢 誠治（みずべ初代所長・子育てひろば推進センターみずべの会代表） 龍野 陽子（元子どもの虐待防止センター専任相談員）</p> |

2011（平成23）年度 雲柱社 支援センターブロック 事業報告

施設名 江東区大島子ども家庭支援センター
記入者 篠原 喜美

指定管理

大島

| | | |
|------------------|---|--|
| <p>事業の総括</p> | <p>ひろば活動 住宅公社や都営の高層住宅などが建ち並ぶ中にセンターがあり、近隣からの利用者も多いが、少し離れた地域からの来所も増えている。また外国籍の方も震災後一時期は減ったが、再び増加傾向にある。また2番目を出産された方も「上の子が外に出たがるから」「二人を家で見るのは大変」と生後間もないうちからひろばにやってくる。みんなで赤ちゃんの誕生を喜び、スタッフやボランティアでできるだけサポートするよう配慮した。色々な方たちとの出会いやつながりのある中で、親子が安心して子育てできるように今後も必要に応じて手を差し伸べていく。特に初めてセンターを訪れる親子には温かく接し「また来よう」と思えるような丁寧な関わりを行ってきた。また、周りから常に見られていることを意識し公平な対応に心がけてきた。</p> <p>リフレッシュひととき保育 ひろばで預かるので、限られた人数しか受け入れられないのが現状だが、できるだけ多くの方に利用してもらえるよう今年度は定員枠を増やし対応してきた。しかしそれでも1ヶ月先までは常にいっぱい状態が続いている。利用者からは「予約がとりづらい」「利用枠や時間を増やして欲しい」など要望もある中「1対1で見てもらえるので安心」「泣いても嫌な顔せずに見てくれる」などの評価も得ている。</p> <p>新しい取り組み 「亀戸スポーツセンター子育てひろば」…人口の増加傾向にある亀戸地域での新たな出張ひろばをスポーツセンターと協働で定期的に行い、子ども家庭支援センターには足を運ぶことが出来ない方にも利用して頂き、そこには子ども家庭支援士やボランティアにも関わって頂いている。7月よりスポーツセンターの改修工事が開始されたので、文化センターに場所を移して行うようにした。 「プレママ&プレパパクラス」…子育ての始まりは妊娠中からと考え、妊婦及びそのパートナーを対象としたプログラムを助産師やバースコーディネーターと一緒に開催する。誕生学を学び、出産後のケアなどのアドバイスなどを行い、安心して新しい家族を迎え入れられるようお手伝いをする。</p> <p>利用者アンケート 日曜・月曜の開館希望や開所時間の延長など利用者の要望は変わらないが、「ここがあって本当に助かっている」「母も友だちができて、こどももいきいきと遊ばせてもらっている」などの評価をいただく</p> | <p>事業目標・方針の総括</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ひろば活動の充実 来所のきっかけは様々ではあるが、特に近年はインターネットからの情報でつながることも増えてきた。センターの構造上、事務所がひろばと密接していて扉もなくオープンな反面、言動や情報漏れには十分注意を払ってきた。特に新しく来る利用者も含め、話しかけやすい雰囲気が醸し出せるよう職員間で心がけ利用する親子にとって居心地の良い場所であるように心掛けてきた。また、訪れた親子がゆったりとくつろげるよう、できるだけ一人一人に寄り添い丁寧な関わりを大切に、その中で必要に応じて手を差しのべていくようにした。 2. 相談活動の充実 日常のひろばでのふれあい相談から専門相談へとつなげたり、関係機関から相談へとつながるケースも少なくない。中には長期に渡り見守っていくケースもあり電話や面接での対応が求められた。また継続的に支援が必要な家庭にはこちらからのアプローチも行ってきた。区・保健所と定期的に情報共有することでサポートの方法も明確になった。 (グループ相談・発達相談・家族問題相談・子育て相談など) 3. 各種講座内容の充実 みずべ会議や利用者アンケートに基づき、利用者のニーズにできるだけ添った内容を考えて行ってきた。講座をきっかけにセンターや利用者同士がつながるケースも多いことから改めて講座の重要性を感じている。 4. 地域活動の充実 大島地域を拠点とすると、まだまだ点と点が結びきれないエリアも多く、こちらからの発信も十分でなかった。地域情報を把握し整理しながら今後は積極的に外に向けて発信しネットワークの構築が必要と考えている。 5. ボランティア活動・世代間交流の充実 毎月学童ボランティアを受け入れたり、合同のプログラムを実施し交流を図ってきた。他にも近隣の中学校や高校にも働きかけ今後も積極的に受け入れていきたい。 日常的なひろばでの関わりを始め、講座時の保育等にも地域のボランティアの方に支えられている。またボランティアの方ご自身の力も発揮できる場となっていて、様々なプログラムを担って頂いている。 |
| <p>環境・修繕の総括</p> | <p>夏季節電対策→日よけ対策としてゴーヤカーテンを試行 天窓の開放・扇風機など 冬季対策→加湿器・カーペット増設 インフルエンザ対策等、年間通して空間除菌や手指の消毒を実施 地震による倒壊のためのベランダ補修工事实施 遊具の安全点検及び修理・購入 絵本や図書の入れ替えなども定期的実施 情報コーナーの整備を定期的実施</p> | <p>年間利用者数</p> <p>新規登録者数 878人 ・総登録者数 9,270人 ・子ども延べ利用者数 13,152人 ・親延べ利用者数 11,331人 ・親子延べ合計数 24,483人 ・相談件数 604件 ・体験学習事業参加者数 3,061人 ・リフレッシュひととき保育登録者数 226人 ・リフレッシュひととき保育利用延べ人数 729人 ・ボランティア登録者数 55人 (参加延べ時間数 2195.5 時間)</p> |
| <p>主な行事・活動報告</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・講座等 お母さんの元気講座(3回)、離乳食講座(3回)、自然と遊ぼう(年2回)、グループ懇談会(前期6回・後期6回)、父親講座(年2回)、助産師さんとのグループ相談(8回)、助産師さんとの個別相談(6回)、ベビーマッサージ(11回)、プレママ・プレパパ講座(年4回) ・ひろば活動 ハンドトリートメント(年4回)、おはなし会(月3回)、季節のおはなし会(たなばた・クリスマス1回ずつ)、クリスマスの集い(1回)、夏季の水遊び、手型足型(4回)、ハローみずべ(年4回)、青空ひろば(年2回)、みんなで遊ぼう(年5回)、誕生会(毎月)、すこやか成長記録(毎月)、ふたごちゃんの集い(3回)、フレンズクラブ(年6回)、入園おめでとうの集い、かんたん手作り(年6回)、みずべ会議(3回)、手作りサークル(毎月1~2回)、亀戸出張ひろば(毎月1回)・亀戸スポーツセンター出張ひろば(毎月1回)・大島8丁目子育てひろば、おもちゃ病院(年3回) ・ボランティア会議(3回) ボランティア・支援士感謝会(年1回) ・中学生ボランティア・小学生ボランティア・初任者教員夏季研修の受け入れ ・避難訓練(2回) 1回は学童クラブと合同避難訓練、防犯訓練(1回) ・運営協議会(年1回) | <p>人事その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター長 1名 ・子ども家庭支援ワーカー(リーダー) 1名 ・地域活動支援ワーカー 1名 ・子ども家庭支援ワーカー・一時保育担当 1名 ・非常勤ワーカー 1名 ・非常勤ワーカー・一時保育担当 1名 (6/1~) ・専門相談員(月1回) 発達相談 養和巖 (東京大学医学部精神神経科小児部:臨床発達心理士) 家族相談 稲邑恭子 (成蹊大学・お茶の水女子大相談員:カウンセラー) 心理相談 田島昌子 (子ども家庭リソースセンター:臨床心理士) ・スーパーバイザー 龍野陽子 (子どもの虐待防止センター相談員) 新澤誠治 (子育てひろば推進センターみずべの会代表) |

| 事業の総括 | <p>1. 深北みずべ8年目を終了して 今年度は、耐震工事に伴い9月から3月までの期間は、移転先の江東区児童会館で事業を行った。「深北みずべは遠くてなかなか行けないので児童会館に移転してきて嬉しい」という利用者の声が開かれ、住吉、猿江、扇橋周辺在住の親子が沢山遊びに来た。この移転先の地域でも、ひろばがきっかけとなり親同士支え合いのネットワークが広がった。「みんなでつくるみんなのみずべ」が利用者、ボランティアの力により生み出されていることは嬉しい。一時移転したことで、児童会館と配慮の必要な家庭を共有したことが丁寧な対応に繋がった。</p> <p>2. リフレッシュひととき保育 4年目に入り、多くの方に周知され、ひととき保育を通してひろばに繋がる方が多くなってきている。支援士さんが丁寧に保育し保護者に寄り添いながら保育の様子を伝えることが安心して預けることに繋がっている。移転後もひろばでのひととき保育を継続。今まで利用を希望しても距離が遠いため利用できない地域の方も、移転をきっかけに利用することが出来、予約は常にいっぱいであった。</p> <p>3. 「深川北こそだてひろば」（出張ひろば） “みずべに行きたいが家から遠くてなかなか行きにくい”という声にこたえて、気軽に近くのひろばに集えるように、深川北スポーツセンターの会議室を利用して「出張ひろば」を月1～2回始めてから2年目。2011年度は、17回開催、延べ人数は子ども330名・親315名（1回平均子ども20.7名）と多くの利用があった。深北“みずべ”から離れて住んでいる方の需要は高く、こちらから地域に出向くことの必要性を感じている。</p> <p>4. 「森下こそだてひろば」（出張ひろば） 9月～3月の移転期間中、本来の所在地である森下周辺親子への「ひろば事業」の提供。森下文化センター会議室を利用して16回開催。毎回15組程の親子が来所。工事終了とともに「森下こそだてひろば」は終了し、次年度は移転先の住吉地域での出張ひろばに変更し継続予定。</p> <p>5. すこやかマナー 5月から7月までの間3回開催。しょうがいや発達ゆっくりな子どもなどを対象にひろばが休みの月曜日に遊びのひろばを提供。工事のために前期しか行う事が出来なかったが次年度も引き続き行う予定。</p> <p>6. 地域情報交換会（年1回） 「顔がわかり心通わせるネットワークづくり」と運営協議会での声を受け、2011年度は年1回開催。「地域の災害時対応」について話し合う。また、近隣の保育園が保育者対象に合同で主催している講習会の会場をセンターにしたため、知ってもらえる機会と交流の場になった。</p> | 事業目標・方針の総括 | <p>1. ひろば活動 雲柱社基本理念、子ども家庭支援センター事業目標を基にし、ひろばに集う親子が、ホッとできありのままで過ごすことができるように、ひろばでのふれあい相談、一人一人に寄り添い丁寧に関わることを大切にしてきた。特に、配慮の必要な家庭についてはミーティングで共有し、次回の来所につなげるようにしてきた。龍野先生のケース会にても話し合い関わりが途切れないようにした。また、要保護児童対策地域協議会も年3回あり、ホットライン、保健相談所、支援センターなどのケース報告は有意義なものとなった。 支援士さん、ボランティアさんとの「ボランティア会議」、利用者との「みずべ会議」が、共に地域で育ちあう仲間のひろがり、みずべ基本理念、共有・共創・共有・共生を考え合い歩んできた。</p> <p>2. 相談活動 ①グループ相談（前期5回） 決まったメンバーでの継続しての話し合いは、参加者同士のつながりも深まり「久しぶりの自分の時間」に繋がっている。こどもの保育はボランティアさんが担い、親御さんへ温かな声援を送っている。 ②家族問題相談 夫婦関係・親子関係・自分自身のことなど相談内容も多岐にわたる。継続が必要なケースも多くいつも予約でいっぱいである。自分を取り巻く環境を整理し、自身が納得できる生き方を見出していけるよう応援する場ともいえる。 ③発達相談 子ども中心の相談であるが、お母さん自身、家族についての相談になることもある。他機関とも連携をとりながら、継続してひろばでも関わりながらすすめている。 ④助産師さん懇談会 こどもの健康やお母さんの健康についての相談。「体をほぐせば心もほぐれる」といわれることからお母さんのストレッチから始まる。相談内容は、授乳・離乳食・卒乳・夜泣き・おっぱいのケアなどで参加者の経験も生かしながらすすめていくので親同士の繋がりがもできる。産後の体のことなど個別のケアもある。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|--|-----|-----|-----|---------|------|------|------------|--------|---------|----------|--------|---------|------|---------|---------|-------|------|------|-----------|--------|--------|------------|-----|-----|-----------|-------|--|
| | 修繕の総括 | | <p>1. 耐震工事に伴う移転 移転先のひろばスペースは、今までの三分の一程となったため乳児が安心して遊べる環境とした。幼児は、体育室や児童会館内の幼児室で遊ぶなどの住み分けが出来たことで、今までより幅の広い年齢の相談があった。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な行事報告 | <p>1. 日常のプログラム（9月～3月までは耐震工事に伴い休止） ①あおぞらひろば…戸外ならではの遊びの提供を目的とし、センター向かいの森下公園で行っている。夏の水遊びは人気で7.8月とたっぷり楽しむことができた。神愛保育園との共催のプログラムも行う。 ②おはなしかい…利用者のお母さんとボランティアで行っている。養成講座を開くことでメンバーも増え、お話だけでなく得意分野を生かし歌やピアノも使い楽しいひとときとなっている。ほかに、「英語で遊ぼう」も、利用者がそれぞれの得意分野を生かし行っている。参加者の中から次回は自分が運営側になりたいという声もある。移転期間は、森下出張ひろばで、継続。 ③ケーキサークル&喫茶…月曜日のケーキサークルもメンバーが増えた。同じメンバーが喫茶の日も飲み物を用意したりすることがケーキサークルのアピールにもなっている。</p> <p>2. お祝い・季節のプログラム ①ガムランコンサート…インドネシアの合奏で毎年恒例のコンサート。学童の子ども達と異文化に触れる体験は貴重なひととき。 ②クリスマス会…児童会館との共催、体育室で行う。毎年、利用者とともに準備をするが今回は移転先となるため、児童会館のスタッフにも協力していただいた。82組のおやこが集まった。 ③お誕生会…当日飾りお花のアレンジメントを利用者にお願いしている。保育園や幼稚園、小学校に入園・入学を祝うプログラムもお祝いプログラムの一つであるが、どれも自分の子だけでなく互いに成長を喜びあうひとときとなり、育ちあう仲間がいることの喜びを感じる時になっている。祝う会は、移転中も実施し70組程と多くの参加があった。 ④自然とあそぼう…親子の野外遊びの提供。普段見過ごしてしまいがちな自然を親子で楽しむ。移転のため0歳児も増えたので0歳から1歳半対象のプログラムを行う。また、父親対象の野外プログラムも2回開催。 ⑤プレママプログラム…「プレママもママもおいでよみずべへ」（妊婦さん向けの企画）は毎月1回来て下さる助産師さんが進行役になり、低月齢の利用者にも力を貸していただき行う。今後も妊婦さん向けのプログラムをとりいれながら妊婦さんも来るきっかけを工夫していく。</p> | 年間利用者数 | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>今年度</th> <th>前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・新規登録者数</td> <td>483名</td> <td>574名</td> </tr> <tr> <td>・子ども延べ利用者数</td> <td>8,847名</td> <td>12,450名</td> </tr> <tr> <td>・親延べ利用者数</td> <td>8,141名</td> <td>10,989名</td> </tr> <tr> <td>・親子計</td> <td>16,988名</td> <td>23,439名</td> </tr> <tr> <td>・相談件数</td> <td>593件</td> <td>595件</td> </tr> <tr> <td>・体験学習事業参加</td> <td>1,848名</td> <td>3,266名</td> </tr> <tr> <td>・ボランティア登録数</td> <td>64名</td> <td>60名</td> </tr> <tr> <td>参加延べ時間 大人</td> <td>367時間</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | 今年度 | 前年度 | ・新規登録者数 | 483名 | 574名 | ・子ども延べ利用者数 | 8,847名 | 12,450名 | ・親延べ利用者数 | 8,141名 | 10,989名 | ・親子計 | 16,988名 | 23,439名 | ・相談件数 | 593件 | 595件 | ・体験学習事業参加 | 1,848名 | 3,266名 | ・ボランティア登録数 | 64名 | 60名 | 参加延べ時間 大人 | 367時間 | |
| | | | 今年度 | 前年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・新規登録者数 | 483名 | 574名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・子ども延べ利用者数 | 8,847名 | 12,450名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・親延べ利用者数 | 8,141名 | 10,989名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・親子計 | 16,988名 | 23,439名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・相談件数 | 593件 | 595件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・体験学習事業参加 | 1,848名 | 3,266名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ボランティア登録数 | 64名 | 60名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加延べ時間 大人 | 367時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>3. 神愛保育園との共催プログラム あおぞらひろば以外に、看護師さんと話そう（年2回）、栄養士さんと話そう（年2回）がある。保育園ならではのサポートにつなげることができ、同じ法人のメリットをこれからも生かしていく。</p> <p>4. 地域の方、ボランティア・民生委員の力を借りて 保育の必要なプログラムのときにこどもを保育していただいている。年に2回ボランティア会議を開いた。地域の方のあたたかなまなざしが子育て中の親子の安心につながっている。</p> | 人事・その他 | <p>*職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター長 1名 ・子ども家庭支援ワーカー、兼、地域活動ワーカー 1名 ・子ども家庭支援ワーカー 1名 ・保育ワーカー 1名 ・子ども家庭支援ワーカー 1名（非常勤） ・子ども家庭支援ワーカー 1名（非常勤） <p>*専門相談員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達相談 渡邊 恵理（東京大学病院こどもの心の診療部） ・心理相談 田島 昌子（臨床心理士） ・家族問題相談 都甲 絢子（金杉クリニック 精神科 臨床心理士） ・助産師さんとの懇談 廣田 真里・山本福美（助産師） <p>*スーパーバイザー</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島 昌子（臨床心理士） 龍野 陽子（子どもの虐待防止センター元専任相談員） 新澤 誠治（子育てひろば推進センター みずべの会代表） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 雲柱社 支援センターブロック 事業報告

施設名 江東区南砂子ども家庭支援センター
 記入者 依田幸子

指定管理
南砂

| | | | |
|-----------------|--|-------------------|---|
| <p>事業の総括</p> | <p>一人ひとりの人格と個性が尊重される社会 ・子どもは、一人ひとりが特別な存在で、地域の宝として社会全体で子育て・子育てを支援する体制を整え、子ども達の健やかで幸福な成長を喜びあうことができるようにという賀川豊彦の精神を実践すべく、職員で取り組んできた。 ・子ども達が、自分は愛される価値のある大切な存在として、夢や希望をもって育てて欲しい。 ・子どもの周りにいる、私たち大人が、お互いを大切な人として交わり、生活している姿は子どもに安心を与え、人への信頼を持つことにつながっていくことを、常に念頭におき活動をすすめてきた。 ・親になり育児をするということは、心配事も次々におこるが、子どもがいるお陰で、色々な人との出会いがある。親御さんにとっても、職員だけではなく地域の方々がボランティアとして参加してくださっていることで、温かい人間関係の中に自分達親子が生活していることを実感してくれたと思う。特に今年度は学生ボランティアの参加が多かった。 利用者の意見を大切に ・実際に子どもを連れて、ひろばを訪れる親からの意見は貴重である。親子が過ごしやすい環境作りやプログラムの内容と持ち方について、隔月に行った「みずべ会議」では活発にアイデアが出された。 ・夏の水遊びは、親御さん同士でも安全管理が容易な小さなプールを複数用意することで、自由に時間を選んで楽しむことができた。 ・お絵かき用の紙やダンボールを、自分達で集めて、子ども達の創作活動が、より充実した。 ・自主サークルの活動は、親御さん達の自己実現の場であると同時に、今すぐはできないけれど、自分もいつかやってみたいという希望がもてるようだ。 反省と課題 ・年度途中で体調を崩す職員がでたことは、施設長として早めに対処できなかったことが悔やまれる。特に虐待対策ワーカーの精神的負担や他機関との関係の難しさを共有し、対策を講じなければならなかったが、それが十分にできなかった。職員との面接内容を改めて考え、チームで仕事をする事の共通理解をもてるよう努力したい。</p> | <p>事業目標・方針の総括</p> | <p>1. ひろば活動 沢山の親子とともに毎日を過ごすことができた再認識するのは、東日本大震災があったからではないかと思う。当センターのある建物の連結部分の損傷があった影響で、ベビーカー置き場と駐輪場の使用制限をした期間もあったが、幸いにして施設内は以前と変わりなく使用することができた。しかし乳幼児をもつ親からは外出自体に不安があるという心境を語る方も多く、ひろば利用も控えているという声もあった。飲料水や食物等の安全等々で不安が強かった方が、他の人との関わりを通して少し楽になったことは、ひろばの持つ力だと思う。 今年度は2人の父親が長期の育児休暇を取って、子育てに専念し平日も頻繁にひろばを訪れた。父親同士の繋がりもでき、育児休暇が3月で終わってしまうことを残念がっていた。土曜日にはもっと沢山の父親と会えるので「イクメン サミット」を開く企画もすすんでいる。</p> <p>2. 相談活動 ・専門相談（グループ1/月 家族問題2/月 発達1/月） それぞれに悩みや時には罪悪感を抱えつつも親として期待される役割を生きようと、必死になっている親達に出会う。多くの人々が相反する複雑な感情を抱えて子育てをしていることを、スタッフが理解し受け入れていくことで「自分のことを相談してみよう」という勇気をもてると思う。 「こんな小さなこと」と、思うようなことも気軽に話せる専門相談の場として積極的に利用して欲しい。 ・児童虐待ホットライン 6年目を迎え、地域への周知もすすみ指定管理者として虐待の対応をしていることについて、広く理解が得られるようになってきた。 複雑な問題を抱え、複数の関係機関が異なる役割で関わる必要があるケースが増えた。そのためワーカーが面接や訪問、他機関へ行く際の同行などを通じ、直接家庭へ対応することが増えた。通報を受けてから48時間以内に安否の確認をするための訪問も行っている。保護者と直接話をして関係を築いていく中で、必要な支援をできるだけ的確にケースワークできるよう努力した。</p> <p>3. ひととき保育 実家が遠く、子どもをちょっとした時間みてもらう知り合いも近くにいない方々は、子どもにつきっきりの生活で孤独や疲労を強く感じている。しかし子どもを預けることへの罪悪感もあり、なかなか一歩が踏み出せないでいることが多い。そのような親御さんが、少しでも楽に子どもを預けられるよう、日頃の関わりの中で、母親も自分の時間をもつことの大切さや、子ども同士で遊ぶ意味等をさりげなくメッセージしてきた。保育を通して子どもの変化を実感したり、自分自身にゆとりがもてることが分かってくると、誘い合わせてひととき保育を利用する人が増えてきた。</p> |
| <p>環境・修繕の総括</p> | <p>1. 南砂ホットラインと江東区子育て支援課要保護担当をオンラインでつなぐシステムの導入に伴い、事務室の使い方を変更した。職員数の割りに狭いスペースだが機能的に使えるよう工夫した。 2. 毎夏西日に悩まされるプレイルームに、節電対応ということもあり遮熱カーテンを取り付けた。夏だけでなく冬もエアコンを使うことが減った。</p> | <p>年間利用者数</p> | <p>ひろば事業 ・新規登録者数 1,149人 ・総登録者数 9,099人 ・子ども延べ利用者数 17,944人 ・親延べ利用者数 14,804人 ・親子合計 32,748人 ・相談件数 928件 内ホットライン虐待受理件数 114件 ・体験学習事業参加者数 3,994人 ・ボランティア登録者数 44人 (参加延べ時間数 508時間)</p> <p>ひととき保育事業 ・新規登録者数 336人 ・利用延べ人数 1,678人 ・予約延べ人数 2,306人 ・支援士 登録者数 26人 ・現在活動者数 19人</p> |
| <p>主な行事報告</p> | <p>母親・父親講座—自然と遊ぼう (2回)、おもちゃ病院 (2回)、応急手当 (1回)、元気講座 (1回)、離乳食講座 (3回) ベビーマッサージ (2回) グループ相談—12回 (2テーマ) 助産師個別相談—6回 助産師グループ相談—毎月1回 すこやかマンデー (障碍のある子どもと親の集い) —毎月1回 誕生日会、すくすく成長記録、おはなし会—親御さんやボランティアさんの協力で行った。 みずべ会議—6回 (親、ボランティア、職員の意見交流) 自主活動—分ち合いバザー、入園を祝う会、3歳児遊び隊、うたい隊、本友会、ママズコトボランティア、支援士学集会、感謝会</p> | <p>人事その他</p> | <p>・センター長 1名 ・子ども家庭支援ワーカー 3名・非常勤3名 (地域支援ワーカー1名—兼務) ・保育支援ワーカー 1名・非常勤2名 ・虐待対策ワーカー 4名・非常勤心理1名 ・退職者 2名 (非常勤) ・産休 1名 (1月～) ・専門相談員 櫃田 紋子 (浦和大学 こども学部教授) 井上 明子 (臨床心理士) ・スーパーバイザー 龍野 陽子 (元子どもの虐待防止センター専任相談員) * 専門相談員も兼任 新澤 誠治 (子育てひろば推進センター みずべの会代表) 内山 健太郎 (公立昭和病院 医師)</p> |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|--|--|-----------|---------------|---------|---------------|-------|------------|---------|---------|----------|-----------|-------|---------|---------|--------|---------|--|--|
| 事業の内容と展開総括 | <p>指定管理の中で 2011 年度の事業を展開してきた。市内に唯一の子ども家庭支援センターとして、市内各方面からの期待もますます高まってきていると感じている。先駆型として歩み始め 3 年がたったが、気がかりな家庭が増えてきており、子ども家庭支援センターがどこまで受けていくのか、指定管理事業者としての立場での対応は課題が多い。児童相談所、市などとも協議を進めていかなければいけないと感じている。</p> <p>1. ひろば事業</p> <p>○親子が安心して集える場、居心地の良い場所としてひろば運営を行ってきた。</p> <p>その中で親子が共にゆったりと過ごせる場が、いかに必要かを実感させられている。子どもが赤ちゃんの時に遊びに来ていたが転居してしばらく顔を見せなかった親子が「久しぶりー、大きくなったでしょ!」と顔を見せてくれ、親しく交われるのは開所当時からスタッフが残っているのが大きいのかも知れない。</p> <p>年度途中でスタッフが産休、育休に入り、新しいスタッフが加わったが、ひろば事業の相談員にベテランの子育て支援者がいるので指導に当たり、紆余曲折はあったがスムーズに進めたのはよかった。</p> <p>ひろば事業での親子の遊び、子ども同士の遊び、親たちの出会い、学びあいの効果の大きさは見てきたことではあるが、これもさりげなく介入するスタッフの役割は大きい。ひろば事業を継続利用しながら数年経ってやっと相談のできる方もいる事を思い、スタッフが同じ思いになり共有できる振り返りの必要性を感じる機会を作ってきた。今後も振り返り検討し学びの時を充実させたい。</p> <p>○法人内の各センターの運営経験が長いので、それらの経験者の情報共有化、各センターの交換研修等により、各センターの良さを体験することで、雲柱社の広場の良さがより生かされることを考えていきたい。</p> <p>○相談機能がスタッフの人数を必要とするのであるなら、広場事業の見直しをして、より先駆型としての機能を充実させて欲しいとの市の意向もあるようだが、ひろば事業からの相談も増えてきていて、やはりひろば→相談→ひろばで仲間づくりの場でもあり、事業の中心はひろば事業であることを確認しており、今の状態を大事にしていきたい。相談員不足であったが東京都が虐待防止対策ワーカーを年度途中で増員したことによって、まだ十分とは言えないが、ひろば事業が中心という思いを貫けたことはよかった。</p> <p>○親たちもプログラムに参加し、活動が活発になってきているので、一緒に考え支援していきたい。</p> <p>2. 体験学習</p> <p>○市の判断で、この事業は 2010 年度から児童館に移管した。希望者は少なかったが、ボランティア活動に参加できた中高生が時々遊びに来て、ひろば事業で嬉しそうに小さい子どもと触れ合う姿も見られるので、次年度は数校から依頼もあるので受けていきたいと考えている。0 歳～18 歳までの対応が、問題を抱える子どもとの関わりだけでなく、緩やかな関係性の中で互いを認識していける事は大切であろうと考える。親世代になって相談に来るのではなく、それ以前に共に育ちあっていくことが大切と思わされている。</p> <p>○各年齢講座、講習会等は予算が付かないが専門相談員の協力が得られ実施できた。</p> <p>○昨年までのように虐待防止センターからの補助がなかったので CSP（コモンセンスペアレンティング）講座(6 回)は実施できなかったが、後半に必要性を感じ虐待防止センターより講師を迎え 1 回行った。</p> <p>3. 相談事業</p> <p>○今までは乳幼児に関することが多かった相談が、最近では中高生の相談が多くなっている。その分センターを頼ってくる子どもが増えて、時間外の対応になることも多くなり、相談スタッフの超過勤務増となってきている。精神的疾病、家族問題、貧困、虐待傾向家族（世代間連鎖）、親子ともに問題を抱えている要支援家族が増え問題が山積みになっていく中で、市の関係機関との連携、どのようにサービスを提供できるのか、スタッフの 相談員としての力が試されることばかりである。（市の機関からも一目置かれもしているスタッフではあるが）</p> <p>○今年度は週 1 回（水曜日の午前中）の支援方針会、受理会をしっかりと行い、ケースの共有化、支援方針の検討を行ってきた。</p> <p>○課題になっていたケースの整理の仕方、パソコンでのケースの共有化、進行確認等を整備すること等実現していきたくて願っていたことが、東京都の補助で相談システムを取り入れることができ実現した。そのことは深刻なケースが多く、気がかりだった個人情報の管理が相談システムを取り入れることによって守られるのでほっとしている。しかし小平市の個人情報を指定管理の施設で保持し管理することについての課題は残っている。</p> <p>○月 1 回は虐待ケースのスーパーバイザーに入ってもらいケースの検討もしてきたが、スタッフの負担は大きい。来年度はワーカーのメンバーが変わるので増々話し合いをしっかりとしていかなければと考えている。</p> <p>○虐待対応としては、児童相談所が後方支援にまわったことで、子ども家庭支援センターがやらなくてはいけないケースが増え、小平市子ども家庭支援センターとしては、機能をフル回転して対応してきているが、人手不足は事実である。年度途中東京都の補助でワーカーが 1 名増えたが、ケースの重篤さを考えるとまだまだ難しい面がある。他市での不幸な事件を聞く度に地域の中で拾い上げきれない家庭がないようにするにはどうしたらいいのかを考える。民間としての努力だけではやり抜けないものを感じ、どうクリアしていくかを迫られている。これからも関係機関との連携を密にしていきたいと考えている。</p> | <p>事業目標・方針と展開</p> | <p><目標></p> <p>○地域の中で子ども達を見守り育てていくことへの関わり的重要性を、ひしひしと感じさせられている。</p> <p>○小平はワーカーが動けばケースが増えてくると言われており、一つの機関に限られた人数が八方手を尽くしても、やり抜けない現状がある。これを打破していく為にも、地域の協力者を増していくことが必要と考えさせられている。（守秘義務遵守の中での動きとなるのは当然であるが）</p> <p>○複雑化、問題化している子育て支援の現状がある。いつの時代にも弱い立場の子ども達を守っていくことは、雲柱社としてのやるべき仕事と考える。子ども家庭支援センターの第一の事業は虐待の予防と考えているが、一方先駆型への対応がどこまでやれるのか、どこまでやってよいのか、迷いながらの関わりでもあった。誰かが支えなくてはならない、虐待問題も誰かが支援していかななくてはならないとするならば、それは雲柱社のなすべき事ではないかと思っている。問題の背景には貧困があり、親世代の成育の問題があり、発達障害児を育てる親自身に発達上の問題があり、支援する者の専門性をどこが持ちうるのか気がかかる所だ。</p> <p><方針></p> <p>○広場での利用者同士の関わり、体験はほぼ援助の目的に向かっていると思うが、こうした場を作っていくのが現代の問題を予防する大切な支援のベースになると考えている。ひろば事業の重要性は雲柱社の子ども家庭支援センターの中心である。</p> <p>○父親講座はセンターの男性スタッフが中心になり行った。参加者も多く父親の子育て参加は喜ばれることなのでこれからも大事にしていきたい。</p> <p>○相談は充実してきている。ひろば事業と専門相談もケースを補完しあっている。経過をたどりつつ改善を見守る。</p> <p>○虐待防止機能の強化、要保護児童対策協議会、実務者会の充実が図られ関係機関との連携も強化されつつある。学校との連携を図っているが、学校からの要望も多く、人手不足が大きく問題となってきた。今年度は東京都の補助により、虐待対策ワーカー 1 名増加し、相談システムの導入もあり、事務処理が簡略化されていくと思われる。ワーカー 2 人での訪問、見守りなどを積極的に行っていければと考えている。</p> <p>○次年度は市で特別支援協議会を発足する。子ども家庭支援センターもこれまで以上に期待されており、役割が増えていくと思う。</p> <p>○多くのケースを抱えるワーカーの負担をどう支えていけるか、管理職の課題となっている。</p> <p>○西部地区にも産業医の配置を一日も早く取り入れてほしいと願っている。</p> <p>○今年度も個人の訴訟保険についての対応を検討しつつあるが次年度持ち越しとなっている。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>環境整備・修繕の総括</p> | <p>○相談室の床のカーペットが古くなっている。親に付いてきた子どもが遊ぶ場でもあるので新しく取り替えたい。</p> <p>○ひろば事業としてはマンネリ化しないように後半おもちゃを少し購入した。利用者から狭いという声も出ているので狭いながらも利用しやすい部屋作りを考えていきたい。ひろば事業や元気村内で子どもの行事があるときは終わった後、すごい人で座る場所も無くなるほどである。館内で借りられる場所があればと考えている。（市との交渉）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>年間利用者数</p> | <table border="0"> <tr> <td>・新規登録者数</td> <td>511 組</td> <td>・総登録者数</td> <td>5,706 組</td> <td>・虐待相談受理件数(新規)</td> <td>122 件</td> </tr> <tr> <td>・年間子ども利用者数</td> <td>5,562 人</td> <td>・年間利用者数</td> <td>10,051 人</td> <td>・虐待年間延べ件数</td> <td>896 件</td> </tr> <tr> <td>・新規相談件数</td> <td>1,095 件</td> <td>・年間相談数</td> <td>3,845 件</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | ・新規登録者数 | 511 組 | ・総登録者数 | 5,706 組 | ・虐待相談受理件数(新規) | 122 件 | ・年間子ども利用者数 | 5,562 人 | ・年間利用者数 | 10,051 人 | ・虐待年間延べ件数 | 896 件 | ・新規相談件数 | 1,095 件 | ・年間相談数 | 3,845 件 | | |
| | ・新規登録者数 | 511 組 | ・総登録者数 | 5,706 組 | ・虐待相談受理件数(新規) | 122 件 | | | | | | | | | | | | | | |
| ・年間子ども利用者数 | 5,562 人 | ・年間利用者数 | 10,051 人 | ・虐待年間延べ件数 | 896 件 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・新規相談件数 | 1,095 件 | ・年間相談数 | 3,845 件 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>行事報告</p> | <p>各行事とも利用者から好評だった次年度も充実したプログラムを考えていきたい。</p> <p>・各年齢別講座:(ねんね、あんよ、元気) :月 1～2 回</p> <p>・父親講座:年 2 回</p> <p>・ベビーマッサージ:年 1 回</p> <p>・コモンセンスペアレンティング講座:年 1 回</p> <p>・誕生会:年 12 回</p> <p>・おめでとうの会:年 1 回</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>人事報告</p> | <p>センター長兼ワーカー 1 名</p> <p>虐待対策ワーカー 2 名+1 名(7 月から)</p> <p>子ども家庭支援ワーカー 2 名</p> <p>地域活動ワーカー 1 名</p> <p>ひろばワーカー 1 名</p> <p>専門相談員 2 名 発達相談：松田景子（言語聴覚士）、こころの相談：関戸百合子（臨床心理士）</p> <p>スーパーバイザー 1 名 龍野 陽子（元子どもの虐待防止センター専任相談員）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|------------|--|--|---|
| 事業の内容と展開総括 | 小平市でのファミリー・サポート・センター事業開始7年目。活動全般としては安定していると思われる。雲柱社が受託して4年目であったが、継続の中で見直しつつ内容的にはほぼ定着してきている。 当初からの会員も、アドバイザーも落ち着いて活動をしている。 会員増は大きく変化していない。7年目となり横ばい傾向ではあるが、アドバイザー達の努力もあり、少しずつでも増えている事を大切にしていきたい。もっと市内に向けてアピールしていく必要性を感じる。保育園、小学校、広場等に説明に向かう事も増やしている。 ○養成講座 年間2回の養成講座で70名近くの新しい提供会員が加わっているが、昨年の地震の後、預かるのが不安と退会する人もいたり横ばい状態だ。 利用者は多いが提供会員の数に地域的な差があり、少ない所で説明会を開催した。講師の都合と場所の都合でひとつひとつの講座の感覚が開き、1か月を超過することがあった。来年は講師との交渉や会場の予約など早めに準備をおこなう。 ○フォローアップ研修 広場体験は、これからの活動には必要と今回も感じている。 ○交流会 全体の会（利用会員、提供会員、アドバイザー） 子どもにも参加してもらっている。楽しい遊びを講師にお願いして利用会員、提供会員も参加し楽しむことができた。お楽しみの後、参加した利用者対象に説明会を行い、提供会員を対象に情報交換会を行った、日頃のご苦勞を感謝する会となったのは良かった。 ○ファミサポサロン 提供活動はほとんど1人で行う者なので、日頃、共有共感する場が少なくのでファミサポサロンでお喋りができる事は歓迎されている。サロンという形で立ち寄りやすい日を設定した。1回の参加人数は少ないが回数を多くして、今後も参加しやすいようにしていきたい。アドバイザーも話の中からニーズを開きとってスタッフ打ち合わせ会で報告しあい、今後の活動に繋げている。 ○ステップアップ研修 利用者の中にいろいろな家庭がありトラブルになったりすることが起こっている。コミュニケーション講座を、広場スタッフが講師となり実施した。参加した提供会員からはいい学びになったと喜ばれた。今後は養成講座の中に「コミュニケーション」講座を加えたいと考えている。 ○スタッフ・ミーティング 月1回 16:00～18:00 活動状況の振り返り、対応の反省、次月の活動内容の確認を行うなどをしてアドバイザー達で共有化する。話し合いの中から出来る限りのサービスを提供して来た。 ○研修 女性労働協会の研修等、学びや情報を得ていく努力をしてきた。雲柱社で運営する3つのファミサポの合同研修や情報交換で今後もスキルアップを図っていきたい。 | 事業目標・方針と展開 | ○市民の相互援助としての活動を通じ利用者のニーズに応えているが預ける側のニーズの多様化を感じている。アドバイザー達は応えるべく工夫してきているがファミリー・サポート・センター事業の限界も感じている。 ○養成講座の充実を図り援助者のスキルを高めていく 利用者の多様性、ニーズの変化にそって講座のテーマも考えていく必要性を感じているので利用者、提供会員の声を大事にしていきたい。 ○アドバイザーのモチベーションを確認しつつ、支えていく立場にやりがいを持ち話し合いを重ねて活動してきている。この仕事への理解と二者をコーディネートしていく事にやりがいを持ち、子どもと関わることを楽しむという気持ちを持って行きたい。 ○市内の子どもの預かりサービスと連携しつつ、利用者の立場になって提供していけるよう工夫する。 今年度の援助活動を振り返ると、子ども家庭支援センターに相談をするケース、子ども家庭支援センターからの聞き取りケースが多くなったと感じる。同じ法人としてプライバシーに十分な配慮をして支援してきた。この連携のできる事は有難い。 |
| | 利用状況 | 会員数 総会員数 1,996人・利用会員 1,733人・提供会員 302人・両方会員 39人 提供会員養成講座 2回(6月、10月) 利用会員説明会 年間 41回(毎月) フォロー研修 2回(6月、10月) ステップアップ研修2回(11月、2月) 交流会1回(11月) サロン月1回(5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月) | |
| | 人事報告 | センター長(小平市子ども家庭支援センター兼務) アドバイザー 4名 *常時2人体制での業務をしている | |

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 上池台児童館
記入者 秋山 幸美

| | 子育て支援活動 | 学童クラブ | 小学生を対象とした活動 | 中高生を対象とした活動 | その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|---|--|---|---|------------|-----|------|------|------------------------|------|------|------|-----------|-----|------------|-----|-----------|-----|---------|-----|-------|-----|-------------|-------|---|----|---|---|---|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|---|---|----|---|----|----|----|---|-----|-------|-----|--------|-----|-------|----|-------|---|--------|---|
| 事業の総括 | <p>0、1、2、3歳児クラスともに登録者も多く、順調な滑り出しであった。2011年度は男性職員が担当したことで、ダイナミックな遊びが展開出来たり、毎回の参加数はかなりの人数であった。夏の水遊び、絵の具遊び、おから遊び、小麦粉粘土作り、かんでん遊びなど普段家庭で出来ない事をプログラムにしたのが好評であった。又、離乳食講座、虫歯、救急講座はどれも母親の関心が高く、参加が多かった。日頃の子育ての悩みなどの子育て相談件数も増えている。母親が一人で育児を担うことが負担になっている様子。2012年度は親子プログラムなどで父親の出番も増やしていこうと思う。</p> | <p>4月には10名の待機児がいた。1年生も徐々に学童の生活に慣れ、後半はともスムーズであった。静かタイムの中できちんと宿題をやる、遊ぶ時は思いっきり遊ぶというメリハリを大切にしていた。後半では3年生が、Sけん遊びで1、2年生と混ざり合って遊べる場面が多くなり、学童での関わりを大切に思う。小学校の運動会など行事の振り替え休日には意図的なプログラムを行い集団での活動を大切にしていた。</p> <p>アレルギー対応：アレルギー確認書に基づき、毎日2名の職員でおやつの内容を確認する事を徹底し、おやつを提供した。</p> | <p>1年生の活動は最高受け入れ70人程になり大人数での活動の難しさを感じた。2年生はプログラムにバリエーションを持たせた。活動の中で障がいを持った人から、手話を学ぶ機会を持った。3年生は集団で力を合わせる活動を大切に、互いに協力し合う姿があり、1年間を通して充実した仲間作りが出来た。高学年は、週1回のペースで活動するプログラムを展開した。春のデイキャンプや合宿などの活動をいれた。1月に行ったスケート体験はとも人気があった。</p> | <p>2010年度秋頃より利用が多くなってきた。夕方5:00～閉館の7:00頃までだが、互いにしゃべったり、一緒にてんかや、サッカーなどのボール遊びをする姿がみられた。7月の夏まつりや2月の餅つきの折りには、ボランティアとして、手伝いをしてくれた。2011年度は一学期に1回の区民センター中高生利用日を作った。中学生は午後8:00まで、高校生は午後9:00までの活動とし、大変に盛り上がりが見られた。一学期に一回は親睦会を持ったが、こちらも好評であった。中高生としてまとまりが出てきた。</p> | <p><ボランティア活動> お泊りキャンプ、デイキャンプ、夏まつりなどに学生ボランティアの手伝いがあった。夏まつり際には、他施設からの手伝い、小池おやじの会、民生委員、児童館運営委員会などの手伝いもあり、児童館スタッフだけでなく、地域の力を大切にしていきたいと思っている。2011年度は地域の行事、洗足池ガーデンパーティー、夏の商店街まつり、小池おやじの会秋まつり、小池もちつきなどの手伝いをおこなった。地域にある児童館として働きを知ってもらう事を目的に、2011年度は上池台児童館運営委員会を立ち上げた。町会長、小学校の校長先生、PTA会長、商店街理事長、民生委員など、普段児童館と関わりのある方に運営委員をお願いした。2012年度も運営委員会を行う予定である。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <p><グループ活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児（いちごAB・こいちご） ・1歳児（さくらんぼAB） ・2、3歳児（りんご）クラス <p><行事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども服りサイクル 年2回（6月、11月） ・夏プログラム ・水あそび、おからあそび、絵の具遊び、おから遊び、小麦粉粘土、かんでん遊び ・わんぱく運動会（10月） ・乳幼児クラスウインターパーティ 318名参加 <p>※講座（言語、歯科、離乳食）は各クラスで実施</p> | <p>入室式 ハロウィン お楽しみ会、お店屋さんごっこ、ロッカー清掃（各月1回） 駄菓子屋さん（月2回） スペシャルおやつ 保護者会（年4回） 個人面談（年2回）</p> | <p><低学年活動> だいだらぼっち（1、2、3年 年間24回） <高学年活動> 5月より高学年対象プログラムを行う（毎週水曜日） <スポーツ活動> 区民センター遊ぼう（毎月1回） 交流ドッジフェスタ <文化部門> 手作り（毎月各1回） DVDシアター <その他> 夏休みプログラム館内合宿他</p> | <p><中・高生タイム> 月～金曜日 18時～19時 中高生区民センター9月、11月、3月 ケーキ作り（12月） 親睦会（3月）</p> | <p><全館行事></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>こどもの日スペシャル</td> <td style="text-align: right;">79名</td> </tr> <tr> <td>夏まつり</td> <td style="text-align: right;">570名</td> </tr> <tr> <td>クリスマス会</td> <td style="text-align: right;">150名</td> </tr> <tr> <td>もちつき</td> <td style="text-align: right;">350名</td> </tr> </table> <p><野外活動行事></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>1年生デイキャンプ</td> <td style="text-align: right;">年1回</td> </tr> <tr> <td>1年生お泊りキャンプ</td> <td style="text-align: right;">年1回</td> </tr> <tr> <td>高学年デイキャンプ</td> <td style="text-align: right;">年3回</td> </tr> <tr> <td>低学年館内合宿</td> <td style="text-align: right;">年2回</td> </tr> <tr> <td>高学年合宿</td> <td style="text-align: right;">年2回</td> </tr> <tr> <td>2・3年生デイキャンプ</td> <td style="text-align: right;">年2回</td> </tr> </table> | こどもの日スペシャル | 79名 | 夏まつり | 570名 | クリスマス会 | 150名 | もちつき | 350名 | 1年生デイキャンプ | 年1回 | 1年生お泊りキャンプ | 年1回 | 高学年デイキャンプ | 年3回 | 低学年館内合宿 | 年2回 | 高学年合宿 | 年2回 | 2・3年生デイキャンプ | 年2回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| こどもの日スペシャル | 79名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 夏まつり | 570名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| クリスマス会 | 150名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| もちつき | 350名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生デイキャンプ | 年1回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生お泊りキャンプ | 年1回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高学年デイキャンプ | 年3回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 低学年館内合宿 | 年2回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高学年合宿 | 年2回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2・3年生デイキャンプ | 年2回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <p>(登録数)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>クラス名</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳児</td> <td>273</td> <td>261</td> <td>534</td> </tr> <tr> <td>0歳児(2011年4月以降生)</td> <td>54</td> <td>60</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>1歳児</td> <td>278</td> <td>247</td> <td>525</td> </tr> <tr> <td>2、3歳児</td> <td>140</td> <td>133</td> <td>273</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>745</td> <td>701</td> <td>1,446</td> </tr> </tbody> </table> | クラス名 | 男 | 女 | 計 | 0歳児 | 273 | 261 | 534 | 0歳児(2011年4月以降生) | 54 | 60 | 114 | 1歳児 | 278 | 247 | 525 | 2、3歳児 | 140 | 133 | 273 | 計 | 745 | 701 | 1,446 | <p>(在籍数)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>12</td> <td>25</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>38</td> <td>52</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">障がい児在籍数0名 (2012年3月)</p> | 学年 | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 17 | 19 | 36 | 2年生 | 12 | 25 | 37 | 3年生 | 9 | 8 | 17 | 計 | 38 | 52 | 90 | <p>(2011年度来館者数)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>9,013</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>11,184</td> </tr> <tr> <td>中高生</td> <td>2,823</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>8,233</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31,253</td> </tr> </tbody> </table> <p>(学童クラブ在籍者の出席は含まず)</p> | 乳幼児 | 9,013 | 小学生 | 11,184 | 中高生 | 2,823 | 一般 | 8,233 | 計 | 31,253 | <p>(その他の事業、特記事項)</p> <p><雲柱社児童館合同行事> 児童館ドッジフェスタ（2月）</p> |
| クラス名 | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳児 | 273 | 261 | 534 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳児(2011年4月以降生) | 54 | 60 | 114 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳児 | 278 | 247 | 525 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2、3歳児 | 140 | 133 | 273 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 745 | 701 | 1,446 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学年 | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 17 | 19 | 36 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 12 | 25 | 37 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 9 | 8 | 17 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 38 | 52 | 90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳幼児 | 9,013 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 11,184 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中高生 | 2,823 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般 | 8,233 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 31,253 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

委託

上池台

2011（平成23）年度 雲柱社 支援センターブロック 事業報告

施設名：小金井市子ども家庭支援センター
 小金井市ファミリー・サポート・センター
 記入者：名取 知子

| | | |
|---|--|--|
| <p>＜子ども家庭支援センター＞</p> <p>○震災の影響でひろばの利用人数は、前半、少なめであった。運営協議会でも防災に関しての議題があがり、利用者に安心して広場を利用してもらうためにも、今年度、作成した防災マニュアルをもとに防災対策をもう少し具体的にスタッフで確認をして、深めていく必要がある。</p> <p>○NPO法人木馬の会おもちライブラリーとの連携出張ひろば事業は、2回目が天候が悪く中止となってしまった。出張ひろば事業としては、今後も学童クラブや地域で必要とされるところに増やす事も検討課題である。</p> <p>○毎週（土）のお父さんと遊ぶのコーナーに関しては、利用人数としては少ないが、父子が落ち着いて遊べる居場所のひとつとなっている。又、予定表などの掲示を見て、土曜日に家族で広場に来所する利用者も増えつつある。内容については、ボールプールや、季節の行事に関する製作をいれたことは、よかった。引き続き遊びに関しては、父子で楽しめる内容を検討していきたく。</p> <p>○ひろば利用の親子への見守りや関わりについては、事業や相談の保育、事務処理に追われて、スタッフがひろばにでる時間との兼ね合いが難しかった。事務処理の簡素化などの工夫が必要。又、利用者からの苦情もあった。もう一度、初心に戻り、ひろばのあり方や、利用者が安心してひろばを利用してもらえるようにスタッフのすべき事、大切にすることをみなで再確認し、研修やミーティングのなかで学びあっていけたらと思う。</p> <p>○発達相談に関しては、保健センターの相談枠が少し広がったこともあってか、前年度より多少減少がみられたが保健センター内のひろばということで、健診後の発達に関する不安をもつ相談は、多々ある。そのなかでひろばの発達相談の役割は大きい。発達支援センターのたちあげによってひろばでの発達相談はこちらに移行するため発達に関する相談は、今後の課題にもなる。</p> <p>○スタッフ対応の相談に関しては、今後も研修などを通して力量をあげていかななくてはならない。</p> <p>○4月の体験学習事業は、震災の影響でエンジェル教室、かるがも教室を中止した。</p> <p>○気になる親子に関しては体験学習事業に組み入れてフォローしたりしているが、年々その人数が増えるのに対し、事業の枠は増やせない為に難しさを感じる。又、ひろばとグループの中でどう親子を支援していくかは、まだまだ学びが必要。</p> <p>○シニア異世代交流会は、ひろば型にしたことで、シニア世代とひろば親子の関わりが自然にもてたことは、よかった。</p> <p>○小学生の母の集まりでは、市報掲載が1回になり新しい方の参加が少なくなってしまった。又、スタッフ間の引継ぎ不足もあり、グループの約束ごとなどを再確認が必要となった。</p> <p>○センター通信と予定表を別々に発行してきたが、今後、一緒にした形式のもの考えていきたい。</p> <p>○ボランティア育成では、社協ボランティアセンターとの連携を深めていけたらと思う。</p> <p>＜ファミリー・サポート・センター＞</p> <p>○依頼会員説明会については、前年度以上に個別対応を充実させた。</p> <p>○ファミサポ通信に関しては、郵便料が年々嵩むことが課題。登録の更新に関して必要な作業だが会員数が一定数確保されると国、都から補助額が加算されること。市との協議の必要あり。</p> <p>○近隣市ファミリー・サポート・センターアドバイザー交流会 開催当番にあたり準備、資料作成、議事進行をおこなった。多摩地域全センターに事前にアンケートをおこない当日の資料とした。子育て支援課課長、係長も出席。他のセンターの様子や共通する問題なども共有。</p> <p>○民生委員対象事業説明会は、予定などが合わず開催されなかった。</p> | <p>環境・修繕</p> <p>事業の目標・方針の総括</p> <p>年間利用者数</p> <p>人事その他</p> | <p>①遊具など壊れかけた物の修理や、買い替えを行った。 ②食事コーナーのゴザ、遊びコーナーのマットなどが古くなっていたので新しい物に買い替えた。 ③備品の掃除機が壊れ、市の予算で購入した。 ④ひろば内のドアゲートが壊れてきている為、来年度は3箇所、市の予算で新しいドアをつけてもらう予定。</p> <p>①子ども家庭支援センターとファミリーサポートが以前のように一緒に事業をおこなう為、お互いに、学びあい、助けあって、連携をとりながら、地域の子どもの支援につながる活動をしていきたい。ミーティングや スーパーバイザーの研修も一緒に受けていく。</p> <p>②2011年度は、利用者から苦情もいただいた。子ども家庭支援センター、ファミリー・サポート・センター共に、もう一度、初心に戻り利用者に安心、安全を第一に利用された方が大切にされていると感じる事のできる場となるように、日々努力していきたい。</p> <p>③スーパーバイザーの学習会などを通じ、自分の関わりがどうだったのか、利用者に対して誤った見方などをしていないか、自分自身を振り返って検討し、支援方針など具体的なアドバイスを学びながら支援ワーカーやアドバイザーとしての力量をつけていきたい。</p> <p>④2012年度は、保育園への巡回は、直営事業所の役割となり、保育園とひろばとのつながりが、薄れてしまうのは残念だが、又、ひろばの活動を通してつながりをもってもらえるように努力していきたい。地域との連携、市の専門機関との連携などもひとつひとつ丁寧に対応しながら、顔を覚えてもらい信頼関係をつくれるように努力していきたい。</p> <p>○子ども家庭支援センター ・子ども延べ利用者数 12,712人 ・大人延べ利用者数 11,019人 ・延べ利用者総数 23,731人 ・ボランティア 登録者数 59人 活動実施回数 127回 参加者延べ人数 465人</p> <p>○ファミリー・サポート・センター ・協力会員 142人 ・両方会員 39人</p> <p>・相談件数 新規 816人 活動延べ件数 1,156人 発達相談 83人 こころの相談 34人 助産師相談 22人</p> <p>・依頼会員 958人 総会員数1,139人 ・活動件数 2,470件</p> <p>○子ども家庭支援センター ・管理職 1名 ・子ども家庭支援ワーカー 2名 内1名地域支援ワーカー兼務 ・事務補助 非常勤1名</p> <p>・専門相談員 発達相談：松田景子（臨床発達心理士、言語聴覚士） こころの相談：関戸百合子（臨床発達心理士） 育児相談：宮澤陽子（臨床発達心理士、保育士） 栄養相談：田村知子（栄養士） 助産師相談：金岡直子（助産師）</p> <p>・スーパーバイザー 龍野陽子（元子どもの虐待防止センター専任相談員）</p> <p>○ファミリー・サポート・センター ・アドバイザー：非常勤 3名</p> |
|---|--|--|

委託
 小金井ファミサポ
 小金井支セ

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 深川学童クラブ
 記入者 松原 万紀子

| 学童クラブ（本館・分室） | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|-----|----|----|----|-----|---|---|----|-----|---|---|----|---|----|----|----|
| 事業の総括 | <ul style="list-style-type: none"> ・平野児童館の行事にも参加し、力士と実際に相撲を取ったり普段では体験できないことを子ども達に経験させることができた。 ・耐震工事のため9月より保育の場を、森下3丁目アパート1階に一時移転した。室内での保育を工夫しながらも子どもの安全を確保しながら隣の公園でドッジボールなどのボール遊び、遊具や縄跳びで遊ぶことができ子ども達は喜んでいた。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度も引き続き保護者・地域・学校とはよい関係が保てるように、努めていく必要がある。 ・子どもたちの授業時間の増加に伴い、保育スケジュールの組み立てには今後さらに配慮していきたい。 ・配慮を必要とする児童に対して個々の対応を丁寧にしていく（保護者支援も含む） | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <ul style="list-style-type: none"> ・4月入会式・6月遠足・7月夏祭り、観劇会・8月遠足・9月移転・10月遠足、ハロウィンパーティ・12月クリスマス会、・3月お別れ会・お別れ遠足、江東北部ドッジボール大会 <p>定期活動：月1回 ゲーム会、にこにこひろば（深川北子育て支援センターとの交流事業、移転に伴い一時停止）、避難訓練月1回、制作</p> <p>その他：ぬりえコンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会：5、7、12、月 ・入会説明会3月 ・個人面談：6、10～11月 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <p>（在籍時数）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> | 1年生 | 6 | 10 | 16 | 2年生 | 8 | 4 | 12 | 3年生 | 7 | 9 | 16 | 計 | 21 | 23 | 44 |
| 1年生 | 6 | 10 | 16 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 8 | 4 | 12 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 7 | 9 | 16 | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 21 | 23 | 44 | | | | | | | | | | | | | | |

| 学童クラブ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|-------------|----|--|--|--|---|---|---|-----|---|---|---|-----|---|---|----|-----|---|---|----|---|----|----|----|
| 活動・行事報告 | <p>日常活動 一日の流れ＜通常＞：登室→宿題・自由遊び→おやつ→外遊び(室内遊び)→帰りの会→延長保育 ＜学校休業日＞：登室→勉強→自由遊び・集団遊び→昼食→外遊び(室内遊び)→おやつ→外遊び(室内遊び)→帰りの会→延長保育 「ビデオシアター」(一日育成時) 「外遊び」(晴れの日) 「手芸、工作」(月1回) 「みずべボランティア」(月1、2回) 「食育の時間」(月1回) 「育成室の掃除」(月1回) 「ロッカー掃除」(週1回) 「誕生会」(月1回)</p> <p>延長保育 17～18時。延長申請を行った方のみ 延長保育では、静かに遊ぶことを心がけ、読書やぬりえ、パズルを行った。月毎に各曜日に風船バレー、宝さがしなどのレクリエーションを取り入れ、多くのこどもが関われる遊びを展開した。</p> <p>おやつ バイキング方式(自分で、お菓子をお盆からお皿に取る)と、大皿方式(グループのみんなで、皿のおやつを取り分ける)を行なう。全員そろって決まったグループのテーブルで一斉に食べる日と帰り時間によって登室順におやつを食べる形も取った。また、例年通り月1回管理栄養士さんに来ていただき子どもたちに食育の話をしていただいた。 おたのしみおやつとして、月に一度こどもたちからスタッフを募集し、それぞれがクイズやレクリエーションを担当し、おやつに向かう気持ちを盛り上げる活動も行った。</p> <p>グループ活動・誕生会等 日常的には、グループでおやつを一緒に食べ、テーブルの準備や片付け等でコミュニケーションを図り、夕涼み会やクリスマス会などの大型行事では普段のグループとは違った人間関係の中で目標を達成することに取り組んだ。そういった活動を通して協力する中で、グループ意識を強め、深い関わりを持てるようになっていった。 誕生会では、子どもひとりひとりに誕生日に家庭と各職員からのメッセージを貼ったカードを渡し、対象のこどものクイズを行うことで、その子を知るきっかけになった。 また、誕生日の子の希望するおやつを出す「リクエストおやつ」を行なった。</p> <p>行事・外出 オリエンテーション(4月) ぬり絵コンテスト(6月) 観劇会(7月) 将棋王決定戦(7月・2月) 遠足＜葛西臨海公園＞(8月) 大八との交流水遊び(8月) 中高生ボランティア受け入れ(8月) 大4ハロウィンパーティ(10月) やきいも会(11月) クリスマス会・大掃除(12月) 新春カルタ大会・七福神を探せ(1月) 大二との合同ドッジボール練習(2、3月) トランプ大会(2月) みずべ交流ひなまつりゲーム会(2月) お別れパーティー(3月) 城東地区学童クラブドッジボール大会(3月) 猿江公園へのミニ遠足(3月) ※毎月1回、食育の時間・ひよこ(買い物体験)・誕生会 おたのしみおやつ たまご＜買い物ごっこおやつ＞(1月～3月) ※毎月1・2回、みずべボランティア</p> <p>その他の活動 第1回保護者会(5月) 第2回保護者会(7月) 全家庭対象の個人面談(11月) 次年度入会説明会(3月)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="4">学童クラブ(在籍児数)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>男</td> <td>女</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>38</td> </tr> </table> <p>(その他の事業、特記事項) 今年度は前年度よりもグループで活動することを増やすことで、グループの機能がより活かされた。活動の中にこどもの自主性を重んじる活動・定期的のみずべボランティア取り入れたことで、自分だけではなく周りの子、異年齢児への意識も高まる様子が感じられた。 夕涼み会・お別れパーティーでは保護者も参加できる形にしたので、親子が関われることでこどもへの関心、クラブへの意識の高さが伺えた。次年度もこうした行事を積極的に行うことで、保護者とのコミュニケーションをより円滑にし、一体感のあるクラブ作りに努めたい。 職員間での連携も前年度よりも円滑に行えているので、引き続き情報共有の漏れがないように努めたい。</p> | 学童クラブ(在籍児数) | | | | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 6 | 3 | 9 | 2年生 | 7 | 9 | 16 | 3年生 | 7 | 6 | 13 | 計 | 20 | 18 | 38 |
| 学童クラブ(在籍児数) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 6 | 3 | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 7 | 9 | 16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 7 | 6 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 20 | 18 | 38 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 大島八丁目学童クラブ
 記入者 永澤 和男

| | 子育て支援活動 | 学童クラブ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|--|----|--------|----|--------|----|--------|----|--------|---|---|----|--|--|---|---|---|-----|---|---|----|-----|----|----|----|-----|---|---|---|-----|--|--|---|---|----|----|----|
| 事業の総括 | <p>◇初年度から「誰でも自由に安心して来ることができる ひろば」というコンセプトで行ってきた。来室した保護者には必ず声をかけ、日常の話から気になる子どもの様子まで気軽に話すことが出来る雰囲気作りを心掛けた。友達が欲しいと希望する親子も多く、友達づくりのサポートも行った。アドレスを交換したり、お互いの家を行き来したりと友達の輪を広げるきっかけになっていた。0歳児向けにベビーマッサージを別枠で行ったことで0歳児親子のつながりが強化された。</p> <p>◇以前から継続して利用している親子が多数おり、新規の親子に積極的に話しかけ友達の輪を広げていた。また、成長に伴いひろばから離れた利用者が弟妹が生まれたことをきっかけに再び利用するケースもあった。このことから「ひろば」が地域に密着したものとなっていることが窺える。</p> <p>◇前年度からの継続した利用があるため1、2歳児の登録数は増加しているが、0歳児の登録数は前年度と比べ減少している。地域の子育て支援施設と連携して、これから子育てを始める家庭にも周知されるようにPRしていく事が次年度の課題となる。</p> <p>◇、新規登録者の利用があることや少し遠い地域からの利用もあり、こどもを遊ばせたり親同士が繋がる場所を求めているということが改めて感じられた。近所づきあいが少なく、孤立しがちな乳幼児親子同士のつながりを作るという意味からも、気負うことなくすぐに来ることができる場所にあるという意味からも、「地域のひろば」の役割が重要となってくる。</p> <p>◇年齢・月齢に縛られない自由な雰囲気を大事にしつつも安全面を考慮し、室内を「歩けない乳児」と、「歩き回って遊ぶ幼児」の二つのスペースに分けているが、自分のこどもと年齢の違うこどもと一緒に遊んでくれたり、母親同士でアドバイスをし合ったりと、異年齢親子の交流に繋がった部分もあった。また、地域の子育て情報の交換が活発に行われていた。次年度は医療機関・児童館・幼稚園・保育園・子育て支援センターなど、乳幼児が利用する可能性が高い関係施設の情報提供に力を入れていきたい。3歳児が遊ぶには手狭であるが、親子が居心地悪い思いをしない環境設定も必要であると感じた。</p> <p>◇プログラムを行うのではなく、話したり、相談したり、ただ「居る」ということを受容する形式が、様々な親子が安心していられる居場所に繋がったと感じる。</p> <p>◇最後の手遊び体操を覚え、家でも歌ったり踊ったりしているという親子が多くいた。今後も親子の関わりのきっかけやコミュニケーションのきっかけを提供していきたい。（手遊び・紙芝居・体操・ベビーマッサージ等を通して行っていく。）</p> | <p>日常活動 一日の流れ＜通常＞：来室→宿題・自由遊び→オヤツ→外遊び(室内遊び)→帰りの会→班ごとに帰宅 ＜学校休業日＞：来室→勉強→自由遊び・集団遊び→昼食→自由遊び（夏休みのみ昼寝）→おやつ→外遊び(室内遊び)→帰りの会→班ごとに帰宅 誕生会（月1回）・学年別グループ活動・ゲーム会・工作・手芸・季節の製作等</p> <p>延長保育 17～18時。お迎えの無い児童は、班で帰宅。方向的に一人帰りになってしまう児童は、可能な限り、職員が自宅付近まで送っていった。延長保育限定のプログラム有り（集団ゲーム、子どもが考え出した遊び、雑巾がけ、大8ひろば準備等）</p> <p>おやつ 地域の商店街を多用し、お惣菜など、出来る限りバラエティに富み、季節に合ったおやつや行事にあったおやつを出すようにした。個別包装で、準備時に手で触れない物を用い、触る場合は手袋をすることを徹底。おやつ前には、テーブルをアルコール消毒するなど、衛生面の管理には十分に気を配った。生活班の中でおやつを分け合う機会を作り、異年齢の関わりのきっかけとする。</p> <p>グループ活動・誕生会等 月のゲーム会は生活班対抗のものを多く取り入れた。縦割りの生活班で協力し、達成する喜び・楽しさを感じられるよう設定した。誕生会は、ひとりひとりにカードと児童が自らデザインしたハンカチを準備。司会は3年生が順番で行った。その月に誕生日を迎える子が主役になれるようなゲームを取り入れた。 学年別グループ活動では、学年ごとに目標を設定し、その目標に向けてレクリエーションや製作・話し合いを行った。特に3年生は学童クラブを引っ張っていく存在であることを意識できるように、活動内容も子ども達で相談して考えて実行し、自主性や積極性、卒業後にも問題なく地域で生活できるような社会性を身につけることを狙いにおいて活動した。</p> <p>行事・外出 オリエンテーション・お祝い会・こいのぼり製作（4月）、ゲームおやつ・カブトムシ博士・けん玉検定（6月）、 昼食会・観劇会・大島児童館縁日へ参加（7月）、遠足・大4と交流(水遊び)・大八なつまつり（8月）、 引取り訓練（9月）、ハロウィン製作・ハロウィンパーティー（10月）、大8ひろばとの交流会・勤労感謝の日製作（11月）、クリスマス製作・クリスマス会・昼食会・大掃除・年忘れミニゲーム会（12月） お正月遊び・1年の目標書き・コマ検定（1月）、 節分ゲーム会・駄菓子屋さん・帰ってきたけん玉検定（2月）、お別れ会・おわかれ遠足（3月）</p> <p>その他の活動 保護者会（4月・7月）、個人面談（11～12月）、新年度説明会（3月）、個別相談（随時）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 行事報告・活動 | <p>○日常活動 10：00自由来室・ひろば活動→11：25片付け→手遊び・紙芝居・体操 →連絡事項・予定報告→11：30ひろば終了→11：40片付け→12：00振り返り</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <p>子育て支援活動 (登録数)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>クラス名</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>0歳児クラス</td> <td style="text-align: center;">39</td> </tr> <tr> <td>1歳児クラス</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td>2歳児クラス</td> <td style="text-align: center;">17</td> </tr> <tr> <td>3歳児クラス</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">84</td> </tr> </table> | クラス名 | 計 | 0歳児クラス | 39 | 1歳児クラス | 24 | 2歳児クラス | 17 | 3歳児クラス | 4 | 計 | 84 | <p>学童クラブ (在籍児数)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: center;">45</td> </tr> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 5 | 7 | 12 | 2年生 | 14 | 13 | 27 | 3年生 | 4 | 2 | 6 | 4年生 | | | 0 | 計 | 23 | 22 | 45 |
| クラス名 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳児クラス | 39 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳児クラス | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2歳児クラス | 17 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3歳児クラス | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 84 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 5 | 7 | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 14 | 13 | 27 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 4 | 2 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4年生 | | | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 23 | 22 | 45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <p>(その他の事業、特記事項)</p> <p>縦割り班でのグループ活動では、生活・遊び・ゲーム会等を通じ、協調性・社会性を育むことができた。また、上級生が下級生の面倒をみるという事が習慣になりつつある。そのため下級生が上級生に憧れお手本にするなど、上下の繋がりが出来ていた。学年別グループ活動では、各学年ごとに目標を立て、目標に向けてレクリエーション等を行う。活動内にリーダー等の役割を作り、ひとりひとりの責任感や協調性を養うと共に、同学年同士の繋がりを強めた。その中で見えてきた個人の課題に焦点を当てた活動も組み、相互関係の中でひとりひとりの力を生かすことを目指した活動を行った。</p> <p>学童クラブは、児童の放課後の居場所として、安全と安心を提供する場である。更に、集団生活をする中での他者との関わり方や振舞い方、相手の気持ちを考える気持ち、物事を達成する喜び、また学童クラブ外や卒業後も問題なく生活していくことの出来るように自己解決能力や思考力、社会性を身に付け、心身ともに成長することのできる場所を目指していきたい。</p> <p>保護者との関係は概ね良好。保護者会・個人面談・送り迎え時の日々の会話や連絡帳を通して、安定した信頼関係を築きつつある。また、学童児についてだけでなく家族に関しての相談を受けることや虐待のある家族の利用もあり、就労支援だけでなく、家庭支援も求められていると感じる。2012年度も子どもへの細やかな対応は勿論のこと、家族の状況も細かく把握しながら学童運営を行っていきたい。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

委託
八丁目

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 江東きつずクラブ明治
記入者 山田 英

| | B登録（学童クラブ） | A登録（放課後こども教室） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|---|-----|---|---|-----|----|----|----|-----|---|---|---|-----|---|---|---|---|----|----|----|--|--|---|---|---|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|---|---|----|-----|---|---|---|---|-----|-----|-----|
| 事業の総括 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体の約四分の三が一年生ということもあり、当初はきつずクラブでの生活に慣れることに重きを置いた。 ・夏以降はお出かけや、染め物体験、わなげ大会やB-1グランプリなど、B登録独自のプログラムを加えていった。 ・年度終盤では、クリスマス会でペープサートや深川北部ドッジボール大会の準優勝で、こどもたちは一体感や達成感を得たようだった。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数の大幅な増加に伴い、B登録独自のプログラムを展開しつつも、子どもたちひとりひとりや家庭との丁寧な関わりを怠ることの無いようにしていきたい。 ・平野児童館との連携を強め、単独では出来ない幅の広い活動に取り組んでいきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2011年度から委託を受けスタートしたが、2006年度に平野児童館が開設した時から明治小学校の児童がよく利用しており、学校や保護者との間にある程度関係が築けていたため、比較的円滑に事業を進めることができた。 ・事業に関しては、10月のピクニック以外は特にA登録のみのプログラムはなく、A登録B登録両児童は自然な形で交流が行われていた。 ・外部からの講師を迎えたプログラムも取り入れた。特にサッカー教室は、楽しみにしている児童が多かった。 ・アトリエめいじ、クリスマス会、きつずまつりなどでは、こどもたちが主体的に参加していた。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用できる部屋が一つ減り、児童数は増えるので、スケジュールの組み方にはさらに配慮が必要となる。 ・平野児童館を含めた地域や学校との繋がりや連携を深め、継続性、一貫性のある児童との関わりや事業展開を行っていきたい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <ul style="list-style-type: none"> ・4月入会式・5月お出かけ・7月遠足、観劇会 ・8月染め物体験・9月レクタイム・10月遠足 ・1月巨大かるた大会・2月ミニおでかけ・3月深川北部ドッジボール大会 <p>定期活動（月1回）お誕生日会、買い物体験、B-1グランプリ、わなげ大会、避難訓練</p> <p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会 5、7、3月 ・入会説明会 3月 ・個人面談 6～7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・4月入会式・5月出前児童館・6月メンコで遊ぼう ・8月ぬりえ甲子園、水あそび、交通安全教室、戦争と平和について考えよう・9月ダブルダッチに挑戦 ・10月清澄公園でピクニック（A登録のみ）・12月クリスマス会、大そうじ・1月カルタ王決定戦・2月節分遊び、スペシャル工作・3月きつずまつり <p>定期活動（月1回）スポーツ大会、工作、おはなし王国、きつずフィット、あつまれ1年生、あそぼう2年生、避難訓練</p> <p>（月2回）アトリエめいじ（週1回）ビデオシアター</p> <p>その他：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会 7月 ・サッカー教室 7月、11月、1月、2月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <p>在籍児童数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 11 | 11 | 22 | 2年生 | 3 | 3 | 6 | 3年生 | 0 | 1 | 1 | 計 | 14 | 15 | 29 | <p>在籍児童数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>53</td> <td>36</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>49</td> <td>42</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>25</td> <td>38</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>177</td> <td>168</td> <td>345</td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 53 | 36 | 89 | 2年生 | 49 | 42 | 91 | 3年生 | 25 | 38 | 63 | 4年生 | 39 | 40 | 79 | 5年生 | 8 | 8 | 16 | 6年生 | 3 | 4 | 7 | 計 | 177 | 168 | 345 |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 11 | 11 | 22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 3 | 3 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 0 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 14 | 15 | 29 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 53 | 36 | 89 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 49 | 42 | 91 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 25 | 38 | 63 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4年生 | 39 | 40 | 79 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5年生 | 8 | 8 | 16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6年生 | 3 | 4 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 177 | 168 | 345 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011年度 雲柱社 児童館ブロック事業報告

施設名 荒川区学童クラブ
記入者 鶴澤 陽

| | 汐入小学童クラブ | 汐入学童クラブ | 七峡学童クラブ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--|--|---|---|-----|---|---|----|-----|----|----|----|-----|---|---|---|-----|---|---|---|----|----|----|----|--|--|---|---|---|-----|----|----|----|-----|---|---|----|-----|----|---|----|----|----|----|----|--|--|---|---|---|----|----|----|----|----|----|---|----|----|---|---|---|----|----|----|----|
| 事業の総括 | <p>○汐入小学童クラブ、七峡小学童クラブ、汐入学童クラブで事業計画、予定表、お便り、おやつ等、統一出来るものを整備し、計画、振り返り等で比較検討して互いにより良い活動を展開する様になっている。</p> <p>○個別の活動も大切にしたい。心地良い居場所作りとして環境整備にも力をいれた。</p> <p>○当初は、1年生は2階、2、3年生は1階に分け、個別の対応を丁寧に行うようにしてきたが、途中より統合して過ごし、時間帯や活動内容により、1階と2階を分けて使用するようになった。</p> <p>○汐入町会文化祭、および南千住ふれあいまつりへの作品出展、手話と歌の発表を行なった。地域の方との良い交流の機会となった。○汐入ふれあい館のスポーツタイム、観劇、クリスマス会等への参加で活動の幅を広げる。随時、個人面談を行い、日々の保護者との対話を心がけた。</p> | <p>○汐入小学童クラブ、七峡小学童クラブ、汐入学童クラブの3学童クラブで、事業計画、予定表、お便り、おやつ等を、共通化、統一出来るものを整備し、計画、振り返り等で比較検討して互いにより良い活動を展開する様になっている。</p> <p>○個別の活動も大切にしたい。心地良い居場所作りとして環境整備にも力をいれた。</p> <p>○学年毎に担当を分け、個別の対応を丁寧に行うようにした。</p> <p>○汐入町会文化祭・南千住ふれあいまつりへの作品出展、手話と歌の発表も喜ばれ、地域の方との良い交流の機会となった。汐入ふれあい館のスポーツタイム、観劇、クリスマス会等への参加で活動の幅を広げる。</p> <p>○随時、個人面談を行い、日々の保護者との対話を心がけた。</p> | <p>○汐入小学童クラブ、七峡小学童クラブ、汐入学童クラブで事業計画、予定表、お便り、おやつ等統一出来るものを整備し、計画、振り返り等で比較検討して互いにより良い活動を展開する様にした。</p> <p>○心地良い居場所作りとして環境整備にも力をいれた。学年毎に担当を分け、個別の対応を丁寧に行うようにした。</p> <p>○町屋地区の近隣学童クラブ・町会等合同の「子ども祭り」への参加、出店協力も喜ばれ、地域の方との良い交流の機会となった。随時、個人面談を行う等、保護者の思いを丁寧に汲むことを心がけたが更に力を入れていく。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <p>日常活動：自由遊び おやつ 宿題 製作 読書 スポーツ</p> <p>誕生会 お店屋さん：毎月1回 おやつ作り：毎月数回 お出かけ：汐入公園 汐入町会文化祭、南千住ふれあいまつり参加 保護者会：年4回 個人面談：随時受ける。 (在籍数) 58名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>27</td> <td>10</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39</td> <td>19</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 7 | 6 | 13 | 2年生 | 27 | 10 | 37 | 3年生 | 4 | 3 | 7 | 5年生 | 1 | 0 | 1 | 合計 | 39 | 19 | 58 | <p>日常活動：自由遊び おやつ 宿題 製作 読書 スポーツ</p> <p>誕生会 お店屋さん：毎月1回 おやつ作り：毎月数回 お出かけ：汐入公園 汐入町会文化祭 南千住ふれあい祭り参加 保護者会：年4回 個人面談：随時受ける。 (在籍数) 53名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29</td> <td>24</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 11 | 14 | 25 | 2年生 | 5 | 6 | 11 | 3年生 | 13 | 4 | 17 | 合計 | 29 | 24 | 53 | <p>日常活動：自由遊び おやつ 宿題 製作 読書 スポーツ</p> <p>誕生会 お店屋さん：毎月1回 おやつ作り：毎月数回 クリスマス会 町屋こども祭り参加 保護者会：年4回 個人面談：随時受ける。 (在籍児数) 52名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31</td> <td>21</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年 | 13 | 10 | 23 | 2年 | 13 | 7 | 20 | 3年 | 5 | 4 | 9 | 合計 | 31 | 21 | 52 |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 7 | 6 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 27 | 10 | 37 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 4 | 3 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5年生 | 1 | 0 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 39 | 19 | 58 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 11 | 14 | 25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 5 | 6 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 13 | 4 | 17 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 29 | 24 | 53 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年 | 13 | 10 | 23 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年 | 13 | 7 | 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年 | 5 | 4 | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 31 | 21 | 52 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

委託
汐入小／汐入学童／七峡

| 小学生活動 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|------|------|------|-----|-----|------|-----|-----|------|------|------|------|-----|-----|-----|------|------|------|------|-----|-----|-----|----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|--|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 事業の総括 | <p><input type="checkbox"/>区内のにこにこすくーるでは唯一の「学童クラブ機能を備えたにこにこすくーる」として朝の受け入れを8:30から行う。</p> <p><input type="checkbox"/>小学校から道路を挟んだ中学校の敷地内にある旧汐入こども園園舎の一階スペースを活動拠点(専用室)として日々の受入、活動を行う。</p> <p><input type="checkbox"/>2011年4月から全学年(1~6年生)が利用対象となったことを受けて、活動内容も学年ごとの興味、関心に沿ったプログラムを展開する。</p> <p><input type="checkbox"/>専用室が児童の数に対して十分なスペースがないため、晴れている日は隣接する汐入公園多目的広場(平日は汐入東小学校の校庭)での外遊びを積極的に行い、雨天時は学校行事や事業に支障のない範囲で汐入東小学校の体育館を借りて身体を動かす活動を行う。</p> <p><input type="checkbox"/>地域を対象にした事業を意識的に行い(街頭募金、ポイントラリー、ハロウィン仮装行列、施設見学等)、地域住民への積極的なPRを行う。</p> <p><input type="checkbox"/>活動内容は行政との協議の上、学校、地域関係者、PTA、行政職員などで構成する「運営委員会」の承認を得て進めていく形をとる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <p>月間プログラム</p> <p><input type="checkbox"/>文化活動 お話タイム(毎月)、手作りタイム(毎月)、手芸タイム(隔月)、クッキングタイム(隔月)、ぬりえコンテスト(毎月)、集まれアーティスト(毎月)、映画会(毎月)</p> <p><input type="checkbox"/>スポーツ・レクリエーション レクタイム(毎月)、マラソン常磐線(毎日/後期より)</p> <p><input type="checkbox"/>遊び けん玉検定(毎月)、なわとび検定(毎月/後期より)、わなげ大会(隔月)、ボーリング大会(隔月)、オセロ大会(隔月)、マンカラ大会(隔月)、こども会議(不定期)、</p> <p><input type="checkbox"/>学年別グループ活動「にこにこクラブ」 ※6月より開始 1年生 (隔週火曜 16:30~17:30) ※人数が多いため登録時にA・Bグループに分け、隔週で同内容の活動を実施 2年生 (毎週水曜 16:30~17:30) 3年生 (毎週木曜 16:30~17:30) 高学年 (毎週金曜 16:30~17:30) ※6~7月の期間は「4年生」と「高学年(5~6年生)」で行う。9月の活動から2つのクラブを合併して行う。</p> <p>年間プログラム 4月-1年生歓迎会、高学年ウェルカムパーティー 5月-三菱東京UFJ銀行新入職員の実習研修の受入 7月-ふれあい施設見学会(白髭西ポンプ所) 8月-高学年夕涼み会 9月-外出行事「清水公園に行こう」(高学年)、外出行事「東武動物公園に行こう」(2・3年生) 10月-赤い羽根募金活動、ハロウィンパーティー 11月-外出行事「科学技術館に行こう」(1年生) 12月-クリスマス親子クッキング 1月-保護者懇談会、外出行事「アイススケートに行こう」(高学年) 3月-活動内容紹介会、プレ体験会、東日本大震災復興支援募金活動</p> <p>その他 運営委員会(不定期)、避難訓練(毎月)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <p>登録児数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年生</th> <th>2年生</th> <th>3年生</th> <th>4年生</th> <th>5年生</th> <th>6年生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在籍児数</td> <td>149名</td> <td>102名</td> <td>105名</td> <td>78名</td> <td>60名</td> <td>60名</td> <td>554名</td> </tr> <tr> <td>登録児数</td> <td>144名</td> <td>102名</td> <td>95名</td> <td>58名</td> <td>32名</td> <td>6名</td> <td>437名</td> </tr> <tr> <td>登録率</td> <td>97%</td> <td>100%</td> <td>90%</td> <td>74%</td> <td>53%</td> <td>10%</td> <td>79%</td> </tr> </tbody> </table> <p>平均利用児数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平日</td> <td>127名</td> <td>117名</td> <td>114名</td> <td>121名</td> <td>88名</td> <td>96名</td> <td>99名</td> <td>98名</td> <td>95名</td> <td>78名</td> <td>80名</td> <td>87名</td> <td>100名</td> </tr> <tr> <td>土曜</td> <td>20名</td> <td>30名</td> <td>20名</td> <td>28名</td> <td>13名</td> <td>23名</td> <td>53名</td> <td>16名</td> <td>18名</td> <td>18名</td> <td>17名</td> <td>16名</td> <td>23名</td> </tr> </tbody> </table> | | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 合計 | 在籍児数 | 149名 | 102名 | 105名 | 78名 | 60名 | 60名 | 554名 | 登録児数 | 144名 | 102名 | 95名 | 58名 | 32名 | 6名 | 437名 | 登録率 | 97% | 100% | 90% | 74% | 53% | 10% | 79% | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 | 平日 | 127名 | 117名 | 114名 | 121名 | 88名 | 96名 | 99名 | 98名 | 95名 | 78名 | 80名 | 87名 | 100名 | 土曜 | 20名 | 30名 | 20名 | 28名 | 13名 | 23名 | 53名 | 16名 | 18名 | 18名 | 17名 | 16名 | 23名 |
| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在籍児数 | 149名 | 102名 | 105名 | 78名 | 60名 | 60名 | 554名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録児数 | 144名 | 102名 | 95名 | 58名 | 32名 | 6名 | 437名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録率 | 97% | 100% | 90% | 74% | 53% | 10% | 79% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平日 | 127名 | 117名 | 114名 | 121名 | 88名 | 96名 | 99名 | 98名 | 95名 | 78名 | 80名 | 87名 | 100名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土曜 | 20名 | 30名 | 20名 | 28名 | 13名 | 23名 | 53名 | 16名 | 18名 | 18名 | 17名 | 16名 | 23名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2011（平成23）年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 中央町児童館

記入者 小暮 緑

| | 子育て支援活動 | 学童クラブ | 小学生活動 | 中・高生活動 | 全世代事業、その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|--|--|---|---|--|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|---|----|----|-----|----|---|--|---|---|---|-----|---|---|---|-----|---|---|----|-----|---|---|---|-----|---|---|---|---|----|----|----|--|--|---|---|---|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|--------|-----|-------|-------|-------|----|-----|-------|-------|---|--------|--------|--------|---|
| 事業の総括 | <p>【乳幼児クラブ】目黒区事業として行う（定員制）</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録者がすべてのクラスで定員を超え、昨年度を上回った。 初めての乳幼児クラブだったので、利用者との関係作り、活動の土台作りに重点を置いた。 担当職員だけでなく、職員全員で乳幼児クラブに積極的に関わるようにした。 自主活動は参加者の負担にならないように段階を踏んで進めて行った。 活動後もクラスのメンバーと過ごせる場を提供したことで、参加者同士の繋がりを深める場となった。 <p>【ベビー活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月より月2回、自由参加のベビー活動を実施。参加者の出会いの場、児童館への来館のきっかけとなった。 <p>【乳幼児のつどい】月1回講師を招き専門的な講座を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加した乳幼児の親子同士が出会う機会になった。 普段児童館では体験できない専門的なプログラムを乳幼児に提供することができた。 乳幼児クラブの登録者だけでなく、普段来館している方、近隣の方の参加も多かった。 <p>【わいわいルーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎回一定した利用があり、乳幼児親子の居場所となっている。 食事もできゆっくり過ごせることもあり、利用者から好評である。 利用している親子同士が出会い交流する場となった。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みの親子での居場所として、夏休みプログラムを週一回行った。安全面を考慮し年齢別で行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 館独自の「学童保育目標」を明確に提示し、節目ごとに目標に立ち返り、生活の見直しを行った。お互いを認め合える関係づくりに努めた。 一人ひとりの受け入れを丁寧に行ない、子どもの思いを受け止めるようにした。学校での出来事や友達関係などについて、自然に話せる雰囲気作りに努めた。保護者とは、家庭やクラブの様子を伝えあうことで信頼関係を築くことに繋がった。 職員が遊びの中に入り、一緒に集団遊びや新しいゲームを展開する事で、子どもたちが遊びの楽しさを経験し、積極的に遊ぶようになった。学年にとらわれない仲間関係が築けた。 清掃や当番活動のやり方を見直し、子どもたちが取り組みやすくなる工夫をした。少ない時間でも基本的な生活習慣を身につけるよう指導した。 保護者会を年3回から4回にし、保護者との意見交換をする場を設けた。子どもたちの現状を伝えあい、それぞれの子どもや家庭に合ったより良い育成ができるよう、話し合うことが出来た。 | <ul style="list-style-type: none"> 日常活動、月毎の活動、グループ活動を中心に活動を行った。野外活動は雨天のため室内プログラムに変更した。 館内クイズ掲示、木工作タイム、折り紙で遊ぶ、手芸タイム、子ども劇場、アウトリーチ活動など新しいプログラムを提供することができた。 法人の児童館ブロック合同行事に初めて参加し、子どもたちにとって良い経験の場となった。 ランドセル来館は87名の登録があり、公立小だけではなく国立や私立小の子ども利用も多くなった。特に1年生は放課後安心して遊べる場として多くの利用があった。ランドセル来館を通じて、保護者との信頼関係を創ることができた。 スマイルクラブは低学年の子どもに対して遊ぶ機会を与え、遊ぶ楽しさを感じる機会となった。クラブへの参加から、一般来館、ランドセル来館へと繋がった。 高学年の利用が少なかった。受験や習い事で忙しい地域ではあるが、高学年の利用のしやすさ、興味の持てるプログラム展開が課題である。 子どもたちの声を反映させる実行委員での行事への取り組みは、職員側の準備不足のため子どもまつりの1回のみになってしまった。しかし子どもまつりでは、子どもたちの意見を反映し、子どもたちを中心に「迷路」を企画、実施することができた。 障がい児対応事業「あそびのつどい」に参加した障がい児は学童児1名だった。しかし、他の子どもたちにノーマライゼーションについて伝える機会になった。また、障がい児にとっても遊びの世界が広がる機会となった。 | <ul style="list-style-type: none"> 年度当初から来館者が徐々に増え、様々な中学高校からの生徒が来館した。 個人、グループでの利用が中心だが、活動内容によっては他の仲間とも抵抗なく交流できるようになった。 場所貸しにならないように積極的に中学生に声をかけ、コミュニケーションをとるように努め、徐々に信頼関係が築けるようになった。 年度のおわりの「子どもまつり」にはスタッフとして参加してくれた。 20時まで開館していることで、ゆっくと放課後を過ごすことができていた。 <p>【音楽スタジオ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録数が多かった。 ライブや月のミーティングを通して利用者間の繋がりができた。 スタジオ利用だけでなく他のプログラムにも繋がって行った。 参加者の提案からライブを被災地支援のチャリティーライブとして行った。 <p>【ボールコート利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後の時間帯にボールコートの利用者が多かった。 以前はボールコートの利用がすむと帰宅していたが、その後も館内で過ごして帰るようになった。 年間計画にあったワークショップは行えなかった。今後は利用拡大のためのプログラム展開を考え、活性化に努める。 <p>【中学生スマイルカフェ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生ミーティングから名前を変更したことで中学生が参加しやすくなった中学生の提案をいかしたプログラムができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 主任児童委員、民生児童委員、青少年委員、小中学校PTA、近隣商店街との連携協力。「子どもまつり」では、大人スタッフとして協力いただいた。また、主任児童委員とは1年を通じて子どもの問題について共有し対処することができた。 スマイルプラザ中央町内各施設とは、学童保育クラブ関係のプログラムや「子どもまつり」を通して交流することができた。 小学校の担任と情報交換の機会を持った。 中学校では、PTA 運営委員会の席で中高生事業の紹介ができた。 地域の協力で「おはなしの時間」「折り紙であそぼう」のプログラムを提供できた。 保護者の方に講座の講師、行事のスタッフとして協力していただいた。 目黒区事業の「ふらっとネットワーク」では、新1年生の保護者に児童館事業の紹介ができた。また、乳幼児保護者に対しては、懇談の時を持ったり、主任児童委員、民生児童委員、目黒区子ども家庭センターの役割を紹介することができた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 活動・行事報告 | <p>【ベビー活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動期間…2011年9月より月2回計13回実施 平均参加者数…14名 内容…ふれあい遊び、制作、食育講座、子育て支援センターの職員を招いて、その他 <p>【乳幼児のつどい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象年齢別で月1回開催。（講師によるプログラム） 平均参加人数…18組 内容…親子体操、リズムあそび、ベビータッチケア、ふれあい遊び、親子遊び、リズム遊びなど <p>【夏休み特別プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 寒天遊び…2回（108組） 絵具で遊ぶ…2回（49組） DVD 上映会…1回（39組） | <p>【年間活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月 入所式・歓迎会 7月 七夕 8月 遠足（中止）、平和祈念事業への参加 10月 ハロウィン、連合スポーツ大会への取り組み 11月 目黒区連合スポーツ大会 12月 お楽しみ会、羽子板作り 2月 はねつき大会 卒所に向けての取り組み、節分 3月 卒所式、卒所・進級に対する取り組み <p>【月例行事】制作、おやつ作り、誕生会（リクエストおやつ）、ロッカー掃除おたのしみおやつ、</p> <p>【不定期】子ども会議、班替え、昼食作り、外遊び（随時）</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者会：4月、7月、12月、3月 入所説明会：3月・個人面談：6月、11月 | <p>【全体行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生歓迎会…4/18 参加者数：20名 平和祈念事業…8/10 参加者数：66名 お楽しみ会…12/7 参加者数：127名 <p>【日常活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> プレイルーム…ドッジボール、サッカー、めっちゃぶつけ、レクタイム、自由時間など実施 クラブルーム…自由工作、木工作 ロビー…遊具の貸し出し、本、雑誌のお設置 <p>【例月行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ工作…テーマを決めた制作活動を月1回実施。 延べ参加者数：606名 エンジョイクッキング…年2回実施 延べ参加者数：36名 スポーツ大会…月1回実施 延べ参加者数：299名 ボランティアによるお話の時間…月1回 ボランティアにより折り紙の時間…月1回 <p>【グループ活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生スマイルクラブ…登録数26名 2、3年生スマイルクラブ…登録数29名 <p>【ランドセル来館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録数…87名 <p>【遊びのつどい】（障がい児対象事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 年10回実施 延べ参加者数：264名 | <p>【音楽スタジオ】</p> <ul style="list-style-type: none"> スタジオ貸し出し…個人：11名 グループ：45組 スタジオ利用ミーティング（月1回） ライブの開催『MEGROCK フェスティバル』2回 目黒区ティーンズフェスタに参加 <p>【ボールコート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全面コートを半分に分け、1コマ5分で貸出。 月1回スポーツ大会実施（バスケットボール、フットサル） Let's スポーツタイム…曜日を決め職員が入りバスケット、フットサルを行う。 <p>【中学生スマイルカフェ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 月1回、中学生の意見を聞く場、交流の場として実施していたが12月から週1回の活動に変更。 話し合い、クッキング、季節の行事（レク）、スポーツ大会など。 <p>【日常活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 18：00～20：00の開館 プレイルーム…卓球、ダンスなどの利用 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 月の便りを近隣中学の配布物コーナーに置いてもらう。 行事などの際は、区内の中高にポスター掲示を依頼 | <p>【全体行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもまつり 3/6 <p>【ふらっとネットワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年5回開催 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録者・来館者 | <p>乳幼児クラブ（年齢別活動）登録・実績数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス名</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> <th>年間回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳児</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>42</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>1歳児</td> <td>25</td> <td>18</td> <td>43</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>2,3歳児</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>40</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>61</td> <td>64</td> <td>125</td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table> | クラス名 | 男 | 女 | 計 | 年間回数 | 0歳児 | 18 | 24 | 42 | 31 | 1歳児 | 25 | 18 | 43 | 32 | 2,3歳児 | 18 | 22 | 40 | 31 | 計 | 61 | 64 | 125 | 94 | <p>（学童クラブ在籍時数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 3 | 3 | 6 | 2年生 | 5 | 6 | 11 | 3年生 | 3 | 2 | 5 | 4年生 | 1 | 0 | 1 | 計 | 12 | 11 | 23 | <p>（2011年度来館者数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>3,243</td> <td>3,591</td> <td>6,834</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>8,403</td> <td>6,427</td> <td>14,830</td> </tr> <tr> <td>中・高</td> <td>6,896</td> <td>2,428</td> <td>9,324</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>601</td> <td>5,734</td> <td>6,335</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,143</td> <td>18,180</td> <td>37,323</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開館日数 324 ※1日平均 115</p> | | 男 | 女 | 計 | 乳幼児 | 3,243 | 3,591 | 6,834 | 小学生 | 8,403 | 6,427 | 14,830 | 中・高 | 6,896 | 2,428 | 9,324 | 一般 | 601 | 5,734 | 6,335 | 計 | 19,143 | 18,180 | 37,323 | <p>その他事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 参加、体験、感動ふれあい子どもまつり「ブッチーと一緒にバルーン体験」 目黒子ども劇場との共催 1/28（土）23名参加（定員制） 服から「マスク」を作ろう！ ファッションデザイナー、写真家とのワークショップ 2/4（土）7名参加（15名定員であったが、インフルエンザによる学年閉鎖のため参加者が減ってしまった） |
| クラス名 | 男 | 女 | 計 | 年間回数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳児 | 18 | 24 | 42 | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳児 | 25 | 18 | 43 | 32 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2,3歳児 | 18 | 22 | 40 | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 61 | 64 | 125 | 94 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 3 | 3 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 5 | 6 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 3 | 2 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4年生 | 1 | 0 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 12 | 11 | 23 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳幼児 | 3,243 | 3,591 | 6,834 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 8,403 | 6,427 | 14,830 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中・高 | 6,896 | 2,428 | 9,324 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般 | 601 | 5,734 | 6,335 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 19,143 | 18,180 | 37,323 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

委託

中央町

2011（平成23）年度 雲柱社 支援センターブロック 事業報告

施設名 練馬区立光が丘子ども家庭支援センター
 記入者 高橋真理子

| | | |
|---------------|---|--|
| <p>事業の総括</p> | <p>ひろば活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ベビーマッサージ」…スタッフに資格を持つ者がいて、新しいプログラムとして始めた。光が丘はこの区民センターの中で幾つかのサークルがベビーマッサージを行っており、機会としてはいくつもあることになる。私達はひろばにつながるきっかけのプログラムと考えており、ほのぼのとした良い時間となっている。希望者は毎回とても多く、希望が叶わない方も多い。 ・「誕生会」…今年度から新しく月末のすぽっとタイムに誕生会をおこなった。カードにメッセージを書く、みんなの前で読み祝ってもらい、と初めての試みだったが、回を重ねる毎に楽しみにして下さるようになった。一緒に成長を喜び合う気持ちが広がっているのが嬉しい。 ・「利用者と一緒に」…行事にちなんだ制作を親子やお母さん自身がとても楽しみにやってくださる。いつもしばらくひろばに飾るので、土曜日にはお父さんが子どもと話をしていたりと、みんなで楽しみに見せてくれている。また、「ちくちく倶楽部」の制作指導や、「クリスマス会」での合唱など、お母さんの力が昨年度より更に発揮される場として持てるようになってきた。 <p>一時預かり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録、利用は変わらず多い。12名の子どもの達を5名のスタッフで見るので、「保育」の形になるのだが、「安全」と、一人一人の子どもの姿に寄り添う気持ちを忘れずに関わりを持ちたいと思いつつやっている。相談から預かりに繋がる親子もおり、丁寧な関わりを心がけることと、毎回の振り返りと話しあいで、子どもの姿の共有と対応についての話を大切にしている。 ・利用の理由が、母子分離を「しなければ」という気持ちからだと感じる事が多かった。幼稚園・保育園に「入る前に」、更には「プレスクール(幼稚園の前の)に行く『前に』…離れる練習をしなければ」という声も多く聞かれ、預かりの意味について考えさせられた。 <p>トワイライトステイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりは利用人数は少ないが、利用はほぼ切れずにあった。3月の震災を機に利用をやめたかたもいる。仕事の残業での利用がほとんど。要保護の親子の利用も1人続いた。 ・小学生の男の子が多くなり、学童クラブのあと夜までをどう過ごすのかと楽しめるのが大きな課題になっている。異年齢ならではの関わりや、すぐに仲良くなる子ども達の姿はおもしろい。とにかく長い時間を預けられる子ども達なので、一人一人を丁寧に見られるよう日々の様子の伝え合いを行ってきた。 <p>相談活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーフタイムや要保護児童などの親子について、職員間で援助方針や情報を共有し、見守ることができた。また、ひろばのふりかえりやスーパーバイザーを加えた事例検討会などで対応を話し合った。 ・練馬子ども家庭支援センターの処遇検討会議、事例検討会へ参加することで、援助方針や情報を共有することができ連携しやすくなった。 | <p>事業目標・方針の総括</p> <p><ひろば活動></p> <p>今年も、新しく始めた試みや昨年に続いてのものがあるが、どれも一年の中で更に少しずつお母さん達の中に浸透しているのが感じられる。利用者が自主的に参加して運営するまでにはいたらないが、この積み重ねを次年度に更につなげていきたい。</p> <p><一時預かり></p> <p>初めは登録はしても預ける事に踏み切れなかった方も、子どもが慣れてくるとこの時間を楽しみにできるようになってくる。子どもにとっても楽しく、成長の機会にもなっていることを伝えながら、利用をすすめていきたい。相談からつながる方も、同じように回を重ねることで気持ちが楽になってくるようで、お母さんの表情が柔らかくなっていくのが嬉しい。ひろばにもつなぎながら、良い機会としてすすめていきたい。保育のありかたについては、更に話し合いを重ねていこうと思う。</p> <p><トワイライト></p> <p>トワイライトならではの異年齢の関わりを大事にしながら、子どもたちにとって安心でき、ゆっくりできる場所、楽しくあそべる場所であるためにはどうしていくのかを考えていきたい。小学生にとっては、学童クラブのあと更に長い時間を過ごす事の難しさを感じるのでは、試行錯誤しながらも皆で考えていく。</p> <p><相談活動></p> <p>ことばによる相談対応だけでなく、子どもとの関わり方について具体的なやり方を学んだり、あるいは関わり方を親同士が考える場の提供について、引き続き模索したい。育児ストレスを感じている母への継続的な関わり、ひろば利用者・ハーフタイム参加者それぞれへの対応方法を考える。龍野さんの事例検討会を有効に活用したい。</p> |
| <p>主な行事報告</p> | <p>すぽっとタイム 第2・4火曜日<第4火曜日は、誕生会すぽっと></p> <p>たんじょうカード (メッセージを書いてもらい、誕生会までにメダルにしている)</p> <p>すくすく測定(身体計測) 第1・3火曜日</p> <p>クリスマス会 (お母さん達とスタッフが一緒に行なう)</p> <p>小児救急ミニ講座 年2回 講師：練馬区医師会飯島医院院長</p> <p>看護師さんに聞く 年2回 講師：近隣の区立保育園看護師</p> <p>栄養士さんに聞く 年2回 講師：近隣の区立保育園栄養士2名</p> <p>ノーバディズ・パーフェクト 全6回 ファシリテーター 林田道子氏</p> | <p>環境・修繕の総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災のあと、防災用品の点検補充を行う。のちに区から防災ずきんの支給の話がでたが、整備済だったので、支給からは外れることになった。6階で子どもを預かるので、避難を想定した場合はどこまで考えても不安があるが、避難訓練と防災についての話しあいを重ねていこうと思う。 ・北側の部屋の寒さ対策でホットカーペットを追加購入。 ・ままごとコーナーの見直し。赤ちゃんと2、3歳の子達の住み分けは課題だが、なかなか良案がでない。 <p>年間利用者数</p> <p>ひろば 新規登録者数(子) 1,158名 延べ利用数(子) 15,521名 (親) 13,888名 育児相談 488件</p> <p>一時預かり 新規登録者数(子) 241名 延べ利用数(コマ数) 2,186名 (昨年 2,104)</p> <p>トワイライトステイ 新規登録者数(子) 22名 (総数 166名) 延べ利用数 884名 (昨年 1,433)</p> <p>相談件数 516件(新規 98) ひろばでの相談除く</p> <p>人事・その他</p> <p>センター長 子ども家庭支援ワーカー 5名(リーダー2名) 非常勤職員 14名</p> <p>スーパーバイザー 龍野陽子(元子どもの虐待防止センター専任相談員) 藤尾静枝(支援者のための研究室 悠 代表 保健師・精神保健福祉士) ※グループミーティングも担当</p> |

委託
光が丘

2011（平成23）年度 雲柱社 支援センターブロック 事業報告

施設名 練馬区立大泉子ども家庭支援センター
 記入者 新澤拓治

| | | | |
|---------------|--|--------------------------|--|
| <p>事業の総括</p> | <p>・2010年度5月にスタートした新しい施設である。2011年度は2年目ということで、1年目に作ってきた土台の上にさらに、地域に親しまれ、信頼される施設としての働きを目指した。2年目なのだが相談担当職員の異動と産休育休に入る職員がおり、メンバー構成に大きな変化があった。</p> <p>・基本的な事業ともいえる子育てのひろば事業では、新規の登録者は昨年度の1,463名から大幅に減り、889名であったが、反対に延べの利用者数は10,300名から12,155名と伸びている。初年度は開設時ということもありとりあえず登録という形での来所が多かったとおもわれるが、今年度は登録者は減ったがリピートでの利用が増えたと考えられる。もちろんなるべく幅広く多くの方に利用をしていただきたいが、居場所として、何度も足を運んでくれる利用者もとてもありがたい存在である。</p> <p>・乳幼児一時預りについては、順調に利用が増え、延べ利用は1,002名から1,603名となった。特に利用が少なかった日曜日の利用が増えたことが大きな理由である。一人ひとり丁寧な保育を心がけ、利用された方々からも信頼と評価の声を頂いている。</p> <p>・トワイライトステイについては、初年度利用数11から77へと大幅に増えたが、定員への充足率は2%程度と極めて低い数字となっており、区側としても費用対効果として大きな課題になっており、次年度大幅な委託料減額が見込まれる。</p> <p>・相談事業については、45件から111件と2倍以上の伸びがあり、相談の担当職員が変わったが、利用者への不安を大きく与えることなく、事業を進めることが出来た。練馬区の組織改編があり、要保護児童に関しては、区の児童福祉担当と密接な連携をとりながら対応するという形になったが、連携の滞りもなく、よい関係を築くことが出来た。</p> | <p>事業目標</p> <p>方針の総括</p> | <p>1 信頼関係の積み上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 初年度から利用者はもとより地域や関係機関との信頼関係の築きに関しては、心を配ってきたが、二年目はそれをさらに確実なものとしていく為、事業の充実と確実性を高める配慮をした。特に相談担当者の変更は大きなトピックであったが、以前練馬区の非常勤職員として子ども家庭支援センターで働いていた経験がある職員であり、関係機関との連携もスムーズにつないでいくことが出来た。 <p>2 ひろば活動のステップアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 初年度はとにかく知ってもらい、親しんでもらうということが大きかったが、2年目は利用者の参画参加についての促進をねらいとした。初年度より少しの芽吹きはあったが、今回は特に、行事時にひろばの中を装飾する協力隊が出来たり、年度末に行ったお祝いの会では利用者から企画運営の委員がでて実施することが出来た。進行を含め他の役割を担ってもらい、大きなステップアップとなった。 <p>3 相談活動の基礎作りと積み上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談担当者が交代したが、もともと練馬区での相談事業経験者ということもあり、練馬区の制度や地理的な事にも詳しく、スムーズに移行が出来た。 スタッフ間でのケース検討を日常的に行う事が出来、(朝夕の打ち合わせ時に)情報共有し、方向性をもった対応が出来た。 今年度から新たにスーパーバイザーが増え、相談事業のみならず、ひろば内でおこっている事案についても検討を行い、アドバイスを貰うことが出来た。 練馬区の児童福祉担当との連携は非常にうまく行っているが、区で行うケース検討会議などには人員の関係上あまり出席出来ないという課題がある。 <p>4 各種講座内容等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 回数を大幅に増やした訳ではないが、会議室を使用した運動遊びの日など、ニーズに合わせて充実を図ることが出来た。 <p>5 チームワークのよい、活性化した職場環境作り</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の異動などがあったが、職場のルールなど再確認をし、長時間開所とシフト対応の勤務という悪条件に対応するべく、話し合いの時間等を工夫し定期的にもつことが出来た。 |
| <p>年間利用者数</p> | <p>子育てのひろば 新規登録(子)889名 延べ利用者数(子)12,155名(保護者)11,304名 ひろば開催日数 年間255日 平均利用者数92.0名(子+保護者)</p> <p>乳幼児一時預かり 新規登録(子)220名 延べ利用者数1,603コマ(1コマ3時間) 実施日数 年間103日 平均利用者数(定数10名) 水曜8.4名 日曜6.7名 計7.8名</p> <p>トワイライトステイ 新規登録(子)13名 延べ利用者数77名 平均利用者数0.23名 実施日数 年間357日 利用が入った日数65日</p> <p>相談 111件(電話・面接) 847件(ひろばでの相談) グループミーティング 実施25回 延べ参加者数90名</p> | <p>環境修繕の総括</p> | <p>新しい施設なので、躯体的に問題は無いが、以前から女子トイレの自動水栓が不調で、今回交換をしてもらうことになった(保証内対応)。また初年度より暑さの問題が大きく出ていたが、今回は区の対応で遮熱のフィルムを張ってもらう事が出来た。(窓が多く明るいという反面、熱の出入りが多いという課題があった。)</p> <p>冬場は乾燥がひどく 加湿器4台を置くが十分な湿度を保てなかったという反省が初年度からあったが、手動での霧水散布や加湿器を増やすなどの対応をした。しかしそれだけでは、理想的な湿度を保つことができなかった。インフルエンザ流行時などは、ひろばでうつされた等の噂もたち、苦慮している。(空気清浄機は2台設置済み)</p> |
| <p>主な行事報告</p> | <ul style="list-style-type: none"> 毎月定例のもの スポットタイム(2回) 計測(2回) カプラで遊ぼう(1回) 土曜日スポット(1回) ねりマイクメンパプロジェクトによる実施 たんじょうカード作成(常時受付) 季節の行事 七夕たんざく ひなまつり クリスマス会・お楽しみ会(実行委員形式) 看護師さんに聞く 日時:7/15 1/21 年2回(講師:公立保育園 看護師) 栄養士さんに聞く 日時:11/2 2/18 年2回(講師:公立保育園 栄養士) ノーバディズ・パーフェクト 2/1~3/8 全6回 ファシリテーター 林田道子さん | <p>人事その他</p> | <p>所長 1名 リーダー:ひろば担当 1名 リーダー:一時保育担当+出納職員 1名 常勤職員 (トワ・ひろば・相談) 3名 1名育児休暇中 (常勤(正規)6名) 他 パート職員 10名 スーパーバイザー 龍野陽子(元子どもの虐待防止センター専任相談員) 藤尾静枝(支援者のための研究室 悠 代表 保健師・精神保健福祉士)</p> |

2011年度 雲柱社 児童館ブロック 事業報告

施設名 高松小学童クラブ

記入者 青木 郁夫

| | 子育て支援活動 | 学童クラブ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--|----|---|---|---|-----|----|---|----|-----|----|----|----|-----|---|---|----|------|---|--|--|
| 事業の総括 | <p>子育て中の親同士の交流、仲間作りの場として、学童クラブ室で午前中の児童のいない時間帯を開放する。年間で40組の登録があったが、コンスタントに利用する親子は、曜日にもよるが5～6組程度であった。</p> <p>日によって人数が異なったり、年齢の幅もあることから昨年度と異なりプログラム活動を取り入れるのではなく、開放型の自由利用を行った。年間を通してコンスタントに新規の利用登録があった。次年度以降もにこにこの存在をPRしていくことで利用を促していきたい。</p> | <p>年度途中での所長交代などがあり、クラブ全体が落ち着くまでに時間がかかった。それでも、夏休み明け以降から学年タイムや当番活動などを取り入れる中で小集団でのまとまりを作り、それを全体に反映していけるよう取り組んでいった。また、親子プログラムを実施したり個人面談をする中で保護者とのかわりにも力を入れた。年度末を迎えるころには子どもたちも落ち着きを見せ、様々なプログラムを通して子どもの成長を感じることができた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動・行事報告 | <p>毎週月、火、木、金（祝日を除く）の午前中にクラブ室を開放し利用してもらおう。遊具での自由遊びの他、紙芝居や体操などを実施。</p> | <p>日常活動：自由遊び おやつ 宿題 製作 読書 スポーツ</p> <p>誕生会：毎月1回 おやつ作り：不定期に実施 お出かけ：上野動物園、光が丘公園 交流事業：高松小学校応援団 ふれあいまつり 保護者会：年4回 個人面談：10～11月 (在籍数) 57名</p> <table style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">男</th> <th style="text-align: center;">女</th> <th style="text-align: center;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">22</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td>障がい児</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | 男 | 女 | 計 | 1年生 | 13 | 9 | 22 | 2年生 | 12 | 12 | 24 | 3年生 | 8 | 3 | 11 | 障がい児 | 0 | | |
| | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生 | 13 | 9 | 22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年生 | 12 | 12 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年生 | 8 | 3 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 障がい児 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

1. 総括

- ・ 2011年度は、利用者19名からスタートする。8月に1名退所し、18名となる。
- ・ 職員の異動により、新しい職員が3名入った。（非常勤職員含む）そのため、生活支援・作業支援の担当を細かく分担し、利用者への対応がスムーズに行えるよう努めた。
- ・ 会館清掃では、清掃時間短縮および利用者への負担軽減を考え、清掃班メンバーの体調や参加人数により職員や利用者の配置を変更した。
- ・ 受注した作業は、かがわ工房や小金井市内の施設と分担、協力して行った。
- ・ 箸袋入れの作業では、工賃単価の高い仕事を新たに請け負った。
- ・ 利用者の排泄介助では、加齢に伴いトイレに付き添う介助が増えてきた。
- ・ 希望する利用者には、健康相談に職員が付き添い、体重減へのプログラムを保健師と一緒に相談した。
- ・ 映画鑑賞会では、鑑賞日を2日間設け、映画を2つ用意し、自分が見たい映画を選んで鑑賞できるようにした。
- ・ 就労にむけて利用者1名が、週2日弁当屋で1時間実習を行っている。
- ・ 現在小金井市の「小金井市福祉共同作業所条例」による委託事業として、運営委託をしているが、他の事業体系への移行に向けて、小金井市との協議を進めている。

2. 施設運営

(1) 実施事業

作業内容

受託作業：福祉会館内清掃・福祉会館風呂清掃・小金井市凧制作・割り箸袋入れ・説明書折付録袋詰め

(2) 利用者の支援

利用者定員 20名 利用者現員 18名

支援方針

- ・ 明るく、楽しい作業所の雰囲気大切に、毎日の職員会で作業面・生活面ともに個別の援助内容を考え継続的に支援した。
- ・ 意欲的・安定的に作業へ取り組めるよう作業配置、作業内容を提案し環境及び作業備品を整えた。
- ・ 利用者の自主性を重んじ、行事の企画から話し合い、支援した。

健康管理

12月 5日 健康診断 小金井市障がい者検診
2月 9日 内科検診 嘱託医

主な行事

4月12日 花見会（1.6万円）
6月17日 日帰り旅行（10.2万円）
10月14日・15日 一泊旅行（26.3万円）
12月21日 クリスマス会（6万円）

2月28日 慰労会（4.6万円）

(3) 職員の処遇

職員構成

| | |
|-------|---------------------------|
| 所長 | 1名 |
| 主任支援員 | 1名 |
| 支援員 | 1名（正規職員） |
| 支援員 | 2名（週5日パート職員） 2名（週3日パート職員） |
| 支援員 | 1名（障がい者雇用職員） |
| 嘱託医 | 1名 |
| 相談員 | 1名 |

健康管理

健康診断 年1回

会議

| | |
|-------------------|------------------------------------|
| 法人全体集会 | 平成22年度の法人全体集会を延期し4月3日に行う。 3月24日 |
| GK全体職員会 | 7月16日、12月17日 |
| 成人部門全体会議 | 6月11日、2月4日 |
| 運営会・成人部門会議（所長、主任） | 月1回 |
| 職員会議 | 月1回（ケース会議含む） |
| ショートミーティング | 毎日 |

研修

法人内研修 法人外研修

3. 施設管理

(1) 設備関係

- ・シンク台取っ手修理
- ・地上デジタル放送アンテナへ切り替え

(2) 備品関係

- ・加湿空気清浄機を購入する。

(3) 災害対策

- ・避難訓練…福祉会館全体避難訓練 9月26日、1月25日
小金井市福祉共同作業所内避難訓練 年3回
- ・非常食糧の備蓄
- ・家具転倒防止設置中
- ・ガラス飛散防止シートを貼る。

4. 地域社会との連携

- ・福祉会館まつりに参加し、陶芸品の販売を行う。
- ・福祉会館利用者が主催する会に参加し、合唱・踊り・お茶会などで交流した。
- ・障がい者週間では、例年通り利用者がポスターを描き、COCOバス、市内の公共施設へ展示された。
- ・東京都立田無特別支援学校より1年生1名の実習生を受け入れた。

- ・週4、5日通園クラスの登園時間を15分繰り上げることで、療育時間の延長を行った。
- ・心理士による発達相談は週2日を基本に実施した。入園待機児の相談、在園児の心理学的検査の実施（希望者）はあまり多くはないが、今後は心理学的評価を療育に活かすための一定時期の全員実施、職員・保護者向けの心理士による学習会などを検討することにより、療育の質を高めるための取り組みにつなげていきたい。
- ・保育所・幼稚園を主な集団生活の場とする希望が増えてきている印象がある（“1～2年の療育を経て”、“初めから”等）。その影響で週1日通園クラスの希望者も多いと考えられる。
- ・さくらの木との職員の兼務体制を強化することで、週1日通園クラスの受け入れ枠を維持した。財政面において、兼務の状況を明らかにした。
- ・行政より平成24年度以降の障害児支援体制の大枠が示された。賀川学園は「児童発達支援センター」に移行する方向で準備を進める。小金井市は、市内の自主グループ等の活動にも後押しされ、ようやく具体的な検討を始めた様子である。賀川学園と関係部署の話し合いも徐々に始めているところである。
- ・教材費、光熱水費等についての節約意識を高めるため、昨年度の月別実績との金額を比較した。
- ・さらに取り組みが必要な事項として「職員育成計画を検討」「関係機関の見学の充実」「指導手順書の共通理解」が挙げられる。

1 施設運営

(1) 事業実績

- ・集団療育と個別学習 年間療育日 277 日、延べ利用者数 7,702 人
- ・発達相談 72 件（在園児 42 件、外来 30 件）
- ・きょうだいの会 月 1 回実施
- ・卒園生のアフターケア 必要に応じて引き継ぎ、学校見学を実施

(2) 児童の処遇

ア クラス編成（定員 35 名、現員は 3 月現在）

- ・週 5 日通園クラス 3 クラス（現員 27 名）
- ・週 4 日通園クラス 1 クラス（現員 6 名）
- ・週 1 日通園クラス 7 クラス（現員 32 名）

イ 健康管理（週 4、5 日通園クラス）

- ・内科検診 年 2 回（4 月、10 月）
- ・身体測定（身長・体重） 毎月
- ・身体測定（頭囲・胸囲） 年 2 回（4 月、10 月）
- ・歯科検診 年 1 回（11 月）
- ・蟻虫卵検査 年 1 回（5 月）

ウ 主な行事（週 4/5 日通園クラス）

| | | | |
|-----------|-------------|--------------|---------|
| 4 月 入園式 | 5 月 春合宿 | 6 月 お楽しみ会 | 9 月 運動会 |
| 10 月 親子遠足 | 12 月 クリスマス会 | 2 月 親子スケート体験 | 3 月 卒園式 |

エ 栄養管理

- ・給食会議を職員会議内で実施し、園児の様子や指導員の意見を献立や配膳に反映させるよう努めた。原子力発電所事故の影響による放射性物質の食材への影響については、産地確認を強化する対応を行った。

オ 安全管理

- ・看護師による定期的な遊具の安全チェックを行った。

(3) 職員の処遇

ア 職員構成

| 職 種 | 常勤 (人) | 非常勤 (人) | 合計員数 (人) |
|-----------------------|------------|---------|----------|
| 施設長 | 1 (他事業所兼務) | | 1 |
| 児童指導員・保育士 | 11 | 5 | 16 |
| 看護師 | | 1 | 1 |
| 調理員 | 1 (他事業所兼務) | 5 | 6 |
| 事務員 | 3 (他事業所兼務) | 1 | 4 |
| 嘱託医 | | 1 | 1 |
| 臨床心理士 | | 1 | 1 |
| スーパーバイザー (発達心理、作業療法士) | | 2 | 2 |

イ 健康管理

- ・健康診断 年1回 (6～10月)
- ・細菌検査 調理員のみ毎月1回

ウ 職員会議

- ・グループかがわ全体職員会 (3回) ・児童部門会議 (実施なし)
- ・児童部門職員会議 (1回) ・職員会議 (14回) ・リーダー会議 (13回)
- ・ケース会議 (年10回) ・クラス会議 (基本的に週2回、個別のケース会議を含む)
- ・報告会 (平日療育日に毎回)

エ 職員研修

- ・法人本部研修 (経験年数別) …延べ3名参加
- ・かがわブロック研修 …年2回、延べ25名参加
- ・スーパーバイザーによるカンファレンス…2回、各回12名参加
- ・外部機関の主催する講習会の参加 …8講座、延べ8名参加
- ・学校・施設見学 …8ヶ所、延べ10名参加

2 施設管理

(1) 設備関係

- ア 原発事故の影響による夏場の節電対策では、職員室や事務室にすだれやサーキュレーターを設置するなど、園児の生活場面での無理な節電は控えながら努力し成果を上げた。
- イ プール濾過機の動作に不具合・破損が生じ、修繕を行った。
- ウ 園児シューズロッカー前のスノコが老朽化のため破損し、買い替えを行った。

(2) 災害対策

- ア 災害時に備え、避難訓練を毎月1回実施するとともに、保護者への引渡し訓練を8月～9月に実施した。また隣接する愛の園保育園、かがわ工房との合同総合避難訓練を10月に実施した。避難路確保について隣地の早稲田実業学校と覚書を交わし、災害対策を強化した。
- イ 防災設備の点検を委託により年2回実施 (内、消防署への届け出1回)、非常時食糧の確認を園の防火管理者が実施した。
- ウ 災害時の連絡手段として、「NTT 災害伝言ダイヤル」の動作を職員間で確認した。

3 地域社会との連携

- (1) 実習生やボランティアを積極的に受け入れ、障がい児やその家族に関心を持つ人材を育成するよう努力した。
- (2) グループかがわ後援会主催のバザー (11月) に職員、保護者が協力・参加し、近隣住民や地域の事業者との交流を図った。
- (3) 都立小金井特別支援学校の運営連絡協議会委員と小金井地域ケア連絡会世話役を受諾し、地域の関係機関との協力や情報交換を行なった。

総括

- ・登録利用者数は現在 87 名で、昨年度より 15 名増加した。利用希望の問い合わせは引き続いており、2012 年度は登録利用者数 100 名を目標にしたい。
- ・利用者の方の障がい種別は、自閉症や軽度の知的障がいがある方、ダウン症の方など様々であり、一人ひとりに合ったきめ細やかな支援をする必要がこれまで以上に高まっている。
- ・学生の男性ヘルパーが増えたことにより中高生や成人の支援依頼にも柔軟に対応できるようになった。学生ヘルパーは入れ替わっていくので、地域の大学への宣伝活動やガイドヘルパー養成研修などによってさらなるヘルパーの拡充を目指したい。
- ・収入増と利用者の利便性の向上を目的とし「日中一時支援事業」を近隣の小金井、小平、国分寺の各市町村に申請したが、依頼数が予想以上に少なかったことや報酬単価が低い故にスタッフ配置をすることが難しく、今後の事業の展望に課題が残った。
- ・2012 年 2 月に法人内監事監査を受け、指摘を受けた点については迅速に改善し、さらなる処遇の向上や運営の安定を目指していく。

1 施設運営

(1) 実施事業

- ①知的障がい児・者 居宅介護事業
 - ②知的障がい児・者 移動支援事業（各市町村の地域生活支援事業）
 - ③その他有料の預かり事業
 - ④日中一時支援事業
- ※ウイングス登録利用者の 80%以上は②の移動支援事業

(2) 利用者の処遇

- ア 登録利用者数
総利用者数 87 名

【利用者分布一覧】

| 市町村名 | 小金井市 | 国立市 | 府中市 | 小平市 | 杉並区 | 日野市 | 国分寺市 | 東村山市 | 武蔵野市 | 多摩市 | その他 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|
| 人数 | 35 | 7 | 12 | 13 | 1 | 2 | 8 | 3 | 1 | 2 | 3 |

イ 利用者支援について

- ・利用者個々の意向の尊重に基づいた余暇充実を目指し、実施した。
- ・保護者との連絡は電話やメール等でこまめにとるようにした。かがわ工房、かがわの家、さくらの木所属の利用者が多いため、職員間で細かく連絡をとり、情報の共有を図った。
- ・2011 年 3 月の東日本大震災の後は安全のためしばらく支援を中止したが、5 月より通常支援を再開

した。2012年2～3月のインフルエンザ流行の時期はヘルパーのマスク着用、手洗いの徹底などを周知した。

- ・安全管理については職員が事業所名義の携帯電話を常に携帯し、事務所に職員が不在のときにでも転送されてきた電話やメールに即対応が可能な体制にしている。また、震災発生時は伝言ダイヤルサービス(171)を活用する等の災害時マニュアルを作成し、文書で利用者とヘルパーの双方に配布し周知徹底した。
- ・活動としては平日の放課後支援や、土曜日、祝日のお出かけや長期休みの預かり企画等を個々の希望に合わせて行なった。

(3) 職員の処遇

・職員構成

施設長1名 主任1名 支援員2名(兼務) 支援員19名(非常勤)

- ・小金井生活実習所との兼務で2名男性職員が配置され、また男性ヘルパーも多くなってきたので中高生や成人の支援に対しても安定した支援を提供できるようになってきた。
- ・課題としてはヘルパーにより支援の質にばらつきがあり利用者から指摘や要望も増えてきているので、ヘルパー支援マニュアルの改善や職員の同行による指導を増やし、人材確保と育成に力を入れる必要がある。

【ヘルパー数】 ※2012年3月時点 斜体太字は常勤ヘルパー

| | 週5回以上支援 | 週3回以上支援 | 週1回程度支援 | 月1～2回程度支援 | それ以下の頻度 |
|----|-----------------|---------------------|---------|-----------------|---------|
| 男性 | <i>1</i> | <i>1 + 2</i> | 5 | <i>1</i> | 0 |
| 女性 | 0 | 3 | 2 | 2 | 1 |

2 施設管理

- ・小金井 KAGAWA 館301号室を事務所として使用。日常的な利用者の出入りは少ないが、雨天時や屋外での支援困難者などの支援の際に奥の保育室を利用するため、衛生面の管理を徹底した。
- ・避難訓練は小金井 KAGAWA 館全体で合同で行なっている。また、震災を機に改めて防災対策を強化し、避難経路の確保や安全設備の点検を行った。

3 地域社会との連携

- ・「居宅ネット」(東京の居宅介護・移動支援事業所の連合組合)との連携を強化し、合宿や総会などにも出席した。ガイドヘルパー養成研修の講師は居宅ネットに依頼し、協力をお願いした。

1. 総括

今年度も、ケアホーム・グループホームと日中事業所が地区ごとで連携体制をとって利用者の支援を行った。月に一度地区の代表者で会議を行い、ケアホーム・グループホーム全体の把握や確認を行ってきた。家庭の事情で帰宅できず、年間通して利用している方は2名。夜間支援員を入れながら365日体制の勤務で整備して対応している。平日、週末と多くのスタッフが携わる中、利用者の方に統一した支援が行われるよう、日々の連絡、引き継ぎが大切である。また、生活面で通院や理髪等、家庭と連絡をとりながら職員が対応することも増えてきた。

災害対策として、ケアホーム・グループホームで備品の補充や環境の見直しを行った。ケアホーム・グループホームの場所が点在しており、建物にも違いがあるため、それぞれの防災マニュアルを作成し、整備する必要がある。

生活の中では電気をこまめに消す、夏はすだれをかけるなど節電に心がけた。

以前より保護者からケアホームへの入所希望があり、準備を進めて2012年度新しいケアホーム建設及び開所の予定となった。

2. 施設運営

(1) 施設体系（2012年3月）

| 施設体系 | 定員 | 利用者数 |
|-----------------|-----|------|
| ケアホーム（共同生活介護） | 26名 | 26名 |
| グループホーム（共同生活援助） | 1名 | 1名 |

(2) 利用者の支援

・ 利用者数（2012年3月）

| ホーム名 | 定員 | 利用者数 |
|-------|-----|------|
| シリウス | 6名 | 6名 |
| ミラ | 5名 | 5名 |
| カペラ | 5名 | 5名 |
| ベガ | 4名 | 4名 |
| ジュピター | 7名 | 7名 |
| 計 | 27名 | 27名 |

- ・ 安定して生活できること、身の回りのことが一人で出来ることを目標に、個別支援計画を作成し、保護者個人面談時に保護者からの同意を得た。
- ・ 夜間支援員とケース会議を設け、支援の確認を行った。
- ・ 行事、余暇活動についてはケアホーム・グループホームごとで企画し、それぞれのペースや楽しみに応じたものを提供した。余暇活動は誕生日会や外出、外食など、ケアホーム・グループホームで実施した。
- ・ 利用者の余暇を充実させるため、かがわサポートセンター・ウイングスとの連携を引き続き図ってきた。

- ・ ケアホーム・グループホームに戻ってきた時の手洗い、うがいをを行い、病気の感染予防に努めた。また、朝の検温を毎日行い、体調管理の把握をしている。その他食事、睡眠などについては、家庭や日中事業所とも連携して様子を把握し、健康管理に留意した。保護者の定期的な通院付き添いが困難な利用者については、職員が付き添って医師と相談、確認を行った。

(3) 職員の処遇

- ・ 職員の構成
 施設長 1 名 サービス管理責任者 1 名 生活支援員 26 名(兼務)
- ・ 生活支援員 11(非常勤) 業務委託 3 人
- ・ 日中の職員や夜間支援専門員、パートをケアホーム・グループホームに配置し、宿直の回数を調整した。
- ・ 職員の健康診断は年 1 回実施した。
- ・ 会議は、グループかがわ全体職員会 (年 3 回)、成人部門全体職員会 (年 2 回)、グループかがわ運営会議 (月 1 回)、成人部門運営会議 (月 1 回)、かがわの家地区会議 (月 1 回) を実施した。また、ケース会・行事前打ち合わせは随時実施した。
- ・ 研修は、勤務体制上全員が参加することがなかなか困難であった。

3. 施設管理

(1) 施設整備

- ・ 小金井 KAGAWA 館の受水槽の清掃を行った。(49,875 円)

(2) 設備関係

- ・ 小金井 KAGAWA 館カペラのエアコンが故障したため購入した。(74,425 円)
- ・ 賃貸アパートのベガで居室のエアコンクリーニングを行った。(11,142 円)
- ・ シリウス、ミラ、カペラの建具の修繕を行った。(70,350 円)

(3) 災害対策

- ・ 備品の購入や補充、環境の見直しを行った。
- ・ 避難経路や消火器の設置場所を確認し、非常時に対応できるようにした。
- ・ 消防設備の点検を実施した。
- ・ 避難訓練の実施を行った。
- ・ 災害時に備えて、利用者の防災手帳を用意することとした。

4. 地域社会との連携

- ・ お祭りや資源回収など、町内会の行事には積極的に参加した。また、町内の会議には定期的に施設職員が出席し、地域の方の理解を得られるように努めた。
- ・ 職場への通勤など、近隣とのトラブルにならないように、利用者によっては職員が付き添うなど配慮した。
- ・ 小金井グループホーム連絡会に参加し、市内の関係機関との連携を深め、情報を取り入れた。

1. 総括

- ・法人運営から5年が経過した。6月に東京都の評価委員会による運営実績等の評価が行われ、この5年間適正に運営を行っているとの評価を受けた。
- ・4月に生活介護事業へ新しい利用者を1名増やし、事業の安定化を図った。
- ・希望する家族と共に進めてきたケアホーム建設は、好適な土地を確保することができた。12月に東京都から内示も下り、2012年12月の開設を目指し3月末から建設工事を始めている。
- ・短期入所は、職員配置を工夫し前年度より稼働率を上げることができた。家族の急病など緊急の受入れや中長期の依頼が増えてきているので、今後より一層の工夫が迫られている。
- ・グループかがわ成人部門「桜町地区」として、かがわの家・ベガとも連携を取りながら、共に事業を進めてきた。
- ・防災対策では、小金井市より二次避難所指定の要請があり、災害時に地域での貢献も考慮し3月に市と協定を結んだ。今後は備蓄品等の協議を進めていく。
- ・ドアツードアの送迎は、家族の負担軽減になり大変喜ばれているが、ガソリンの高騰や車の故障、消耗備品の交換など維持費用が大きな課題となった。

2. 施設運営

(1) 実施事業 (現員は平成23年度3月末時点)

- 生活介護事業…定員32名 (現員34名) 音楽・陶芸・散歩・試験管袋詰め・廃油回収
- 就労継続支援事業 (B型) …定員10名 (現員12名) パン製造、販売・付録袋詰め
- ショートステイ事業…2床 (年間延べ利用者数160名)

(2) 利用者の支援

- ・移譲から5年目を迎え生活介護事業のグループ分けの見直しを行った。また、各グループで特色を活かした年間目標を設定し、目標に沿ったプログラムを実施した。年間目標はリーダー会議で適時見直しを行った。
- ・保護者会 (年2回)、個別面談 (年2回)、保護者グループ別参観日、クリスマス会など家族の方々から意見や要望を積極的に聞き、交流を深める機会として開催した。また、1月には講師を招き「障がいのある方のライフステージ」をテーマに保護者学習会を開催した。学習会終了後にはアンケートを配布し、意見や感想、今後のテーマについての意見を伺った。
- ・PT相談を年3回に増やし、専門家からのアドバイスを支援に活かした。また必要な利用者には個別のストレッチやマッサージを行い、支援の統一を図るためマニュアルを作成した。
- ・就労Bでは、利用者ミーティングを継続して開催し、利用者本人の意向や選択できる機会を設定した。
- ・一泊旅行は、当初は茨城県で計画を進めてきたが、東日本大震災の影響を考慮し、家族とも相談し場所を河口湖へ変更して開催した。(1,085,635円)
- ・給食については、前年度から始めた所内バイキングを継続し(12月)、新たに選択食(9月)を実施し、給食の時間がより楽しめる工夫と利用者が「選択できる」機会を増やした。
- ・外出は、各グループで1年に2回の一泊外出を実施した。行先は各グループで利用者の意向や特色に合わせた内容にしている。また、前年度は東日本大震災の影響で中止した「みのりフェスタ」(実習所祭)を3月に開催した。近隣の住民や関係団体にも声をかけ、当日は盛況で終えることができた。

(3) 利用者健康管理

- ・内科検診 (年10回)、整形外科検診 (年2回)、耳鼻科検診、レントゲン検診、蟻虫検査を行なった。また、毎月の身体測定や内科検診の結果が記載されている健康カードを用いて、家庭と連携

を図った。

・2月に、13名（スタッフ7名、利用者6名）がインフルエンザA型に感染した。10名の感染が確認された時点で、保健所に報告し感染防止の指導を受けた。今後はより一層感染症対策を徹底していく。

・嘱託医の整形外科医に相談しながら、家族と共に利用者の車椅子や補装靴の作成を行った。
・利用者の急な体調悪化が見られた場合など、通院の付添いを行なった。また利用者2名が入院することになり定期的に入院先への訪問を行なった。

（4）職員の処遇

・職員構成

施設長1名(兼務) サービス管理責任者1名 生活支援員14名(兼務) 職業指導員1名
調理員1名(兼務) 生活支援員8名(非常勤) 看護師2名(非常勤) 調理員3名(非常勤)
パン製造職員3名(非常勤) 運転士6名(非常勤) 清掃職員1名(非常勤) 事務員3名(兼務)

・9月から産休・育休に入った職員が1名いた。また、子育てしながら働く職員もいるので、女性が育児をしながらも働きやすい環境にしていくように努めた。

・職員健康診断を年1回実施した。
・地域の障がいのある方の雇用機会を広げるため、また職員の業務内容の軽減を図るため、清掃業務についての障がい者雇用を引き続き行なった。
・諸会議が例年夕方からになってしまっていたので、体制を工夫し少しずつ日中に行えるよう努めた。

・「自閉症実践療育セミナー」、「知的障害者グループホーム世話人養成研修」、「社会参加や就労に向けた指導・療育」、「こうさい療育セミナー」、「社会福祉施設等災害防止講習会」の外部研修に職員が参加した。

3. 施設管理

（1）施設整備

・水道基本料金削減のため、水道給水メーター管の口径変更工事を行なった。(720,374円)

（2）設備関係

・東京都の実地検査で口頭の指摘を受け、食堂及び2階作業室の防災カーテン(269,098円)を新たに購入した。

（3）災害対策

・毎月1回の避難訓練と報告会では避難経路や避難誘導の対応について職員間で確認を行なった。
・東日本大震災を受けて、法人内ブロック間でも災害時の対応について再検討を行なった。また、保護者会でも災害時の対応について報告を行ない、災害時の対応を周知徹底した。

4. 地域社会との連携

・ホールや備品の貸し出しを地域の団体に向けて行なった。
・クリスマス会の一部として行なったクリスマスコンサートやみのりフェスタは、ポスターやチラシを配布し、近隣の方にも参加を呼び掛けた。
・小金井市で行われている「科学の祭典」に、バイオディーゼル精製事業を一緒に行っている地域の会社と一緒に出店した。
・小金井市の商工会が設置したタウンショップに自主製品の出品を行なった。
・地域に開かれた事業所を目指し、実習生やボランティアを積極的に受け入れた。

1. 総括

- ・2011年4月1日新体系移行を果たし、生活介護事業となった。
- ・従来の作業・生産活動を利用者の方の状況に応じて進めてきた。付録作業の入り方に波が見られ、追われることがあったが、銀の皿・釜寅の食事セット袋詰めやちらし挟み込み作業、ケース作り作業等今年新たに増えた作業もあり、様々な種類の作業を進めてきた。
- ・焼き菓子は、夏場は猛暑と節電の影響を受けて厳しい売上であったが、秋からバザーや地域の方々、法人関係の事業所からの注文が相次ぎ好評を頂いた。タウンショップ「黄金や」にて販売した。
- ・心身の気分転換を図ることを目的として体操教室、ミュージックセラピー、軽運動、手芸等の活動を行なった。作業に参加しにくい方にとっては、小集団で活動する時間となり良い気分転換となった。
- ・看護師を配置したことにより、日々の服薬・健康管理等がきめ細やかに行き届くようになった。
- ・震災や節電の影響で不安定になった利用者の方がいた。猛暑対策として麦茶や保冷剤を用意した。
- ・共同募金会からの寄付金で焼き菓子製造のフリーザーと冷蔵ショーケースを購入した。
- ・作業室のオープン、手洗器自動水洗等修繕を行った。
- ・シフトの都合で職員全員での話し合いの場がとりづらいが、情報を共有するよう記録の活用に努めた。

2. 施設運営

(1) 実施事業

- ア. 受託作業…付録の袋詰め、プラスチック試験管の袋詰め、ダイレクトメールの封入、封筒制作、会報紙の封入、アロマオイル取扱い説明書の折り・ケース組み立て、チラシ広告組み合わせ、アルミ缶回収事業、ポストイング、宅配寿司お食事セット袋詰め、公園清掃等を行った。かがわブロック間で作業の連携と分業を行なってきた。地域のつながりのある業者さんから作業を継続して受注できた。
- イ. 自主製品パンの販売・焼き菓子製造・販売…夏場の猛暑の影響で売れ行きが落ちたが、秋から冬にかけて行事向けの焼き菓子の注文が増えて、好評をいただいた。新作の焼き菓子作りに励み、また販売促進用のポスターやパンフレットを作成した。
- ウ. リサイクル事業…アルミ缶回収を行った。
- エ. ボランティア活動…公園清掃作業を月1回実施した。

(2) 利用者支援

ア. 利用者数 定員…25名 現員…24名

イ. 支援方針

- ・個別支援計画に基づいて、ひとりひとりの利用者の方の意向や状況に応じて支援を行った。
- ・かがわの家利用者が半数おり、職員が兼務体制をとって利用者の方の生活をトータルで支えるための兼務体制をとり、情報交換や支援の協力をを行い連携を図った。
- ・移動支援利用者が増えてきており、ヘルパーとの連携を図るようにした。

ウ. 健康管理

- ・看護師を配置し、血圧測定・検温、服薬管理、急病や怪我の処置等日常的に健康管理を行った。
- ・訪問歯科診療を行い、希望者が受診した。
- ・細菌検査は、毎月調理職員、焼き菓子製造担当職員・利用者が行った。
5月12日 内科健診 嘱託医 12月5日 小金井市集団健診
2月8日 2月22日 健康診断 武蔵野三鷹地域センター (106,000円)

エ. 主な行事

- 6月10日 春の日帰り旅行 羽生水郷公園 (54,000円)
- 9月30日～10月1日 秋の一泊旅行 水上 (410,000円)
- 12月20日 クリスマス会(1万7千円)
- 3月16日 慰労会 宮ヶ瀬園地バーベキュー (111,000円)

オ. 給食

- ・利用者の状態に応じて分量の調整や食器の工夫をした。
- ・季節感や行事を盛り込んだメニューを提供した。

カ. 安全管理

- ・防災訓練 毎月実施 (以下の訓練を含む) ・賀川学園との合同訓練 (6月23日)
- ・三施設(愛の園保育園・賀川学園・かがわ工房)合同総合避難訓練 (10月25日)
引渡し訓練 (9月2日)
- ・防災設備点検(年2回)

キ. 第三者評価機関による利用者調査を受審し、サービスの向上に努めた。

(3) 職員の処遇

ア. 職員の構成

| | | | | | |
|-------|---|--------------|--------------|------------|----------|
| 施設長 | … | 1名 | リーダー(生活支援員) | … | 1名(常勤兼務) |
| 生活支援員 | … | 8名(常勤兼務) | 1名(常勤パート職員) | 10名(パート職員) | |
| 看護師 | … | 1名(パート職員) | | | |
| 事務員 | … | 1名(兼務・パート職員) | | | |
| 調理員 | … | 1名(常勤兼務) | 5名(兼務・パート職員) | | |
| 嘱託医 | … | 1名 | 相談員 | … | 1名 |

イ. 健康診断 年1回実施 若年健康診断 生活習慣病予防健診 (多摩健康管センター)

ウ. 会議

- 法人全体会 かがわブロック施設長会(月1回)
- グループかがわ全体職員会 7月17日 12月11日 3月26日
- 成人部門合同会議 6月11日 2月4日
- 運営会 月1回 (児童・成人・サービス部門事業所各施設長・主任)
- 成人部会 月1回 (成人事業所各施設長・主任) 職員会議 ケース会議

エ. 研修

- ・法人本部研修 (経験年数別)
1年目(フォローアップ)1日間 (1名)
パート職員研修 I (1名)
- ・かがわブロック全体研修

講演会 2 回実施

「障がいのある人たちの将来の生活設計」 7 月 17 日(9 名)

「行動障がいへの対応～医療との連携」 12 月 11 日(9 名)

賀川の実践 2011 合評会実施 7 月 17 日 9 名参加

・かがわブロック成人部門研修

「防災対策について」 6 月 11 日(10 名)

「成人期の生活を支える支援」 2 月 4 日(10 名)

・外部研修

平成 23 年度社会福祉事業従事者人権研修…2 名

2011 年度社会福祉士実習指導者講習会…1 名

発達障がいについての医療従事者向け講習会…1 名

行動援護従業者養成研修…1 名

東社協知的発達障がい部会利用者支援研究会研修…1 名

3. 施設管理

(1) 設備関係…手洗器自動水栓交換 69,000 円

(2) 備品関係…焼き菓子製造用冷蔵ショーケース・冷蔵ストッカー119,000 円

(共同募金会配分金 100,000 円にて購入)

ミニ折りたたみベッド 17,000 円

(グループかがわ後援会主催バザー配分金にて購入)

(3) 災害対策…・自衛消防訓練 年 6 回実施 ・防災設備の点検委託 年 2 回

4. 地域社会との連携

・東社協の依頼を受けて東日本大震災の被災地支援として職員をボランティアとして派遣した。

・町会祭り、福社会館祭り、他事業所祭り等に出店し、備品の貸し出し等で協力した。

・パン・焼き菓子の販売店やアルミ缶回収などで近隣の方や各施設、地域住民との交流を深めた。

・障害者週間では、ポスターを描き、市内の公共施設に展示された。

・グループかがわ後援会主催バザーで、会場として賀川学園と共に施設開放を行った。

・特別支援学校実習生、社会福祉援助実習生、介護体験等学生、保育実習生、ガイドヘルパー実習生を受け入れた。

- 2011年4月より生活介護事業所としての事業を始める。
- 6月に利用者1人が退所し、在籍は24人。
- 年度当初より新事業に必要な職員を配置するが、ケアホームとの兼務により職員が不足したため7月途中より、常勤職員を1人増やす。
- 受注作業の状況は、付録の袋詰めやプラスチック製品の加工など継続して入る仕事が減ってきているため、部品入れ（部品を小袋に入れ、口を閉じる）、箱の仕切り折、ダイスクッション、記念品作り、D-BOXなど新しい仕事も積極的に受けて取り組んできた。
- 農作業は、春はジャガイモ、かぶ、大根、ほうれん草、にんじん、なす、きゅうり、ピーマン、ラディッシュ。秋にはさやえんどう、ブロッコリー、はねぎ、小松菜、のらぼうな、サトイモ、玉ねぎを植える。
- 自主製品は、アイロンビーズ、ポストカード、手焼きせんべいに取り組んでいる。
- 2月から、あきる野市役所の福祉喫茶にも手焼きせんべいを置いてもらう。
- 今年度より、歯科の訪問診療を受け入れている。
- 台風のため、9月に予定していた一泊旅行（箱根）を延期して、11月に実施した。
- ワークスタジオまつりは、雨天であったが予定通り実施、参加者は昨年より少なかった。
- 東日本大震災の被災地支援に述べ5人が参加する。
- 予定よりも大きく遅れて、8月に排水設備工事を実施した。
- ドアのガラスを割って、利用者がけがをすることがあり、アクリル板に入れ替える。
- 共同募金に来年度の一泊研修の費用の補助を申請する。

1 施設運営

（1）実施事業

作業内容…付録の袋詰め、ダイスクッションの製作、部品入れ、プラスチック製品の加工、記念品作り、D-BOX、箱の仕切り折

自主製品の製造・販売…ポストカード、手焼きせんべい

その他…アルミ缶、農作業、施設内外の清掃、アイロンビーズ

（2）利用者の処遇

利用定員…20人

在籍 …24人

処遇方針

- ・作業と生活面から利用者の状況、課題を検討し、個別の支援計画をたて、支援内容の充実を図る。

健康管理

6月30日 内科健診 9月8日 健康診断

毎週検温、毎月体重測定、血圧測定

歯科検診を実施、訪問歯科治療を受ける。

主な行事

4月28日 日帰り旅行 河川公園・広徳寺 20,000円

1 1月15日、16日 一泊旅行 箱根 570,000円

1 2月22日 クリスマス会 ゲーム、DVD鑑賞 20,000円

3月16日 慰労会 90,000円

給食…アレルギー、肥満など利用者の特性に配慮した特別食や行事食など、より楽しく食事ができるよう工夫している。

家族懇談会 3月9日

第三者評価…サービス評価（訪問調査は10月11日）

(3) 職員の処遇

職員の構成

施設長1人 サービス管理責任者1人 看護師1人(非常勤)

生活支援員6人(兼務) 生活支援員(常勤パート)3人

生活支援員10人(パート職員) 栄養士1人(非常勤)

調理員4人(非常勤) 事務員1人(兼務) 嘱託医1人

相談員1人(非常勤)

健康管理 健康診断 年1回

会議

法人全体集会1回 GK全体職員会3回 運営会月1回

成人部会2ヶ月1回 成人部門全体会3回 職員会議月1回

ケース会議

研修…法人研修、ブロック内研修、外部研修

2 施設管理

建物・設備関係

・排水設備工事 824,250円

・ラウンジガラス交換 115,500円

・ドアガラス交換 42,000円

・ラウンジガラス戸修理 52,500円

備品

・空気清浄機を各作業室に設置した。

3 地域社会との連携

・10月22日(土)ワークスタジオまつりを開催、地元のお囃子、被災地支援の報告を行う。

・西多摩療育センター「ミニ作品展」に、ポストカードとアイロンビーズを出品する。

・あきる野学園での研修会(2月17日)の際、自主製品の販売。

・あきる野市社会福祉協議会の夏体験ボランティアでボランティア1人受け入れ。

その他に中学生ボランティア1人を受け入れる。

・あきる野学園の実習生2人、インターシップ3人を受け入れる。

記入者 中村 悠子

1. 総括

平成 24 年の新体系移行を見据え、移行先が定まらない状況ではあったが、利用者のニーズの高いこの事業を継続させていくために、職員の育成と指導枠の維持・増加を図った。また、今年度は職員数を 4 名とし、業務委託職員を増やし、指導枠の増加をすることで事業収入の増加を見込んだ。また昨年度に比べ、実質的に職員数が減ったことで、体験学習を減らし、夏休みに集中的に夏休みプログラムを組んだことで、職員の実務を減らし、収入の増加を見込んだ。

新しい職員や業務委託の指導員も新しく代わったことで、指導への共通理解などを得るために、ケース会議の日程を増やし、引き続き学習会を定期的に取り組んだ。

建物（小金井 KAGAWA 館）の老朽化による度重なる修繕や正規職員の雇用などにより年々支出が増大していく傾向が顕著である。現在できることは、今後に備えて収入を増やし支出を減らすことである。しかし収入は限られているため、職員間の経費節減への意識を高め、光熱費の使用削減・消耗品の使用・廃棄について効率的な方法を周知し実践するように努めた。

2. 施設運営

（1）実施事業

通常の個別指導、ペア指導、グループ指導の他に余暇支援としての体験学習を年 2 回、夏に夏季プログラムとキャンプを実施した。年間の指導日は延べ 213 日、補助金事業対象者の年間延べ利用者数は 3,549 名であった。その他、さくらの木相談室年 16 回、学校相談年 7 回、コミュニケーションブック・レシピ集・指導書 20 冊保護者や教育関係者に頒布した。

（2）利用者の支援

自閉的傾向や発達に遅れのある子どもとその家族が、社会の中でより豊かに暮らしていけることを目指して支援を行った。指導内容は主に日常生活における基本的動作及びコミュニケーション手段の獲得、集団生活の適応を目標にひとりひとりの子どもの発達に応じたプログラムを立て取り組んだ。さらに、家庭の中で 1 日を過ごすことが難しい子どもたちや預ける場所がない家族のために、休日や長期休暇中を利用して、ウォーキングなどを実施し、子どもたちに余暇の場を提供した。

ア 利用者年齢構成

| | 利用者数（名） |
|-----|---------|
| 幼 児 | 6 |
| 小学生 | 70 |
| 中学生 | 17 |
| 高校生 | 6 |
| 合 計 | 99 |

イ 地域別利用者数

| | 利用者数 (名) | | 利用者数 (名) |
|-------------------------------|----------|------|----------|
| 小金井市 | 22 | 府中市 | 17 |
| 小平市 | 6 | 国分寺市 | 10 |
| 国立市 | 7 | 日野市 | 4 |
| 東村山市 | 2 | 西東京市 | 2 |
| 武蔵野市 | 2 | 調布市 | 2 |
| その他 (昭島市・青梅市・あきる野市・杉並区・練馬区など) | | 25 | |
| 合 計 | | 99 | |

ウ 健康管理

利用者の健康状態に留意し、軽い怪我には対応できるような薬を常備した。

(3) 職員の処遇

- ・施設長1名、指導員4名、業務委託職員22名で指導にあたった。
- ・職員には年1回の健康診断を行い、健康の管理に努めた。
- ・会議は事業所内の職員会議（原則、週1回）を中心に、法人全体集会（年1回）、グループかがわ運営会議（月1回）、グループかがわ全体職員会（年3回）、ケース会議（月4～6回）を行い、運営上の課題、支援の方法等を話し合った。
- ・研修は法人研修、発達障害に関する専門性向上を目的に、他機関主催の研修に1人年1回、学習会（月1回）、学校等の関連機関の見学（延べ27件）や学校、保育園・幼稚園の職員の見学・相談の受け入れ（延べ11件）を積極的に実施した。また発達障害に関する書籍を購入し、研鑽に努めた。

3. 施設管理

- ・KAGAWA館の老朽化による玄関ドア、門扉の修理を行った。また豪雨の場合の雨除けとして2階踊り場にパネルを設置した。
- ・年に2回、消防用設備の点検を実施。

4. 災害対策について

- ・大きな地震があった場合の避難先として、賀川学園に避難することを職員と保護者に周知した。
- ・非常食を補充し、倉庫に備えた。
- ・避難時の連絡方法として、災害伝言ダイヤルの利用を検討した。

5. 地域社会との連携

賀川学園の卒園生の他、小金井市及び近隣市区町村在住者の利用も受け付けている。

発達障害や事業への理解を促進し、近隣との良好な関係を保つため、ボランティアや見学者を積極的に受け入れた。またグループかがわ後援会主催のバザーや自治会に参加するなど、地域住民との交流を図った。